

本書の見かた

本書ではお車の各装置や装備の正しい取り扱いかたと、快適ドライブ情報やお手入れのしかた、万一のときの応急処置などを記載しています。

- ◎ お車を安全・快適にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。
- ◎ 「警告」「注意」は安全のために特に重要です。よく読んでお守りください。
- 本書の中で使用しているマークと意味は次のようになっています。

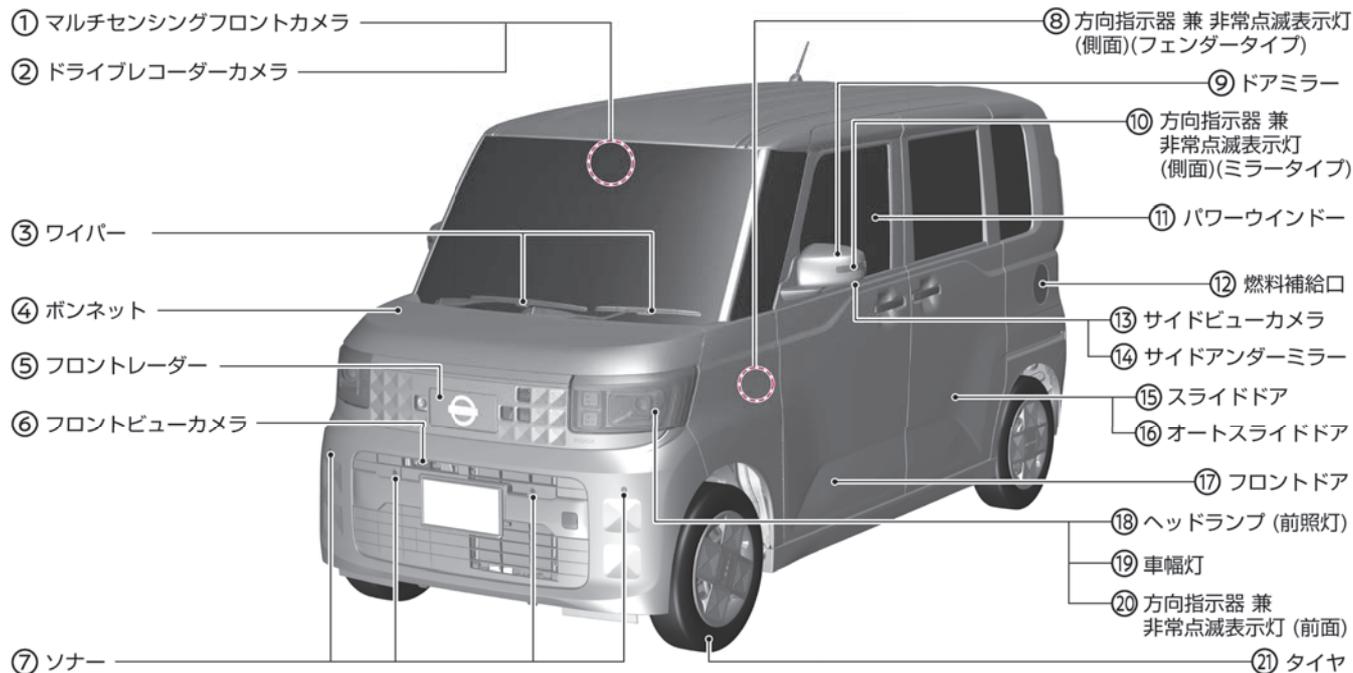
安全のために守っていただきたいこと。	
 警告	守らないと生命の危険または重大な傷害につながるおそれがあります。
 注意	守らないと傷害につながるおそれがあります。
お車のために守っていただきたいこと。	
 アドバイス	守らないと装備品や車両の破損につながるおそれがあります。
お車を使ううえで知っておいていただきたいこと。	
 知識	知っておくとお車の性能を十分にお使いいただけるとともに、いろいろな装備を上手に使うことができます。
	安全のためにしてはならない行為。 (イラスト内に表示されています)

- コントロールパネルのスイッチは<****>、操作画面に表示されるメニューや項目は [****] と表示しています。
- 参照して読んでいただきたいページなどを、➡ マークで表示しています。
- 本書では、メーカーオプションのNissanConnectインフォテインメントシステムを装着した車両のことを「NissanConnectインフォテインメントシステム装着車」と示しています。
- 日産販売会社で取り付けられた装備（ディーラーオプション）については、その装備に付属の取扱説明書をお読みください。
- 点検・整備、保証については別冊のメンテナンスノートをお読みください。
- NissanConnectインフォテインメントシステム装着車は、別冊のNissanConnectインフォテインメントシステム取扱説明書も合わせてお読みください。
- その他、ご不明な点はカーライフアドバイザー（営業部員）にお申しつけください。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">● 交通ルールやマナーを守って運転しましょう。● 自然環境保護に配慮してください。● 本書と別冊のメンテナンスノートはお車の中に保管してください。● お車をゆずられるときは次に所有される方のために、本書をお車に付けておいてください。● 車両の仕様変更やソフトウェア更新により、本書の内容が実車と一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。 |
|--|

<ul style="list-style-type: none"> ■ 外観フロント（ハイウェイスター車以外）.2 ■ 車室内.8 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 外観フロント（ハイウェイスター車）.4 ■ 運転席まわり.10 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 外観リヤ.6 ■ インストルメントパネル.12 	イラスト目次	P.2
<ul style="list-style-type: none"> ■ 運転する前に.16 ■ お子さまの安全のために.29 	<ul style="list-style-type: none"> ■ シートベルト.20 	<ul style="list-style-type: none"> ■ エアバッグ.23 	安全なドライブの ために	P.15
<ul style="list-style-type: none"> ■ 計器類.38 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 警告灯・表示灯.41 	<ul style="list-style-type: none"> ■ アドバンスドドライブアシスト ディスプレイ.46 	メーターの見かた	P.37
<ul style="list-style-type: none"> ■ メーターの明るさの調節.73 	<ul style="list-style-type: none"> ■ キー.76 ■ ミラーの調節.104 ■ エアコンの操作.111 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ドアの施錠と解錠.83 ■ 窓ガラスの開閉.107 ■ オーディオ.119 	各部の操作	P.75
<ul style="list-style-type: none"> ■ 始動する.122 ■ 運転支援機能.148 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 運転する.128 ■ 駐車支援システム.212 	<ul style="list-style-type: none"> ■ シート・ハンドルの調節.99 ■ 燃料補給口の開閉.109 	運転のしかた	P.121
<ul style="list-style-type: none"> ■ 室内灯.230 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 収納装備.232 	<ul style="list-style-type: none"> ■ その他の室内装備.235 	室内装備	P.229
<ul style="list-style-type: none"> ■ まずはじめに.254 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 緊急時の対処法.259 		トラブルがおきた ときは	P.253
<ul style="list-style-type: none"> ■ メンテナンスの前に.304 ■ 清掃・お手入れ.320 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 工具・ジャッキ.305 ■ サービスデータ.326 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 点検と整備.309 	メンテナンス	P.303
			索引	P.333

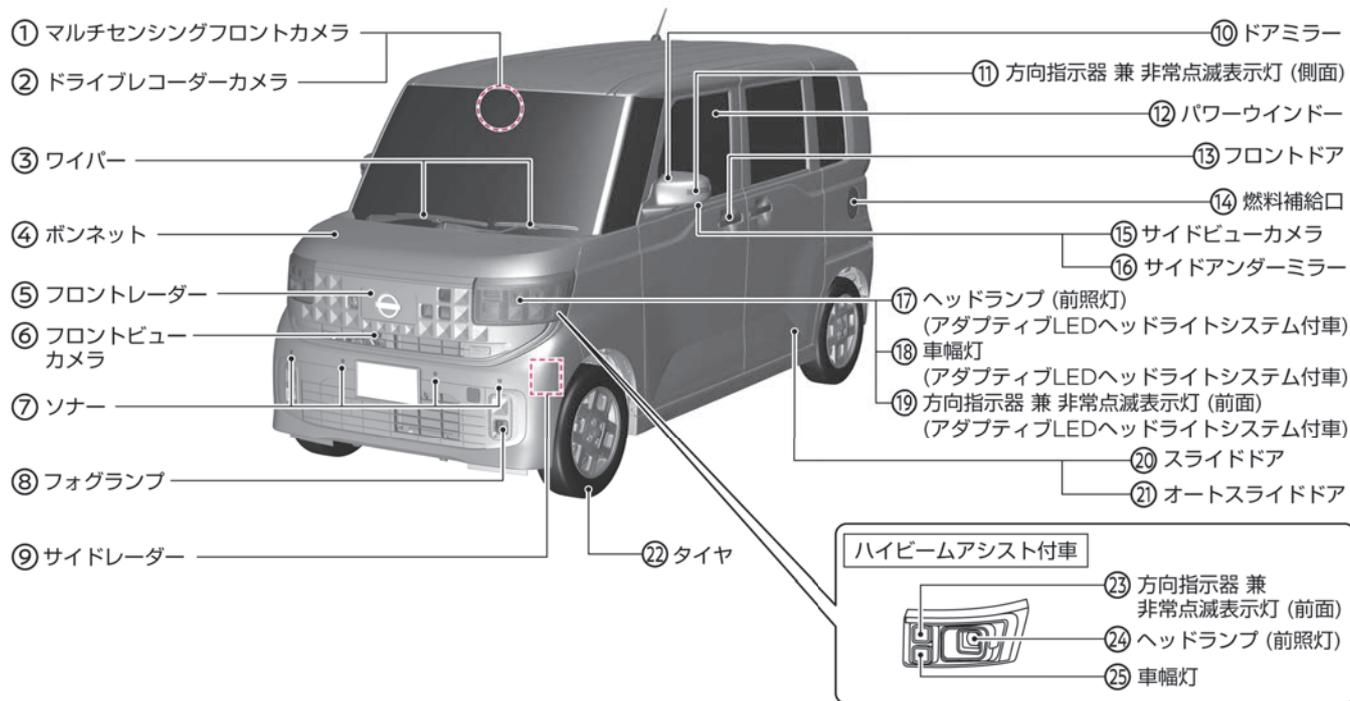
外観フロント（ハイウェイスター車以外）



外観フロント（ハイウェイスター車以外）

- ① マルチセンシングフロントカメラ (➡P.160、➡P.322)
- ② ドライブレコーダーカメラ★ (➡P.238)
- ③ ワイパー (➡P.145)
- ④ ボンネット (➡P.309)
- ⑤ フロントレーダー (➡P.157、➡P.322)
- ⑥ フロントビューカメラ★ (➡P.212、➡P.323)
- ⑦ ソナー (➡P.70、➡P.157、➡P.220、➡P.323)
- ⑧ 方向指示器兼非常点滅表示灯（側面）（フェンダータイプ） (➡P.143、➡P.300、➡P.329)
- ⑨ ドアミラー (➡P.105)
- ⑩ 方向指示器兼非常点滅表示灯（側面）（ミラータイプ） (➡P.143、➡P.300、➡P.329)
- ⑪ パワーウインドー (➡P.107)
- ⑫ 燃料補給口 (➡P.109)
- ⑬ サイドビューカメラ★ (➡P.212、➡P.323)
- ⑭ サイドアンダーミラー★ (➡P.106)
- ⑮ スライドドア (➡P.86)
- ⑯ オートスライドドア★ (➡P.89)
- ⑰ フロントドア (➡P.83)
- ⑱ ヘッドランプ（前照灯） (➡P.137、➡P.300、➡P.329)
- ⑲ 車幅灯 (➡P.137、➡P.300、➡P.329)
- ⑳ 方向指示器兼非常点滅表示灯（前面） (➡P.143、➡P.300、➡P.329)
- ㉑ タイヤ (➡P.312)

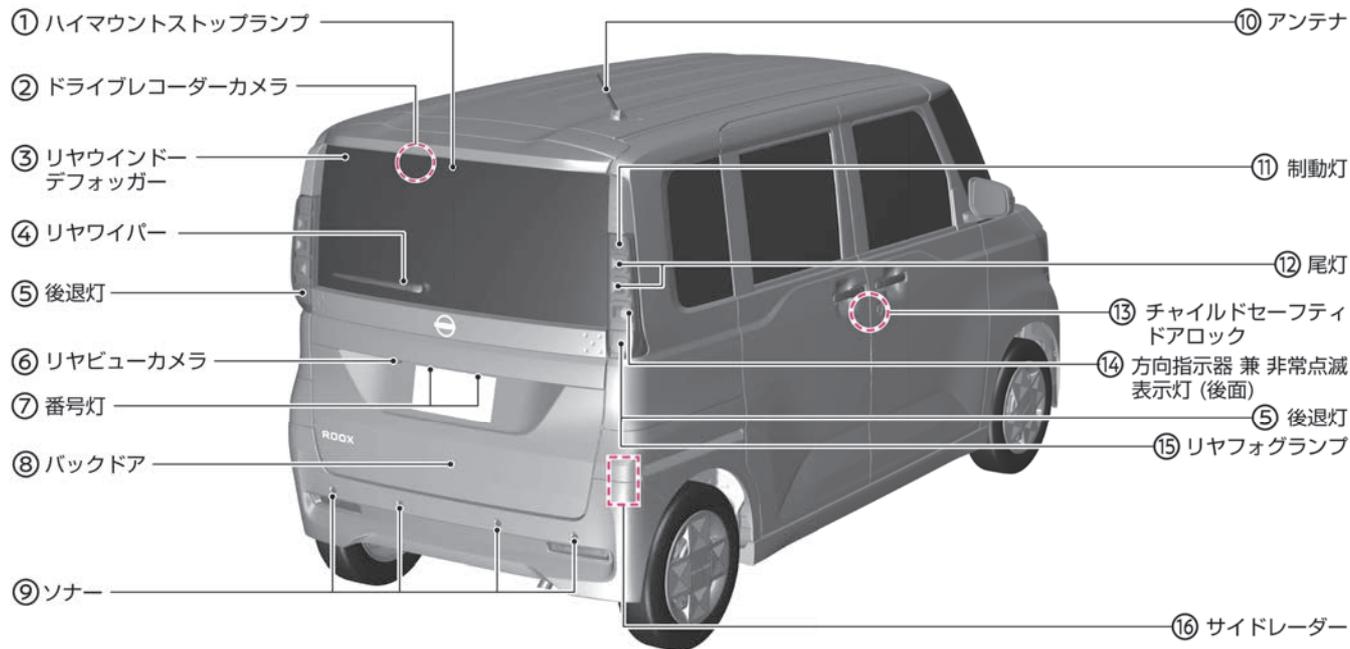
外観フロント (ハイウェイスター車)



外観フロント（ハイウェイスター車）

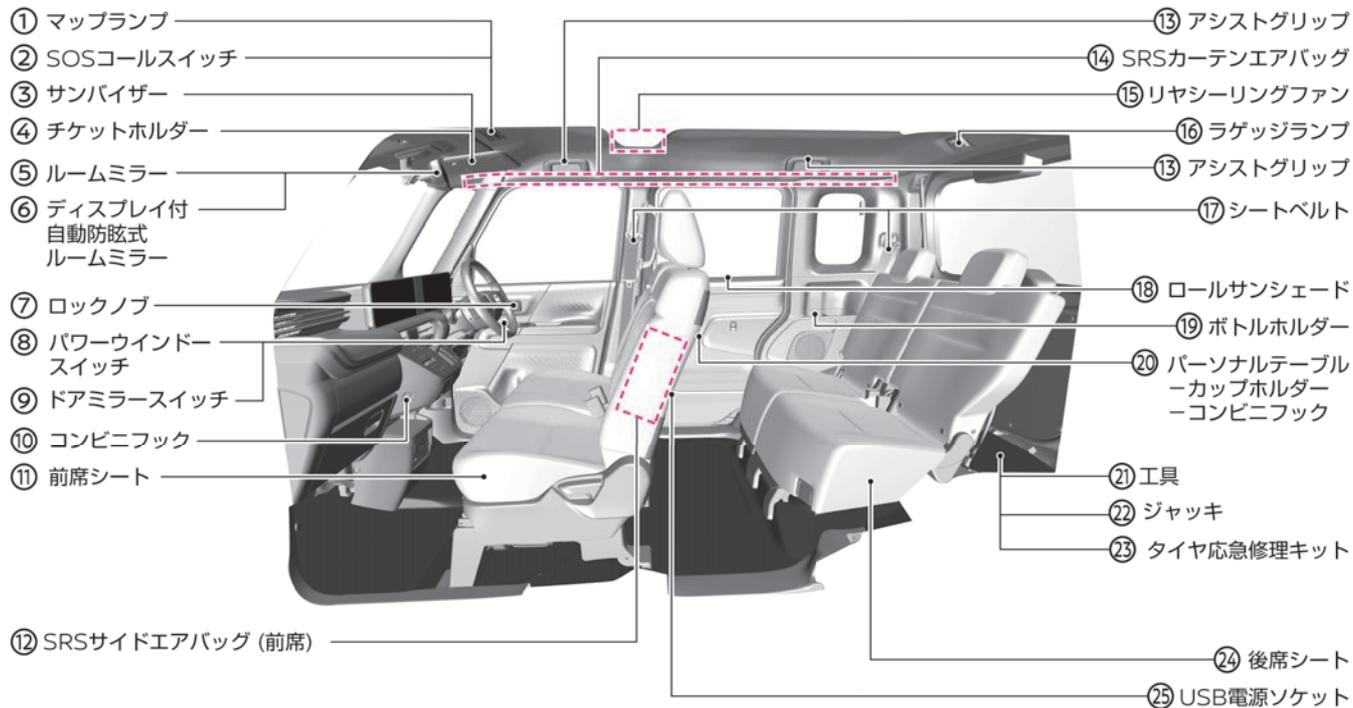
- ① マルチセンシングフロントカメラ (➡P.322)
- ② ドライブレコーダーカメラ★ (➡P.238)
- ③ ワイパー (➡P.145)
- ④ ボンネット (➡P.309)
- ⑤ フロントレーダー (➡P.157、➡P.322)
- ⑥ フロントビューカメラ★ (➡P.212、➡P.323)
- ⑦ ソナー (➡P.70、➡P.157、➡P.220、➡P.323)
- ⑧ フォグランプ (➡P.144、➡P.300、➡P.329)
- ⑨ サイドレーダー★ (➡P.322)
- ⑩ ドアミラー (➡P.105)
- ⑪ 方向指示器 兼 非常点滅表示灯（側面） (➡P.143、➡P.300、➡P.329)
- ⑫ パワーウィンドー (➡P.107)
- ⑬ フロントドア (➡P.83)
- ⑭ 燃料補給口 (➡P.109)
- ⑮ サイドビューカメラ★ (➡P.212、➡P.323)
- ⑯ サイドアンダーミラー★ (➡P.106)
- ⑰ ヘッドランプ（前照灯）（アダプティブLEDヘッドライトシステム付車） (➡P.137、➡P.300、➡P.329)
- ⑱ 車幅灯（アダプティブLEDヘッドライトシステム付車） (➡P.137、➡P.300、➡P.329)
- ⑲ 方向指示器 兼 非常点滅表示灯（前面）（アダプティブLEDヘッドライトシステム付車） (➡P.143、➡P.300、➡P.329)
- ⑳ スライドドア (➡P.86)
- ㉑ オートスライドドア (➡P.89)
- ㉒ タイヤ (➡P.312)
- ㉓ 方向指示器 兼 非常点滅表示灯（前面）（ハイビームアシスト付車） (➡P.143、➡P.300、➡P.329)
- ㉔ ヘッドランプ（前照灯）（ハイビームアシスト付車） (➡P.137、➡P.300、➡P.329)
- ㉕ 車幅灯（ハイビームアシスト付車） (➡P.137、➡P.300、➡P.329)

外観リヤ



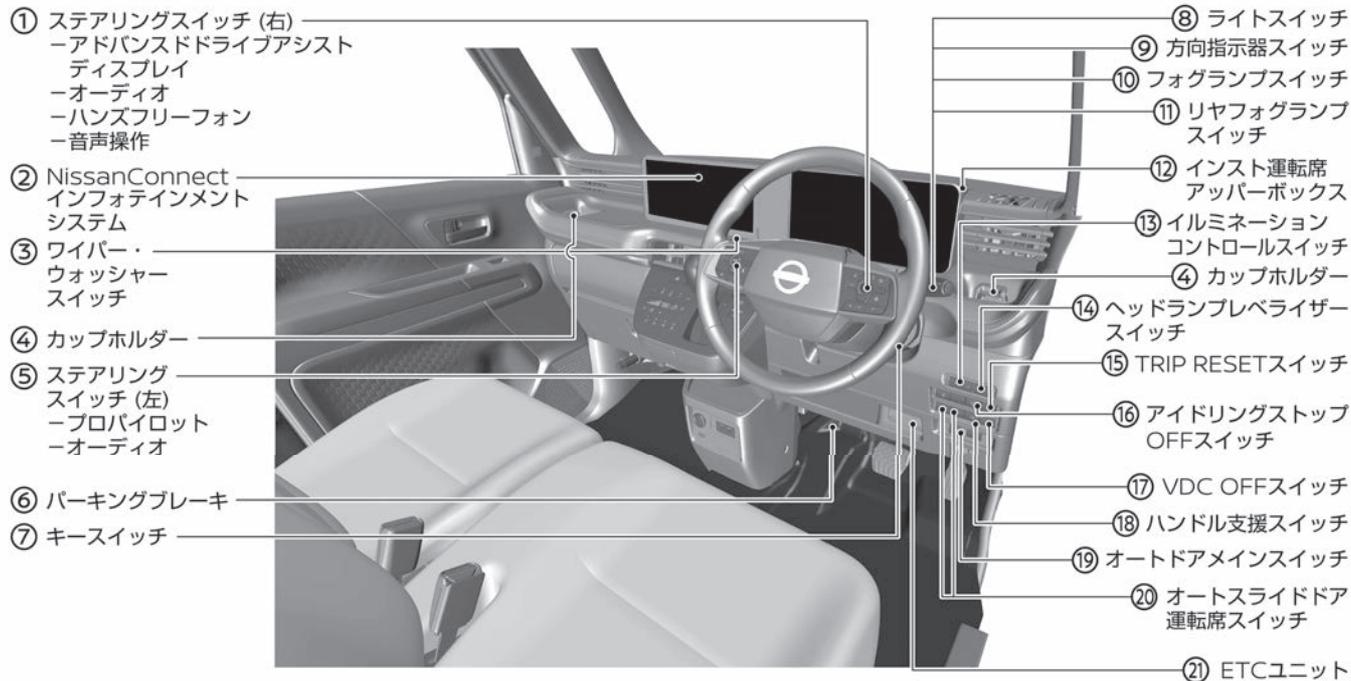
- ① ハイマウントストップランプ (➡P.300、➡P.329)
- ② ドライブレコーダーカメラ★ (➡P.238)
- ③ リヤウインドーデフォグガー (➡P.296)
- ④ リヤワイパー (➡P.146)
- ⑤ 後退灯 (➡P.300、➡P.329)
- ⑥ リヤビューカメラ★ (➡P.212、➡P.323)
- ⑦ 番号灯 (➡P.137、➡P.300、➡P.329)
- ⑧ バックドア (➡P.97)
- ⑨ ソナー (➡P.70、➡P.157、➡P.220、➡P.323)
- ⑩ アンテナ (➡P.119)
- ⑪ 制動灯 (➡P.300、➡P.329)
- ⑫ 尾灯 (➡P.137、➡P.300、➡P.329)
- ⑬ チャイルドセーフティドアロック (➡P.87)
- ⑭ 方向指示器 兼 非常点滅表示灯 (後面) (➡P.143、➡P.300、➡P.329)
- ⑮ リヤフォグランプ★ (➡P.144、➡P.300、➡P.329)
- ⑯ サイドレーダー★ (➡P.157、➡P.322)

車室内



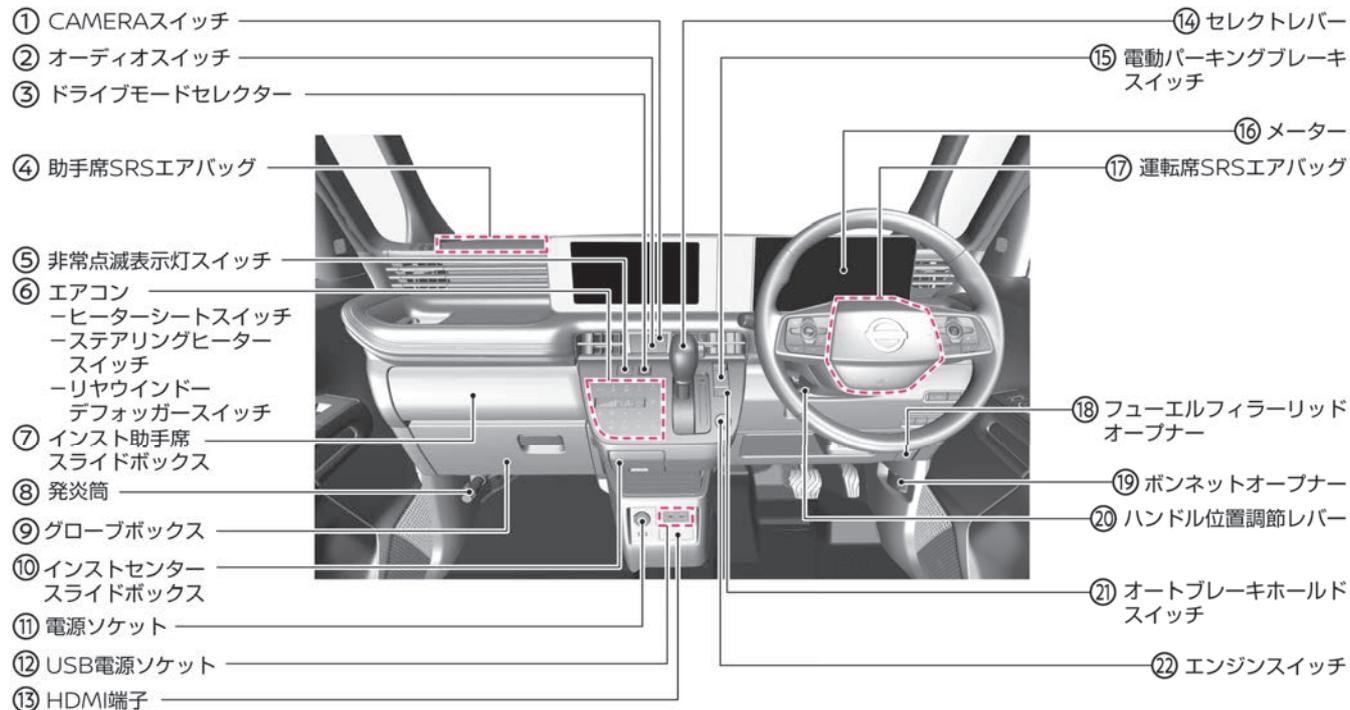
- ① マップランプ (➡P.230)
- ② SOSコールスイッチ★ (➡P.235)
- ③ サンバイザー (➡P.250)
- ④ チケットホルダー (➡P.251)
- ⑤ ルームミラー★ (➡P.104)
- ⑥ ディスプレイ付自動防眩式ルームミラー★ (➡P.104)
- ⑦ ロックノブ (➡P.85)
- ⑧ パワーウインドースイッチ (➡P.107)
- ⑨ ドアミラースイッチ (➡P.105)
- ⑩ コンビニフック (➡P.249)
- ⑪ 前席シート (➡P.99)
- ⑫ SRSサイドエアバッグ (前席) (➡P.27)
- ⑬ アシストグリップ (➡P.251)
- ⑭ SRSカーテンエアバッグ (➡P.28)
- ⑮ リヤシーリングファン★ (➡P.113)
- ⑯ ラゲッジランプ (➡P.230)
- ⑰ シートベルト (➡P.20)
- ⑱ ローレルサンシェード★ (➡P.248)
- ⑲ ボトルホルダー (➡P.233)
- ⑳ パーソナルテーブル★ (➡P.248)
- カップホルダー
- コンビニフック
- ㉑ 工具★ (➡P.305)
- ㉒ ジャッキ★ (➡P.305)
- ㉓ タイヤ応急修理キット (➡P.259)
- ㉔ 後席シート (➡P.101)
- ㉕ USB電源ソケット★ (➡P.247)

運転席まわり



- ① ステアリングスイッチ (右)
 - アドバンスドドライブアシストディスプレイ (➡P.46)
 - オーディオ★ (➡P.120、別冊※)
 - ハンズフリーフォン★ (別冊※)
 - 音声操作★ (別冊※)
 - ② NissanConnectインフォテインメントシステム★ (別冊※)
 - ③ ワイパー・ウォッシュャースイッチ (➡P.145)
 - ④ カップホルダー (➡P.233)
 - ⑤ ステアリングスイッチ (左) ★
 - プロパイロット★ (➡P.164)
 - オーディオ★ (➡P.120、別冊※)
 - ⑥ パーキングブレーキ★ (➡P.130)
 - ⑦ キースイッチ★ (➡P.124)
 - ⑧ ライトスイッチ (➡P.137)
 - ⑨ 方向指示器スイッチ (➡P.143)
 - ⑩ フォグランプスイッチ★ (➡P.144)
 - ⑪ リヤフォグランプスイッチ★ (➡P.144)
 - ⑫ インスト運転席アッパーボックス (➡P.232)
 - ⑬ イルミネーションコントロールスイッチ (➡P.73)
 - ⑭ ヘッドランプレベライザースイッチ★ (➡P.144)
 - ⑮ TRIP RESETスイッチ (➡P.40)
 - ⑯ アイドリングストップOFFスイッチ (➡P.150)
 - ⑰ VDC OFFスイッチ★ (➡P.155)
 - ⑱ ハンドル支援スイッチ★ (➡P.168)
 - ⑲ オートドアメインスイッチ★ (➡P.91)
 - ⑳ オートスライドドア運転席スイッチ★ (➡P.93)
 - ㉑ ETCユニット★ (別冊※)
- ※ NissanConnectインフォテインメントシステム取扱説明書をお読みください。

インストルメントパネル



インストルメントパネル

- ① CAMERAスイッチ★ (➡P.212)
- ② オーディオスイッチ★ (別冊※)
- ③ ドライブモードセレクター (➡P.148)
- ④ 助手席SRSエアバッグ (➡P.25)
- ⑤ 非常点滅表示灯スイッチ
- ⑥ エアコン (➡P.111)
 - ヒーターシートスイッチ★ (➡P.246)
 - ステアリングヒータースイッチ★ (➡P.246)
 - リヤウインドーデフォグガースイッチ (➡P.296)
- ⑦ インスト助手席スライドボックス (➡P.232)
- ⑧ 発炎筒 (➡P.255)
- ⑨ グローブボックス (➡P.232)
- ⑩ インストセンタースライドボックス (➡P.233)
- ⑪ 電源ソケット (➡P.246)
- ⑫ USB電源ソケット (➡P.247、別冊※)
- ⑬ HDMI端子★ (別冊※)
- ⑭ セレクトレバー (➡P.128)
- ⑮ 電動パーキングブレーキスイッチ★ (➡P.130)
- ⑯ メーター (➡P.38)
- ⑰ 運転席SRSエアバッグ (➡P.25)
- ⑱ フューエルフィルターリッドオープナー (➡P.109)
- ⑲ ボンネットオープナー (➡P.309)
- ⑳ ハンドル位置調節レバー (➡P.103)
- ㉑ オートブレーキホールドスイッチ★ (➡P.132)
- ㉒ エンジンスイッチ★ (➡P.122)
- ※ NissanConnectインフォテインメントシステム取扱説明書をお読みください。

MEMO



イラスト目次

運転する前に

運転前の準備	P.16
運転するときに注意すること	P.17
心臓ペースメーカーなどをご使用の方の注意事項	P.18
盗難防止機能	P.19

シートベルト

3点式シートベルト	P.20
シートベルトの注意事項	P.21

エアバッグ

SRSエアバッグ	P.23
SRSエアバッグ（前席）	P.25
SRSサイドエアバッグ（前席）	P.27
SRSカーテンエアバッグ	P.28

お子さまの安全のために

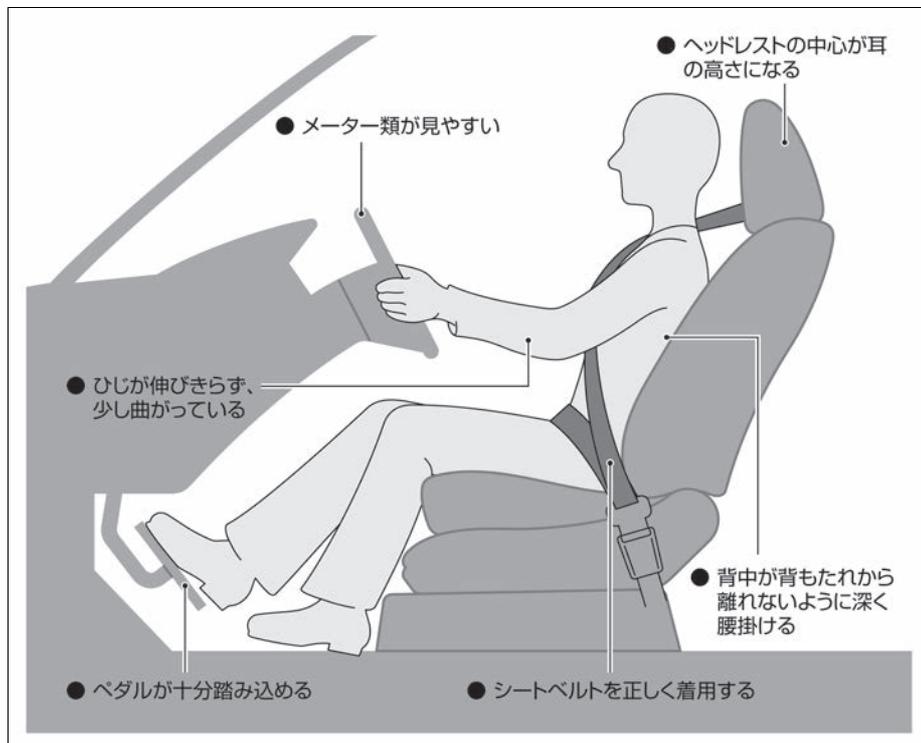
お子さまを乗せるときに注意すること	P.29
チャイルドシート	P.30

運転する前に

運転前の準備

正しい運転姿勢がとれるよう、ハンドル (P.103)、シート (P.99)、ミラー (P.104) を調節し、シートベルトを着用してください。

正しい運転姿勢について



警告

- **ハンドル、シート、ミラーの調節は、必ず走行前に行う。**
走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **ハンドルやシートを調節したあとは、確実に固定されていることを確認する。**
固定されていないと運転姿勢が突然変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **背もたれと背中の中にクッションなどを入れない。**
運転姿勢が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

シートベルトの着用

- 走行前に必ずシートベルトを正しく着用してください。
➡ シートベルト (P.20)
- 小さなお子さまを乗せるときは、お子さまの年齢や体格に合ったチャイルドシートをご使用ください。
➡ チャイルドシート (P.30)

運転する前に

ミラーの調節

- ハンドル、シートを調節したあと、ミラーを調節します。確実に後方確認ができる位置に、ミラーを調節してください。
 - ➡ ドアミラー (P.105)
 - ➡ ルームミラー★ (P.104)
 - ➡ ディスプレイ付自動防眩式ルームミラー★ (P.104)

運転するときの注意事項

警告

排気ガスには十分注意する

- 排気ガスには無色無臭で有害な一酸化炭素が含まれています。一酸化炭素を吸い込むと一酸化炭素中毒になり、重大な健康障害におよぶか、死亡につながるおそれがあります。
- 次の状況では、暖機運転をしたりエンジンをかけたままにしたりしない。

排気ガスが車両周辺に滞留したり、車室内に侵入したりするおそれがあります。

- 雪が積もった場所に駐停車するとき
- 降雪時に駐停車するとき
- 車庫や屋内、壁などに囲まれた換気が悪い場所に駐停車するとき
- 仮眠や長時間の駐車をするとき
- 排気管が腐食または損傷しているおそれがあるとき

— 他車の排気口が近くにあるとき

- 走行する前に、バックドアが確実に閉まっていることを確認する。
走行中に排気ガスが侵入するおそれがあります。
- 車室内に排気ガスが侵入したと感じたときは、窓を開けて十分に換気をする。
- 排気管に穴や亀裂がある場合や排気音に異常があるときは、日産販売会社で点検を受ける。

排気ガスが車室内に侵入するおそれがあり危険です。

車室内に人やペットを残さない

- お子さま、介護を必要とされる方、ペットを車室内に残さない。

炎天下では車室内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。

診断機接続用のコネクターにはご注意ください

- 診断機接続用のコネクターには、後付け用品を取り付けないでください。バッテリーがあがったり、警告灯が点灯したりするなど、思わぬトラブルを招くおそれがあります。

燃料が入った容器やスプレー缶などを積まない

- ガソリンや可燃性ガスの入ったスプレー缶などは積まない。
引火や爆発するおそれがあり危険です。

火気には十分注意する

- 操作部が露出しているガスライターをグローブボックスなどの小物入れに入れない。また、床やシートのすき間に落としたままにしない。

荷物を押し込んだときやシートを動かしたときに、ライターの着火ボタンが押されてガスが噴出し、火災につながるおそれがあります。また、ライターを使用したあと、すぐに収納すると火災を起こすおそれがあります。

- 灰皿を使ったあとは、マッチやタバコの火が消えていることを確認し、必ずふたを閉める。

紙くすなど燃えやすいものは入れないでください。出火するおそれがあります。

故障や破損したまま走行しない

- 排気音が大きくなったときは、日産販売会社で点検を受ける。

排気管が腐食したり路面干渉などで損傷したりしているおそれがあります。また、排気管に穴が開いたまま走行を続けると、高温の排気ガスが漏れ、排気ガスが車室内に侵入し、火災につながるおそれがあります。

- 事故などでランプが破損したまま走行しない。

内部に水などが入ると、発煙し火災につながるおそれがあります。

運転する前に

⚠ 警告

空ぶかしをしたり、エンジンをかけたまま仮眠をしない

- 万一、セレクタレバーがP以外だと、急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、無意識にセレクタレバーを操作したり、アクセルペダルを踏み込んだりして思わぬ事故やエンジン過熱による火災などにつながるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

ウインドーにアクセサリを取り付けない。

- 視界の妨げになったり、吸盤がレンズの動きをしたりして火災を起こすおそれがあります。また、SRSエアバッグが作動したときアクセサリが飛んでケガをするなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

改造しない

- 市販の不適合品のマフラー取り付けや、日産純正部品以外の車両の性能や機能に適合しない部品を使用しない。
正常な性能を発揮できないだけでなく、故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 電装品などを取り付けるときは、必ず日産販売会社にご相談ください。不適切な取り付けや誤った配線は、故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ハンドルの取り外しや交換を適切に行うと、SRSエアバッグが正常に作動しなかったり、不意に作動したりして、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

🚗 アドバイス

改造しない

- バッテリーの端子に電装品やアース線などを直接つなごうとしないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- 日産自動車は国土交通省に届け出をした部品以外を装着すると、違法改造になることがあります。

無線送信機の取り付けについて

- お車に無線送信機を取り付けると、電装システムに影響をおよぼす可能性があります。悪影響を防ぐための措置や取り付け方法については、必ず日産販売会社にご相談ください。お客さまのご要望により、無線送信機の取り付けに関する詳しい情報（周波数帯域・電力レベル・アンテナ位置・取り付け条件）を日産販売会社にてご提供します。

性能を十分に引き出すため、ならし運転を行う

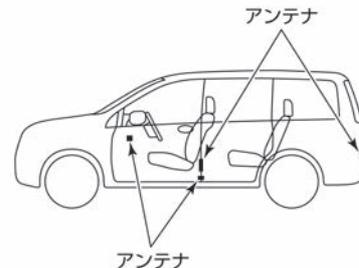
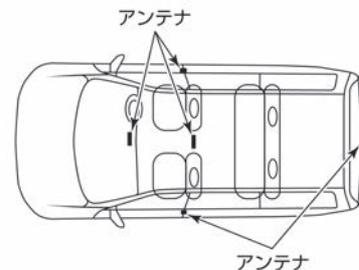
- エンジン本体、駆動系などこの車両の持っている性能を十分に引き出すためには、ならし運転が必要です。走行距離約1,600kmまでは適度な車速、エンジン回転数で運転してください。

心臓ペースメーカーなどをご使用の方の注意事項

心臓ペースメーカーなどをご使用の方は、次のことにご注意ください。

⚠ 警告

インテリジェントキーについて★



⚠ 警告

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）を使用されている方は、アンテナから約22cm以下の範囲に装着部位を近づけない。

ドアおよびバックドア開閉時、ドアにあるスイッチ操作時、エンジン始動時などに発生するキーの電波が植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）の作動に影響を与えるおそれがあります。

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）以外の医療電気機器を使用されている方は、医療電気機器製造業者などへ影響を確認してから使用する。

キーの電波が医療電気機器の動作に影響を与える場合があります。

SOSコール★について

- SOSコールは無線通信機能を利用しているため、心臓ペースメーカーやその他医療用電気機器を使用する場合は、当該の各医療用電気機器メーカー、もしくは販売業者に電波による影響について必ず確認する。

SOSコールの電波が医療用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

➡ 先進事故自動通報システム★
(P.235)

盗難防止機能

イモビライザー（盗難防止装置）について

車両の盗難に対する防衛性能を高めるために、あらかじめ登録されているキー以外での始動を禁止するシステムです。

- キーに登録された信号は、キーごとに異なります。

カーアラーム★について

- ドアが不正な方法で解錠されたり、バックドアやボンネットを開けられたりしたときに周囲に異常を知らせるシステムです。
- 車室内に人が乗っている状態や、窓ガラスが開いた状態でもシステムは作動します。システム本来の目的以外の作動はまわりの迷惑となるため作動させないでください。

■ セットのしかた

1. 全ての窓ガラスを閉めたあと、電源ポジションをOFFにし、全ドア、バックドア、ボンネットを閉めます。
 2. ドアにあるスイッチ、またはインテリジェントキーのスイッチで施錠します。（システムが準備状態になります。）
- 約30秒経過すると、自動的にセット状態になります。
 - 内蔵キー（メカニカルキー）で施錠した場合、カーアラームはセットされません。

- 準備状態またはセット状態のときに次の操作を行うと、準備状態またはセット状態を解除します。

- いずれかのドアをドアにあるスイッチまたはインテリジェントキーのスイッチで解錠する
- 電源ポジションをONにする

■ アラームの作動

- 不正な行為が行われると、約30秒間ホーンを鳴らすと共に非常点滅表示灯を点滅させ、周囲に異常を知らせます。
 - 次の不正な行為が行われると、盗難のおそれがあると判断し作動します。
 - ドアにあるスイッチまたはインテリジェントキーのスイッチ以外で解錠してドアを開けたとき
 - ボンネットを開けたとき
 - 内蔵キー（メカニカルキー）で解錠してからドアを開けると、カーアラームが作動します。
- ### ■ アラームを停止するには
- カーアラーム作動中に次の操作を行うと、作動を停止します。
 - いずれかのドアをドアにあるスイッチまたはインテリジェントキーのスイッチで解錠する
 - 電源ポジションをONにする
 - 約30秒経過し、アラーム作動が終了すると、再びセット状態になります。
 - インテリジェントキーの電池が切れている場合は、キーの裏面を<エンジンスイッチ>に接触させてから電源ポジションをONにしてください。

シートベルト

3点式シートベルト

シートベルトは、シートに身体を固定することで安全を確保するための安全装置です。走行するときは、必ずシートベルトを正しく着用してください。

⚠ 注意

- プリテンショナーシートベルトの部品や配線を修理しない。また、電気テスターを使ってプリテンショナーのシステムの回路診断をしない。
誤って作動したり、正常に作動しなくなったりするおそれがあります。

ELR (緊急固定) 付シートベルトについて (前席/後席)

- 身体の動きに合わせて伸縮し、衝突時など強い衝撃を受けると、ベルトがロックし身体を固定します。

プリテンショナーシートベルト★について

⚠ 警告

- SRSエアバッグ警告灯が点灯しているときは走行しない。
キースイッチ (電源ポジション) をONにしてから約7秒間はシステムチェックを行うため、プリテンショナーが作動しません。必ずSRSエアバッグ警告灯が消灯してから走行してください。

⚠ 注意

- 廃車にするときやプリテンショナーシートベルトを廃棄するときは、必ず日産販売会社に相談する。

🚗 アドバイス

- プリテンショナーが作動したとき作動音や白煙が出ますが、火災ではありません。
- プリテンショナーは、一度作動すると再使用できません。衝突を起こしたときは必ず日産販売会社で点検を受け、作動済みの場合は交換してください。

プリテンショナー機構



- 衝突などで車両前方、後方、側方から強い衝撃を受けたときに、装着したシートベルトを瞬時に巻き取り、乗員の拘束性能を高めます。

- 前突または側突時は、SRSエアバッグと同時に作動します。
後突時は、プリテンショナーのみ作動します。

➡ SRSエアバッグ (P.23)

- 前席にはダブルプリテンショナー機構が付いています。車両前方から強い衝撃を受けたとき、肩からシートベルトを巻き上げると同時に腰側からも巻き上げ、乗員の拘束性能を高めます。

シートベルトの着用のしかた

⚠ 警告

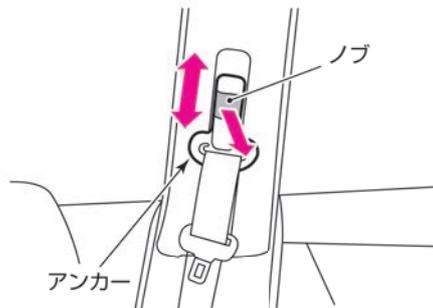
- ベルトが肩に確実にかかる位置にアンカーの高さを調節する。また、アンカーが確実に固定されていることを確認する。
万一のときに肩からベルトが外れるなど、シートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害につながるおそれがあります。

シートベルト

- 正しい姿勢でシートに座り、タングを持ってベルトをゆっくり引き出します。
ベルトを腰骨のできるだけ低い位置に掛け、たるみがないように密着させます。



- ベルトがねじれないようにして、タングをバックルに“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。



- 肩ベルトのアンカー位置の高さを調節します。(前席シートのみ)
ノブを引ながらアンカー部を上下させ、ベルトが肩に確実に掛かる位置に調節し手を離します。手を離れたあと、“カチッ”と音がするまで動かし固定させます。
 - 外すときは、バックルのボタンを押し、タングを持ってゆっくり戻します。
- ベルトがロックして引き出せないときは、一度ベルトを強く引いてからゆるめ、再度ゆっくり引き出してください。

シートベルトの注意事項

⚠ 警告

- 走行する前に全員がシートベルトを着用する。

着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、生命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。

- シートベルトを着用するときは、次のことを必ず守る。

シートベルトを正しく着用しないと、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。

- 運転者は正しい運転姿勢で、同乗者は正しい着座姿勢で着用してください。
- 2人以上で1本のベルトを使用しないでください。
- ベルトはねじれた状態で着用しないでください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、万一のとき衝撃力が分散できず、局部的に強い力を受けることがあります。
- 腰部ベルトは腰骨のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。ベルトが腰骨からずれていると、腰部に強い圧迫を受けることがあります。
- 肩ベルトは脇の下を通さず、確実に肩に掛けてください。肩に十分に掛かっていないと、上半身が拘束できないことがあります。
- クリップなどで故意にベルトにたるみをつけ、身体から浮いた状態に調節しないでください。ベルトにたるみがあると、十分な効果が発揮できないことがあります。

- シートの背もたれを倒したまま走行しない。

シートベルト

⚠ 警告

シートベルトが効果を十分発揮せず、衝突時などに身体がシートベルトの下に入り込み、ベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。

- **バックルや巻き取り装置の中に異物を入れない。**

シートベルトが正常に機能を発揮せず、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。

- **妊娠中や疾患のある方も、万一のときのためにシートベルトを着用する。**

ただし、局部的に強い圧迫を受けるおそれがあるため医師に相談し、注意事項を確認してください。妊娠中の方は、腰ベルトを腹部から避け腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩ベルトは確実に肩を通し、腹部を避けて胸部に掛かるように着用してください。

- **お子さまにも必ずシートベルトを着用させる。**

お子さまをひざの上に抱いていると、衝突時などにお子さまを支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

- **シートベルトが首や顔に当たるなど、適正な着用ができない小さなお子さまには、チャイルドシートを使用する。**

👉 **チャイルドシート (P.30)**

- **事故などで衝撃を受けたり傷がついたりしたシートベルトは、日産販売会社に点検を依頼する。**

一度強い衝撃を受けたシートベルトやベルト部分に傷がついたり破れたりしているシートベルトは、機能を十分に発揮しないことがあります。

⚠ 注意

- **シートベルトの清掃にベンジンやガソリンなどの有機溶剤は絶対に使用しない。**

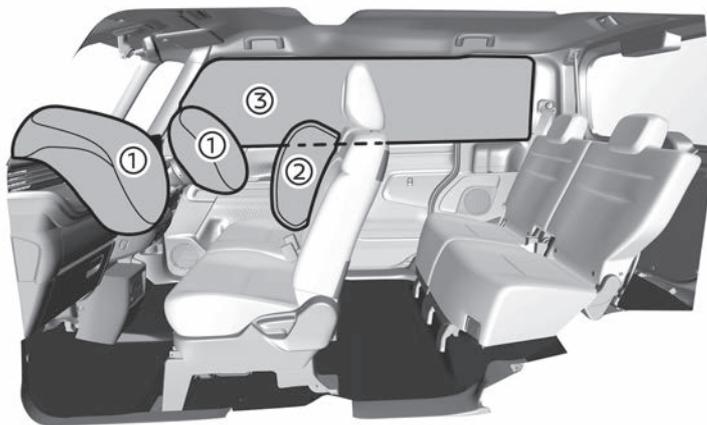
ベルトの性能が落ち、シートベルトが機能を十分に発揮できないことがあります。シートベルトの清掃は中性洗剤かぬるま湯で行い、乾かしてからお使いください。

SRSエアバッグ

SRSエアバッグは乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときにふくらみ、乗員への衝撃を緩和します。シートベルトと併用することで安全性を高めるため、シートベルトは必ず着用してください。

SRSエアバッグの種類

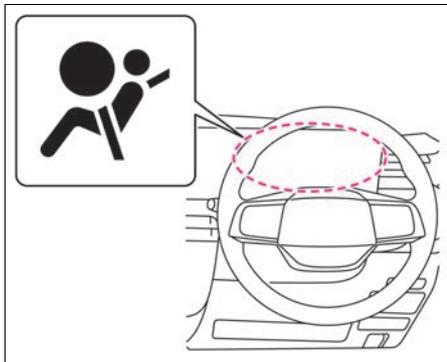
- ① SRSエアバッグ (前席)
- ② SRSサイドエアバッグ (前席)
- ③ SRSカーテンエアバッグ



🚗 アドバイス

- 廃車にするときやSRSエアバッグを廃棄するときは必ず日産販売会社にご相談ください。
- SRSエアバッグは、一度ふくらむと再使用できません。日産販売会社で交換してください。
- SRSエアバッグは高温のガスにより高速でふくらむため、事故の状態によっては、擦過傷、打撲、やけどなどを負うことがあります。
- SRSエアバッグがふくらむとき、作動音や白煙が出ますが火災ではありません。また、発生するガスによりむせることがあります。ただし毒性はありません。
- SRSとは、「Supplemental Restraint System」の略でシートベルトの補助拘束装置の意味です。

SRSエアバッグの作動



SRSエアバッグは、キースイッチ（電源ポジション）がONのときに作動可能です。

キースイッチ（電源ポジション）をONにしたあと、約7秒間はSRSエアバッグ警告灯が点灯します。このとき、システムチェックを行うため、SRSエアバッグは作動しません。警告灯が消灯してから走行してください。

SRSエアバッグは、正面衝突や側面衝突で衝撃を受けたときに作動します。ただし、衝撃が車体で吸収または分散され、車両の損傷は大きくても乗員への衝撃が強くないときは、作動しないことがあります。SRSエアバッグが作動するような衝撃を感知すると、非常点滅表示灯が自動的に点滅します。＜非常点滅表示灯スイッチ＞を押すと消灯しますが、二次災害を防ぐため、安全が確保できるまでは消灯しないことをおすすめします。また、衝撃の大きさによっては、点滅しないことがあります。

- 助手席SRSエアバッグ、助手席側のSRSサイドエアバッグおよびSRSカーテンエアバッグは、乗員がいなくても作動します。

SRSエアバッグの注意事項



⚠ 警告

- **SRSエアバッグ警告灯が次の状態のときは走行しない。**

- キースイッチ（電源ポジション）をONにした直後、SRSエアバッグ警告灯が約7秒間点灯しないとき（消灯したままのとき）
- SRSエアバッグ警告灯が点灯し続けるとき

SRSエアバッグが正常に作動せず、重大な事故につながるおそれがあります。日産販売会社にご相談ください。

- **正しい姿勢でシートベルトを正しく着用する。**

SRSエアバッグはシートベルトを補助する装置です。SRSエアバッグだけでは、身体の飛び出しなどを防止することはできません。また、SRSエアバッグの効果が発揮されないおそれがあります。

- **助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けない。**

SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。

➡ [チャイルドシート \(P.30\)](#)

- **必ず次のことを守る。**

SRSエアバッグが誤って作動したり正常に作動しなくなったりし、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 警告

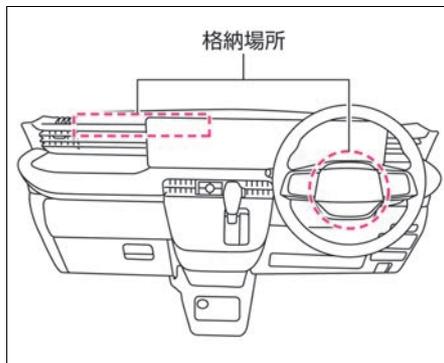
- SRSエアバッグ格納部を修理するときは、日産販売会社にご相談ください。また、SRSエアバッグ格納部に傷がついているとき、およびひび割れがあるときは、そのまま使用せず日産販売会社で交換してください。
- SRSエアバッグ（前席）の格納場所は（➡P.25）をお読みください。
- SRSサイドエアバッグ（前席）の格納場所は（➡P.27）をお読みください。
- SRSカーテンエアバッグの格納場所は（➡P.28）をお読みください。
- SRSエアバッグ格納部に過度の衝撃を与えないでください。
- 電気テスターを使用したSRSエアバッグの回路診断、または、回路を変更しないでください。
- エアロパーツなどの取り付けや、サスペンションを改造するときは、日産販売会社にご相談ください。不適正な改造をすると衝撃を正しく検知できません。
- **SRSエアバッグが作動したときは、30分経過するまでエアバッグに触らない。**
高温になるため、やけどをするおそれがあります。

- **SRSエアバッグ作動時の残留物（カス）などが目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く水で洗い流す。**
皮膚の弱い方などは、まれに皮膚に刺激を感じることがあります。

SRSエアバッグ（前席）

車両前方から強い衝撃を受けたときSRSエアバッグが瞬時にふくらみ、乗員の頭部にかかる衝撃を緩和します。

格納場所



運転席SRSエアバッグは、ハンドル部に格納されています。
助手席SRSエアバッグは、助手席側インストルメントパネル部に格納されています。

SRSエアバッグが作動するとき

- 次のような衝撃が強いときに作動します。

- 25km/h以上の速度で厚いコンクリートのような壁に正面衝突したとき
- 車両前方左右、約30°以内の方向から強い衝撃（上記と同等）を受けたとき

- 次のような車両下部に強い衝撃を受けたときも作動することがあります。（車両の損傷は少なくとも乗員への衝撃は強いとき）
 - 高速で縁石などに衝突したとき
 - 深い穴や溝に落ち込んだとき
 - ジャンプして地面にぶつかったとき
- 助手席SRSエアバッグが作動した衝撃でフロントガラスが割れることがあります。
- 運転席、助手席SRSエアバッグはふくらんだあとすぐにしぼむので、視界の妨げになることはありません。

📖 知識

- エアバッグが作動したときは、自動で先進事故自動通報システム★（➡P.235）が作動します。

SRSエアバッグが作動しにくいとき

次のような衝撃が弱いときは作動しないことがあります。

- 停車している同クラスの車に約50km/h以下の速度で衝突したとき
- 衝突時に折れない電柱などに約30km/h以下の速度で正面衝突したとき
- トラックなどの荷台の下にもぐり込んだようなとき

エアバッグ

- 斜め前方からガードレールなどに衝突したとき

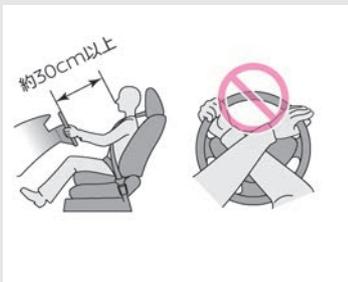
SRSエアバッグが作動しないとき

一度、SRSエアバッグが作動したあとに衝突しても作動しません。また、次のようなときは作動しません。

- 横方向や後ろから衝突されたとき
- 横転、転覆したとき

SRSエアバッグ（前席）の注意事項

警告



- **SRSエアバッグ格納部に身体を近づけない。また、内がけでのハンドル操作はしない。**

ハンドルから顔をできるだけ（約30cm以上）離し、ハンドルにもたれかかるなど、手や顔、胸などを不必要に近づけないでください。SRSエアバッグ作動時に強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。



- **不適正なハンドルに交換したり、SRSエアバッグ格納部にステッカーなどを貼ったりしない。**

SRSエアバッグ作動時に正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

- **フロントガラスにアクセサリなどを付けない。**

SRSエアバッグ作動時に重大な傷害につながるおそれがあります。

- **SRSエアバッグ格納部に身体を近づけない。また、お子さまを近づかせない。**

SRSエアバッグ作動時に強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

SRSエアバッグ格納部に手や足を置いたり、顔や胸などを不必要に近づけたりしないでください。また、お子さまをSRSエアバッグ格納部の前に立たせたり、ひざの上に抱いたりせず、後席シートに乗せてください。

- **チャイルドシートは後席シートに取り付ける。**

SRSエアバッグ作動時に重大な傷害につながるおそれがあります。

やむをえず助手席シートに取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。乳児用チャイルドシートなど後ろ向きにしか使用できないシートは必ず後席シートに取り付けてください。

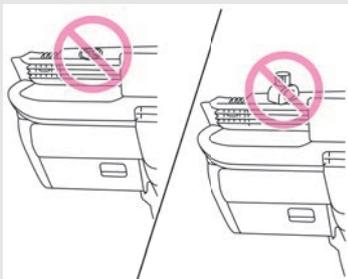


- **チャイルドシートは走行する前に確実に固定されていることを確認する。**

固定方法および取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。

エアバッグ

⚠ 警告



- SRSエアバッグ格納部およびその周辺にステッカーなどを貼ったり、アクセサリーや芳香剤などを置いたりしない。

SRSエアバッグ作動時に重大な傷害につながるおそれがあります。

SRSサイドエアバッグ（前席）

車両側面から強い衝撃を受けたとき、衝撃を受けた側のSRSサイドエアバッグが瞬時にふくらみ、乗員の主に胸部にかかる衝撃を緩和します。

格納場所



SRSサイドエアバッグは、運転席、助手席ともにシート背もたれ側面（外側）に格納されています。

SRSサイドエアバッグが作動するとき

次のような衝撃が強いときに作動します。

- 一般的な乗用車に25km/h以上の速度で側面に真横から衝突されたとき

📖 知識

- エアバッグが作動したときは、自動で先進事故自動通報システム（📍P.235）が作動します。

SRSサイドエアバッグが作動しにくいとき

次のような衝撃が弱いときは作動しないことがあります。

- 側面に斜め方向から衝突されたとき
- 側面にバイクが真横から衝突したとき
- エンジンルームまたはラゲッジルームに衝突されたとき
- 横転、転覆したとき
- 斜め前方から衝突したとき
- 電柱などに衝突したとき

SRSサイドエアバッグが作動しないとき

一度、SRSエアバッグが作動したあとに衝突しても作動しません。また、次のようなときは作動しません。

- 停車中や走行中の車に正面衝突したとき
- 後ろから衝突されたとき

SRSサイドエアバッグの注意事項

⚠ 警告

- SRSサイドエアバッグの格納部に近づかない。
ドアにもたれるなど、前席シートの背もたれ側面（外側）に近づかないでください。特にお子さまが窓から腕を出したり、前席シートの背もたれを抱えたりしないように注意してください。万一のとき重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 前席シートのSRSサイドエアバッグ格納部付近に傘やカバンなどを置かない。
- シートカバーは、前席シート背もたれ側面を覆わないものを使用する。

エアバッグ

⚠ 警告

SRSサイドエアバッグが正しく作動しないおそれがあります。

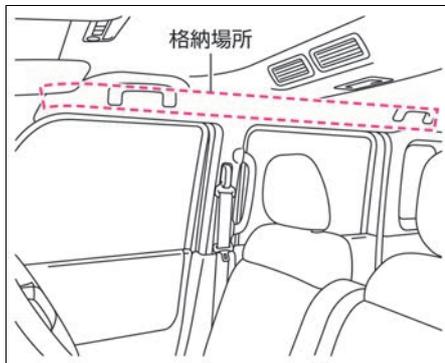
⚠ 注意

- ドアをガラスが割れるほど強く閉めない。
SRSサイドエアバッグが誤作動するおそれがあります。

SRSカーテンエアバッグ

車両側面から強い衝撃を受けたとき、衝撃を受けた側のSRSカーテンエアバッグが瞬時にふくらみ、乗員の主に頭部にかかる衝撃を緩和します。

格納場所



SRSカーテンエアバッグは、運転席側、助手席側ともに窓側の天井部に格納されています。

SRSカーテンエアバッグが作動するとき

次のような衝撃が強いときに作動します。

- 一般的な乗用車に25km/h以上の速度で側面に真横から衝突されたとき

📖 知識

- エアバッグが作動したときは、自動で先進事故自動通報システム (P.235) が作動します。

SRSカーテンエアバッグが作動しにくいとき

次のような衝撃が弱いときは作動しないことがあります。

- 側面に斜め方向から衝突されたとき
- 側面にバイクが真横から衝突したとき
- エンジンルームまたはラゲッジルームに衝突されたとき
- 横転、転覆したとき
- 斜め前方から衝突したとき
- 電柱などに衝突したとき

SRSカーテンエアバッグが作動しないとき

一度、SRSエアバッグが作動したあとに衝突しても作動しません。また、次のようなときは作動しません。

- 停車中や走行中の車に正面衝突したとき
- 後ろから衝突されたとき

SRSカーテンエアバッグの注意事項

⚠ 警告

- SRSカーテンエアバッグの格納部に近づかない。
万一のとき重大な傷害を受けるおそれがあります。
- センターピラー（ロックピラー）まわり、ルーフサイド部などのSRSカーテンエアバッグ格納部付近に、アクセサリやハンガーなどを取り付けない。

SRSカーテンエアバッグが作動したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 注意

- ドアをガラスが割れるほど強く閉めない。
SRSカーテンエアバッグが誤作動するおそれがあります。

お子さまの安全のために

お子さまを乗せるときに注意すること

お子さまを乗せるときは、次のことに注意してください。

警告

お子さまにもシートベルトを着用する

- お子さまにも必ずシートベルトを着用させる。

お子さまをひざの上に抱いていると、衝突時などにお子さまを支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

➡ 3点式シートベルト (P.20)

小さなお子さまにはチャイルドシートを使用する

- シートベルトが首や顔に当たるなど、適正な着用ができない小さなお子さまには、チャイルドシートを使用する。

➡ チャイルドシート (P.30)

チャイルドシートは後席シートに取り付ける

- チャイルドシートは後席シートに取り付け、走行する前に確実に固定されていることを確認する。

固定方法および取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。



- 助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けない。

SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。

- チャイルドシートは使用していないときでもシートにしっかりと固定するか、ラゲッジルーム（荷室）などに収納する。

車室内に放置したままにすると、急ブレーキ時などに思わぬ事故につながるおそれがあります。

お子さまは後席シートに乗せる

- お子さまを助手席に乗せるのは避ける。

お子さまの動作が気になったり、スイッチ、レバー類のいたずらなど安全運転の妨げになったりするおそれがあります。

また、助手席SRSエアバッグの格納部に近づいていると、万一の事故などでSRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

ドア、ウインドーなどは大人が操作する

- ドアやウインドーなどの開閉は、お子さまには操作させない。

開閉時に手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。

- チャイルドセーフティドアロック (➡ P.87) や<パワーウインドーロックスイッチ> (➡ P.107) を使用し、お子さまが操作できないようにしてください。

窓から手や顔を出さない

- お子さまが腕や顔を出さないように注意する。

急ブレーキ時に窓枠などにぶつかったり、車外の障害物に当たったりして、重大な傷害につながるおそれがあります。

車室内にお子さまだけを残さない

- 車から離れるときは、必ずお子さまと一緒に降ろす。

炎天下では車室内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。

- お子さまのいたずらで車の発進、火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。

お子さまの安全のために

チャイルドシート

お子さまの年齢や体格にあわせたチャイルドシートを選択し、車両に適切に取り付けてください。

警告

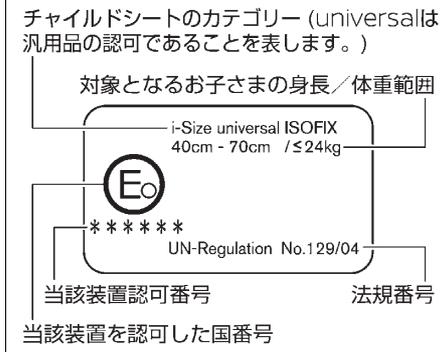
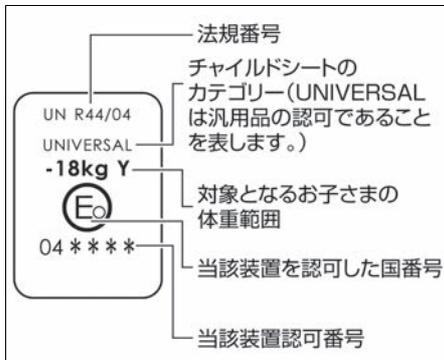


① エアバッグ警告ラベル

- 助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けない。
SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。

安全なドライブのために

チャイルドシートについて



- 乳児用チャイルドシート、チャイルドシート、ジュニアチャイルドシートを総称してチャイルドシートと呼んでいます。
- UN R44またはR129はチャイルドシートに関する国際法です。UN R44またはR129の基準に適合した汎用 (ユニバー

サル) チャイルドシートには、認可マークが貼られています。

- チャイルドシートには、乳児用チャイルドシート、チャイルドシート、ジュニアチャイルドシートの3種類があります。お子さまの年齢や体格に合わせて、適切なチャイルドシートをお選びください。
- チャイルドシートの固定方法および取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。
- この車はUN R44またはR129の基準に適合したi-Sizeチャイルドシート対応ISO FIXアンカーを標準装備しています。

チャイルドシートの選びかた

この車両には、シートベルトで取り付けるチャイルドシートと、i-SizeおよびISO FIX対応チャイルドシートを取り付けることができます。i-SizeおよびISO FIX対応チャイルドシートは、シートベルトを使わずに固定するため、簡単に取り付けることができます。

■ シートベルト固定タイプのチャイルドシート

シートベルトを使ってチャイルドシートを固定します。

👉 シートベルト固定タイプのチャイルドシートの取り付けかた (P.35)

お子さまの安全のために

■ i-SizeおよびISO FIX対応チャイルドシート

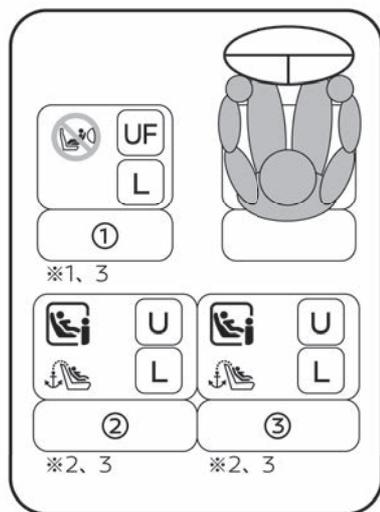
後席シートに付属しているi-Sizeチャイルドシート対応ISO FIX用アンカー（固定装置）で固定します。

🔄 i-SizeおよびISO FIX対応チャイルドシートの取り付けかた (P.35)

使用できるチャイルドシートについて

チャイルドシートの取り付け位置により、使用できるチャイルドシートが異なります。

選択の目安



凡例

マーク	説明
U	車両シートベルト固定式汎用型チャイルドシートに適している
UF	車両シートベルト固定式の前向きに取り付ける汎用型チャイルドシートに適している
	i-Size及びISOFIXチャイルドシートに適している
	後ろ向きチャイルドシート取り付け禁止
	ISOFIXチャイルドシート上部取付金具(テザーアンカレッジ)を装備している座席
L	添付リストに記載されたチャイルドシートに適している

※1：チャイルドシートを装着する際は、背もたれを前に倒し、元に戻すときに一番最初にロックする位置に調節してください。

※2：ベルト固縛のチャイルドシートを装着する際は、背もたれを前に倒し、元に戻すときに一番最初にロックする位置に調節してください。

※3：チャイルドシートを装着する際は、シートの前後調節（スライド）を最後端位置に調節してください。

●チャイルドシートがヘッドレストに干渉し安定して取り付けられない場合は一番上に調節してください。上げても安定しない場合には取り外してください。

幼児拘束装置メーカーに関する詳細情報

知識

- ISO FIX対応のチャイルドシートをすでにお持ちの場合、ご使用前にUN R44またはR129の基準に適合していることを確認してください。詳しくは、チャイルドシートに付属の取扱説明書を参照してください。

シート位置番号	助手席	後席	
	①	②	③
汎用ベルト式に適する着席位置 (○/×)	○ (前向きのみ)	○	○
i-Size着席位置 (○/×)	×	○	○
横向き固定具に適する着席位置 (L1/L2)	-	-	-
適する最大の後ろ向き固定具 (R1/R2X/R2/R3)	-	R3	R3
適する最大の前向き固定具 (F2X/F2/F3)	-	F3	F3
適する最大のブースター固定具 (B2/B3)	B3	B3	B3

お子さまの安全のために

■ 推奨チャイルドシート

日産自動車推奨するチャイルドシートです。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

年齢 (目安)	体重 (目安)	身長 (目安)	推奨チャイルドシート	座席位置		
				①	②	③
0-18か月	<13kg	<100cm	日産i-Sizeチャイルドシート (後向き)	X	○	○
9か月-4歳	9-18kg	76-100cm	日産i-Sizeチャイルドシート (前向き、後向き)	X	○	○
4-6歳	15-25kg	100-125cm	日産ジュニアシートevo (前向き)	○ (ベルト取付のみ)	○	○
6-12歳	22-36kg	125-150cm	日産ジュニアシートevo (前向き)	○ (ベルト取付のみ)	○	○

- チャイルドシートがヘッドレストに干渉し安定して取り付けられない場合は一番上に調整してください。上げても安定しない場合には取り外してください。

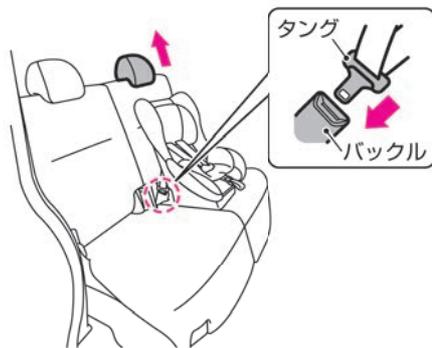
お子さまの安全のために

シートベルト固定タイプのチャイルドシートの取り付けかた

⚠ 警告

- チャイルドシートが確実に固定されていることを確認する。

確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突などでチャイルドシートが飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。必ずチャイルドシートに付属の取扱説明書に従って取り付けてください。



1. ヘッドレストを外し（ヘッドレストとチャイルドシートが干渉してチャイルドシートを正しく取り付けられない場合）、チャイルドシートを座席に置きます。
シートベルトをチャイルドシートに通し、タングをバックルに「カチッ」と音がするまで確実に差し込みます。

☆/★：車両型式、オプションなどで異なる装備

② ヘッドレストの調節のしかた (P.100)



2. チャイルドシートに付属の取扱説明書に従って固定します。
チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認します。

i-SizeおよびISO FIX対応チャイルドシートの取り付けかた

⚠ 警告

- i-SizeおよびISO FIX対応チャイルドシートを取り付けるときは、後席シートのヘッドレストを取り外す。
（ヘッドレストとチャイルドシートが干渉してチャイルドシートを正しく取り付けられない場合）
- チャイルドシートが確実に固定されていることを確認する。

確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突などでチャイルドシートが飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。必ずチャイルドシートに付属の取扱説明書に従って取り付けてください。

- チャイルドシートを取り付けるときは、アンカー部周辺に異物がないことやシートベルトなどがかみ込んでいないことを確認する。

チャイルドシートが確実に固定されず、急ブレーキや衝突などでチャイルドシートが飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。



□アンカレッジ / マーク



1. i-Sizeチャイルドシート対応ISO FIX □アンカレッジは、後席シート左右背もたれのマーク下側にあります。ヘッドレストを外して（ヘッドレストとチャイルドシートが干渉してチャイルドシートを正しく取り付けられない場合）、チャイルドシートを座席に置き、チャイルドシートに付

お子さまの安全のために

属の取扱説明書に従ってロアアンカレッジに固定します。

➡ ヘッドレストの調節のしかた

(P.100)



2. テザーアンカレッジは、後席シート左右背もたれ裏側にあります。フロアカバーを開きながら、テザーアンカレッジにフックを固定し、テザーベルトを締めます。チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認します。
- シートカバーを装着するときは、スリットがあるものを使用してください。

計器類

各部名称	P.38
メーター	P.39

警告灯・表示灯

警告灯の表示位置	P.41
表示灯の表示位置	P.42
表示灯がついたときは	P.43

アドバンスドドライブアシストディスプレイ

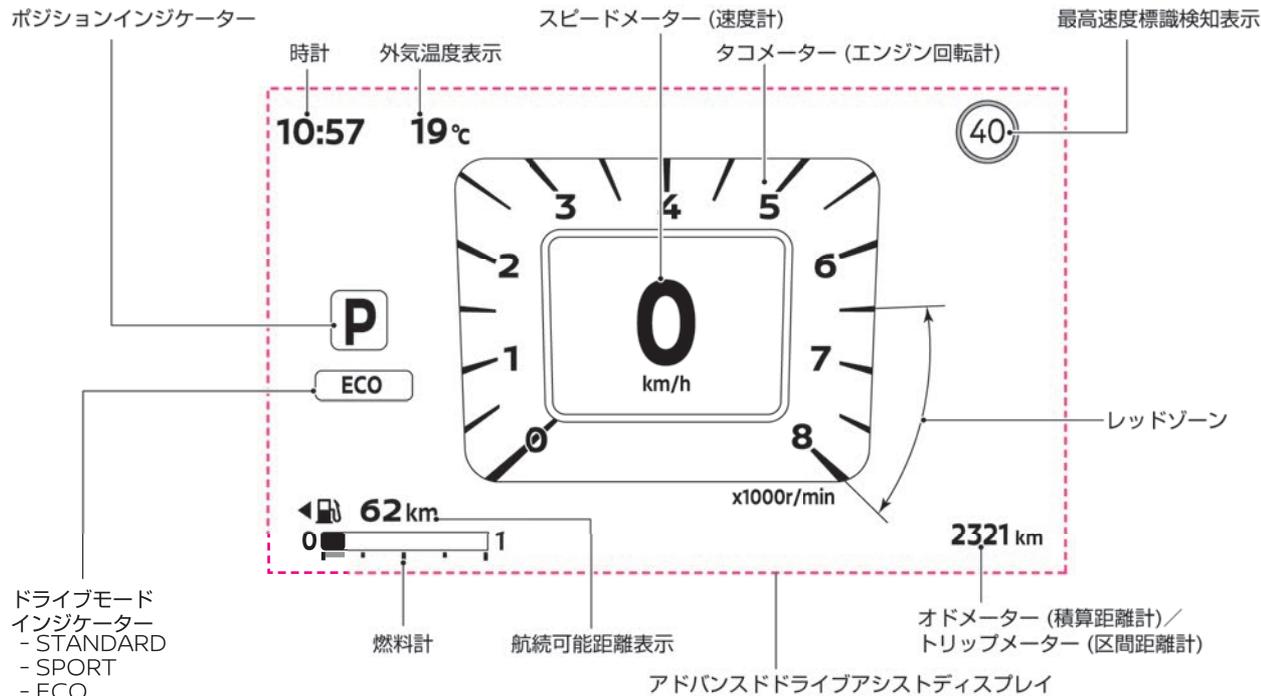
アドバンスドドライブアシストディスプレイとは (メインメニュー)	P.46
車両情報画面	P.48
アドバンスドドライブアシストディスプレイとは (ショートカットメニュー)	P.56
各種設定画面	P.58
タイヤアングルガイド	P.70
その他の表示機能	P.70

メーターの明るさの調節

イルミネーションコントロール	P.73
----------------	------

各部名称

キースイッチ（電源ポジション）をONにすると、計器類が表示されます。



メーター

メーターには、スピードメーター（速度計）、燃料計、ポジションインジケーターなどがあります。キースイッチ（電源ポジション）をONにすると表示します。

スピードメーター（速度計）

- 走行速度を表示します。

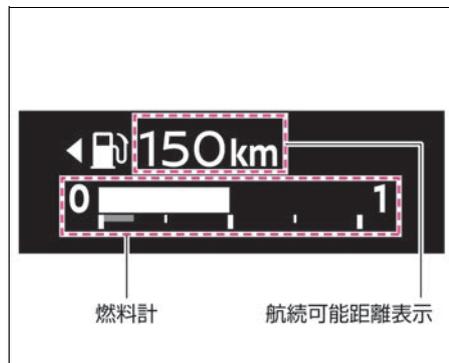
タコメーター（エンジン回転計）

1分間あたりのエンジン回転数を表示します。

🚗 アドバイス

- レッドゾーン（赤色表示部）ではエンジンが過回転となり故障の原因になります。レッドゾーンに入らないように運転してください。

燃料計／航続可能距離表示



☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

燃料計

- 燃料の残量を表示します。
- 燃料タンクの容量は約27ℓです。

航続可能距離表示

- 現在の燃料残量と平均燃費から、走行可能な距離を表示します。
- 燃料残量警告灯（🔴 P.274）が点灯したあと燃料を補給しないと [---] と表示します。

📖 知識

- 📍の矢印は燃料補給口が車両左側にあることを示しています。
- 坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、正しく表示されない場合があります。燃料が少なくなってきたら、早めの給油を心がけてください。

時計

- 時刻を表示します。
- NissanConnectインフォテインメントシステム装着車は、インフォテインメントシステムの時計と連動しており、時刻は自動的に調整されます。
- NissanConnectインフォテインメントシステム非装着車は、アドバンスドドライブアシストディスプレイで [設定] ⇒ [時計] ⇒ [時計設定] を選択すると、時刻の設定をすることができます。設定の詳細については時計をお読みください。

👉 アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（メインメニュー）（P.46）

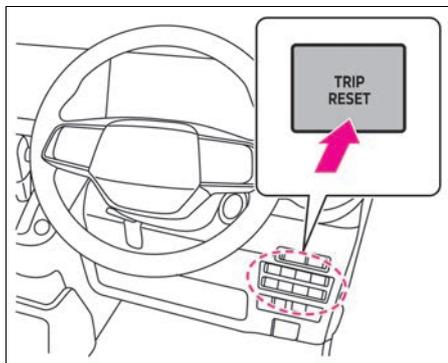
👉 時計（P.61）

- NissanConnectインフォテインメントシステム装着車の時計は、バッテリーを接続後しばらく走行すると、自動的に調整されます。
- 時刻の表示は、12時間表示または24時間表示を選択できます。

外気温度表示

- 外気温を表示します。
- 外気温センサー取付部の温度を表示するため、実際の外気温とは異なることがあります。
- 外気温度表示が3℃以下になると、温度の周辺に凍結注意表示 [❄️] が点灯または点滅します。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで [設定] ⇒ [運転支援] ⇒ [凍結注意] を選択すると、機能のON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（👉 P.46）、運転支援（👉 P.58）をお読みください。

オドメーター（積算距離計）／トリップメーター（区間距離計）



- <TRIP RESET>スイッチを押すごとに、オドメーター⇒トリップメーター [A] ⇒トリップメーター [B] ⇒オドメーターの順に切り替わります。

オドメーター（積算距離計）

- 総走行距離をkmで表示します。

トリップメーター（区間距離計）

- リセットしてからの走行距離をkmで表示します。[A] と [B] でそれぞれ使い分けることができます。
- リセットするときは0にしたいほうを表示させ、<TRIP RESET>スイッチを1秒以上押します。
- トリップメーター [A]、[B] ともに9999.9kmまで計測することができます。9999.9kmを超えると0.0kmにに戻ります。

- バッテリーを外したときは、トリップメーターの [A] と [B] の記憶が消去され0に戻ります。

ポジションインジケーター

- セレクトレバーの位置を表示します。
 ② セレクトレバーの操作 (P.128)

ドライブモードインジケーター

- 現在選択されているドライブモードが表示されます。ドライブモードは次のモードがあります。
 - SPORT
 - STANDARD
 - ECO
- ② ドライブモードセクター (P.148)

最高速度標識検知表示

- フロントガラス上部にあるマルチセンシングフロントカメラにより最高速度標識を検知し、アドバンスドドライブアシストディスプレイに表示します。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで [設定] ⇒ [運転支援] ⇒ [速度標識表示] を選択すると、機能のON・OFFを切り替えることができます。

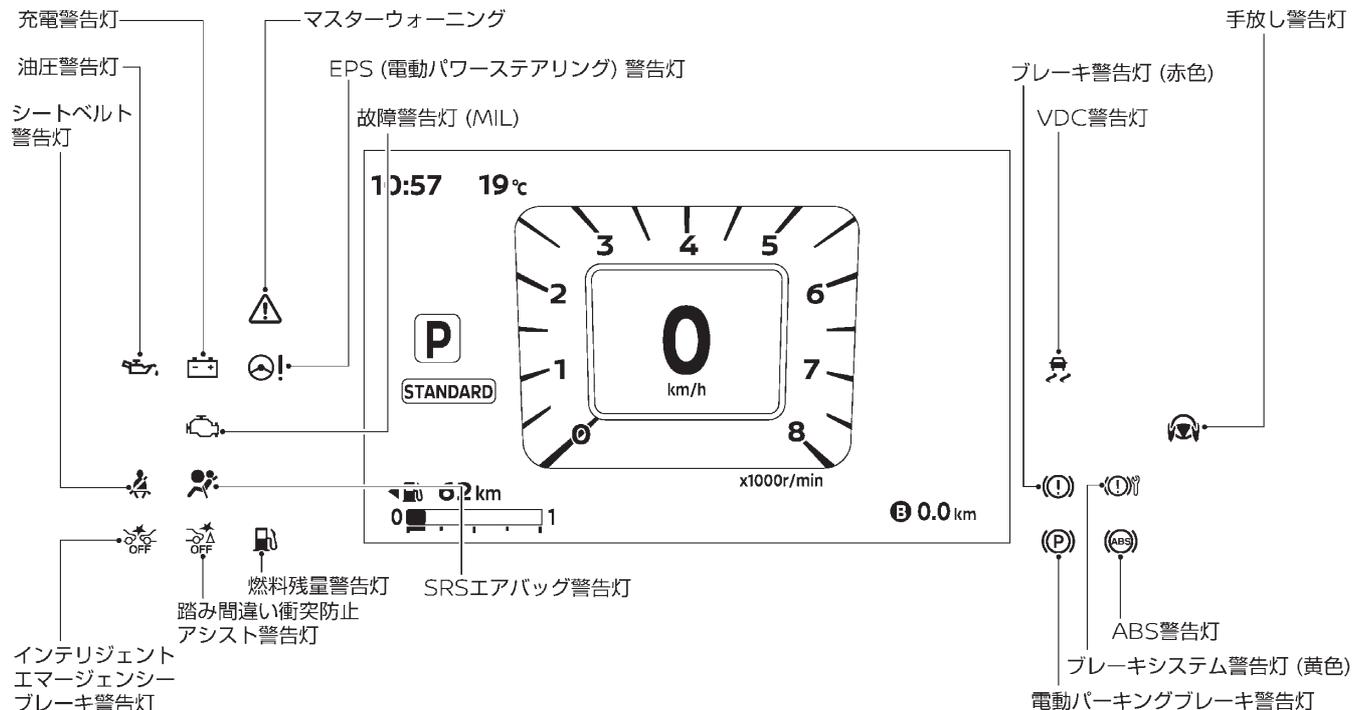
設定の詳細については、アドバンスドドライブアシストディスプレイとは (② P.46)、運転支援 (② P.58) をお読みください。

アドバンスドドライブアシストディスプレイ

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで、様々な機能の作動状態を表示したり、設定したりすることができます。アドバンスドドライブアシストディスプレイについては、(② P.46) をお読みください。

警告灯の表示位置

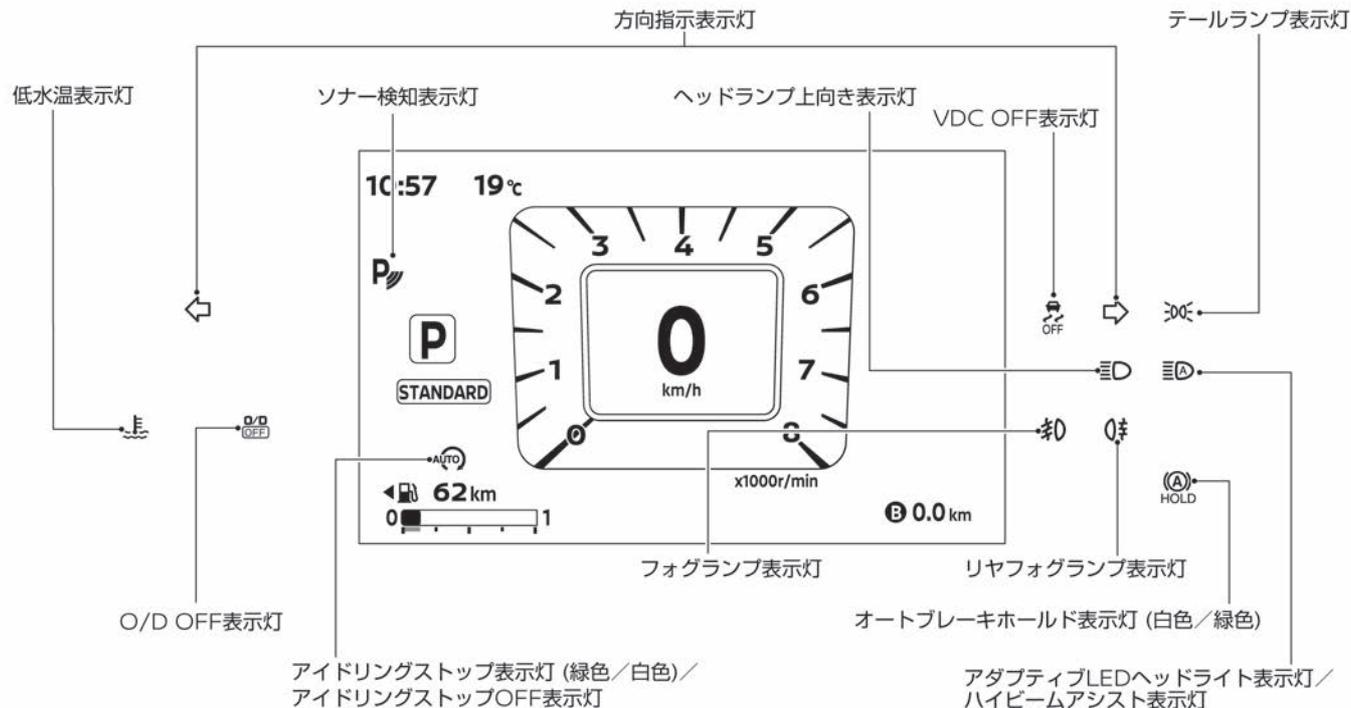
次のイラストは、説明のためすべての警告灯を表示しています。通常は警告すべき事象がおこったときに該当の警告灯のみ点灯または点滅します。



各警告灯については、(P.268)をお読みください。

表示灯の表示位置

次のイラストは、説明のためすべての表示灯を表示しています。通常は事象がおこったときに該当の表示灯のみ点灯します。



メーターの見た

表示灯がついたときは

表示灯は、何らかのシステムが作動していることなどをお知らせするものです。

点灯している理由は、次の説明をお読みください。

メーター内の警告や表示は、グレード、オプションなどにより異なります。

表示灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	方向指示表示灯	<ul style="list-style-type: none"> ● <非常点滅表示灯スイッチ>を押すと左右同時に点滅します。 ● キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、方向指示器を作動させると、作動させた側のみ点滅します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 点滅が速くなった場合は、日産販売会社で点検を受けてください。 ➡ <u>方向指示器の使いかた (P.143)</u>
	ヘッドランプ上向き表示灯	<ul style="list-style-type: none"> ● ヘッドランプのハイビーム（上向き）を点灯させると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> ➡ <u>ハイビーム（上向き）への切り替えかた (P.142)</u>
	テールランプ表示灯	<ul style="list-style-type: none"> ● 車幅灯、尾灯、番号灯を点灯させると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> ➡ <u>ライトスイッチの使いかた (P.137)</u>
	フォグランプ表示灯★	<ul style="list-style-type: none"> ● フォグランプを点灯させると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> ➡ <u>フォグランプの使いかた (P.144)</u>
	リヤフォグランプ表示灯★	<ul style="list-style-type: none"> ● リヤフォグランプを点灯させると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> ➡ <u>リヤフォグランプ★の使いかた (P.144)</u>
	O/D OFF表示灯	<ul style="list-style-type: none"> ● キースイッチ（電源ポジション）がONでセレクトレバーがDのとき、オーバードライブをOFFにすると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> ➡ <u>オーバードライブスイッチの使いかた (P.129)</u>

警告灯・表示灯

表示灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	VDC OFF表示灯	<ul style="list-style-type: none"> ● キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、VDCをOFFにしていると点灯します。 	➡ <u>VDC（ビークルダイナミクスコントロール）</u> (P.154)
	アダプティブLEDヘッドライト表示灯★	<ul style="list-style-type: none"> ● アダプティブLEDヘッドライトシステムをONにすると点灯します。 	➡ <u>アダプティブLEDヘッドライトシステム</u> ★ (P.141)
	ハイビームアシスト表示灯★	<ul style="list-style-type: none"> ● ハイビームアシストシステムをONにすると点灯します。 	➡ <u>ハイビームアシスト</u> ★ (P.139)
	オートブレーキホールド表示灯（白色）★	<ul style="list-style-type: none"> ● オートブレーキホールドが待機状態のとき白色に点灯します。 	➡ <u>オートブレーキホールド</u> ★ (P.132)
	オートブレーキホールド表示灯（緑色）★	<ul style="list-style-type: none"> ● オートブレーキホールドが作動しているとき緑色に点灯します。 	➡ <u>オートブレーキホールド</u> ★ (P.132)
	低水温表示灯	<ul style="list-style-type: none"> ● エンジン冷却水温が低いと点灯します。 ● キースイッチ（電源ポジション）をONにすると、数秒間点灯して消灯します。エンジン冷却水温が低いときは、低水温表示灯（緑色表示）が消灯せずに点灯し続けますが、エンジンの暖機により、しばらくすると既定の水温以上に達して、消灯します。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">  アドバイス </div> <ul style="list-style-type: none"> ● しばらく走行したあとも点灯し続けるときは、水温センサーの異常が考えられます。すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
	アイドリングストップ表示灯（緑色）	<ul style="list-style-type: none"> ● アイドリングストップ中に点灯します。 ● アイドリングストップシステムに異常があると点滅します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 点滅したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 ➡ <u>アイドリングストップ</u> (P.149)

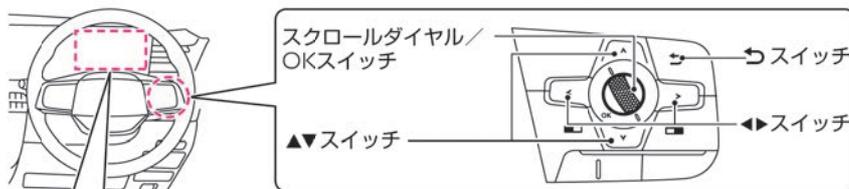
警告灯・表示灯

表示灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	アイドリングストップ表示灯（白色）	<ul style="list-style-type: none"> ● アイドリングストップ中にボンネットが開いたときに点灯します。 ● 車両停止時にアイドリングストップが作動しない場合に点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ボンネットが開いていないか確認してください。ボンネットが開いていると、通常のエンジン停止状態となります。その場合は、ボンネットを閉めてエンジンをかけ直してください。 ➡ <u>アイドリングストップ (P149)</u>
	アイドリングストップOFF表示灯	<ul style="list-style-type: none"> ● アイドリングストップ作動停止中に点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> ➡ <u>アイドリングストップ (P149)</u>
	ソナー検知表示灯	<ul style="list-style-type: none"> ● ソナーにより障害物を検知したときに点滅します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 車両が障害物に近づくと、ソナー検知表示灯の色が緑→黄→赤の順に切り替わります。 ● 障害物をよけてください。

アドバンスドライバアシストディスプレイ

アドバンスドライバアシストディスプレイとは（メインメニュー）

アドバンスドライバアシストディスプレイで、様々な機能の作動状態を表示したり、設定したりすることができます。キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、ハンドルにある<◀▶>スイッチを押すと、ホーム、エコグループ、走行支援グループ、オーディオ情報★、ナビゲーション情報★、タイヤアングルガイド、警告、設定の順で表示項目が切り替わります。車種により表示できる項目が異なる場合があります。

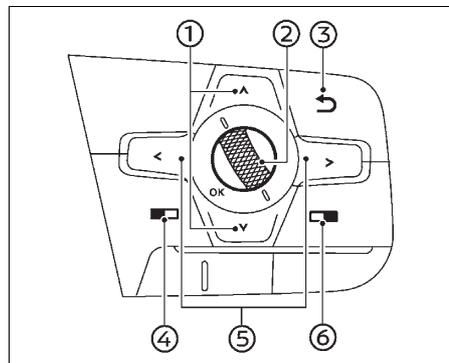


ホーム ※2	エコグループ ※1※2	走行支援グループ ※1※2	オーディオ情報	ナビゲーション情報	タイヤアングルガイド	警告	設定 ※2
<ul style="list-style-type: none"> ・スピードメーター + タコメーター ・スピードメーター 	<ul style="list-style-type: none"> ・エコペダルガイド ・燃費情報/エコペダルガイド ・ドライブ情報 ・アイドリングストップ (時間・節約燃料) ・アイドリングストップ (積算時間・積算節約燃料) 	<ul style="list-style-type: none"> ・プロパイロット ・運転支援 ・水温計 	<ul style="list-style-type: none"> ・オーディオ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ナビゲーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・タイヤアングルガイド 	<ul style="list-style-type: none"> 警告が発生している場合表示されます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・VDC設定 ・運転支援 ・エコ ・時計 ・車両設定 ・メンテナンス ・画面カスタマイズ ・日付設定 ・スケジュール ・単位/言語 ・工場出荷設定
<p>※1 「メインメニュー選択」で選択した項目を表示します。 ※2 ▲▼スイッチを押すか、スクロールダイヤルを回すと項目を選択します。</p>							

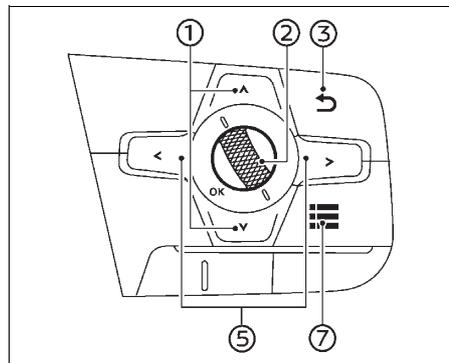
アドバンスドライバアシストディスプレイ

ステアリングスイッチ

タイプA



タイプB



- ① 上下スイッチ
上下の項目を選択します。

- ② スクロールダイヤル/OKスイッチ
上下に回して項目を選択します。押しすと決定することができます。
- ③ 戻るスイッチ
前のメニューに戻ります。
- ④ メニュー操作スイッチ (左)
スイッチが点灯しているときは、ステアリングスイッチでNissanConnectインフォテインメントシステムの操作ができます。
- ⑤ 左右スイッチ
現在の表示画面カテゴリーから次の画面表示カテゴリーに移動します。
- ⑥ メニュー操作スイッチ (右)
スイッチが点灯しているときは、ステアリングスイッチでメーター画面の操作ができます。また、スイッチが点灯しているときにもう一度押しすと、ショートカットメニューを表示します。
- ⑦ ショートカットメニュースイッチ
よく使用する設定項目画面をすばやく表示することができます。

車両情報画面

様々な車両情報を表示したり、各種設定をしたりすることができます。

ホーム

キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、ステアリングスイッチの< ◀ ▶ >スイッチでホームを選択し、< ▲ ▼ >スイッチを押すかスクロールダイヤルを回すと項目が切り替わります。ステアリングスイッチの使いかたは（🔍 P.46）をお読みください。

画面表示	項目	概要	詳細説明
	スピードメーター表示変更	● スピードメーター表示のタイプを切り替えます。	● スピードメーター+タコメーター ⇒スピードメーターのみの順で切り替わります。

アドバンスドライブアシストディスプレイ

エコグループ

キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、ステアリングスイッチの<◀▶>スイッチでエコグループを選択し、<▲▼>スイッチを押すかスクロールダイヤルを回すと項目が切り替わります。ステアリングスイッチの使いかたは（➡P.46）をお読みください。

アドバンスドライブアシストディスプレイで [設定] ⇒ [画面カスタマイズ] ⇒ [メインメニュー選択] で選択していると表示します。

画面表示	項目	概要	詳細説明
	燃費情報	<ul style="list-style-type: none">● ドライブモードがECO以外のときに表示します。● 現在の瞬間燃費、リセットしてからの平均燃費を表示します。 ステアリングスイッチの<OK>スイッチを押すと [燃費情報]、[燃費情報2]、[給油後燃費情報] の順で画面が切り替わります。表示している情報をリセットするときは、リセットしたい画面を表示中にステアリングスイッチの<OK>スイッチを長押しします。リセット画面が表示されるので、「はい」を選択し、再度<OK>スイッチを押すとリセットされます。 画面の切り替えかたについては（➡P.46）をお読みください。	<ul style="list-style-type: none">● ドライブモードの詳細については、（➡P.148）をお読みください。● 平均燃費は、バッテリー交換後やリセット後は [---] と表示します。● 平均燃費は約30秒ごとに更新されます。● 平均燃費をリセットすると、ドライブ情報の平均燃費も連動してリセットされません。

アドバンスドライブアシストディスプレイ

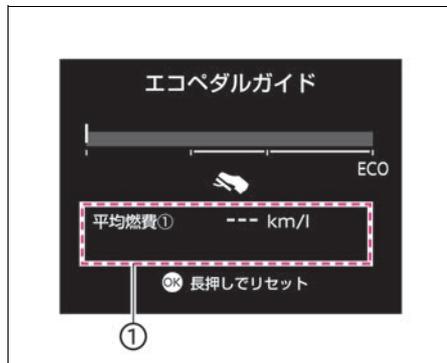
画面表示	項目	概要	詳細説明
	エコペダルガイド	<ul style="list-style-type: none"> ● ドライブモードがECOのときに表示します。 ● ステアリングスイッチの<OK>スイッチを押すと [平均燃費1]、[平均燃費2]、[給油後平均燃費] の順で画面が切り替わります。表示している情報をリセットするときは、リセットしたい画面を表示中にステアリングスイッチの<OK>スイッチを長押しします。リセット画面が表示されるので、「はい」を選択し、再度<OK>スイッチを押すとリセットされます。 <p>① エコペダルガイド</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 走行しているとき、アクセルペダルの踏み加減を表示します。 <p>② エコインジケータ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● アドバンスドライブアシストディスプレイで [設定] ⇒ [エコ] ⇒ [エコ情報設定] ⇒ [エコインジケータ] の設定をONにしているとき、アクセルペダル操作に応じてエコインジケータが3段階で点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ドライブモードの詳細については、(➡ P.148) をお読みください。 ● エコインジケータ、エコペダルガイドの詳細については、エコインジケータ (➡ P.52)、エコペダルガイド (➡ P.52) をお読みください。
	ドライブ情報	<ul style="list-style-type: none"> ● ドライブ情報を表示します。ステアリングスイッチの<OK>スイッチを押すと [ドライブ情報1]、[ドライブ情報2]、[給油後ドライブ情報] の順で画面が切り替わります。リセットするときは、この画面を表示中に、ステアリングスイッチの<OK>スイッチを長押しします。その後リセットメニューからリセットする項目を選択し、再度ステアリングスイッチの<OK>スイッチを押すとリセットされます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ドライブ情報の項目 <ul style="list-style-type: none"> — 平均燃費 — 平均車速 — 走行距離 — 走行時間 ● ドライブ情報の平均燃費をリセットすると、燃費情報の平均燃費もリセットされます。

アドバンスドライブアシストディスプレイ

画面表示	項目	概要	詳細説明
	アイドリングストップ (時間・節約燃料)	<ul style="list-style-type: none"> ● エンジン始動時からの、アイドリングストップが作動した積算時間と、節約された燃料の積算量を表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● アイドリングストップについては、(➡ P.149)をお読みください。
	アイドリングストップ (積算時間・積算節約燃料)	<ul style="list-style-type: none"> ● 前回リセット時からの、アイドリングストップが作動した積算時間と、節約された燃料の積算量を表示します。リセットするときは、この画面を表示中に、ステアリングスイッチの<OK>スイッチを長押しするとリセットされます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● アイドリングストップについては、(➡ P.149)をお読みください。

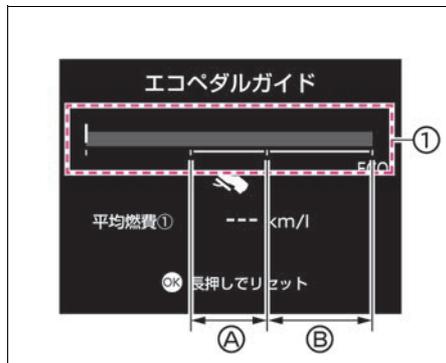
アドバンスドドライブアシストディスプレイ

■ エコインジケータ



- アドバンスドドライブアシストディスプレイでエコペダルガイドを表示して走行しているとき、アクセルペダル操作に応じてエコインジケータ①が3段階で点灯します。
- エコドライブするほど、点灯範囲が大きくなります。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで [設定] ⇒ [エコ] ⇒ [エコ情報設定] ⇒ [エコインジケータ] を選択すると、エコインジケータのON・OFFを切り替えられます。
設定の詳細については、エコ (➡ P.61) をお読みください。
- セレクトレバーが **R** のときは、点灯しません。

■ エコペダルガイド



- アドバンスドドライブアシストディスプレイでエコペダルガイドを表示して走行しているとき、アクセルペダルの踏み加減を①に表示します。
- アクセルペダルの踏み加減をエコ運転領域 **A** に入るように調整することで、燃費向上につながります。
アクセルペダルの踏み加減を **B** の範囲内に調整することでさらなる燃費向上につながります。
- セレクトレバーが **R** のときは、点灯しません。

アドバンスドライバアシストディスプレイ

走行支援グループ (表示項目)

キースイッチ (電源ポジション) がONのとき、ステアリングスイッチの<◀▶>スイッチで走行支援グループを選択し、<▲▼>スイッチを押すかスクロールダイヤルを回すと項目が切り替わります。ステアリングスイッチの使いかたは (👉P.46) をお読みください。アドバンスドライバアシストディスプレイで [設定] ⇒ [画面カスタマイズ] ⇒ [メインメニュー選択] で選択していると表示します。

画面表示	項目	概要	詳細説明
	プロパイロット★	<ul style="list-style-type: none"> ● プロパイロットの作動状態を表示します。ステアリングスイッチの<プロパイロットスイッチ>を押すと、プロパイロット画面に切り替わります。 ● この画面を表示中に、ステアリングスイッチの<OK>スイッチを押すと、プロパイロットのメニュー画面を表示し、ハンドル支援のON・OFFを設定できます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● プロパイロットについては、 (👉P.164) をお読みください。 ● <ハンドル支援スイッチ>でもハンドル支援のON・OFFを切り替えることができます。
	運転支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 運転支援のON・OFF状態を表示します。 ● この画面を表示中に、ステアリングスイッチの<OK>スイッチを押すと、走行支援システムのメニュー画面を表示し、各システムのON・OFFを設定できます。詳しくは運転支援 (👉P.58) の中の該当項目をお読みください。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 詳しくは、各走行支援システムの説明をお読みください。 <ul style="list-style-type: none"> — <u>👉インテリジェント エマージェンシーブレーキ (P.176)</u> — <u>👉踏み間違い衝突防止アシスト (P.183)</u> — <u>👉BSW (後側方車両検知警報) ★ / インテリジェント BSI (後側方衝突防止支援システム) ★ (P.189)</u> — <u>👉LDW (車線逸脱警報) / インテリジェント L (車線逸脱防止支援システム) (P.197)</u> — <u>👉インテリジェント FCW (前方衝突予測警報) (P.200)</u>

アドバンスドライバアシストディスプレイ

画面表示	項目	概要	詳細説明
	水温計	<ul style="list-style-type: none"> ● エンジン冷却水の温度を表示します。 	<p>⚠ 警告</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オーバーヒートを示したときは、ただちに安全な場所に車を停めて処置をする。そのまま走行を続けると、エンジン故障の原因となり、火災につながるおそれがあります。詳しくは、オーバーヒートしたときは (➡ P.296) をお読みください。

オーディオ情報★

電源ポジションがONのとき、ステアリングスイッチの<◀▶>スイッチでオーディオ情報を選択します。ステアリングスイッチの使いかたは (➡ P.46) をお読みください。

画面表示	項目	概要	詳細説明
	オーディオ	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在使用中のオーディオ情報を表示します。 ● この画面を表示中に、ステアリングスイッチの<OK>スイッチを押すと、オーディオソースを切り替えることができます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● オーディオの取り扱いについては、別冊のNissanConnectインフォテインメントシステム取扱説明書をお読みください。

ナビゲーション情報★

電源ポジションがONのとき、ステアリングスイッチの<◀▶>スイッチでナビゲーション情報を選択します。ステアリングスイッチの使いかたは (➡ P.46) をお読みください。

画面表示	項目	概要	詳細説明
	ナビゲーション	<ul style="list-style-type: none"> ● ナビゲーション機能で目的地を設定していると、次の右左折までの距離などを表示します。 ● 目的地を設定していないときは、黒画面が表示されます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● インフォテインメントシステムの取り扱いについては、別冊のNissanConnectインフォテインメントシステム取扱説明書をお読みください。

タイヤアングルガイド

キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、ステアリングスイッチの<◀▶>スイッチでタイヤアングルガイドを選択します。ステアリングスイッチの使いかたは（➡P.46）をお読みください。

画面表示	項目	概要	詳細説明
	タイヤアングルガイド	● 前進時や後退時のタイヤの方向や角度と進行方向を一目で確認することができます。	● タイヤアングルガイドについては、（➡P.70）をお読みください。

警告

警告について

- 異常を検知するとマスターウォーニング [⚠] が点灯し、アドバンスドライバアシストディスプレイに警告を表示します。警告を一時的に消すときは、<OK>スイッチを押します。
- 警告が表示されたときは、すみやかに適切な処置をしてください。放置すると故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。

確認のしかた

異常を検知している場合、キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、ステアリングスイッチの<◀▶>スイッチで警告を選択すると、異常を検知している警告が確認できます。

警告メッセージの表示画面については、（➡P.278）をお読みください。

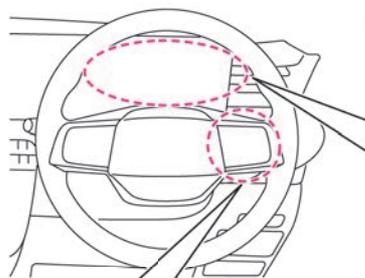
ステアリングスイッチの使いかたは（➡P.46）をお読みください。

アドバンスドライブアシストディスプレイ

アドバンスドライブアシストディスプレイとは（ショートカットメニュー）

キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、ステアリングスイッチの<メニュー操作スイッチ（右）>が点灯中にスイッチを押す、または<≡>スイッチを押すと、よく使用する設定項目画面をすばやく表示することができます。オーディオソース、運転支援のいずれかの表示項目を選択できます。

画面の切り替えかた（ショートカットメニュー）



▲▼スイッチ



OKスイッチ/
スクロールダイヤル
メニュー操作
スイッチ（右）

▲▼スイッチ



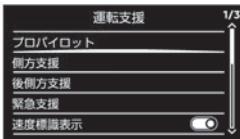
OKスイッチ/
スクロールダイヤル
≡スイッチ

オーディオ
ソース



AM USB1 Bluetoothオーディオ
FM USB2 Apple CarPlay
交通情報 iPod1 Android Auto
TV1 iPod2 HDMI
TV2

運転支援



プロパイロット
側方支援
後側方支援
緊急支援
速度標識指示
標識検知支援
駐車支援
後退時車両検知警報
ふらつき警報
走行時間
凍結注意
先行車発進お知らせ

・車種により表示できる項目が異なります。

アドバンスドライバアシストディスプレイ

オーディオソース★

ステアリングスイッチの<メニュー操作スイッチ（右）>が点灯中にスイッチを押す、または<☰>スイッチを押してから<▲▼>スイッチを押すかスクロールダイヤルを回して「オーディオソース」を選択し、<OK>スイッチを押して決定することができます。

項目1	詳細説明
AM	<ul style="list-style-type: none">● オーディオの取り扱いについては、別冊のNissanConnectインフォテインメントシステム取扱説明書をお読みください。● 機器接続状況により表示は異なります。
FM	
交通情報	
TV1	
TV2	
USB1	
USB2	
iPod1	
iPod2	
Bluetoothオーディオ	
Apple CarPlay	
Android Auto	
HDMI	

運転支援

- ステアリングスイッチの<メニュー操作スイッチ（右）>が点灯中にスイッチを押す、または<☰>スイッチを押してから<▲▼>スイッチを押すかスクロールダイヤルを回して「運転支援」を選択し、<OK>スイッチを押して決定することができます。
- 設定の詳細については、[設定]（各種設定画面）の運転支援をお読みください。
運転支援（📍P.58）

各種設定画面

運転支援のON・OFF設定をはじめ、時計の調整やアラームの設定などができます。

ステアリングスイッチの使いかたは (👉 P.46) をお読みください。

設定 (各種設定画面)

各種設定画面では、次の機能の設定ができます。ステアリングスイッチの<◀▶>スイッチで [設定] を表示し、<OK>スイッチを押して設定画面を表示させ<▲▼>スイッチを押すかスクロールダイヤルを回して選択します。<OK>スイッチを押して決定することができます。

👉 設定例1 (メインメニュー選択) (P.69)

👉 設定例2 (タイヤ) (P.69)

■ VDC設定★

項目	機能
システム	<ul style="list-style-type: none">● VDC機能のON・OFFを設定します。👉 <u>VDCのON・OFFのしかた (P.155)</u>

■ 運転支援

項目1	項目2	機能
プロパイロット★	ハンドル支援設定	<ul style="list-style-type: none">● ハンドル支援のON・OFFを設定します。👉 <u>プロパイロット★ (P.164)</u>

アドバンスドライバアシストディスプレイ

項目1	項目2	機能
側方支援	車線逸脱警報	<ul style="list-style-type: none"> ● LDW（車線逸脱警報）のON・OFFを設定します。 ➡ <u>LDW（車線逸脱警報）／インテリジェントLI（車線逸脱防止支援システム）</u>（P.197）
	車線逸脱防止支援	<ul style="list-style-type: none"> ● インテリジェントLI（車線逸脱防止支援システム）のON・OFFを設定します。 ➡ <u>LDW（車線逸脱警報）／インテリジェントLI（車線逸脱防止支援システム）</u>（P.197）
	警報感度 ステアリング振動	<ul style="list-style-type: none"> ● 警報感度を、[高い]、[標準]、[低い] から選択します。 ● ステアリング振動を、[大]、[中]、[小] から選択します。
後側方支援★	後側方車両検知警報	<ul style="list-style-type: none"> ● BSW（後側方車両検知警報）のON・OFFを設定します。 ➡ <u>BSW（後側方車両検知警報）★／インテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）★</u>（P.189）
	後側方衝突防止支援	<ul style="list-style-type: none"> ● インテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）のON・OFFを設定します。 ➡ <u>BSW（後側方車両検知警報）★／インテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）★</u>（P.189）
緊急支援	前方衝突防止支援	<ul style="list-style-type: none"> ● インテリジェントエマージェンシーブレーキ、インテリジェントFCW（前方衝突予測警報）のON・OFFを設定します。 ➡ <u>インテリジェントエマージェンシーブレーキ</u>（P.176） ➡ <u>インテリジェントFCW（前方衝突予測警報）</u>（P.200）
	踏み間違い衝突防止アシスト	<ul style="list-style-type: none"> ● 踏み間違い衝突防止アシストのON・OFFを設定します。 ➡ <u>踏み間違い衝突防止アシスト</u>（P.183）
速度標識表示		<ul style="list-style-type: none"> ● 最高速度標識検知のON・OFFを設定します。 ➡ <u>標識検知機能</u>（P.207）
標識検知支援		<ul style="list-style-type: none"> ● 進入禁止標識検知／一時停止標識検知のON・OFFを設定します。 ➡ <u>標識検知機能</u>（P.207）

☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

アドバンスドライバアシストディスプレイ

項目1	項目2	機能
駐車支援	移動物検知★	<ul style="list-style-type: none"> ● 移動物検知のON・OFFを設定します。 ➡ <u>移動物 検知機能について</u> (P.219)
	表示設定	<ul style="list-style-type: none"> ● 障害物に近づいたときの、割り込み表示のON・OFFを設定します。 ➡ <u>ソナー表示</u> (P.70)
	フロントソナー	<ul style="list-style-type: none"> ● フロントソナーのON・OFFを設定します。 ➡ <u>ソナー表示</u> (P.70)
	ソナー検知距離	<ul style="list-style-type: none"> ● ソナー検知距離を [遠距離]、[中距離]、[近距離] から選択します。障害物までの最長距離が110%（[遠距離]）、100%（[中距離]）、90%（[近距離]）で変更できます。中距離を選択したときの障害物までの最長距離は、（➡P.220）をお読みください。 ➡ <u>ソナー表示</u> (P.70)
	ソナー音量	<ul style="list-style-type: none"> ● ボリューム（警告音（ブザー））を、[大]、[中]、[小] から選択します。 ➡ <u>ソナー表示</u> (P.70)
後退時車両検知警報★		<ul style="list-style-type: none"> ● RCTA（後退時車両検知警報）のON・OFFを設定します。 ➡ <u>RCTA（後退時車両検知警報）★</u> (P.203)
ふらつき警報		<ul style="list-style-type: none"> ● インテリジェント DA（ふらつき警報）のON・OFFを設定します。 ➡ <u>インテリジェント DA（ふらつき警報）</u> (P.206)
走行時間	---分／---分	<ul style="list-style-type: none"> ● 設定した時間まで連続走行したことをお知らせします。 <▲▼>スイッチを押すかスクロールダイヤルを回すと「分」が切り替わり、<OK>スイッチを押すと決定します。 — 最大360分まで設定できます — 設定時間は30分単位で切り替わります (<↶> スイッチを押すと設定前の画面に戻ります)
	リセット	<ul style="list-style-type: none"> ● <はい>を選択すると、走行した時間をリセットできます。

アドバンスドライバアシストディスプレイ

項目1	項目2	機能
凍結注意		● 外気温度表示が3°C以下になったときに表示する凍結注意表示のON・OFFを設定します。
先行車発進お知らせ		● 先行車発進お知らせの設定を、[OFF]、[遅め]、[標準]、[早め]から選択します。 ➡ <u>先行車発進お知らせ (P.210)</u>

■ エコ

項目1	項目2	機能
エコモード設定	クルーズコントロール★	● ECOモード使用時に燃費を優先する機能に設定するかしないかを、項目ごとにON・OFF設定することができます。 ➡ <u>ドライブモードについて (P.148)</u>
	アイドリングストップ	
	空調	
エコ情報設定	エコインジケータ	● エコインジケータのON・OFFを設定します。 OFFにすると、エコインジケータが表示されなくなります。 エコインジケータ (➡ P.52)
	エコドライブレポート	● エコドライブレポートのON・OFFを設定します。 OFFにすると、エコドライブレポートが表示されなくなります。 エコドライブレポート (➡ P.71)
燃費履歴リセット		● 燃費履歴画面を表示します。 ● リセットするときは、この画面を表示中にステアリングスイッチの<OK>スイッチを押します。リセット画面が表示されるので、[はい]を選択し、再度ステアリングスイッチの<OK>スイッチを押すとリセットされます。

■ 時計

走行中は操作できません。

NissanConnectインフォテインメントシステム装着車

項目	機能
時計	● 表示のON・OFFを設定します。

アドバンスドライバアシストディスプレイ

NissanConnectインフォテインメントシステム非装着車

項目1	項目2	機能
表示		● 表示のON・OFFを設定します。
時計設定		● 時刻を設定します。 ① <OK>スイッチを押すと「時」調整画面に切り替わります。 ② <▲▼>を押すかスクロールダイヤルを回して「時」を調整します。 ③ <◀▶>スイッチを押すと「分」調整画面に切り替わります。 ④ <▲▼>を押すかスクロールダイヤルを回して「分」を調整します。 ⑤ <OK>スイッチを押すと時刻が設定されます。 (<↶>スイッチを押すと前の調整画面に戻ります)
時間表示		● <OK>スイッチを押すと12時間表示、24時間表示を切り替えます。

■ 車両設定

走行中は操作できません。

項目1	項目2	機能
ライト/照明	ウエルカムヘッドライト	● ウェルカムライト機能のON・OFFを設定します。 ウエルカムライト機能（フェアウエル機能付） (👉P.143)
	オートライト感度調整	● オートライトの感度を4段階で設定できます。
ドアロック	降車時オートロック★	● 降車時オートロック機能のON・OFFを設定します。 降車時オートロック機能 (👉P.78)
	接近時アンロック★	● 接近時アンロック機能のON・OFFを設定します。 接近時アンロック機能 (👉P.77)
	keyエントリー★	● ドアにあるスイッチでの施錠・解錠機能のON・OFFを設定します。 👉 <u>ドアハンドルのスイッチでの施錠・解錠のしかた</u> (インテリジェントキー付車) (P.83)

アドバンスドライバアシストディスプレイ

項目1	項目2	機能
ワイパー	車速連動	<ul style="list-style-type: none"> ● 車速連動のON・OFFを設定します。 ➡ <u>フロントワイパーの使いかた (P.145)</u>
	リバース連動	<ul style="list-style-type: none"> ● リバース連動機能のON・OFFを設定します。 ➡ <u>リヤワイパーの使いかた (P.146)</u>
	ドリップ拭き取り	<ul style="list-style-type: none"> ● ドリップ拭き取り機能のON・OFFを設定します。 ➡ <u>ウォッシャーの使いかた (P.146)</u>
後席リマインダー		<ul style="list-style-type: none"> ● 後席リマインダーのON・OFFを設定します。 ➡ <u>後席リマインダー (P.98)</u>
ドアミラー	自動開閉OFF	<ul style="list-style-type: none"> ● ドアロック連動格納機能がOFFになります。 ➡ <u>ドアロック連動格納機能について (P.106)</u>
	エンジンスイッチON連動	<ul style="list-style-type: none"> ● ドアロック連動格納機能がONになります。キースイッチ（電源ポジション）をONにしたときにドアミラーが開く設定になります。 ➡ <u>ドアロック連動格納機能について (P.106)</u>
	ドアアンロック連動	<ul style="list-style-type: none"> ● ドアロック連動格納機能がONになります。リモコンまたは、ドアハンドルのスイッチで解錠すると、ドアミラーが開く設定になります。 ➡ <u>ドアロック連動格納機能について (P.106)</u>
情報提示音量	方向指示	<ul style="list-style-type: none"> ● ボリューム（方向指示）を [大]、[中]、[小] から選択します。
	リバース警報	<ul style="list-style-type: none"> ● ボリューム（リバース警報）を [大]、[中]、[小] から選択します。
オートスライドドア★	閉作動中ブザー	<ul style="list-style-type: none"> ● オート閉作動中のブザーのON・OFFを設定します。 ➡ <u>オートスライドドアについて (P.89)</u>

アドバンスドライバアシストディスプレイ

■ メンテナンス

走行中は操作できません。

項目	機能
オイルコントロールシステム	<ul style="list-style-type: none">● 車両システムが自動で設定したエンジンオイル交換までの距離を表示します。<ul style="list-style-type: none">－ エンジンオイル交換までの距離は、走行状況に応じてシステムにより自動で設定されます。手動で設定することはできません。－ エンジンオイル交換時期が近づくと、メーターにオイル交換までの残り距離が表示されます。－ エンジンオイル交換時期になると、キースイッチ（電源ポジション）をONにすると、オイル交換警告画面を表示します。－ エンジンオイル交換後は、必ず表示をリセットしてください。リセットするときには、この画面を表示中にステアリングスイッチの<OK>スイッチを押すとリセット画面が表示されます。[はい] を選択し、再度<OK>スイッチを押すと走行した距離をリセットできます。リセットしなかった場合、オイル交換残り距離が誤って表示されます。その場合、標準距離の半分の距離でオイル交換してください。標準距離については別冊のメンテナンスノートをお読みください。● 走行状況によっては、オイル交換距離表示画面が表示されるまでの距離が短くなる場合があります。 <div data-bbox="566 647 774 675" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> アドバイス</div> <ul style="list-style-type: none">● エンジンオイル交換時以外にリセットはしないでください。

アドバンスドライブアシストディスプレイ

項目	機能
オイル/オイルフィルター タイヤ ユーザー	<ul style="list-style-type: none"> ● 次回メンテナンスを行うまでの距離を設定できます。設定値を超えるとメンテナンスする距離がきたことを表示で知らせます。(定期交換部品等の交換距離については、別冊のメンテナンスノートをお読みください。) — <▲▼>スイッチかスクロールダイヤルで距離が切り替わり、<OK>スイッチを押すと決定します。(<↶>スイッチを押すと設定前の画面に戻ります) — 500km~30,000kmまでの範囲内で距離を設定できます。 — 設定距離は500km単位で切り替わります。 — [リセット] を選択して<OK>スイッチを押すとリセット画面が表示されます。 [はい] を選択し、再度<OK>スイッチを押すと走行した距離をリセットできます。 ● 機能を停止することができます。 <ul style="list-style-type: none"> — 停止する場合は、距離表示を [---] に合わせ<OK>スイッチを押して決定します。
航続可能距離表示	<p>航続可能距離のリセットができます。</p> <p>[リセット] を選択して<OK>スイッチを押すとリセット画面が表示されます。 [はい] を選択し、再度<OK>スイッチを押すと航続可能距離をリセットできます。</p>

■ 画面カスタマイズ

項目1	項目2	機能
メインメニュー選択		<ul style="list-style-type: none"> ● メーター画面で表示させたい項目を選択することができます。ステアリングスイッチの<▲▼>スイッチかスクロールダイヤルで項目を切り替えて、表示させたい項目で<OK>スイッチを押します。
ナビゲーション設定★	自動割込み設定	<ul style="list-style-type: none"> ● 走行中、次の右左折점에接近したとき、メーター内にポップアップでお知らせする機能のON・OFFを設定します。
クルーズ画面切替★		<ul style="list-style-type: none"> ● プロパイロット画面切替のON・OFFを設定します。ONにすると、プロパイロットのシステムをONにしたとき、自動的に画面がプロパイロット画面に切り替わります。 ➡ <u>プロパイロット★</u> (P164)

アドバンスドライブアシストディスプレイ

項目1	項目2	機能
メーター演出	ディスプレイ演出	● ディスプレイ演出のON・OFFを設定します。 OFFにすると、エンジン始動時のアニメーションがOFFになります。
オペレーションガイダンス	ライトモード	● ライトスイッチを回したとき、スイッチ位置をメーター内にポップアップで表示する機能のON・OFFを設定します。
	ハイビームアシスト★	● ライトスイッチが<AUTO>の位置以外でハイビームアシストのスイッチを押したときに、オペレーションガイダンスをメーター内にポップアップで表示する機能のON・OFFを設定します。 ➡ <u>ハイビームアシスト★ (P.139)</u>
	アダプティブヘッドライト★	● ライトスイッチが<AUTO>の位置以外でアダプティブLEDヘッドライトシステムのスイッチを押したときに、オペレーションガイダンスをメーター内にポップアップで表示する機能のON・OFFを設定します。 ➡ <u>アダプティブLEDヘッドライトシステム★ (P.141)</u>
	フロントワイパーモード	● ワイパースイッチを操作したとき、スイッチ位置をメーター内にポップアップで表示する機能のON・OFFをフロントとリヤの個別に設定します。
アイドリングストップ	アイドリングストップガイダンス	● アイドリングストップが作動したときに、オペレーションガイダンスをメーター内にポップアップで表示する機能のON・OFFを設定します。 ➡ <u>アイドリングストップ (P.149)</u>

アドバンスドライバアシストディスプレイ

■ 日付設定

走行中は操作できません。

機能
<ul style="list-style-type: none">● 日付を設定します。① <OK>スイッチを押すと「年」調整画面に切り替わります。② <▲▼>スイッチを押すかスクロールダイヤルを回して「年」を調整します。③ <◀▶>スイッチを押すと「月」調整画面に切り替わります。④ <▲▼>スイッチを押すかスクロールダイヤルを回して「月」を調整します。⑤ <◀▶>スイッチを押すと「日」調整画面に切り替わります。⑥ <▲▼>スイッチを押すかスクロールダイヤルを回して「日」を調整します。⑦ <OK>スイッチを押すと日付が設定されます。 <p>(<↶>スイッチを押すと前の調整画面に戻ります。)</p>

■ スケジュール

日付設定で日付を設定していない場合は、設定することができません。走行中は操作できません。

項目1	項目2	機能
誕生日		<ul style="list-style-type: none">● 誕生日や各種記念日の設定ができます。● 設定した日付になると、表示で知らせます。
記念日	記念日1	① <OK>スイッチを押すと「月」調整画面に切り替わります。
	記念日2	② <▲▼>スイッチを押すかスクロールダイヤルを回して「月」を調整します。
		③ <◀▶>スイッチを押すと「日」調整画面に切り替わります。
		④ <▲▼>スイッチを押すかスクロールダイヤルを回して「日」を調整します。
		⑤ <OK>スイッチを押すと日付が設定されます。
		(<↶>スイッチを押すと前の調整画面に戻ります。)

アドバンスドライバアシストディスプレイ

項目1	項目2	機能
車検日		<ul style="list-style-type: none"> ● 車検日や点検日の設定ができます。 ● 設定した日付の約1か月前から表示で知らせます。 ① <OK>スイッチを押すと「年」調整画面に切り替わります。 ② <▲▼>スイッチを押すかスクロールダイヤルを回して「年」を調整します。 ③ <◀▶>スイッチを押すと「月」調整画面に切り替わります。 ④ <▲▼>スイッチを押すかスクロールダイヤルを回して「月」を調整します。 ⑤ <◀▶>スイッチを押すと「日」調整画面に切り替わります。 ⑥ <▲▼>スイッチを押すかスクロールダイヤルを回して「日」を調整します。 ⑦ <OK>スイッチを押すと日付が設定されます。 (<↶>スイッチを押すと前の調整画面に戻ります。)
点検日		
表示設定	誕生日	<ul style="list-style-type: none"> ● それぞれの設定したスケジュール表示のON・OFFを設定します。
	記念日1	
	記念日2	
	車検日	
	点検日	
リセットメニュー		<ul style="list-style-type: none"> ● それぞれの設定したスケジュールのリセットができます。リセット画面が表示されるので、[はい] を選択し、再度ステアリングスイッチの<OK>スイッチを押すとリセットされます。

■ 単位／言語

走行中は操作できません。

項目	機能
温度	● 温度の単位を °C または °F に切り替えます。
言語	● 表示言語を日本語またはEnglishに切り替えます。

アドバンスドドライブアシストディスプレイ

■ 工場出荷設定

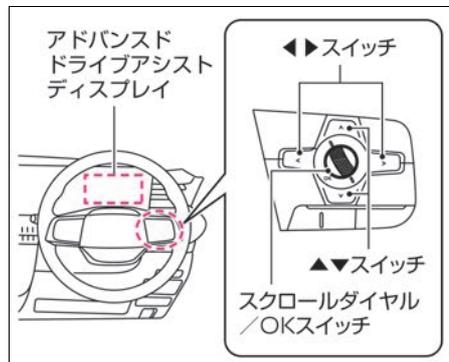
走行中は操作できません。

機能

工場出荷時の設定にリセットすることができます。

- [はい] を選択すると、各種設定が初期化されます。

設定例1 (メインメニュー選択)



1. ステアリングスイッチの<◀▶>スイッチを数回押し、[設定]画面を表示して<OK>スイッチを押します。
2. ステアリングスイッチの<▲▼>スイッチを押すかスクロールダイヤルを回して、[画面カスタマイズ]を選択し、<OK>スイッチを押して決定します。
3. ステアリングスイッチの<▲▼>スイッチを押すかスクロールダイヤルを回して、[メインメニュー選択]を

4. 選択し、<OK>スイッチを押して決定します。
表示させたい項目を、ステアリングスイッチの<▲▼>かスクロールダイヤルで選択し、<OK>スイッチを押して決定すると表示できるようになります。

設定例2 (タイヤ)

1. ステアリングスイッチの<◀▶>スイッチを数回押し、[設定]画面を表示して<OK>スイッチを押します。
2. ステアリングスイッチの<▲▼>スイッチを押すかスクロールダイヤルを回して、[メンテナンス]を選択し、<OK>スイッチを押して決定します。
3. ステアリングスイッチの<▲▼>スイッチを押すかスクロールダイヤルを回して、[タイヤ]を選択し、<OK>スイッチを押して決定します。
4. [タイヤ]画面でステアリングスイッチの<OK>スイッチを押して、次回メンテナンスを行う距離の[設定]

画面に進みます。([---km/---km] の右側の表示)

※ [---km/---km] の左側は、設定以降走行した距離を表示します。

- 手順4でリセットを選択してステアリングスイッチの<OK>スイッチを押すと走行した距離をリセットできます。([---km /---km] の左側の表示)

5. 次回メンテナンスを行う距離を設定できます。(手順4 [---km/---km] 右側の表示)
ステアリングスイッチの<▲▼>スイッチを押すかスクロールダイヤルを回して距離を切り替え、<OK>スイッチを押して決定します。
設定距離は500km単位で切り替わります。
※機能を停止する場合は、距離表示を [---] にあわせ<OK>スイッチを押して決定します。

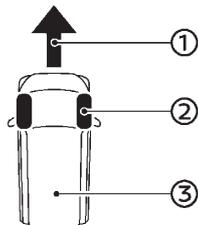
アドバンスドライブアシストディスプレイ

タイヤアングルガイド

タイヤアングルガイドについて

- 前進時や後退時のタイヤの方向や角度と進行方向を一目で確認することができます。

タイヤアングルガイド



- ① 現在のセレクトレバー位置と前輪タイヤの向きで自車が進む方向を表示します。
 - ② 前輪タイヤが向いている方向を表示します。
 - ③ 自車を表します。
- バッテリーを外したときや、バッテリーがあがったときは、タイヤアングルガイドを正しく作動させるために以下の操作を行ってください。
 1. 周囲の安全を確認し、エンジンを始動します。
 2. 停車したままハンドルを右にいっぱい切り、その後左にいっぱい切ります。

3. 正常に作動することを確認します。正常に作動しないときは、再度上記の操作を行ってください。

タイヤアングルガイドの表示例

タイヤアングルガイド



- 例1：セレクトレバーが**P**、**R**、**N**以外でハンドルを左に切っているとき、自車が左前方向に進むことを示しています。

タイヤアングルガイド



- 例2：セレクトレバーが**R**でハンドルを左に切っているとき、自車が左後ろ方向に後退することを示しています。
- アドバンスドライブアシストディスプレイで [設定] ⇒ [運転支援] ⇒ [駐車支援] ⇒ [表示設定] をONにしているときに、ソナーが障害物を検知する、またはセレクトレバーを**R**にした場合、ソナー画面が割り込み表示します。ソナー表示中にステアリングスイッチの<OK>スイッチを押すと、一時的にソナー機能を停止できます。
➡ ソナー表示 (P.70)

その他の表示機能

ソナー表示



- 車両が障害物に近づくと、アドバンスドライブアシストディスプレイのソナー表示色が緑→黄→赤の順に切り替わり、警報音（ブザー）が鳴ります。

アドバンスドドライブアシストディスプレイ

表示色	警報音
緑	ピッ、ピッ、 ピッ・・・
黄	ピピピピピ・・・
赤	ピー

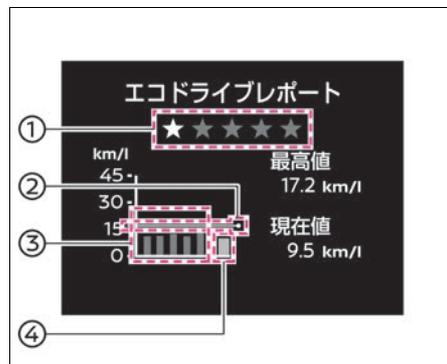
- 次の場合にソナー機能が作動します。
 - ー セレクトレバーを**R**にしたとき
 - ー セレクトレバーが**D**または**L**で障害物を検知したとき（約10km/h以下）
- ソナー表示中にステアリングスイッチの<OK>スイッチを押すと一時的にソナー機能を停止できます。
- ただし次の場合は、一時停止が解除されます。
 - ー セレクトレバーを**N**、**P**にしたとき
 - ー 約12km/h以上で走行したとき
- ソナーについては、(➡ P.220)をお読みください。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで [設定] ⇒ [運転支援] ⇒ [駐車支援] を選択すると、ソナー機能の各種設定が行えます。設定の詳細については、運転支援をお読みください。
➡ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは (メインメニュー) (P.46)
➡ 運転支援 (P.58)
- セレクトレバーを**D**または**L**にしたとき、ソナーが障害物を検知すると、ソナー画面が割り込み表示します。割り込み表示はOFFにすることができます。
➡ 運転支援 (P.58)

☆/★：車両型式、オプションなどで異なる装備

- セレクトレバーを**R**にしたとき、ソナー画面が割り込み表示します。
- ソナーのお手入れについては、(➡ P.323)をお読みください。
- 障害物の検知は前方4個、後方4個のソナーセンサーを使用して検知をします。

エコドライブレポートについて

キースイッチ（電源ポジション）をOFFにすると、エコドライブレポート画面を表示します。
エコドライブレポートの結果は、約500m以上走行したときのみ表示します。



- ① **今回の評価**
エコドライブするほど★が増えます。
★は1～5段階で表示されます。
- ② **最高値**
過去のベスト燃費を表示します。
- ③ **履歴**
過去5回分の平均燃費を表示します。

- ④ **現在値**
今回の平均燃費を表示します。
- キースイッチ（電源ポジション）をOFFにしてから、約30秒間表示されます。
- 表示中に警告メッセージが表示された後、再度エコドライブレポートを表示すると、表示時間が30秒延長されます。
- キースイッチ（電源ポジション）をOFFにして、運転席ドアを開けると、表示が消えます。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで [設定] ⇒ [エコ] ⇒ [エコ情報設定] ⇒ [エコドライブレポート] を選択すると、エコドライブレポートの表示・非表示を切り替えることができます。設定の詳細については、エコをお読みください。
➡ アドバンスドドライブアシストディスプレイとは (メインメニュー) (P.46)
➡ エコ (P.61)

着信表示★

- 携帯電話をハンズフリー接続しているときに、着信すると表示します。ハンズフリーフォンについては、別冊のNissanConnectインフォテインメントシステム取扱説明書をお読みください。

通話表示★

- 携帯電話をハンズフリー接続しているときに、通話すると表示します。
ハンズフリーフォンについては、別冊のNissanConnectインフォテインメントシステム取扱説明書をお読みください。

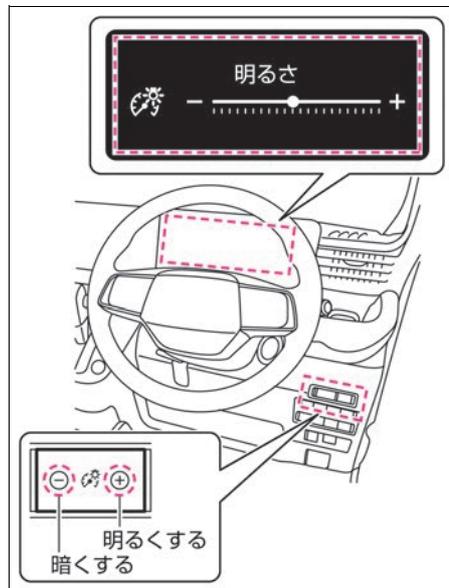
音声操作表示★

- NissanConnectインフォテインメントシステムで音声操作を行うと、アドバンスドライバアシストディスプレイに音声操作表示をします。
音声操作については、別冊のNissanConnectインフォテインメントシステム取扱説明書をお読みください。

メーターの明るさの調節

イルミネーションコントロール

メーターの明るさ調節のしかた



キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、メーター照明の明るさを調節できません。

- スイッチを押して調節します。
- 明るさのレベル表示は、アドバンスドドライバアシストディスプレイに表示されます。
- 明るさのレベルが最大または最小に達すると、音が鳴ります。

☆/★：車両型式、オプションなどで異なる装備

MEMO

メモターの見た

キー

キー（インテリジェントキー）★	P.76
キー（インテリジェントキー）★に関する注意事項	P.78
キー（リモートコントロールエントリーシステム）★	P.80
キー（リモートコントロールエントリーシステム）★に関する注意事項	P.81

ドアの施錠と解錠

ドア	P.83
フロントドア	P.85
スライドドア	P.86
オートスライドドア★	P.89
バックドア	P.96
後席リマインダー	P.98

シート・ハンドルの調節

前席シート	P.99
後席シート	P.101
ハンドル	P.103

ミラーの調節

ルームミラー★	P.104
ディスプレイ付自動防眩式ルームミラー★	P.104
ドアミラー	P.105
サイドアンダーミラー★	P.106

窓ガラスの開閉

パワーウィンドー	P.107
----------	-------

燃料補給口の開閉

燃料補給口	P.109
-------	-------

エアコンの操作

オートエアコン	P.111
リヤシーリングファン★	P.113
吹き出し口	P.115
エアコンを使うときに注意すること	P.117

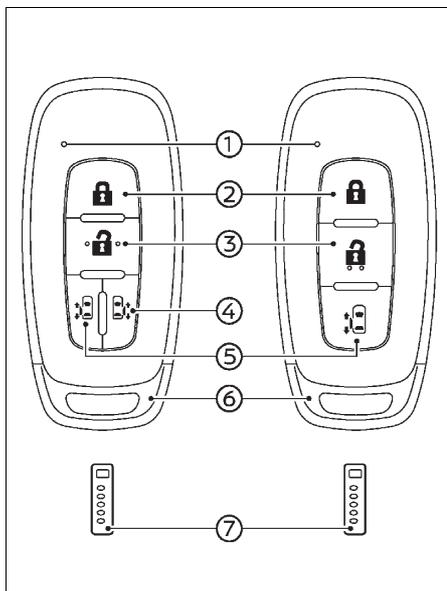
オーディオ

オーディオ★の使いかた	P.119
ステアリングスイッチ★	P.120

キー（インテリジェントキー）★

キーを携帯するだけでドアの施錠・解錠、スライドドアの開閉およびエンジンの始動操作ができます。ドアの施錠・解錠のしかたは（➡P.83）、スライドドアの開閉のしかたは（➡P.89）、始動操作は（➡P.122）をお読みください。

各部名称と機能



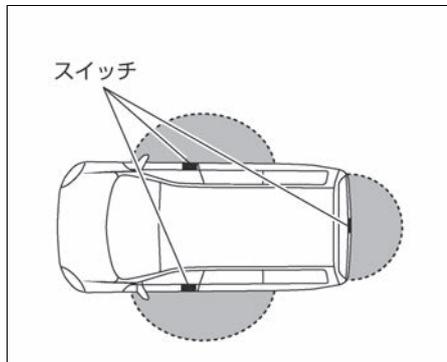
- ① 作動表示灯
②～⑤のいずれかのスイッチを押すと、赤く点滅します。
- ② ドア施錠スイッチ
スイッチを押すと、全ドアが施錠します。
- ③ ドア解錠スイッチ
スイッチを押すと、全ドアが解錠します。
- ④ ワンタッチオートスライドドア開閉スイッチ（運転席側）
解錠後、スイッチを約1秒以上押すと、スライドドアが自動で開閉します。
- ⑤ ワンタッチオートスライドドア開閉スイッチ（助手席側）
解錠後、スイッチを約1秒以上押すと、スライドドアが自動で開閉します。
- ⑥ 内蔵キー（メカニカルキー）
キーの電池が切れたときや、バッテリーがあがったときなどにドアの施錠・解錠ができます。
- ⑦ キー番号タグ
キーを紛失した場合、キー番号から日産販売会社でスペアキーを作成できますので、大切に保管してください。

知識

- キーは2個ついています。

- キーは同じ車両で最大4個まで使うことができます。ご購入やご使用開始方法については、日産販売会社にご相談ください。
- キーの電池が切れても、ドアの施錠・解錠やエンジンの始動を行うことができます。
➡内蔵キー（メカニカルキー）でのドアの開けかた（P.263）
➡インテリジェントキー★で始動できないときは（P.263）
- オートスライドドアがオート作動中に<ワンタッチオートスライドドア開閉スイッチ>を押すと、その位置でオート作動を停止します。再度、<ワンタッチオートスライドドア開閉スイッチ>を約1秒以上押すと、停止前の作動方向と反対の方向に動き、全開または全閉して停止します。
- インテリジェントキー機能のON・OFFを切り替えることができます。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

ドアの施錠・解錠の作動範囲



作動範囲は各ドアにあるスイッチから周囲約80cm以内です。作動範囲は球状になっているため、地面近くや高い場所では作動しないことがあります。

インテリジェントキーが作動範囲内にある場合は、キーを携帯している人以外でもドアにあるスイッチを押して施錠・解錠できます。

- ドアにあるスイッチを押してドアを施錠したあとは、作動確認のためブザーまたは非常点滅表示灯のアンサーバック機能で施錠されたことを確認してください。
- ドアハンドルのスイッチを押す前にドアハンドルを引かないでください。ドアは解錠されますが、開きません。一度ドアハンドルを離してから再び引いて開けてください。
- 車から離れるときは、盗難や事故防止のため、必ず電源ポジションをOFFにして施錠してください。

☆/★：車両型式、オプションなどで異なる装備

キー（インテリジェントキー）に関する機能について

■ アンサーバック機能

- ドアの施錠・解錠時に、作動確認のためのブザーと非常点滅表示灯が作動します。（施錠時1回、解錠時2回）
アンサーバック機能のブザーを停止することができます。日産販売会社にご相談ください。

■ ウェルカムライト機能（フェアウェル機能付）

- ドアの施錠・解錠時に、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。（施錠時約10秒、解錠時約30秒）
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで [設定] ⇒ [車両設定] ⇒ [ライト/照明] ⇒ [ウェルカムヘッドライト] を選択すると、ウェルカムライト機能（フェアウェル機能付）の設定を変更することができます。
設定の詳細については、車両設定（👉P.62）をお読みください。

■ キー連動室内照明システム

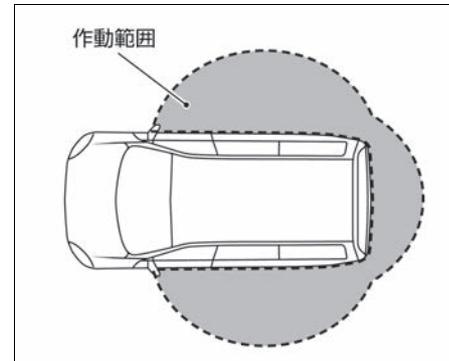
- ドアを解錠すると、室内照明が約20秒間点灯します。
詳しくは、室内灯（👉P.230）をお読みください。

■ オートロック機能

- <ドア解錠スイッチ>を押してから約30秒以内にいずれかのドアを開けなかった

ときは、盗難防止のため自動的に全ドアが施錠されます。
（施錠されるまでの間に、再度<ドア解錠スイッチ>を押すと、その時点から約30秒後に施錠されます）

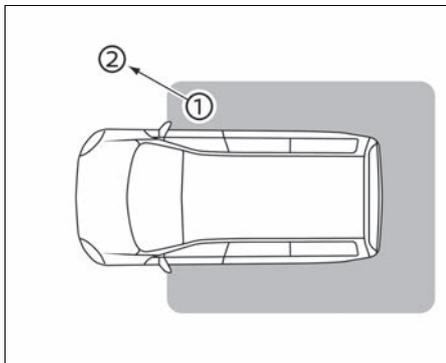
■ 接近時アンロック機能



- インテリジェントキーを携帯して車に近づくと自動で車両が解錠されます。作動範囲はドアミラーから車両後方にかけて車両から約1mの範囲です。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで次の操作をすると、接近時アンロック機能のON・OFFを切り替えることができます。（工場出荷時はOFFに設定されています。）
[設定] ⇒ [車両設定] ⇒ [ドアロック] ⇒ [接近時アンロック]
設定の詳細については、車両設定（👉P.62）をお読みください。
- 次の場合は作動しません。

- ー キーを車室内に置き忘れているとき
- ー 一定時間、キーを車両周辺に置いたままのとき（ドアを解錠後、再度ドアを施錠すると、接近時アンロック機能が再度作動可能になります）
- ー 施錠してから8日間経過したとき
- ー 車室内の<ドアロックスイッチ>で施錠したとき

■ 降車時オートロック機能



- エンジンを停止したあと、ドア開閉をしてからインテリジェントキーを携帯して車から離れると自動で車両が施錠されます。車両から約2mを境界とし①の範囲から②の範囲へ移動すると作動します。
- オートスライドドア付車は、オート閉作動中に車から離れても、すべてのドアが閉まると自動で施錠されます。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで次の操作をすると、降車時オートロック機能のON・OFFを切り替えるこ

とができます。（工場出荷時はOFFに設定されています。）

【設定】⇒ [車両設定] ⇒ [ドアロック]
⇒ [降車時オートロック]
設定の詳細については、車両設定
(P.62) をお読みください。

● 次の場合は作動しません。

- ー キーを車室内に置き忘れているとき
- ー いずれかのドアが開いているとき
- ー 一定時間、キーを車両周辺に置いたままのとき（ドアを開閉すると、降車時オートロック機能が再度作動可能になります）
- ー エンジンがかかっているとき
- ー キーのスイッチで解錠したとき
- ー ドア開閉時にインテリジェントキーが車両から2m以内にならないとき

■ スリープモード

ドアにあるスイッチでの施錠・解錠、およびエンジンの始動を一時的に停止するモードです。

- インテリジェントキーの<ドア施錠スイッチ>を押したまま<ドア解錠スイッチ>を2回押します。キーの作動表示灯が、一定時間点灯します。作動表示灯が点灯したらすぐに<ドア施錠スイッチ>を離して再度押すと、作動表示灯が2回点滅しスリープモードになります。
- スリープモードを解除するときは、キーのいずれかのスイッチを押してください。

パーソナルアシスタント機能★

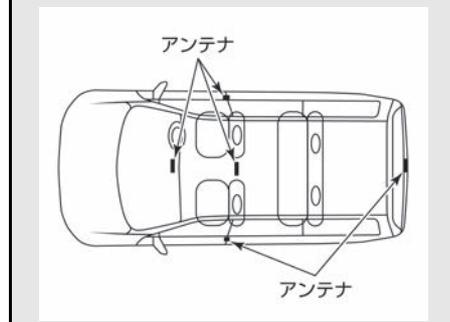
あらかじめユーザー情報を登録しておく、インテリジェントキーを携帯して車両へ乗り込んだとき、ユーザーを認識します。

パーソナルアシスタント機能★の設定方法

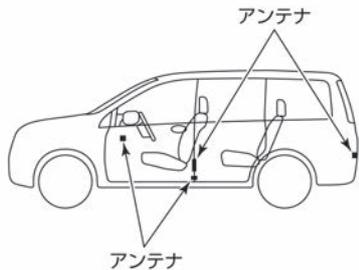
ユーザー情報の登録、設定については、別冊のNissanConnectインフォテインメントシステム取扱説明書をお読みください。

キー（インテリジェントキー）★に関する注意事項

⚠ 警告



警告



- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器 (ICD) を使用されている方は、アンテナから約22cm以下の範囲に装着部位を近づけない。

ドアおよびバックドア開閉時、ドアにあるスイッチ操作時、エンジン始動時などにキーの電波が植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器 (ICD) の作動に影響を与えるおそれがあります。

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器 (ICD) 以外の医療電気機器を使用されている方は、医療電気機器製造業者などへ影響を確認してから使用する。

キーの電波が医療電気機器の動作に影響を与える場合があります。

- 航空機内ではキーのスイッチを押さない。

万が一スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運航に支障をきたすおそれがあるため、バッグなどに収納するときは、荷物などでスイッチが押されないようにしてください。

アドバイス

- キーは運転者が必ず携帯してください。
- キーは、必ず内蔵キー (メカニカルキー) を内蔵した状態で携帯してください。
- キーはドアポケットに入れしないでください。ドアを閉めるときの衝撃により破損するおそれがあります。また、ドアポケット内に一緒に入っていた物がドアを閉めた衝撃で当たるなどして勝手にスイッチが入り、キーを車室内に封じ込めるおそれがあります。
- インストルメントパネル上面、ドアポケット付近、グローブボックス内、インストルメント席アッパーボックス内、フロア上では、キーが正常に作動しなかったり、車外から施錠されて、キーを車室内に封じ込めたりするおそれがあります。
- キーを紛失したときは、盗難などを防ぐため、ただちに日産販売会社にご相談ください。
- キーは微弱な電波を使用しています。次のような使用環境では機能に障害が起るため、ドアにあるスイッチやキーのスイッチが正常に作動しない場合があります。

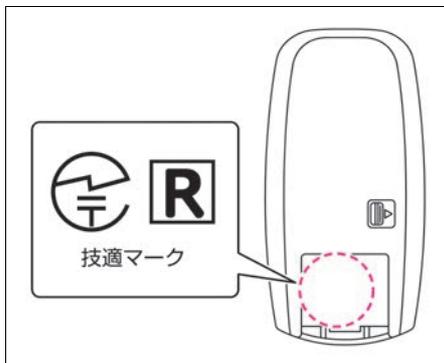
- 近くにテレビ塔や発電所、放送局など強い電波やノイズを発生する設備があるとき
- 無線機や携帯電話などの無線通信機器を一緒に携帯しているとき
- キーが金属製の物に接したり、覆われていたりしているとき
- 近くで電波式のリモコンスイッチを操作しているとき
- キーをパソコンなどの電化製品の近くに置いたとき
- コインパーキングに駐車したとき (車両検出用の電波の影響があるため)
- 近くで電波式侵入警報装置を使用しているとき
- 極端に気温が低いとき (電池の性能が低下するため)
- キーは電波法の認証に適合しています。次のことを必ずお守りください。
 - 電池を交換するとき以外は分解しない (分解、改造したものを使用することは法律で禁止されています)
 - 日本国内のみで使用する
- キーは車両との通信のために常時受信動作をしているため、常に電池を消耗しています。電池の寿命は使用状況により異なりますが約2年です。電池が切れた場合、新しい電池と交換してください。

🚗 アドバイス

🔑 キー（インテリジェントキー）★の電池交換 (P.316)

- キーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所では、作動範囲が狭くなったり、作動しなかったりすることがあります。
- キーは送信機を内蔵している精密機械です。故障を防止するため、次のことをお守りください。
 - 長時間高温になる場所に置かない
 - 分解しない
 - 無理に曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えたりしない
 - 水にぬらさない
 - 超音波洗浄器などにつけない
 - 磁気を帯びたキーホルダーなどを付けない
 - テレビ、オーディオなど、磁気を帯びた機器の近くに置かない
- 車両盗難防止のために、インテリジェントキーは車両から2m以上離して保管してください。
- インテリジェントキーの操作をしなくても、車両周辺にキーがあると電池の消耗が早くなります。電池の寿命を長くするためにも、車両周辺にキーを持ったまま長時間滞在しないことをおすすめします。

- 降車時オートロック機能で車両を施錠した場合、施錠されたことをアンサーバック機能 (🔑 P.77) で確認してください。アンサーバック機能が作動しない場合、正しく施錠できていません。



- キーの認証技適マークはキーの裏面で確認できます。
- キーのスイッチを押しても作動しないときは、電池の消耗または故障が考えられます。日産販売会社にご相談ください。
- 🔑 **キー（インテリジェントキー）★の電池交換 (P.316)**
- キーの電池が切れ、施錠・解錠ができなときは、内蔵キー（メカニカルキー）で施錠・解錠ができます。
- 🔑 **ドアが開かないときは (P.262)**
- 次のような場合は、作動しません。
 - エンジンが始動しているとき

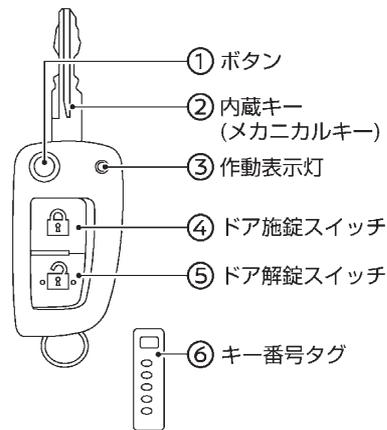
- ドアが完全に閉まっていない（半ドア）とき
- 車から離れすぎているとき
- キーの電池が切れているとき

🔑 キー（リモートコントロールエントリーシステム）★

キーは離れたところ（約1m）から全ドアの施錠・解錠ができます。

各部名称と機能

リモートコントロールエントリーシステムキー：2個



- ① **ボタン**
ボタンを押して、内蔵キー（メカニカルキー）を出します。元に戻すときは、ボタンを押してロックを解除してからキーを元の位置にカチッと音がするまで押し込みます。
- ② **内蔵キー（メカニカルキー）**
エンジンの始動時だけでなく、キーの電池が切れたときや、バッテリーがあがったときなどにドアの施錠・解錠ができます。
- ③ **作動表示灯**
スイッチを押すと点滅します。
- ④ **ドア施錠スイッチ**
スイッチを押すと、全ドアが施錠します。
- ⑤ **ドア解錠スイッチ**
スイッチを押すと、全ドアが解錠します。
- ⑥ **キー番号タグ**
キーを紛失した場合、キー番号から日産販売会社でスペアキーを作成できますので、大切に保管してください。

 **アドバイス**

- 内蔵キーに戻すときは、ボタンを押してから戻してください。無理に戻そうとすると、破損するおそれがあります。

 **知識**

- キーは2個ついています。

- リモコンは同じ車両で最大4個まで使うことができます。ご購入やご使用開始方法については、日産販売会社にご相談ください。
- 作動表示灯が点滅しない場合は、電池の消耗が考えられます。電池が切れた場合は、新しい電池と交換してください。

➡ キー（リモートコントロールエントリーシステム）★の電池交換
(P.317)

キー（リモートコントロールエントリーシステム）に関する機能について

アンサーバック機能

- ドアの施錠・解錠時に、作動確認のための非常点滅表示灯が作動します。（施錠時1回、解錠時2回）

キー連動室内照明システム

- ドアを解錠すると、室内照明が約15秒間点灯します。
詳しくは、室内灯 (➡ P.230) をお読みください。

オートロック機能

- 解錠スイッチを押してから約30秒以内にいずれかのドアを開けなかったとき、またはキースイッチにキーを差し込まなかったときは、盗難防止のため全ドアが施錠されます。
（施錠されるまでの間に、再度解錠スイッチを押すと、その時点から約30秒後に施錠されます。）

キー（リモートコントロールエントリーシステム）★に関する注意事項

 **警告**

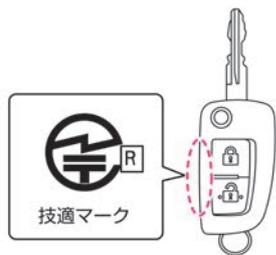
- **航空機内ではリモコンのスイッチを押さない。**
万一スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運航に支障をきたすおそれがあるため、バッグなどに収納するときは、荷物などでスイッチが押されないようにしてください。

 **アドバイス**

- 周囲の状況によっては、作動する距離が変わることがあります。確実に作動させるためには、車両から約1mまで近づいてください。
- 極端に気温が低いとき、電池の性能が低下するため、システムが作動しない場合があります。
- リモコンは精密電子機器です。故障を防止するため、次のことをお守りください。
 - 長時間高温になる場所に置かない
 - 無理に曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えたりしない
 - 水に濡らさない
- キーを紛失したときは、盗難などを防ぐため、ただちに日産販売会社にご相談ください。

🚗 アドバイス

- キーの認証技適マークはキーの側面で確認できます。

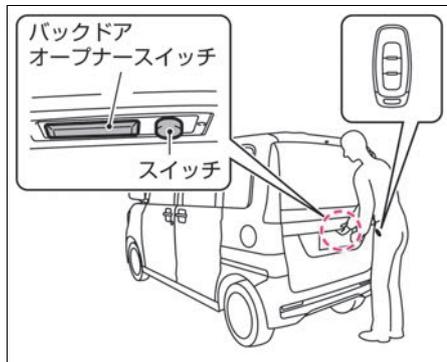
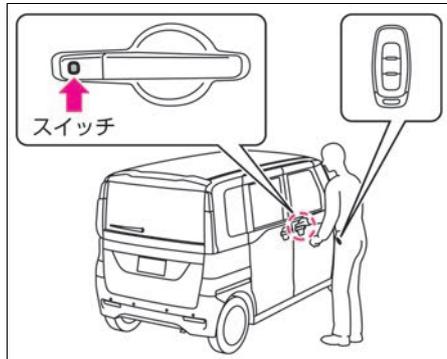


ドアの施錠と解錠

ドア

ドアにあるスイッチやキー（インテリジェントキー）のスイッチで施錠・解錠します。

ドアを施錠したあとは、作動確認のためブザーまたは非常点滅表示灯のアンサーバック機能で施錠されたことを確認してください。



ドアハンドルのスイッチでの施錠・解錠のしかた（インテリジェントキー付車）

- キーを携帯し、運転席、助手席ドアハンドルまたはバックドアにあるスイッチを押すと、すべてのドアが施錠・解錠します。
- キーが各スイッチから周囲80cm以内にあるときに作動します。
- 施錠・解錠したときは、ブザーおよび非常点滅表示灯が次のように作動します。（アンサーバック機能）

	ブザー音	非常点滅表示灯
施錠	ピッ	1回点滅
解錠	ピピッ	2回点滅

- 車両に近づきすぎている場合などは作動しないことがあります。
- 急にドアハンドルを操作すると、ドアハンドルが引かれていることにより、施錠できないことがあります。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「車両設定」⇒「ドアロック」⇒「keyエントリー」を選択すると、ドアにあるスイッチでの施錠・解錠機能のON・OFFを切り替えることができます。keyエントリー機能をOFFにすると、スライドドアの<ワンタッチスイッチ>による解錠機能および降車時オートロック機能もOFFになります。設定の詳細については、車両設定（➡P.62）をお読みください。
- 次のような場合は、作動しません。

- － エンジンが始動しているとき
- － ドアが完全に閉まっていない（半ドア）とき
- － キーが施錠・解錠の作動範囲内にないとき
- － キーの電池が切れているとき

■ オートロック機能

- 盗難防止のため、自動的に施錠する機能です。ドアにあるスイッチを押して解錠したあと、約30秒間ドアを開けないと再び全ドアが施錠されます。

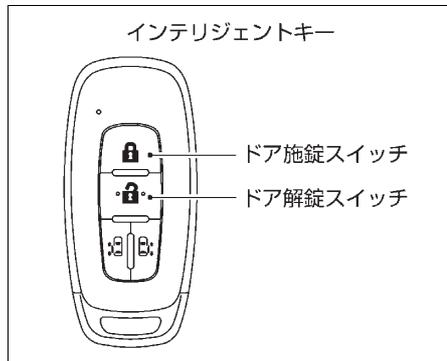
キーのスイッチでの施錠・解錠のしかた

- 全ドアを施錠するときは、ドア施錠スイッチ  を押します。
- 全ドアを解錠するときは、ドア解錠スイッチ  を押します。
- 作動範囲は、車両から約1mです。

ドアの施錠と解錠

インテリジェントキー付車

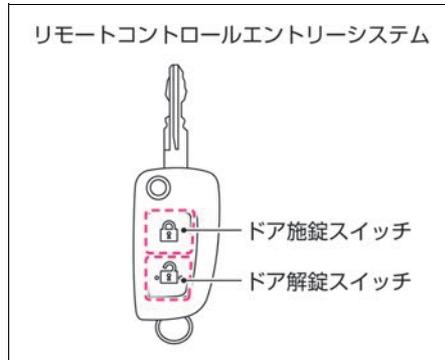
- 施錠・解錠をしたときは、ブザーおよび非常点滅表示灯が次のように作動します。



	ブザー音	非常点滅表示灯
施錠	ピッ	1回点滅
解錠	ピピッ	2回点滅

リモートコントロールエントリーシステム付車

- 施錠・解錠をしたときは、非常点滅表示灯が次のように作動します。



	非常点滅表示灯
施錠	1回点滅
解錠	2回点滅

知識

- キーのスイッチを押しても作動しないときは、電池の消耗または故障が考えられます。日産販売会社にご相談ください。
 - ➡ **キー（インテリジェントキー）★の電池交換** (P.316)
 - ➡ **キー（リモートコントロールエントリーシステム）★の電池交換** (P.317)

- キーの電池が切れ、施錠・解錠ができないときは、内蔵キー（メカニカルキー）で施錠・解錠ができます。

➡ **ドアが開かないときは** (P.262)

- 次のような場合は、キーのスイッチを押しても作動しません。
 - － 電源ポジションがONのとき（インテリジェントキー付車）
 - － ドアが完全に閉まっていない（半ドア）とき（解錠のみできます）
 - － 車から離れすぎているとき
 - － キーの電池が切れているとき

オートロック機能

- 盗難防止のため、自動的に施錠する機能です。ドア解錠スイッチを押して解錠したときは、約30秒間ドアを開けないと再び全ドアが施錠されません。

キーを使用しない施錠のしかた

■ 助手席ドア

- ロックノブを押し込み、そのままドアを閉めます。

■ スライドドア

- ロックノブを車両前方へ動かし、そのままドアを閉めます。

ドアの施錠と解錠

■ キー封じ込み防止機能★

- インテリジェントキーを車室内に置き忘れたまま施錠することを防ぐ機能です。ドアを閉めたときや施錠しようとしたときに、キーが車室内に残っているとブザーでお知らせし、全ドアを自動的に解錠します。

🚗 アドバイス

- キー封じ込み防止のため、キーを携帯していることを確認してから施錠してください。

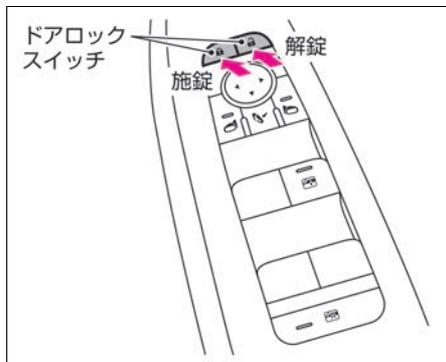
ドアに関する注意事項

⚠ 警告

- **ドアの開閉はお子さまにはさせない。**
手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- **ドアを開けるときは、周囲の安全を確認する。**
後続車や通行人にぶつかるおそれがあります。風が強いときは特に注意して開けてください。
- **走行する前にドアを確実に閉める。**
走行中に突然ドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

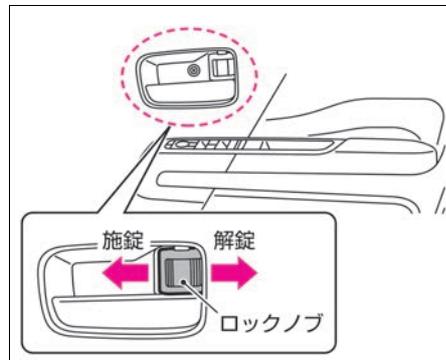
フロントドア

ドアロックスイッチでの施錠・解錠のしかた



- <ドアロックスイッチ>を押すと、全ドアが施錠または解錠します。
- 施錠するときは、施錠側  の<ドアロックスイッチ>を押します。
- 解錠するときは、解錠側  の<ドアロックスイッチ>を押します。
- ドアが開いているときは、<ドアロックスイッチ>での施錠はできません。

ロックノブでの施錠・解錠のしかた

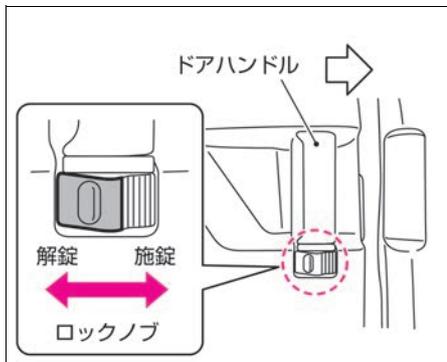


- 運転席のロックノブで全ドアが施錠または解錠します。
- 運転席ドアは、施錠したままでもドアハンドルを引くとドアが開けられます。そのとき、全ドアが同時に解錠します。
- 施錠するときは、施錠するドアのロックノブを施錠側に押し込みます。
- 解錠するときは、解錠するドアのロックノブを解錠側に引きます。
- 運転席ドアが開いているときは、運転席ロックノブで施錠できません。

ドアの施錠と解錠

スライドドア

ロックノブでの施錠・解錠のしかた

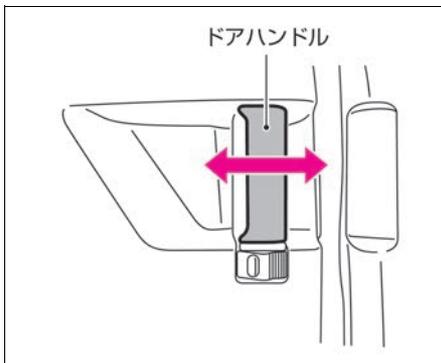
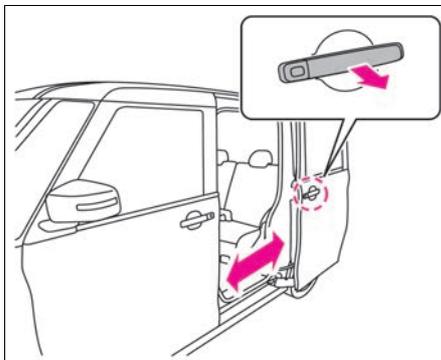


- 施錠するときは、ロックノブを車両前方に動かします。
- 解錠するときは、ロックノブを車両後方に動かします。

キーを使用しない施錠のしかた

- スライドドアのロックノブを車両前方に動かし、そのままスライドドアを閉めます。
- キー封じ込み防止のため、キーを携帯していることを確認してから施錠してください。

スライドドアの開閉のしかた



車外から開閉するには

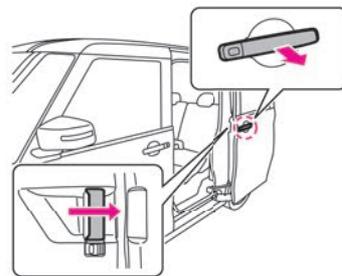
- ドアハンドルを引きながら、スライドドアを開閉します。

車室内から開閉するには

- 動かしたい方向にドアハンドルを操作して、スライドドアを開閉します。

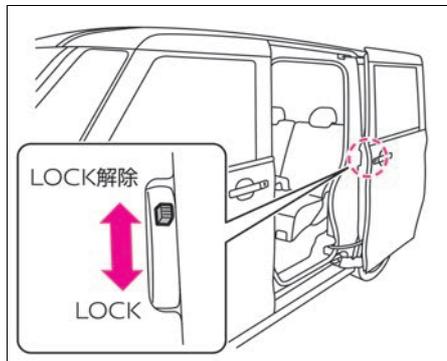
知識

- スライドドアを全開すると全開位置でロックします。ロックしているときに、外側のドアハンドルを斜めに引いてもロックが外れず閉められません。ドアハンドルはスライドドアに対して垂直に引いてください。また、ロックは内側のドアハンドルを操作しても外れます。



ドアの施錠と解錠

チャイルドセーフティドアロック



後席に乗せたお子さまなどが、誤ってスライドドアを開けないようにロックできます。

■ ロックするには

- 左右のスライドドアにあるロックレバーをLOCK位置にしてスライドドアを閉めます。

■ ドアを開けるには

- チャイルドセーフティドアロックがかかっているときは、車外のドアハンドルを引いて開けます。
- 万一、車室内から開ける場合は、窓ガラスを下げ、手を外に出して車外のドアハンドルを引きます。

オートクローザーについて

⚠ 注意

- スライドドアを閉めるときは、スライドドアや車体側に手を触れていたり、乗降用グリップを握ったりしない。また、スライドドアのふちやその周辺に手をかけない。

手を挟まれてケガをするおそれがあります。

🚗 アドバイス

- ドアハンドルを開方向に引いたままスライドドアを閉めると、オートクローザーは作動しません。
- バッテリーが弱っているとオートクローザーが作動しないことがあります。その場合は、手で強く閉めるかエンジンを始動してから閉め直してください。
- オートクローザーの故障によりスライドドアが閉まりきらないときは、スライドドアを一旦開け、再度手で閉めてください。
- オートクローザーの故障によりスライドドアが開かなくなった場合は、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

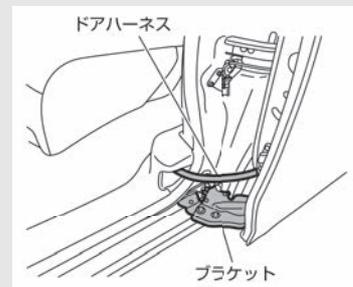
オートクローザーは、自動的にスライドドアを全閉させる機能です。

閉めるとき、半ドア状態まで閉めると自動的に全閉します。

スライドドアに関する注意事項

⚠ 注意

- スライドドアを開閉するとき、次のことを必ず守る。
 - ー 必ずドアハンドルを持って開閉してください。
 - ー スライドドアを開けるときは、ロックするまで確実に開けてください。
 - ー スライドドアを強く開けないでください。



ドアの施錠と解錠

⚠ 注意

- ドアハーネスやブラケットに手や足などをかけないでください。



- スライドドアを閉めるときは、ステップの上に物が無いことを確認してください。

🚗 アドバイス

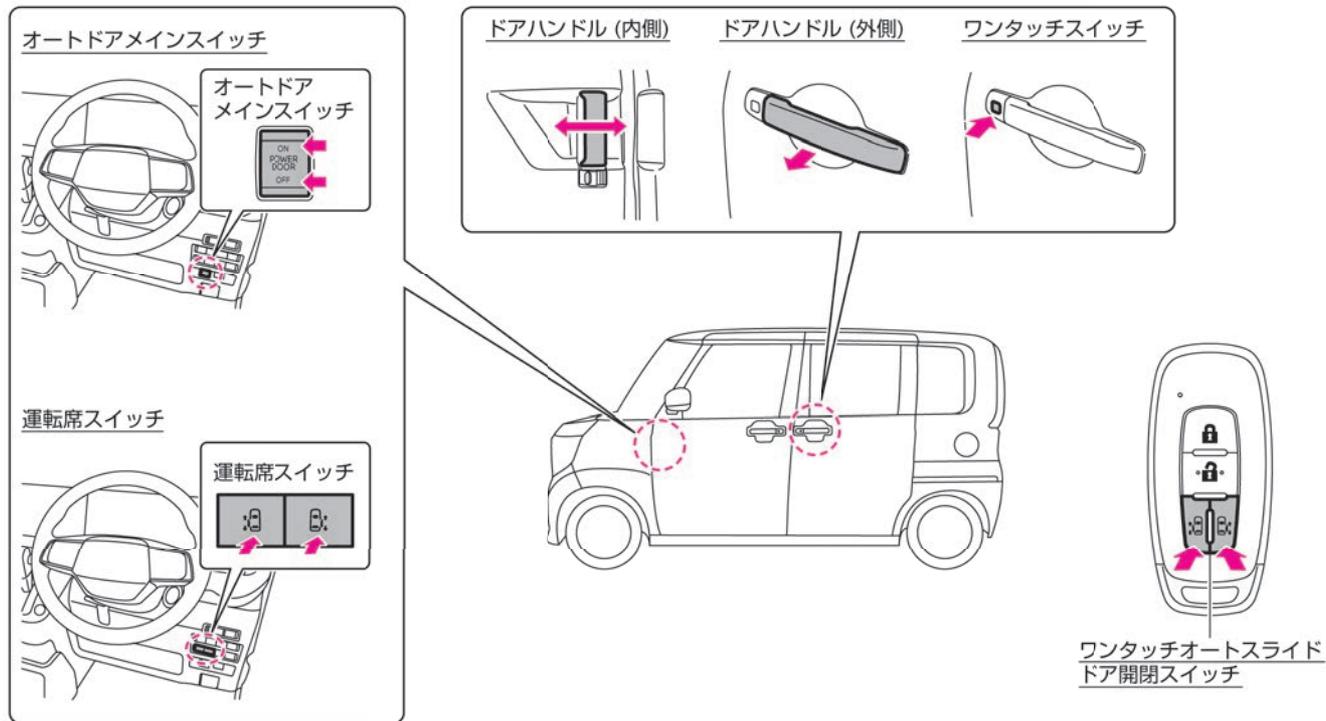
- 助手席側のスライドドアが全開しているとき、燃料補給口を開けるとスライドドアと干渉するので開けないでください。
- 燃料補給口を開けているときに助手席側のスライドドアを開けると、リッドとの干渉を防ぐために途中までしか開きません。

オートスライドドア★

オートスライドドアは、スライドドアを自動的に開閉することができます。

オートスライドドアについて

オートスライドドアは、<オートドアメインスイッチ>がONのとき、次の方法でスライドドアを自動的に開閉できます。



ドアの施錠と解錠

運転席スイッチ：

(➡ P.93)

ドアハンドルによる開閉：

(➡ P.92)

ワンタッチスイッチ：

(➡ P.94)

ワンタッチオートスライドドア開閉スイッチ：

(➡ P.93)

また、オートスライドドアには、次の機能があります。

挟み込み防止機構：

オート作動中に手を挟むなど、挟み込みや引っかかりを検知すると、安全のため反対方向に少し作動して停止します。(➡ P.95)

オートクローザー：

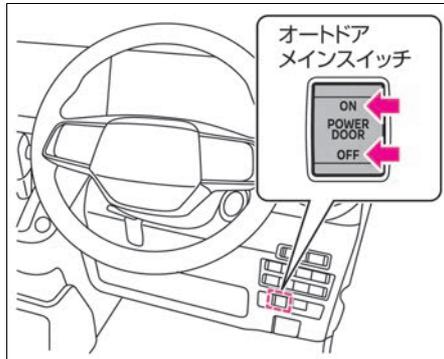
スライドドアを半ドア状態まで閉めると、自動的に全閉します。(➡ P.87)

ドアの施錠と解錠

知識

- <オートドアメインスイッチ>がONのとき、スライドドアを開けたまま車を動かすとブザーが鳴ります。(停車またはスライドドアを閉めるとブザーは止まります)
- オート作動の開始時とオート閉作動中は、ブザーが鳴ります。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで [設定] ⇒ [車両設定] ⇒ [オートスライドドア] ⇒ [閉作動中ブザー] を選択すると、オート閉作動中のブザーのON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については車両設定 (P.62) をお読みください。
- 燃料補給口が開いているときは、リッドとの干渉を防ぐため助手席側スライドドアのオートスライド (自動開閉) 機能が作動しません。

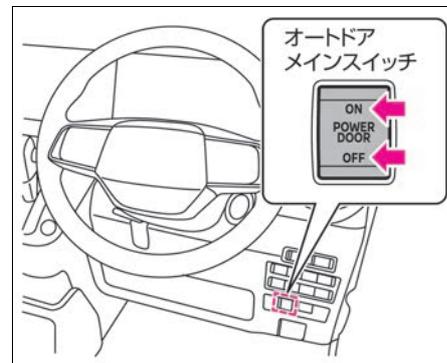
オートスライドドアの作動について



- オート作動は、<オートドアメインスイッチ>が<ON>、車速が約3km/h以下のときに作動させることができます。ただし、電源ポジションがONのときは、次の条件のうちいずれか1つ以上を満たす必要があります。
 - セレクトレバーがPに入っている
 - フットブレーキを踏んでいる
 - パーキングブレーキをかけている条件を満たしていない状態で作動させようとすると、ブザーが鳴り作動しません。
- オートブレーキホールド機能★だけで停車しているときは作動しません。オートブレーキホールドについては、(P.132) をお読みください。
- オート作動中に作動可能条件が満たされなくなると、作動が停止しオート作動しなくなることがあります。その場合、作動可能条件を再度満たすとオート作動させることができます。

- バッテリーが弱っている (電圧が11V未満) ときは作動しません。

オートスライドドアの使いかた



- <オートドアメインスイッチ>で自動開閉機能のON・OFFを切り替えることができます。
- スwitchの<ON>側を押すと、自動開閉機能はすべてONになります。
 - スwitchの<OFF>側を押すと、自動開閉機能のすべての機能がOFFになります。
 - <オートドアメインスイッチ>をOFFにしてもオートクローザーは作動します。
 - オート作動中に<オートドアメインスイッチ>をOFFにすると、スライドドアが途中で止まります。

ドアの施錠と解錠

■ オートドアメインスイッチの作動

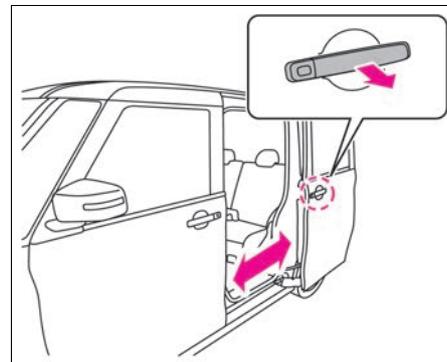
スイッチ位置	ドアハンドルによる開閉操作	運転席スイッチによる開閉操作	ワンタッチオートスライドドア開閉スイッチによる開閉操作	ワンタッチスイッチによる開閉操作
ON	作動	作動	作動※	作動
OFF	非作動	非作動	非作動	非作動

※：エンジンが始動しているときは作動しません。

ドアハンドルによる開閉のしかた

オートスライドドアは、通常のスライドドアと同様にドアハンドルを使用しても開閉できます。

■ 車外のドアハンドル

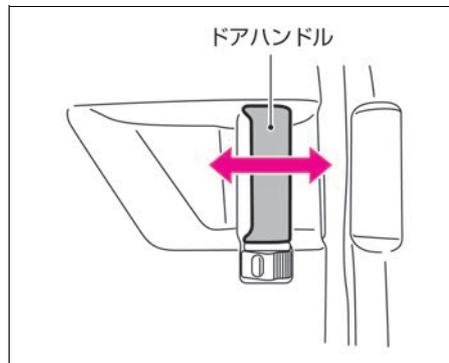


スライドドアを解錠してから操作します。

- スライドドア全閉時にドアハンドルを引くと、自動的に開きます。
- スライドドア全開時にドアハンドルを引くと、自動的に閉まります。
- オート作動中にドアハンドルを引くと、その位置でオート作動を停止します。再度、ドアハンドルを引くと反対の方向に動き、全閉または全開して停止します。

ドアの施錠と解錠

■ 車室内のドアハンドル



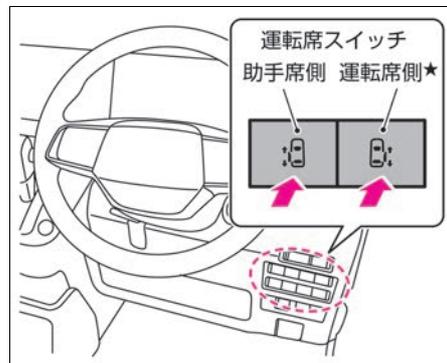
スライドドアを解錠してから操作します。

- スライドドア全閉時にドアハンドルを車両後方側へ操作すると、自動的に開きます。
- スライドドア全開時にドアハンドルを車両前方側へ操作すると、自動的に閉まります。
- オート作動中にドアハンドルを開または閉方向に操作すると、その位置でオート作動を停止します。再度、ドアハンドルを任意に操作した方向に、全閉または全開して停止します。
- チャイルドセーフティドアロックをLOCK側に行っているときは、車室内のドアハンドルでは開けることができません。
➡ チャイルドセーフティドアロック (P.87)

運転席スイッチによる開閉のしかた

⚠ 注意

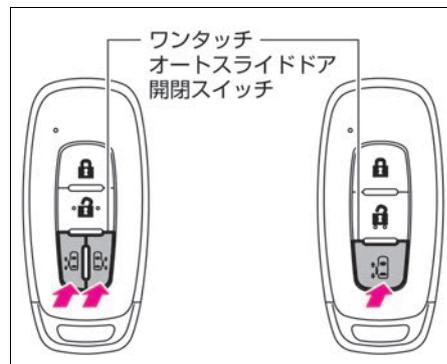
- 開閉操作をするときは、スライドドア周囲の安全を確認してください。挟まれたり、スライドドアに当たりケガをするおそれがあります。



スライドドアを解錠してから操作します。

- スライドドア全閉時にスイッチを約1秒間押しと、自動的に開きます。
- スライドドア全開時にスイッチを約1秒間押しと、自動的に閉まります。
- オート作動中にスイッチを押すと、その位置でオート作動を停止します。再度、スイッチを約1秒間押しと作動していた方向と反対の方向に動き、全閉または全開して停止します。

ワンタッチオートスライドドア開閉スイッチによる開閉のしかた



スライドドアを解錠してから操作します。

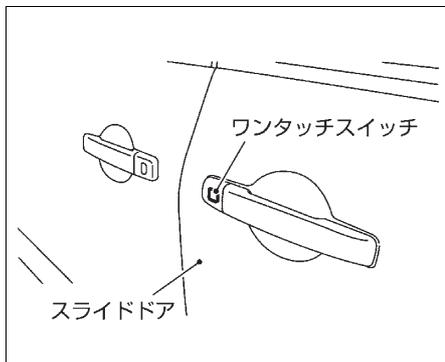
- スライドドア全閉時にスイッチを約1秒間押しと、自動的に開きます。
- スライドドア全開時にスイッチを約1秒間押しと、自動的に閉まります。
- オート作動中にスイッチを押すと、その位置でオート作動を停止します。再度、スイッチを約1秒間押しと作動していた方向と反対の方向に動き、全開または全閉して停止します。
- エンジンが始動しているときは、<ワンタッチオートスライドドア開閉スイッチ>での開閉はできません。

ドアの施錠と解錠

ワンタッチスイッチによる開閉のしかた

アドバイス

- <ワンタッチスイッチ>でスライドドアを開めただけでは、施錠状態になりません。
車を離れるときは、必ず施錠してください。



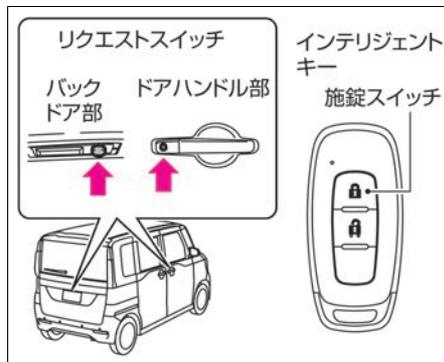
- スイッチを押すだけで、スライドドアを開閉することができます。
- 施錠時でもインテリジェントキーを携帯していれば、スイッチを押すだけでスライドドアを開けることができます。このとき全ドアが同時に解錠されます。キーがスイッチから周囲20～80cm以内にあるときに作動します。
- オート作動中に<ワンタッチスイッチ>を押すと、その状態で停止します。再度、<ワンタッチスイッチ>を押すと作動し

ていた方向と反対の方向に動き、全開または全閉して停止します。

- Keyエントリー機能をOFFにすると、スライドドアの<ワンタッチスイッチ>による解錠機能もOFFになります。
車両設定 (P.62)

予約ロック機能

- スライドドアが閉まると同時に全ドアを施錠することができます。



1. スライドドア全開時にインテリジェントキーを携帯して、ドアハンドルかバックドアのリクエストスイッチ、またはインテリジェントキーの施錠スイッチを押して、予約ロック機能をセットします。(ブザーが鳴ります)
 2. 次の手順でスライドドアを閉めます。
- <ワンタッチスイッチ>を押す
- インテリジェントキーの<ワンタッチ>オートスライドドア開閉スイッチを約1秒押す
- ドアハンドルを引く
 3. スライドドアが自動的に閉まり、全閉すると全ドアが施錠され、ブザーが鳴ります。
- 予約ロック機能はインテリジェントキーが車両から20～80cmの範囲内にあるとき、作動させることができます。
 - 電源ポジションがONのときは、施錠操作後OFFになります。
 - 操作するスライドドア以外のドアが開いているときは、ブザーが鳴り予約ロック機能はONにできません。
 - 予約ロック機能で車両を施錠したときは、施錠されたことをアンサーバック機能 (P.77) で確認してください。アンサーバック機能が作動しない場合、正しく施錠できていません。
 - セット後に予約ロック機能をOFFにするときは、インテリジェントキーを携帯してもう一度ドアハンドルかバックドアのリクエストスイッチを押すか、インテリジェントキーの解錠スイッチを押してください。また、操作するスライドドア以外のドアを開けても予約ロック機能はOFFになります。(ブザーが鳴ります)

ドアの施錠と解錠

- 予約ロック機能がONの状態ですライドドアがオート作動中に次の操作をすると、予約ロック機能はOFFになります。
 - <ワンタッチスイッチ>を押す
 - インテリジェントキーの<ワンタッチオートスライドドア開閉スイッチ>を約1秒押す
 - ドアハンドルを引くそのままスライドドアを閉めても施錠されないため、スライドドア全閉後に施錠してください。

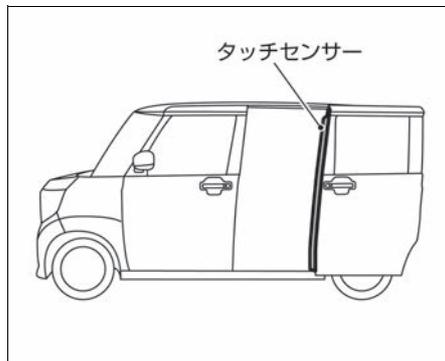
正常に作動しないとき

スライドドアがオートで動かないときは、次の方法で対処してください。

- 連続作動後に動かないときは、スライドドアを約5分間以上作動させずに放置したあと、作動させます。
- バッテリーが弱っている（電圧が11V未満）ときは、スライドドアがオート開閉できません。その場合は、エンジンを始動させてから作動させます。
- <ワンタッチスイッチ>を使うときは、インテリジェントキーが<ワンタッチスイッチ>から20~80cm以内にあるか確認してください。
- スライドドアが全閉になっていることを確認してください。
- <オートドアメインスイッチ>がONになっていることを確認してください。

- Keyエントリー機能をOFFにすると、スライドドアの<ワンタッチスイッチ>による解錠機能もOFFになります。
 - ➡ ドアハンドルのスイッチでの施錠・解錠のしかた（インテリジェントキー付車）（P.83）

挟み込み防止機構



- スライドドアのオート作動中に物や人が挟み込まれたり、引っかかるような動きを感知すると、ドアが作動方向と反対の方向に少し動いたあとに停止します。
- スライドドアがオート作動中にスライドドアのタッチセンサーに触れると、ドアが作動方向と反対の方向に少し動いたあとに停止します。

オートスライドドアに関する注意事項

⚠ 注意

- 確実に停車している状態で開閉操作をする。
- 開閉操作をするときは、スライドドア周囲の安全を十分確認する。
周囲の人の身体がスライドドアや車体側に触れたままオート作動させると、手や腕などを挟まれたり、頭や腕を引き込まれて思わぬケガをするおそれがあります。
- 車が大きく傾いている状態ではオート作動をしない。
- オート作動中にスライドドアを押したり引いたりしない。
反転して挟まれたり、スライドドアに当たりケガをしたりするおそれがあります。
- スライドドアレール部には手を入れない。
レール部のケーブルに触れると、スライドドアがオート作動するおそれがあります。
- バッテリーを接続していないときは、スライドドアをゆっくり開閉する。

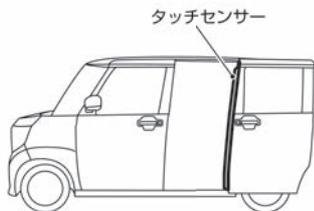
🚗 アドバイス

- エンジン停止時に何回も作動させないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。

ドアの施錠と解錠

アドバイス

- オート作動中にエンジンを始動させないでください。正常に作動しなくなることがあります。
- 車を発進させるときは、スライドドアが全閉していることを確認してください。
- 次の場合は、<オートドアメインスイッチ>をOFFにしてください。
 - スライドドアを長時間開いたままにすると
 - 洗車（ワックスがけ）や整備を行うとき
 - 手動で使用するとき
- 全開時には、車外または車室内のドアハンドルに不用意に手を掛けたり、<ワンタッチスイッチ>に触れないでください。ドアハンドルまたはスイッチを操作すると自動でドアが閉まります。



- スライドドア前端部のタッチセンサーを傷つけないようにしてください。センサーが切断されると、オートスライド機能は作動しなくなります。
- バッテリーあがりやバッテリーの脱着を行ったあと、スライドドアが開いている状態で再びバッテリーをつないだときは、必ず一旦手動でドアを全閉してからオート作動を行ってください。全閉位置以外からは、オートスライドドア機能がはたらきません。
- バッテリーを外しているときは、勢いよくスライドドアを全開したり全閉したりしないでください。
- オートスライドドアの故障によりスライドドアが正常に作動しなくなった場合は、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

バックドア

バックドアに関する注意事項

警告

- バックドアの開閉はお子さまにはさせない。
手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- バックドアを開けるときは、周囲の安全を確認する。
後続車や通行人にぶつかるおそれがあります。風が強いときは特に注意して開けてください。
- 走行する前にバックドアを確実に閉める。
走行中に突然バックドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ラゲッジルーム（荷室）に人を乗せて走行しない。
急ブレーキをかけたときなど、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 走行前にバックドアが確実に閉まっていることを確認する。

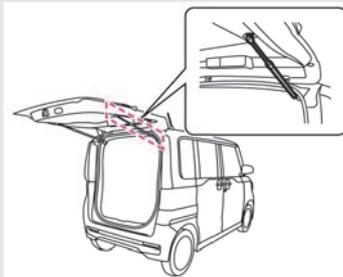
バックドアを開けたまま走行すると、車室内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。一酸化炭素を吸い込むと、意識が薄れて事故につながるおそれがあるほか、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。

ドアの施錠と解錠

⚠ 注意

- バックドアや車体側に手を触れたままバックドアを閉めない。
手を挟まれてケガをするおそれがあります。
- バックドアを閉めるときは、バックドアのふちやその周辺に手をかけない。
手を挟まれてケガをするおそれがあります。必ず外から押して閉めてください。
- バックドアを開ける前に、バックドアに付着した雪や氷、ゴミなどの重量物を取り除く。
重量物が付いたままバックドアを開けると、重みで突然閉まるおそれがあります。
- バックドアを開けるときは、必ず全開にする。
途中で止めると突然閉まるおそれがあります。
- 風が強いときにバックドアを開ける場合は特に注意する。
風にあおられ、急に閉まる場合があります。
- バックドアを閉めるときは、手などを挟まないように注意する。

バックドアガスステーについて



- バックドアのガスステーは、バックドアの重量を支えるために取り付けられています。ガスステーの損傷や作動不良を防ぐため、次のことを守る。
 - ガスステーに手やひもなどをかけたり、横方向に力をかけたりしない
 - ビニール片、ステッカー、接着剤などの異物をロッド部に付着させない
- ガスステーを持って、バックドアを閉めたり、ぶら下がったりしない。
手や腕を挟んだりして思わぬケガをするおそれがあります。

バックドアの開けかた

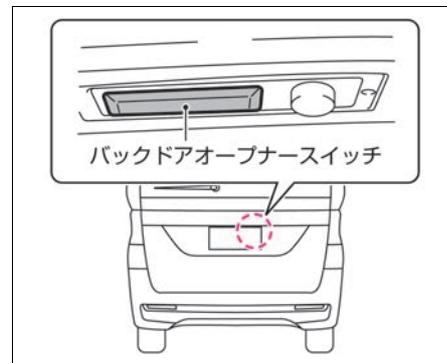
インテリジェントキー付車

- 解錠されているときは、バックドアオープナースイッチを押し、バックドアを持ち上げます。

- 施錠されているときは、キーを携帯してバックドアオープナースイッチを押し、バックドアを持ち上げます。（ドアも同時に解錠します。）

リモートコントロールエントリーシステム付車

- 解錠後、バックドアオープナースイッチを押し、バックドアを持ち上げます。



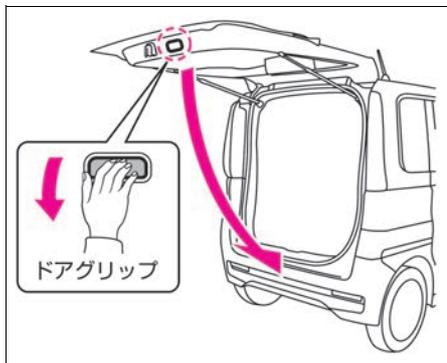
🚗 アドバイス

- バックドアオープナースイッチを押したまま、リモコンでドアを施錠・解錠しないでください。故障の原因になります。
- 手を添えないと全開にならない場合は、ガスステーの保持力が低下しているおそれがあります。お近くの日産販売会社にて、早めの点検を受けてください。

ドアの施錠と解錠

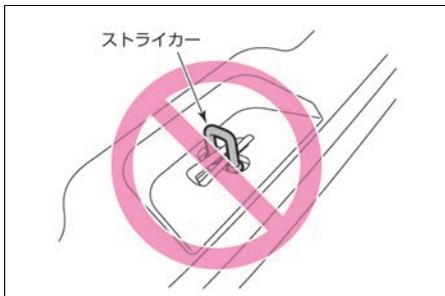
バックドアの閉めかた

- ドアグリップに手を掛け、バックドアを降ろし確実にロックするまで押し付けます。



🚗 アドバイス

- バックドアを閉めるときは、ストライカーに異物を挟まないようにしてください。ストライカーやバックドアのロックが破損し、バックドアが閉まらなくなるおそれがあります。



後席リマインダー

後席リマインダーは、後席への人や荷物の置き去りを防ぐために、運転者が降車する前にお知らせする機能です。

後席リマインダーについて

- スライドドアを開閉してから15分以内に車両を発進させると、走行後にキースイッチ（電源ポジション）をOFFにしたとき、ブザーとともにアドバンスドドライブアシストディスプレイにメッセージが表示されます。（👉P.291）
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで [設定] ⇒ [車両設定] ⇒ [後席リマインダー] を選択すると、後席リマインダーのON・OFFを切り替えることができます。（工場出荷時はONに設定されています。）
設定の詳細については、車両設定（👉P.62）をお読みください。

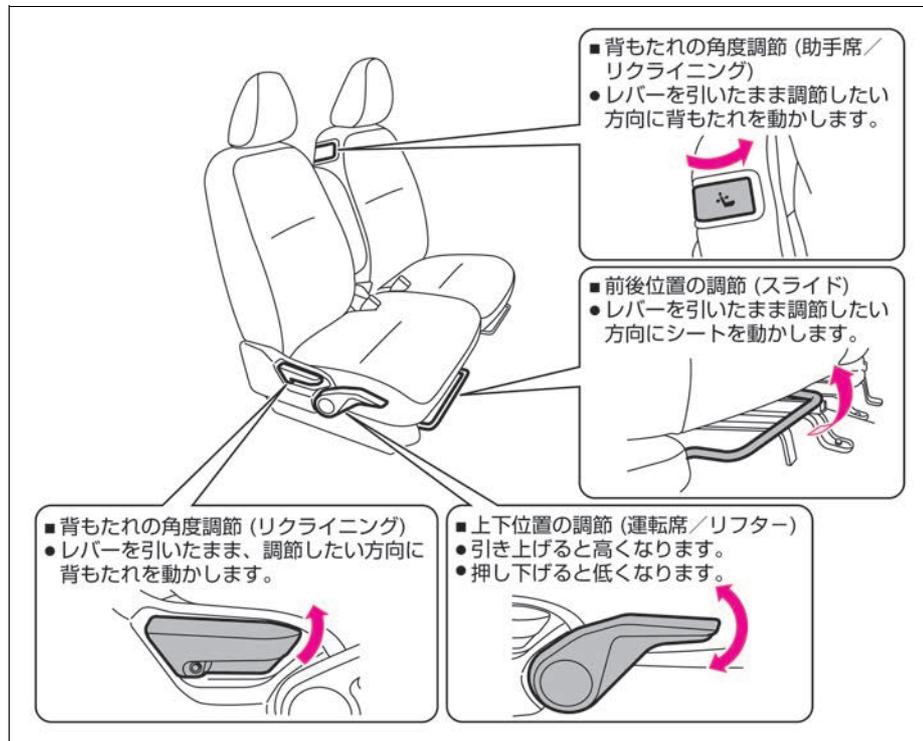
📖 知識

- 後席リマインダーは、スライドドアの開閉状況に応じ、後席に人や荷物を置き去りにする可能性がある場合にお知らせする機能なので、後席に人や荷物を乗せていなくても作動する場合があります。
- 次の例のような状況では、後席リマインダーが作動しません。
 - 前席ドアのみを開閉し、車内で後席に荷物などを置いた場合
 - 走行後、キースイッチ（電源ポジション）をOFFにしたあと、後席に人や荷物を乗せた場合
 - スライドドアの開閉後に車両が走行しなかった場合

シート・ハンドルの調節

前席シート

シートの調節のしかた



⚠ 警告

- シートは必ず走行前に調節する。
走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを調節したあとは、確実に固定されたことを確認する。
固定されていないと突然運転姿勢が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 背もたれを必要以上に倒したまま走行しない。
シートベルトが効果を十分に発揮せず、衝突時などに重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 背もたれと背中の中にクッションなどを入れない。
運転姿勢が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- シートを調節するときは、動いている部分に手や足などを近づけない。
挟まれてケガをするおそれがあります。
- 背もたれの角度を調節するときは、背もたれを支えながら調節する。
顔や身体に当たり、思わぬケガをするおそれがあります。
- シートの下に手を入れるときは注意する。

シート・ハンドルの調節

⚠ 注意

車室内を清掃するときやシートの下に落としたものを拾うときなどは、シートレールやシートフレームに当たり、ケガをするおそれがあります。

🚗 アドバイス

- シートを操作するときは、USB電源ソケット★にUSB端子がささっていないことを確認してください。

USB電源ソケットやモバイル機器が破損するおそれがあります。

👉 USB電源ソケットの使いかた
(P.247)

- 助手席にお子さまや小柄な方を乗せたり、クッションなどを使用したりすると、シートベルトリマイnderが正常に作動しないおそれがあります。

シートベルトリマイnder
(👉 P.272)

ヘッドレストの調節のしかた

⚠ 警告

- ヘッドレストを外したまま走行しない。

万一のとき、頭部への衝撃を防ぐことができなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

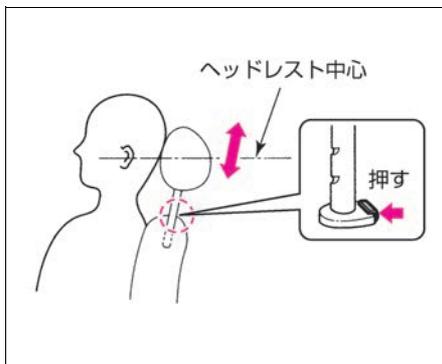
⚠ 注意

- ヘッドレストを取り付けるときは、前後の向きを間違えない。

万一のとき、ヘッドレストが効果を十分に発揮せず、思わぬケガをするおそれがあります。

- ヘッドレストを取り付けたあとは、ヘッドレストを持ち上げ、抜け出さないことを確認する。

万一のとき、ヘッドレストが効果を十分に発揮せず、思わぬケガをするおそれがあります。



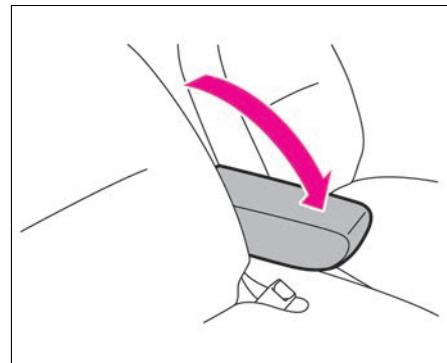
ヘッドレストの中心が、耳の高さになる位置に調節します。

- 高くするときは、ヘッドレストを引き上げます。
- 低くするときは、ボタンを押しながらヘッドレストを下げます。

■ ヘッドレストの外しかた、付けかた

- 取り外すときは、ボタンを押しながらヘッドレストを引き上げます。
- 取り付けるときは、ボタンを押しながらヘッドレストを差し込みます。

アームレストの使いかた

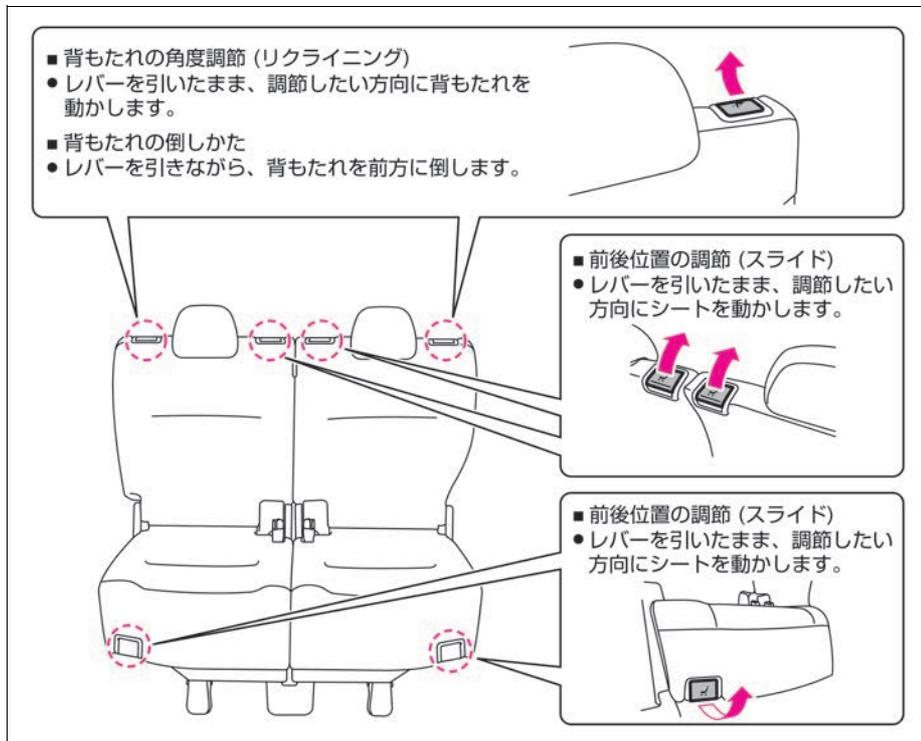


- 使うときはアームレストを前に倒します。格納するときは引き上げます。

シート・ハンドルの調節

後席シート

シートの調節のしかた



⚠ 警告

- シートは必ず走行前に調節する。
走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを調節したあとは、確実に固定されたことを確認する。
固定されていないと、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 背もたれを必要以上に倒したまま走行しない。
シートベルトが効果を十分に発揮せず、衝突時などに重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 注意

- シートを調節するときは、動いている部分に手や足などを近づけない。
挟まれてケガをするおそれがあります。
- 背もたれの角度を調節するときは、背もたれを支えながら調節する。
顔や身体に当たり、思わぬケガをするおそれがあります。
- シートの下に手を入れるときは注意する。
車室内を清掃するときやシートの下に落としたものを拾うときなどは、シートレールやシートフレームに当たり、ケガをするおそれがあります。

- 約15km/h以上で走行中、後席の乗員が着用しているシートベルトを外すと、後

シート・ハンドルの調節

席シートベルトリマインダー

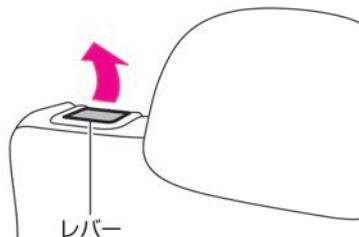
(➡P.272) が作動します。後席の乗員がシートベルトを着用していない状態で走行すると(約15km/h以上)、後席シートベルトリマインダーが作動します。

シートの折りたたみかた

1. シートベルトをクリップで留めます。



2. 折りたたみたいシートの背もたれの角度調節レバーを引きながら、背もたれを前に倒します。



3. 元に戻すときは、背もたれを起こし、手で後方に押し付けてロックします。



警告

- シートは必ず固定する位置で使用する。

注意

- シートを折りたたんだとき、折りたたんだ背もたれの上に乗らない。

シートを損傷したり、転んだりして思わぬケガをするおそれがあります。

- 背もたれを起こすときは、背もたれを手で押さえ、ゆっくり戻す。

急に戻すと顔や身体などに当たり、思わぬケガをするおそれがあります。

- 背もたれを起こすときは、シートベルトを背もたれで挟み込んでいないことを確認する。

挟み込まれていると、シートベルトが正しく着用できません。

アドバイス

- 物や飲物などを置いたままシートを折りたたむと、物を壊したり車室内を汚すおそれがあります。シートを倒すときは十分に注意してください。

- ラゲッジルーム(荷室)に荷物を積むときは、シートベルトに傷をつけないように注意してください。

- 前席シートに当たりシートが折りたためないときは、ヘッドレストを格納するか、前席シートの前後位置を調節してください。

ヘッドレストの使いかた

- ヘッドレストは、格納位置からロックする位置まで上げた状態で使います。

シート・ハンドルの調節

- 上げるときは、そのままヘッドレストを引き上げます。
- 下げるときは、ボタンを押しながら下げます。

アドバイス

- 後席シートのヘッドレストは、格納状態では機能が十分に発揮できません。ロックする位置まで上げ、確実に固定されていることを確認してください。

■ ヘッドレストの外しかた、付けかた

- 脱着のしかたは、前席シートと同じです。
② ヘッドレストの調節のしかた
(P.100)

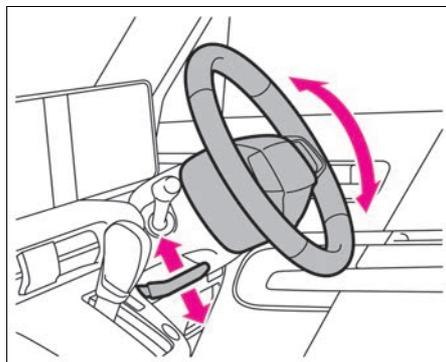
ハンドル

適切な運転姿勢で無理なくハンドルを握れるように、ハンドル位置を調節します。

ハンドル位置の調節のしかた

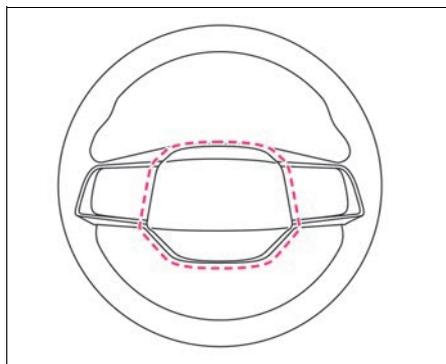
警告

- ハンドルの調節は、必ず走行前に行う。
走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 調節したあとは、確実に固定されたことを確認する。
ハンドル位置が固定されていないと突然運転姿勢が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



- ハンドル左下のレバーを押し下げ、ハンドルを上下に動かします。
- 適切な位置で止め、レバーを引き上げて固定します。

ホーンの鳴らしかた



ホーンを鳴らすには、ハンドル中央のパッド面を押します。

ミラーの調節

ルームミラー★

ルームミラーは、後方が十分確認できるように、正しい運転姿勢で座ってから調節します。

ルームミラーの調節のしかた

⚠ 警告

- ミラーの調節は、必ず走行前に行う。
走行中にミラーを調節すると、前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

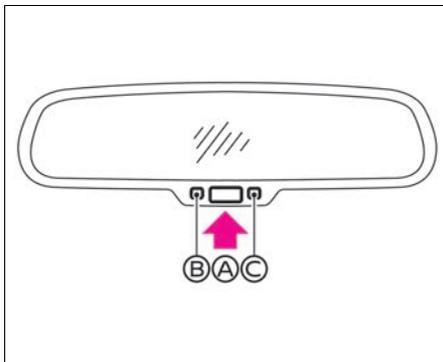
- ミラー本体を持ち、角度を調節して適切な位置に合わせます。

ディスプレイ付自動防眩式ルームミラー★

ディスプレイ付自動防眩式ルームミラーは、後続車両のヘッドランプの明るさに応じて反射率を調整します。電源ポジションをONにすると作動します。

ディスプレイ付自動防眩式ルームミラーの使いかた

- システムが作動状態になるとインジケータ④が点灯し、後続車両のヘッドランプによる眩しさを軽減します。



- スイッチ④を約3秒間押しすと、ルームミラーは標準作動状態になり、インジケータが消灯します。スイッチを再び約3秒間押しすと、自動防眩システムが作動します。
- スイッチ④を押すか、セレクトレバーをRに入れると、モニターには車両周辺が映し出されます。
- ➔ インテリジェントアラウンドビューモニター（移動物検知機能付）★ (P.212)

⚠ 警告

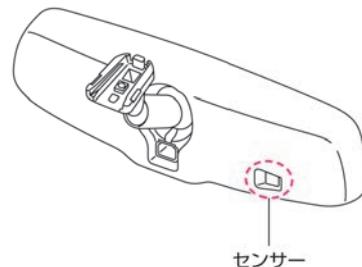
- ミラーの調節は走行前、防眩への切り替えは必要などときのみ行う。
思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ルームミラーに物をかけたり、ガラスクリーナーを使用したりしない。
センサー③の感度が低下し、作動不良の原因となる場合があります。

🚗 アドバイス

- ミラーを90度以上回転させないでください。配線が断線するおそれがあります。

📖 知識

- インテリジェントアラウンドビューモニターまたはバックビューモニターを表示中は、防眩システムの作動、非作動の切り替えはできません。
- 自動防眩システムを非作動状態にしてエンジンを停止しても、再度エンジンを始動すると自動防眩システムは作動状態になります。
- ミラー裏側にあるセンサーをドライブレコーダーなどでふさがないでください。防眩機能が作動しない場合があります。



ミラーの調節

ドアミラー

キースイッチ（電源ポジション）がONまたはOFFでACC状態のときに操作できます。

ACC状態については、オートACC機能（P.126）をお読みください。

ドアミラーの注意事項

警告

- ミラーの調節は、必ず走行前に行う。走行中にミラーを調節すると、前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

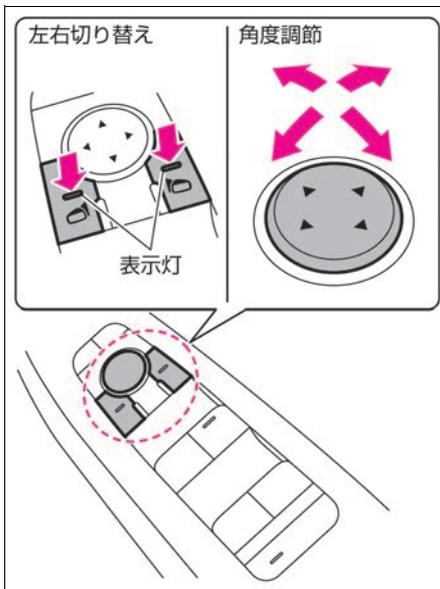
- ミラーが動いているときは手を触れない。手を挟む、またはミラーが故障するおそれがあります。
- ミラーを格納したまま走行しない。後方確認ができなため危険です。

アドバイス

- ミラーの映像は実際より遠くに見えるので注意してください。
- 凍結したままミラーを作動させないでください。

寒冷時にドアミラーが正常に作動しない場合は、ドアミラー内部が凍結している可能性があるため、そのまま作動を繰り返すと故障の原因となります。

ドアミラーの角度調節のしかた



- 調節したいミラー側の<左右切り替えスイッチ>を押します。（スイッチの表示灯が点灯）
- <角度調節スイッチ>を前後左右に押し、鏡面角度を調節します。

ドアミラーの格納のしかた



- <格納スイッチ>を押すと、左右のミラーが格納されます。
- <格納スイッチ>をもう一度押すと、元の位置に戻ります。
- スイッチ操作を連続で行うと、途中で停止することがありますが、故障ではありません。しばらくしてから作動させてください。
- 手で開閉するとキースイッチ（電源ポジション）をONにしたとき、<格納スイッチ>の位置によりミラーが動き出すことがあります。
- 手でミラーを開閉しないでください。手で開閉すると、走行中にミラーが規定位置より前方または後方に倒れ、後方確認ができなくなるおそれがあります。手で開閉してしまったときは、走行前に<格納スイッチ>で開閉操作を行ってください。

ミラーの調節

ドアロック連動格納機能について

ドアの施錠に連動させ、ミラーを格納することができます。

- リモコンまたは、ドアにあるスイッチで施錠すると、左右のミラーが格納されます。
- リモコンまたは、ドアにあるスイッチで解錠すると、左右のミラーが開きます。
(アドバンスドドライブアシストディスプレイで、キースイッチ(電源ポジション)をONにすると左右のミラーが開く設定に変更できます)
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで [設定] ⇒ [車両設定] ⇒ [ドアミラー] を選択すると、ドアロック連動格納機能の設定を変更することができます。
設定の詳細については、車両設定 (P.62) をお読みください。

🚗 アドバイス

- ドアミラーが正常に作動しない寒冷時は、ドアロック連動格納機能をOFFにしてください。

寒冷時にドアミラーが正常に作動しない場合は、ドアミラー内部が凍結している可能性があるため、そのまま作動を繰り返すと故障の原因となります。

ドアミラーヒーター★の使いかた

エンジンがかかっているとき、<リヤウインドーデフォグスイッチ>

- (P.111) を押すと、ドアミラーに内蔵

されたヒーターが作動し霜やくもりが取れます。

サイドアンダーミラー★

サイドアンダーミラーについて

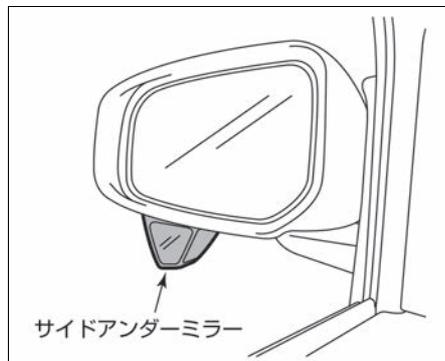
⚠ 注意

- 発進時や停車時にはサイドアンダーミラーだけでなく、直接目視で周囲の安全を確認する。
- 走行中に後方を確認するときは、ルームミラーまたはドアミラーで確認する。

サイドアンダーミラーは車の近くを確認するため、角度が下向きにセットされています。

🚗 アドバイス

- サイドアンダーミラーは固定式です。破損するおそれがあるため無理に動かさないでください。



- 発進時や停車時に、車両の左側すぐ下の状況を確認するために使います。
※インテリジェントアラウンドビューモニター付車には付きません。

窓ガラスの開閉

パワーウィンドー

キースイッチ（電源ポジション）がONのときに操作できます。

パワーウィンドーの注意事項

警告

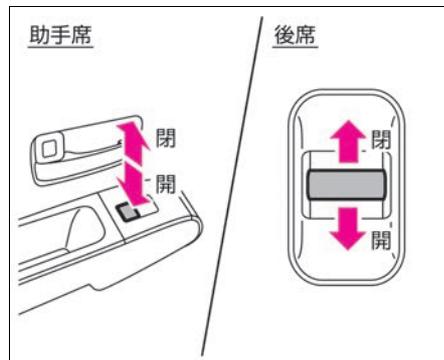
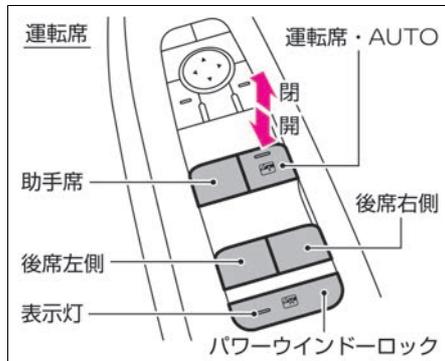
- 乗員の操作を含めすべての窓ガラス開閉操作は運転者に責任があるため、次のことを必ず守る。
 - ー 走行中は顔や腕、物などを車外に出さないでください。車外の物に当たったり、急ブレーキ時に重大な傷害につながったりするおそれがあります。
 - ー 窓ガラスを開閉するときは、窓から手や顔などを出したり、故意に挟み込み防止機構を働かせたりしないでください。手や顔、腕などを窓ガラスに挟まれたり巻き込まれたりすると、重大な傷害につながります。
 - ー お子さまにはパワーウィンドーを操作させないでください。重大な傷害につながるおそれがあるため、<パワーウィンドーロックスイッチ>を押し込んでください。
 - ー 窓ガラスを開閉するときはお子さまに声をかけ、手や腕などが窓ガラス付近にないことを確認してから操作を行ってください。

- ー 車から離れるときはキースイッチ（電源ポジション）をOFFにし、キーとお子さまを車室内に残さないでください。いたずらなどの誤った操作によって思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

- 指などを挟まれないように注意する。
窓ガラスには挟み込み防止機構がありますが、窓ガラスを確実に閉めるため、閉め切る直前の部分では挟み込みを感知できない領域があります。

パワーウィンドーの開けかた、閉めかた



運転席のスイッチで、各席の窓ガラスの開閉ができます。助手席のスイッチおよび後席のスイッチでは自席の窓ガラスの開閉ができます。

■ 開けるには

- スイッチを軽く押すと、押している間だけ開きます。

■ 閉めるには

- スイッチを軽く引き上げると、引き上げている間だけ閉まります。

■ 自動開閉するには

運転席の窓ガラスはワンタッチで自動開閉できます。

- スイッチを強く押すと全開します。
- スイッチを強く引き上げると全閉します。
- 途中で止めたいときは、スイッチを操作した反対側に軽く押すか引き上げます。

窓ガラスの開閉

■ 開閉操作をロックするには

お子さまが誤って窓ガラスを開閉することを防止できます。

- <パワーウィンドーロックスイッチ>を押すと、運転席以外の窓ガラスの開閉ができなくなります。（スイッチの表示灯が点灯）
- スイッチをもう一度押すとロックが解除されます。（スイッチの表示灯が消灯）

■ キーOFF後作動機構

- 窓ガラスは、キースイッチ（電源ポジション）をOFFにしたあとでも、約45秒間は開閉することができます。ただし、その約45秒間に運転席ドアまたは助手席ドアを開けると、窓ガラスの開閉はできなくなります。

加わると挟み込み防止機構が作動することがあります。

- 故障などで挟み込み防止機構が作動してしまい、窓ガラスを閉めることができないときは、次の手順で挟み込み防止機構を解除して、窓ガラスを閉めてください。
 - ① 挟み込み防止機構が作動するまでスイッチを引き上げます。
 - ② ①の手順を2回繰り返します。
 - ③ スイッチを引き続けて窓ガラスを閉めます。
- 挟み込み防止機構の解除は次の場合に終了し、通常の作動に戻ります。
 - － 一定時間（約10秒）経過する
 - － 窓ガラスを全閉する

正常に作動しないとき

運転席窓ガラスのワンタッチ開閉、挟み込み防止機構、キーOFF後作動機構が正常に作動しないときは、次の操作を行い初期設定してください。

- ① エンジンを始動します。
- ② スイッチを押して、窓ガラスを全閉にします。
- ③ スイッチを引き上げ続け、窓ガラスが全閉して3秒以上たってから手を離します。
- ④ 正常に作動することを確認し、正常に作動しないときは、早めに日産販売会社で点検を受けてください。

挟み込み防止機構

⚠ 警告

- 窓ガラスを閉める前に乗員の手や顔などが窓から出ていないことを確認する。

挟み込み防止機構を解除すると、自動開作動と挟み込み防止機構が作動しません。確認せずに窓ガラスを閉めると重大な傷害につながるおそれがあります。

- 窓ガラスを閉めているとき、車体と窓ガラスの間に異物が挟まると、窓ガラスの上昇が停止し、自動で少し開きます。
- 環境や走行条件により、異物を挟んだときと同じような衝撃や荷重が窓ガラスに

アドバイス

- 初期設定を行うときは、ドアを閉めて操作してください。

燃料補給口の開閉

燃料補給口

燃料補給口は助手席側の車両後方にあります。

燃料の補給

燃料タンクの容量は約27ℓです。

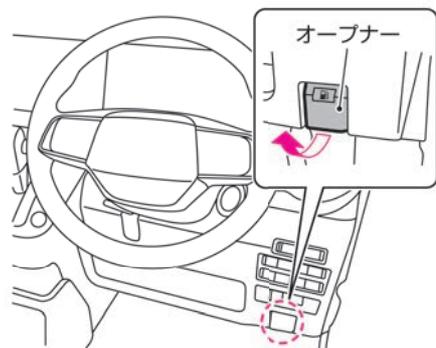
エンジン型式	指定燃料
BR06DE (ターボ無車)	無鉛レギュラーガソリン
BR06DET (ターボ付車)	

🚗 アドバイス

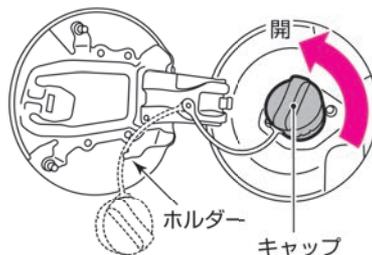
- 指定以外の燃料は補給しないでください。

開けかた、閉めかた

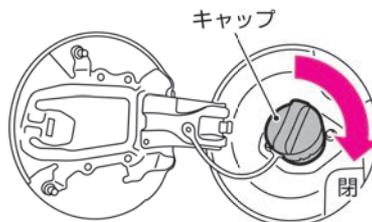
1. 運転席右下にあるオープナーを引きリッドを開けます。



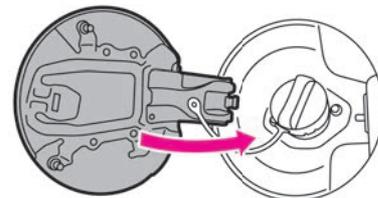
2. キャップを左にゆっくり回して開けます。
補給時、キャップのひもはリッド裏側のホルダーに引っ掛けます。



3. 閉めるときは、キャップを“カチッ、カチッ”と、3回以上音がするまで右に回して閉めます。



4. リッドを閉めます。



⚠️ 警告

- キャップは確実に閉める。
閉まっていないと走行中に燃料が漏れ、火災につながるおそれがあります。
- 日産純正品以外のキャップは使用しない。

燃料補給時の注意事項

⚠️ 警告

- 燃料補給時は、次のことを必ず守る。
 - エンジンを止める
 - 車のドアや窓を閉める
 - タバコなどの火気を近づけない
 - 気化した燃料を吸わない
- 補給作業を行う前に、金属部分に触れて身体の静電気を除去する。

⚠ 警告

放電による火花でやけどをしたり、燃料に引火したりするおそれがあります。

- **補給作業はひとりで行う。**

作業中に車室内に戻ったり、帯電している人や物に触れると再帯電するおそれがあります。

- **キャップを開けるときはゆっくり回し、燃料タンク内の圧力を下げてから外す。**

急に開けると、燃料が補給口から吹き返すおそれがあります。

- **給油ノズルは確実に給油口へ挿入する。**

給油ノズルの挿入が浅いと、給油の自動停止が遅れるため、燃料が吹きこぼれ火災につながるおそれがあります。

- **給油ノズルの自動停止後は、給油の継ぎ足しをしない。**

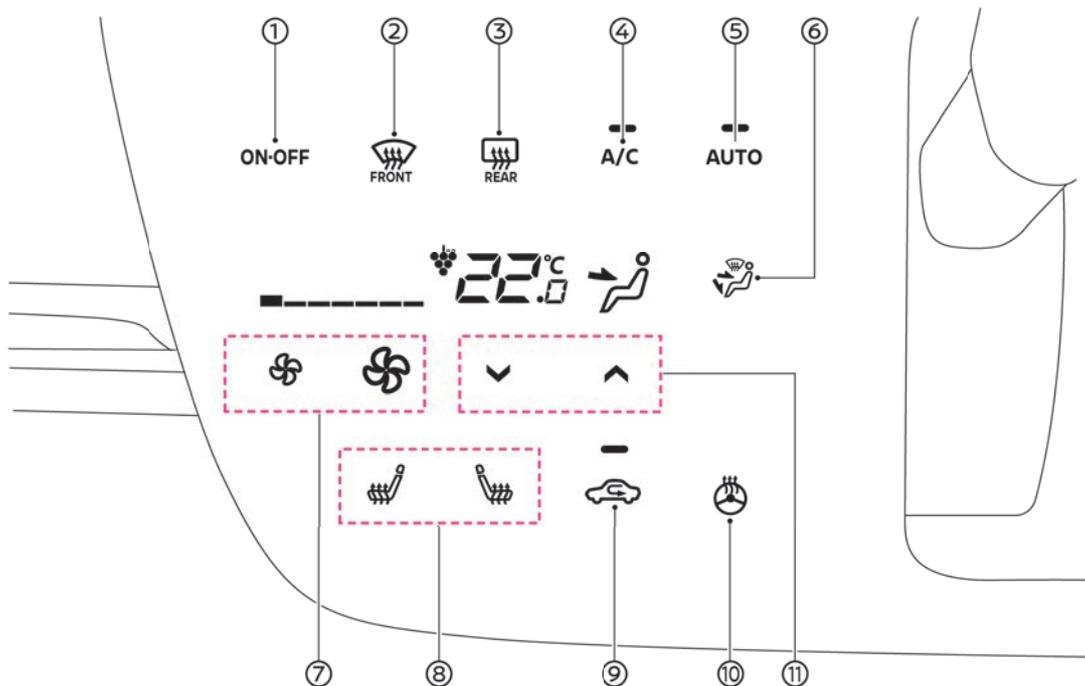
継ぎ足しをすると、燃料があふれて火災につながるおそれがあります。

- **ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守る。**

オートエアコン

吹き出し温度、吹き出し口、風量を自動で制御し、設定した温度に保ちます。また、内気循環／外気導入を自動制御モードに設定することで、自動制御に切り替えます。

各スイッチの名称と機能



エアコンの操作

- ① **ON・OFFスイッチ**
オートエアコンシステムのON・OFFを切り替えます。
- ② **デフロスタースイッチ (➡P.296)**
フロントガラスのくもりが取れます。
- ③ **リヤウインドーデフォグガースイッチ (➡P.296)**
バックドアガラスのくもりが取れます。また、ドアミラーヒーター付車はドアミラーに内蔵されたヒーターが作動し、霜やくもりが取れます。
- ④ **A/Cスイッチ**
冷房・除湿機能のON・OFFを切り替えます。
- ⑤ **AUTOスイッチ**
自動制御に切り替えます。吹き出し温度、吹き出し口、風量の切り替えを自動で制御して設定した温度に保ちます。
- ⑥ **吹き出し口切り替えスイッチ (➡P.115)**
吹き出し口を切り替えます。
- ⑦ **風量調節スイッチ**
風量を切り替えます。
- ⑧ **ヒーターシートスイッチ★ (➡P.246)**
- ⑨ **内外気切り替えスイッチ**
スイッチをタッチするごとに、内気循環、外気導入が切り替わります。(内気循環のとき、スイッチの表示灯が点灯します。)
- ⑩ **ステアリングヒータースイッチ★ (➡P.246)**
- ⑪ **温度調節スイッチ**
設定温度を切り替えます。(Lo 18.0°C~32.0°C HI)

オートでの使いかた

1. <AUTOスイッチ>をタッチします。(スイッチの表示灯が点灯)
 2. <温度調節スイッチ>をタッチして、設定温度を調節します。
▲ : 設定温度を上げる
▼ : 設定温度を下げる
 3. <A/Cスイッチ>の表示灯が消灯しているときは、<A/Cスイッチ>をタッチします。(スイッチの表示灯が点灯)
A/Cスイッチ点灯時: 冷房・除湿機能ON
 4. <内外気切り替えスイッチ>を約2秒間タッチし続けます。
作動音とともにスイッチの表示灯が2回点滅し、自動制御モードに切り替わります。
- オートで使用中に風量の調節または吹き出し口の切り替えを行うと<AUTOスイッチ>の表示灯は消灯しますが、操作した機能以外については引き続き自動制御されます。また、内気循環/外気導入が自動制御モード中に<内外気切り替えスイッチ>をタッチするとマニュアルモードに切り替わります。(点灯の場合は内気循環、消灯の場合は外気導入の状態になります。)

送風運転のしかた

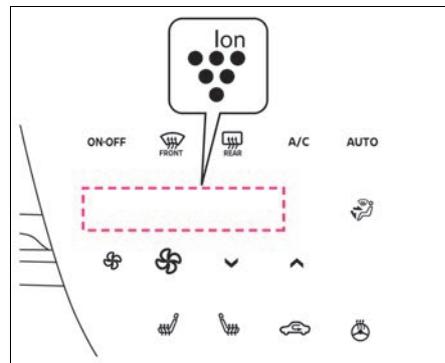
1. <A/Cスイッチ>をタッチし、表示灯を消灯させます。

2. <風量調節スイッチ>で風量を調節します。
 - 送風で使用すると、冷房、暖房、除湿機能が作動せず、ファンのみがまわって車室内の空気を循環させます。
 - エアコンシステムOFFのときに<風量調節スイッチ>をタッチすると送風になります。

タッチスイッチ感度の調整のしかた

1. エンジンを始動します。
 2. <ON・OFFスイッチ>を約10秒間タッチします。
ブザーが鳴り、設定温度表示部に感度が表示され、タッチスイッチ感度調整モードになります。
 3. <温度調節スイッチ>をタッチして感度を調整します。
タッチスイッチ感度調整モードになってから約20秒経過するとブザーが鳴り、感度が設定されます。
- 感度は5段階(1~5)に調整できます。
 - 1: 低い(反応しにくい)
 - 5: 高い(反応しやすい)
 - タッチスイッチ感度調整モードになってから約20秒以内にキースイッチ(電源ポジション)をOFFにすると、感度は設定されず調整前の状態に戻ります。
 - 工場出荷時の感度は「2」に設定されています。

プラズマクラスター技術搭載オートエアコン★



- 送風中は常時作動し、高濃度プラズマクラスターイオンをエアコンの吹き出し風に含ませ、除菌とともに内装に染みついたにおいを低減します。
さらに肌の保湿効果をプラスしました。
- 本商品には、シャープ株式会社のプラズマクラスター技術を搭載しています。プラズマクラスターマークおよびプラズマクラスター、Plasmaclusterはシャープ株式会社の商標です。

リヤシーリングファン★

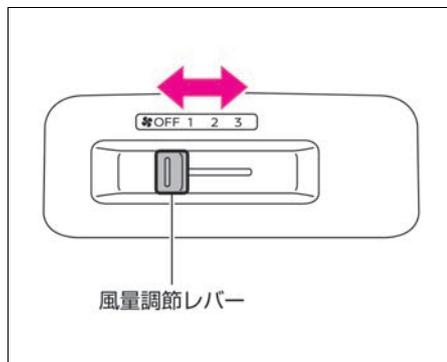
後席シートの乗員に風を送る装置です。電源ポジションがONのときに使用できます。

リヤシーリングファンの使いかた

- 天井にある風量調節レバーを操作して風量を調節します。
(1: 風量少ない~3: 風量多い)

エアコンの操作

- 止めるときは風量調節レバーをOFFにします。



知識

- 前席中央吹き出し口を上向きにすると、前席エアコンの風を後席に送ることができるため、より効果的です。

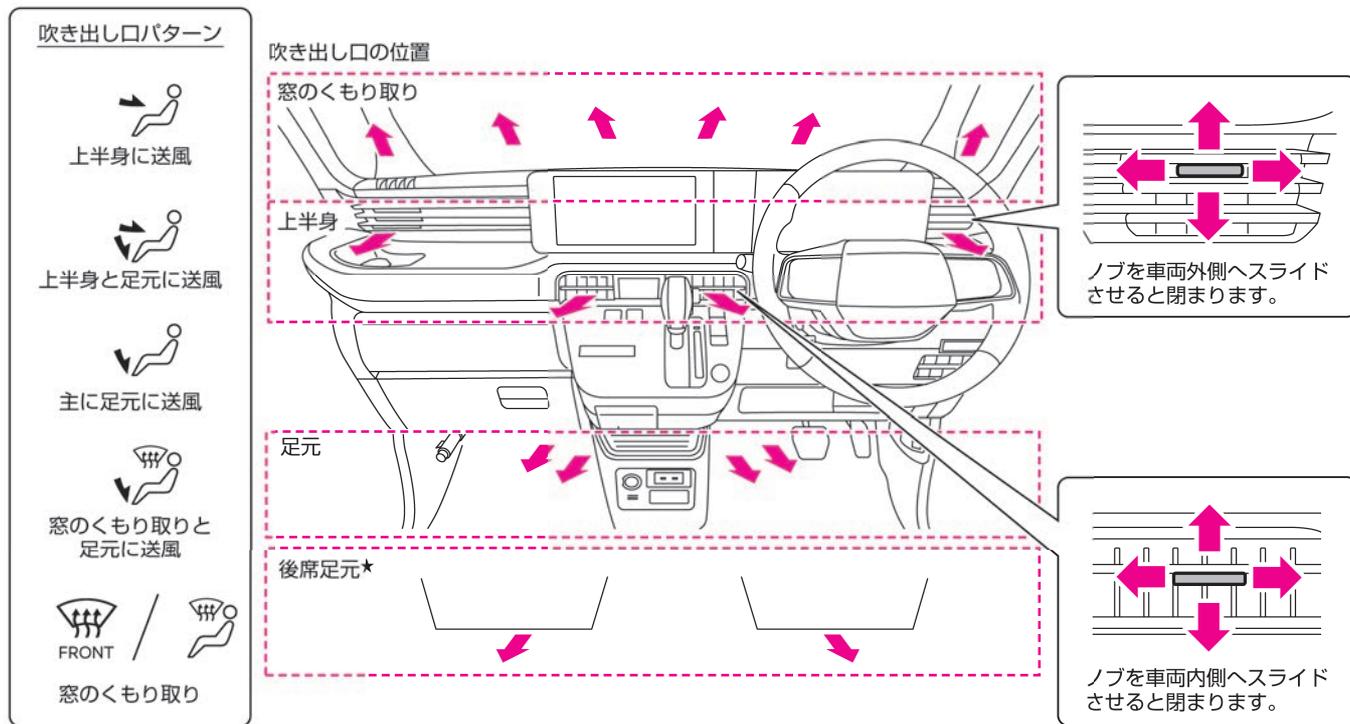
アドバイス

- 吸い込み口に物を入れないでください。正常に作動しないおそれがあります。



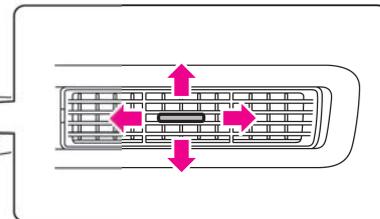
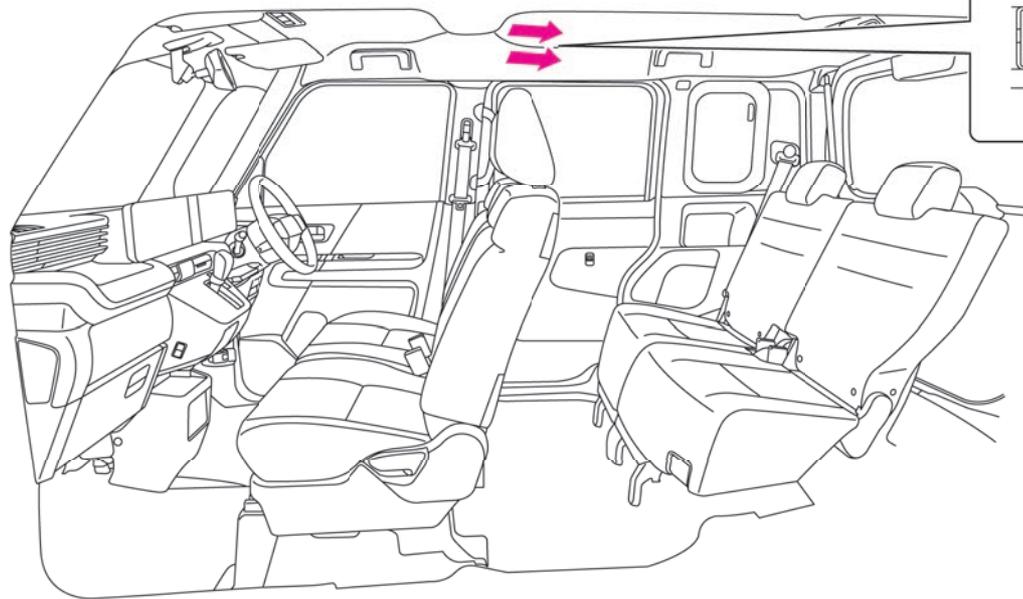
吹き出し口

吹き出し口切り替えスイッチまたはデフロスタースイッチをタッチするごとに吹き出し口が切り替わります。



エアコンの操作

リヤシーリングファン付車



エアコンの操作

エアコンを使うときに注意すること

エアコンに関する注意事項

⚠ 警告

- 内気循環で長時間使用しない。

窓ガラスがくもりやすくなり、視界が損なわれ危険なため、一時的にご使用ください。

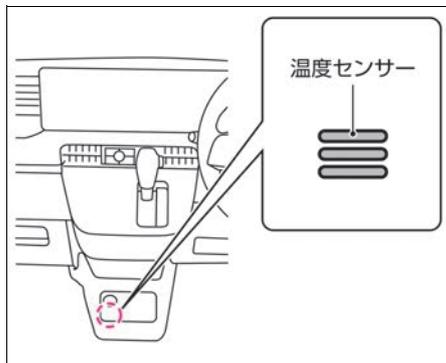
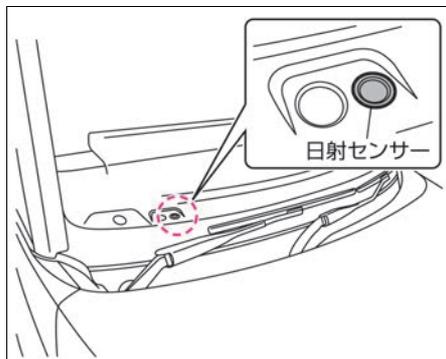
⚠ 注意

- 吹き出し風を長時間連続して身体に当てない。

特に皮膚の弱い方、乳幼児、病人、お年寄り、身体の不自由な方などには、吹き出し風が長時間当たらないように運転者が注意してください。低温やけどや思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

- <デフロスタースイッチ>をONにしているときに、エアコンの設定温度を低くしない。

フロントガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。



- オートエアコンの自動温度調節は、日射センサーと温度センサーで行っています。センサーをふさいだり、クリーナーなどを吹きかけたりしないでください。センサーの感度が低下し、正常に作動しくなくなります。
- ほこり、花粉、粉じんなどを集じんするためのクリーンフィルターを装着しています。集じん性能を維持するため、ク

リーンフィルターは定期的に交換してください。

交換時期：1年ごとまたは12,000km走行ごと

- クリーンフィルターが交換時期に満たない場合でも、吹き出し風量が極端に減少したり、窓ガラスがくもりやすくなった場合は交換してください。なお、取り付け、交換などについては、日産販売会社にご相談ください。
- 外気導入に固定していると、夏場など外気温が高いときは、冷房の効きが悪くなる場合があります。その場合は、一時的に内気循環にしてください。
- エアコン装置のオイル循環を切らさないために、ときどき<A/Cスイッチ>をONにしてください。なお、外気温が0℃近くまで下がるとエアコン装置が作動しないことがあるため、暖かい日に行ってください。
- エアコンガスは必ず指定のものをご使用ください。エアコンガスの詳細については、ボンネットの裏にあるエアコンラベルをご確認ください。
- エアコンの修理、メンテナンスは日産販売会社にご相談ください。
- 冷房時、吹き出し口から霧が吹き出したように見えますが、これは湿った空気が急に冷やされたときに発生するもので、異常ではありません。
- 外気温が0℃近くまで下がると、<A/Cスイッチ>が点灯していてもエアコンが作動しないことがあります。
- エアコンがONのとき、またはOFFにした直後に、“カチカチ”、“シュー”、“コツン”

エアコンの操作

などの音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

- 始動直後で吹き出し風の温度が低いときは、足元への吹き出し風量が少なくなります。
- エアコンの運転中または運転後などに車両の下に水が垂れることがあります。
- 外気温が高く車速が低いときは、冷房を維持するために風量を制限する場合があります。
- 外気温が低いときは、外気温に応じてフロントデフロスターからの風量が多くなります。
- 通電するもの（コード、USBなど）を近づけると、スイッチが反応することがあります。

エアコンのおいについて

- エアコン装置は、空気中のいろいろなにおいが混ざり合うため、吹き出し風からおいを感じる場合があります。
- エアコン作動時のにおいを抑えるため、駐車時などは外気導入にしておくことをおすすめします。

オーディオ

オーディオ★の使いかた

安全運転のために

⚠ 警告

- 走行中のオーディオ操作は、絶対にしない。
前方不注意となるおそれがあります。
- 音量を大きくしない。
大きすぎると車外の状況がわからないため、思わぬ事故の原因となります。

- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお聞きください。

ラジオの受信について

- ラジオの受信は、車両の移動に伴う電波の変動、障害物や電車、信号機などの影響により、最良な受信状態を維持することができない場合があります。
- オーディオを聞いているとき、車室内または車の近くで携帯電話や無線機を使うと、ノイズ（雑音）が入ることがあります。

🚗 アドバイス

- アンテナに雪が積もっている場合は、雪を落としてください。受信感度が低下し、雑音が入るおそれがあります。

- ルーフに載せた荷物が電波を遮り、受信感度が下がる場合があります。可能であれば、アンテナの近くに荷物を載せないでください。

アンテナについて

⚠ 注意

- アンテナの調節や脱着時は、周囲の安全を十分に確認してから行う。

🚗 アドバイス

- アンテナを調節するときや脱着するときは、アンテナの根元を持って行ってください。
- 次のような場合には、必ずアンテナを取り外してください。破損するおそれがあります。
 - 洗車機を使うとき
 - ボディーカバーを掛けるとき
 - 降雪時に長時間駐車するとき

📖 知識

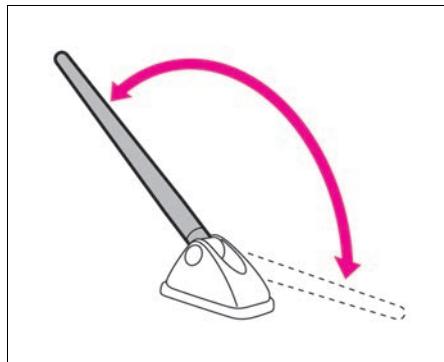
- 屋根の低い車庫や立体駐車場など、アンテナが当たるような場所ではアンテナを倒してください。

調節のしかた

- アンテナの角度は無段階に調節できます。
- アンテナの根元を持って動かします。

外しかた

- アンテナの外しかたについては、
(📖 P.320) をお読みください。



🚗 アドバイス

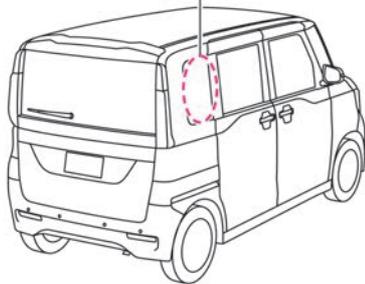
- アンテナが当たるような場所以外では倒したままにしないでください。車体に当たり、塗装面を傷つけるおそれがあります。

ガラスアンテナ★について

🚗 アドバイス

- リヤサイドガラスにミラータイプのフィルムや金属物（市販のアンテナなど）を貼り付けしないでください。受信感度が低下し、ノイズ（雑音）が入るおそれがあります。
- リヤサイドガラスの内側を清掃するときは、アンテナ線を切らないように、水を含ませた柔らかい布でアンテナ線にそって軽くふいてください。
- アンテナ線は、手荷物などで傷つけないようにしてください。

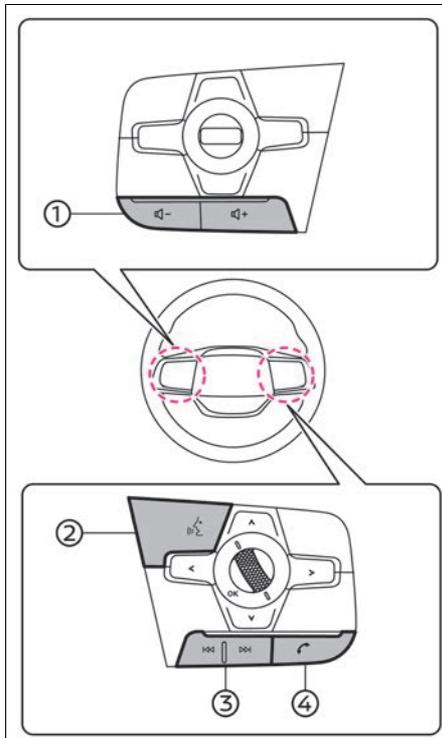
ガラスアンテナ



- アンテナ線は、リヤサイドガラスの内側にあります。

ステアリングスイッチ★

NissanConnectインフォテインメントシステム、または日産オリジナルナビゲーションシステムを操作することができます。



- ① **音量スイッチ (+/-)**
音量を調節できます。
+ : 音量を上げる
- : 音量を下げる
押したままにすると連続して音量の増減ができます。
 - ② **音声操作スイッチ**
音声操作画面に切り替えます。
 - ③ **選曲/選局スイッチ**
曲や放送局などの切り替えができません。
 - ④ **通話開始/終了スイッチ**
着信中に押すと電話を受けます。通話中に押すと電話を切ります。
- 取り扱いについては、NissanConnectインフォテインメントシステム取扱説明書（別冊）、または日産オリジナルナビゲーションシステム取扱説明書（別冊）も合わせてお読みください。
 - 日産純正品以外のナビゲーションシステムでは作動の保証はいたしません。

始動する

エンジンスイッチ（インテリジェントキー付車）	P.122
キースイッチ（リモートコントロールエントリーシステム付車）	P.124
オートACC機能	P.126

運転する

セレクトレバー	P.128
パーキングブレーキ★	P.130
電動パーキングブレーキ★	P.130
オートブレーキホールド★	P.132
発進・走行	P.134
停車・駐車	P.135

ランプをつける、ワイパーを使う

ライトスイッチ	P.137
フォグランプスイッチ★	P.143
ヘッドランプレベライザースイッチ★	P.144
ワイパー・ウォッシャースイッチ	P.145

運転支援機能

ドライブモードセクター	P.148
アイドリングストップ	P.149
4WD車★の扱いかた	P.152
エマージェンシーストップシグナル	P.153
ABS（アンチロックブレーキシステム）	P.153
VDC（ビークルダイナミクスコントロール）	P.154

ヒルスタートアシスト	P.156
走行支援機能	P.157
プロパイロット★	P.164
インテリジェント エマージェンシーブレーキ	P.176
踏み間違い衝突防止アシスト	P.183
BSW（後側方車両検知警報）★／インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）★	P.189
LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）	P.197
インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）	P.200
RCTA（後退時車両検知警報）★	P.203
インテリジェント DA（ぶらつき警報）	P.206
標識検知機能	P.207
先行車発進お知らせ	P.210

駐車支援システム

インテリジェント アラウンドビューモニター（移動物 検知機能付）★	P.212
インテリジェント アラウンドビューモニター★に関する注意事項	P.222

エンジンスイッチ（インテリジェントキー付車）

⚠ 警告

- エンジンを始動する前にペダルの位置を確認する。

ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながります。右足でアクセルペダルとブレーキペダルを交互に踏み、その位置を確実に覚えてください。

- 換気の悪い場所では、暖機運転をしたりエンジンをかけたままにしたりしない。

排気ガスが車両周辺に滞留したり、車室内に侵入したりすることで、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。一酸化炭素を吸い込むと、意識が薄れて事故につながるおそれがあるほか、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。

- エンジンを始動するときは、必ず運転席に座る。

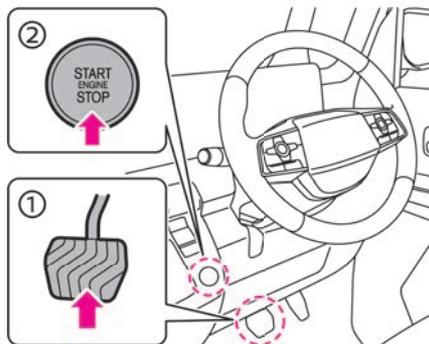
運転席以外から行くと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- セレクトレバーの操作は必ずエンジンが始動したことを確認してから行う。

スターターモーターが回転中にセレクトレバーを操作すると、エンジン始動が中止され、思わぬ事故につながるおそれがあります。

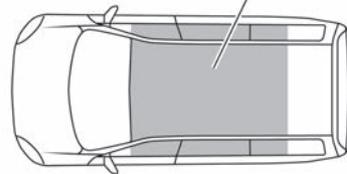
始動のしかた

1. インテリジェントキーを携帯して車両に乗り込みます。
アクセルペダルとブレーキペダルの位置を確認し、正しい運転姿勢（P.16）がとれるようにハンドル、シート、ミラーを調節します。
2. パーキングブレーキがかかっていることと、セレクトレバーがPに入っていることを確認します。



3. ブレーキペダル①をしっかり踏み込みながら、<エンジンスイッチ>②を押します。

作動範囲（車室内）



- キーが作動範囲（車室内）にあるときに、エンジンを始動することができます。
- ブレーキペダルを踏んだり離したりしたとき、「カチッ」と音が聞こえることがあります。異常ではありません。
- システム始動前のペダル操作などにより、ブレーキペダルが硬くなっている場合があります。この場合、ペダルを軽く踏んだ状態ではペダル踏み込み操作が検知されず、エンジンが始動しませんので、ブレーキペダルを通常よりも強く踏み込んでください。
- エンジンの始動を連続して行うと保護機能が作動し、エンジンがかからなくなることがあります。その場合は、3分以上待ってから再度<エンジンスイッチ>を押して始動してください。

始動する

エンジンがかかりにくいときは

- ブレーキペダルを踏みながら、アクセルペダルをいっぱい踏み込んで<エンジンスイッチ>を一度押してください。ブレーキペダル、アクセルペダルは離さず、約5秒後にもう一度<エンジンスイッチ>を押してください。その後、再度手順3の操作をしてください。

エンジンが暖まっているときの始動

- 高速走行後や登坂走行後などエンジンがかかりにくいときは、アクセルペダルを少し（踏み込み量の約1/5）踏み込んだ状態でエンジンを始動し、エンジンがかかったら、アクセルペダルをエンジン回転数の上昇に合わせて戻します。

停止のしかた

⚠ 警告

- 電源ポジションをOFFにするときは、パーキングブレーキを確実にかけ、セレクトレバーがPであることを確認する。
車両が動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。
1. ブレーキペダルを踏んで、車両を完全に停車させます。
 2. ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキをかけます。
➡ 電動パーキングブレーキのかけかた (P.130)
 3. セレクトレバーをPに入れます。
 4. <エンジンスイッチ>を1回押すと、エンジンが停止します。

☆/★：車両型式、オプションなどで異なる装備

- インテリジェントキーの電池が切れている、または車室内にキーがない場合にエンジンを停止するときは、<エンジンスイッチ>を長押ししてください。

電源ポジションの切り替えかた

🚗 アドバイス

- バッテリーあがりを防止するため、電装品（NissanConnectインフォテインメントシステム★や電源ソケットなど）はエンジンを始動した状態でご使用ください。電装品を長時間使用することや同時に複数使用することは避けてください。
- 次の条件がそろった状態でしばらくすると自動的に電源ポジションがOFFになります。
 - 電源ポジションがONの状態のとき
 - 停車しているとき
- 電源ポジションがOFFのとき、ハンドルロック（ステアリングロック）がかかっている場合は、いずれかのドアを開けるか、または閉めるとハンドルロック（ステアリングロック）が作動します。
➡ ハンドルがロックし、エンジンの始動ができないときは (P.264)
- 電源ポジションがOFFの位置でも、ACC状態のときは電源ソケットなどの電装品を使うことができます。

ACC状態については、オートACC機能 (➡ P.126) をお読みください。

- インテリジェントキーを携帯しているときに、次の作動をします。
 - ブレーキペダルを踏まずに<エンジンスイッチ>を押すと、電源ポジションが切り替わります。
 - ブレーキペダルを踏みながら<エンジンスイッチ>を押すと、エンジンが始動します。
 - エンジン回転中に<エンジンスイッチ>を押すと、エンジンが停止します。

電源ポジション	働き
OFF	<ul style="list-style-type: none">● 電源ソケットなどが使える位置（ACC状態のとき）● エンジンを停止する位置
ON	<ul style="list-style-type: none">● すべての電装品が使える位置

非常停止のしかた

⚠ 警告

- 非常停止を行うときは、可能な限り減速してから行う。
非常停止後は、ブレーキの効きが悪くなり、ハンドルも重くなるため、車両のコントロールが難しくなります。

始動する

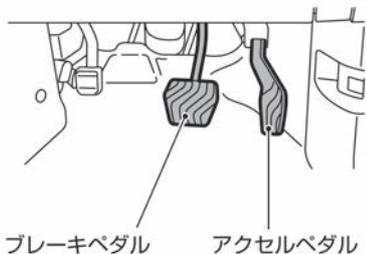
緊急時など、走行中に強制的にエンジンを停止させるときは、次の操作を行ってください。

- <エンジンスイッチ>を2秒以上押し続ける。
- <エンジンスイッチ>をすばやく3回押す。

キースイッチ（リモートコントロールエントリーシステム付車）

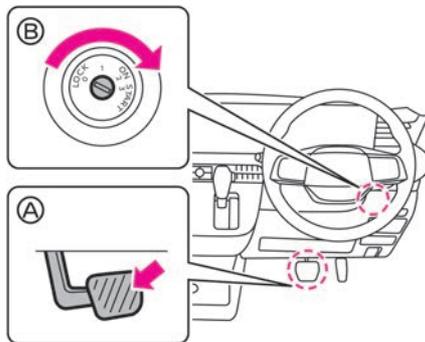
エンジンの始動のしかた

1. アクセルペダルとブレーキペダルの位置を確認し、正しい運転姿勢（P.16）がとれるようにハンドル、シート、ミラーを調節します。



2. パーキングブレーキがかかっていることと、セレクトレバーがPに入っていることを確認します。

3. ブレーキペダルAをしっかりと踏み込みながら、キースイッチBをSTARTまで回します。



警告

- エンジンを始動する前にペダルの位置を確認する。
ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながります。右足でアクセルペダルとブレーキペダルを交互に踏み、その位置を確実に覚えてください。
- 換気の悪い場所では、暖機運転をしたりエンジンをかけたままにしたりしない。

排気ガスが車両周辺に滞留したり、車室内に侵入したりすることで、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。一酸化炭素を吸い込むと、意識が薄れて事故につながるおそれがあるほか、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。

- エンジンを始動するときは、必ず運転席に座る。

運転席以外から行くと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- セレクトレバーの操作は必ずエンジンが始動したことを確認してから行う。

スターターモーターが回転中にセレクトレバーを操作すると、エンジン始動が中止され、思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

- ブレーキペダルを踏んだり離したりしたとき、「カチッ」と音が聞こえることがありますが異常ではありません。

エンジンがかかりにくいときは

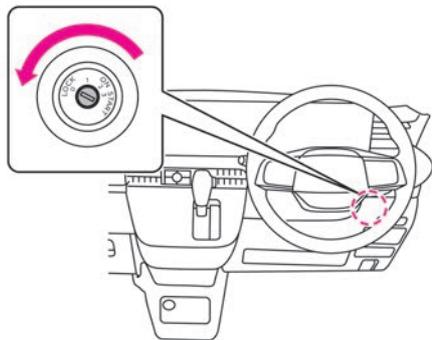
- ブレーキペダルを踏みながら、アクセルペダルをいっぱい踏み込んでキースイッチをSTARTの位置まで約5秒間回し続けてください。その後、再度手順3の操作をしてください。

エンジンが暖まっているときの始動

- 高速走行後や登坂走行後などエンジンがかかりにくいときは、アクセルペダルを少し（踏み込み量の約1/5）踏み込んだ状態でエンジンを始動し、エンジンがかかったら、アクセルペダルをエンジン回転数の上昇に合わせて徐々に戻します。

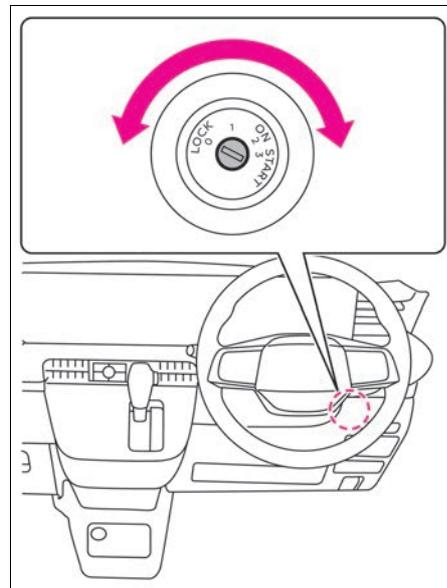
エンジン停止のしかた

- ブレーキペダルを踏んで、車両を完全に停車させます。
- ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキをかけます。
 ➡ パーキングブレーキのかけかた (P.130)
- セレクトレバーを **P** にします。
 ➡ セレクトレバーの操作 (P.128)
- キースイッチを左側に回すと、エンジンが停止します。



キースイッチの位置について

キー スイッチ 位置	働き
LOCK (OFF) (0)	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源ソケットなどが使える位置 (ACC状態のとき) ● キーを抜き差しできる位置 (ハンドルがロックされる位置)
(OFF) (1)	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源ソケットなどが使える位置 (ACC状態のとき) ● エンジンを停止する位置
ON (2)	<ul style="list-style-type: none"> ● すべての電装品が使える位置
START (3)	<ul style="list-style-type: none"> ● エンジンを始動する位置 (手を離すとONの位置に戻ります)



⚠ 注意

- 変形したキー、または純正品以外を使用しない。

始動時にキーがSTART位置から戻らなくなり、車両故障やモーターの過熱による火災につながるおそれがあります。

始動する

アドバイス

- バッテリーあがりを防止するため、電装品（電源ソケットなど）はエンジンをかけてご使用ください。エンジンを始動しないときは、電装品を長時間使用することや同時に複数使用することは避けてください。

知識

- キースイッチがOFFの場合でも、ACC状態のときに電源ソケットなどの電装品を使うことができます。ACC状態についてはオートACC機能（➡P.126）をお読みください。

キースイッチの使いかた

- キーをキースイッチに差し込み回します。
- キーを抜くときは、セレクトレバーを **P** に入れてからLOCKまで回します。

アドバイス

- セレクトレバーを **P** に入れないでキーを回すと (1) の位置で止まります。その場合は、セレクトレバーを **P** に入れたあと、キーをON方向に少し回し、再度LOCKまで回してください。

知識

- キーが回りにくいときは、ハンドルロック（ステアリングロック）がかかっている場合があります。ハンドルロック（ステアリングロック）を解除するときは、ハンドルを左右に軽く回しながらキーを回してください。

➡ ハンドルがロックし、エンジンの始動ができないときは (P.264)

- エンジンを止め、キーを差したまま運転席ドアを開けるとキー抜き忘れ警報が鳴ります。（キースイッチがONのときは鳴りません。）

オートACC機能

キースイッチ（電源ポジション）がOFFのときでも、特定の条件で、NissanConnectインフォテインメントシステム★や電源ソケットなどの電装品が使える状態（ACC状態）に自動で切り替わる機能です。エンジンの停止後や、キースイッチ（電源ポジション）をONにする前でも、インフォテインメントシステム★や電源ソケットなどの電装品が使用できます。

オートACC機能について

アドバイス

- バッテリーあがりを防止するため、電装品（NissanConnectインフォテインメントシステム★や電源ソケットなど）はエンジンをかけた状態でご使用ください。
- 次の場合、自動でACC状態に切り替わります。
 - ー ドアを施錠または解錠したとき（リモートコントロールエントリーシステム機能★、またはインテリジェントキー機能★で施錠または解錠したとき）
 - ー エンジンを停止したとき
 - ー ドアを開けたとき
 - ー ドアを閉めたとき
- 次の場合、ACC状態が完全に停止します。
 - ー ドアの開閉やドアロックなどの操作を行わず一定時間経過したとき
 - ー ドアを施錠し、一定時間経過したとき（リモートコントロールエントリーシステム機能★、またはインテリジェントキー機能★で施錠したとき）
- 状況によりオートACC機能に制限がかかる場合があります。その場合、オートACC状態で作動するシステムが一時的に作動しないことがあります。

始動する

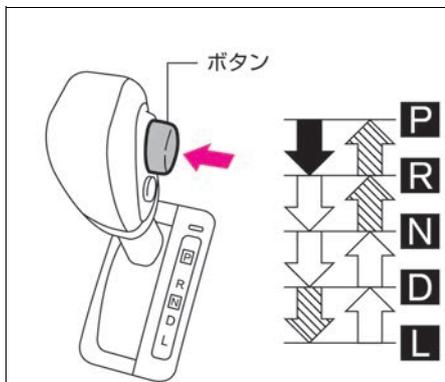
NissanConnectインフォテインメントシステム装着車

- インフォテインメントシステムは、エンジン停止後も作動し続けます。
- エンジン停止後、一定時間経過するとインフォテインメントシステムの画面が消灯し、作動が停止します。
- 運転席ドアを開くとインフォテインメントシステムの画面が消灯し、作動が停止します。画面が消灯して一定時間以内に < 電源ボタン > を押すと再度インフォテインメントシステムを使用することができます。

運転する

セレクトレバー

セレクトレバーの操作



セレクトレバー操作	
	ブレーキペダルを踏んだままボタンを押して操作します。
	ボタンを押さずにそのまま操作します。
	ボタンを押して操作します。

- セレクトレバー位置は目で確認し、メーター内のポジションインジケーターも合わせて確認してください。
➔ ポジションインジケーター (P.40)

- キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、すべてのセレクトレバー位置に操作することができます。

⚠ 警告

- 次のような操作は、絶対に行わない。
トランスミッションを破損し、思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - 車が完全に停止する前に **P** に入れる
 - 車を前進させているときに **R** に入れる
 - 車を後退させているときに **D**、**L** に入れる
- セレクトレバーの操作は必ずエンジンが始動したことを確認してから行う。
スターターモーターが回転中にセレクトレバーを操作すると、エンジン始動が中止され、思わぬ事故につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- ⇄ の操作は、ボタンを押さないで操作する習慣をつけてください。ボタンを押して操作すると、意に反して **P**、**R**、**L** に入れてしまうおそれがあります。
- **P** から操作するとき、ボタンを押したままブレーキペダルを踏むと、セレクトレバーを動かさないことがあります。ボタンは、ブレーキペダルを踏んでから押してください。

📖 知識

- セレクトレバーを **R** に入れるとブザーが鳴ります。
- 万一バッテリーあがりなどでセレクトレバーを **P** から動かせないときは、➔ セレクトレバーが動かないときは (P.298) をお読みください。

各セレクトレバー位置の働き

セレクトレバー位置	働き
P	<p>駐車およびエンジンを始動するとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ● インテリジェントキー付車は、電源ポジションをOFFにすることができます。 ● リモートコントロールエントリーシステム付車は、キースイッチをOFFまたはLOCKにすることができます。 (P以外ではキースイッチをLOCKにできません。)
R	<p>後退するとき</p> <p>車室内でブザーが鳴り運転者に知らせます。 (車外の人に注意するものではありません。)</p>

運転する

セレクトレバー位置	働き
N	動力が伝わらない状態 (N でもエンジンの始動ができますが、安全のため P で始動してください。)
D	通常走行するとき 速度に応じて無段階に自動変速します。また走行状況によってはアダプティブシフトコントロール (P.129) が働き、より適切に変速します。
L	急な下り坂を走行するとき強いエンジンブレーキが必要なときに使います。(急な下り坂以外ではなるべく使用しないでください。)

アダプティブシフトコントロールについて

急な上り下りや、カーブが連続するような道路状況でも快適で安全な走りを実現できるよう自動的に適切なギヤチェンジを行います。

上り坂やカーブでの制御

変速回数の少ないなめらかな走行ができるように、坂の勾配やカーブに応じて低速ギヤを保持します。

下り坂での制御

エンジンブレーキを併用させることで、フットブレーキを使う回数を低減させるよ

うに坂の勾配に応じて低速ギヤに切り替えます。

スポーティーな走行での制御

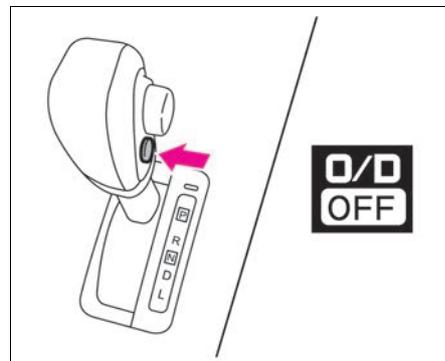
アクセルペダルを踏み込んだときにもたつきのないスムーズな加速が得られるように、加減速を繰り返すような連続するカーブでは低速ギヤを保持します。

アドバイス

- トランスミッションが、走行開始直後で暖まっていないときや、低速で高負荷な走行を繰り返して過熱しているときは制御が作動しない場合があります。その場合は必要に応じてオーバードライブをOFFまたはセレクトレバーを**L**に入れ、シフトダウンしてください。

オーバードライブスイッチの使いかた

- セレクトレバーが**D**のとき使えます。
- 通常走行するときはスイッチを押してメーター内のO/D OFF表示灯を消灯させます。(オーバードライブON状態)



- スポーティーな走行をするときや、下り坂で軽いエンジンブレーキをかけたいときはスイッチを押してメーター内のO/D OFF表示灯を点灯させます。(オーバードライブOFF状態)

オーバードライブ (メーター内表示灯)	働き
ON (消灯)	燃費性能など、経済性を重視した走行ができます。
OFF (点灯)	登坂路走行、パワフル走行など走りを重視した走行や、下り坂で軽いエンジンブレーキをかけることができます。

運転する

知識

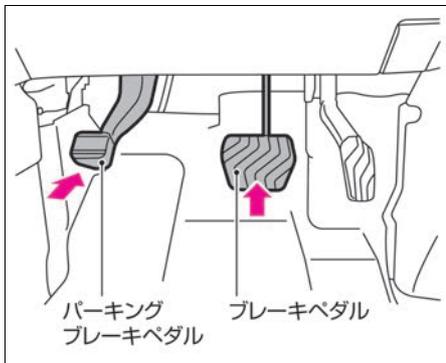
- セレクトレバーを **P** 以外に入れるとオーバードライブがONになります。
- オーバードライブOFF状態ではエンジンが高出力を発生する回転域を使用したギヤ比が選択されます。

パーキングブレーキ★

停車中や駐車時に使用するブレーキです。パーキングブレーキをかけると、後輪が固定されます。パーキングブレーキペダルで操作します。

パーキングブレーキのかけかた

- 右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルをいっばいに踏み込みます。



警告

- **パーキングブレーキをかけたまま走りしない。**
ブレーキが過熱することによって、効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 駐車するときは、必ずパーキングブレーキをかけてください。
- パーキングブレーキをかけ直したいときは、一度解除してから踏み込み直してください。

パーキングブレーキの解除のしかた

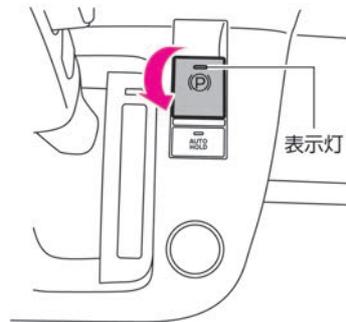
- 右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルを“カチッ”と音がするまで踏み、ゆっくりと離します。

電動パーキングブレーキ★

停車中や駐車時に使用するブレーキです。パーキングブレーキをかけると、後輪が固定されます。＜電動パーキングブレーキスイッチ＞で操作します。

電動パーキングブレーキのかけかた

1. ブレーキペダルをしっかりと踏み込みます。



2. <電動パーキングブレーキスイッチ>を引きます。
スイッチを引くと、<電動パーキングブレーキスイッチ>の表示灯が点灯し、電動パーキングブレーキ警告灯 [(P)] が、約2秒後に点灯します。

- オートブレーキホールド (P.132) が作動しているときにセレクトレバーを **P** にすると、パーキングブレーキがかかります。
- 電源ポジションがOFFのとき、ハンドルロック (ステアリングロック) がかかっていない場合は、いずれかのドアを開けるか、または閉めるとハンドルロック (ステアリングロック) が作動します。
- オートブレーキホールドが作動しているときに電源ポジションをOFFにすると、パーキングブレーキがかかります。
- インテリジェント クルーズコントロールにより自車が停止状態を保持していると

運転する

き、インテリジェントクルーズコントロールが解除されると電動パーキングブレーキが作動することがあります。詳しくは、(P.172)をお読みください。

電動パーキングブレーキの解除のしかた

1. ブレーキペダルをしっかりと踏み込みます。
 2. <電動パーキングブレーキスイッチ>を押します。
スイッチを押すと、スイッチの表示灯が消灯し、電動パーキングブレーキが解除されると電動パーキングブレーキ警告灯 [(P)] が消灯します。
- 電動パーキングブレーキは、電源ポジションがONのときのみ解除できます。

自動解除のしかた

<電動パーキングブレーキスイッチ>を操作しなくても、パーキングブレーキを解除することができます。

- 電動パーキングブレーキがかかっている状態でセレクトレバーをDまたはRにし、アクセルペダルをゆっくり踏んでください。
パーキングブレーキが解除され、電動パーキングブレーキ警告灯 [(P)] が消灯します。
- パーキングブレーキの自動解除は、次の条件を満たしている必要があります。
 - ー 運転席ドアが閉まっている*
 - ー エンジンがかかっている

ー セレクトレバーがP、N以外するとき
※：運転席ドアが開いた状態でもセレクトレバーをP、N以外に入れてから5秒以内に発進したときは、パーキングブレーキが自動解除される場合があります。走行するときは、必ずドアを閉めてください。

電動パーキングブレーキに関する注意事項

警告

- 車両を離れるときは、電動パーキングブレーキをかけたあと、セレクトレバーをP位置に切り替える。
- 非常時以外は、電動パーキングブレーキを作動させたまま走行しない。
ブレーキに不具合が生じ、事故につながるおそれがあります。
- 電動パーキングブレーキをかけたり、解除したりの操作を短時間に繰り返さない。
システムの過熱を防ぐために電動パーキングブレーキが作動しなくなる場合があります。作動しなくなった場合は、約1分間経過してから再度操作してください。

アドバイス

- 寒冷時に駐車するときは、電動パーキングブレーキをかけずにセレクトレバーをP位置に入れ、電動パーキングブレーキを解除したまま車輪の前後に適切な輪留めをしてください。寒冷時に電動パーキングブレーキをかけると、パーキングブレーキが凍結し、解除できなくなるおそれがあります。
- 電動パーキングブレーキがバッテリーあがりや故障などで解除できなくなったときは、日産販売会社またはJAFなどのロードサービスにご連絡ください。
- 電動パーキングブレーキをかけたり解除したりすると、車両の後方部から作動音が聞こえることがありますが、これは異常ではありません。
- 走行中、非常事態で電動パーキングブレーキをかける必要が生じたときは、<電動パーキングブレーキスイッチ>を引き続けてください。ブレーキがかかるとともにブザーが鳴り、電動パーキングブレーキ警告灯 [(P)] が点灯し、電動パーキングブレーキ戻し忘れ警告 (P.280) が表示されます。スイッチから手を離すと、電動パーキングブレーキは解除されます。
- 電源ポジションがOFFまたはACC状態のときに、<電動パーキングブレーキスイッチ>を引き上げると、スイッチの表

運転する

示灯がしばらく点灯状態になることがあります。
ACC状態については、オートACC機能
(➡P.126)をお読みください。

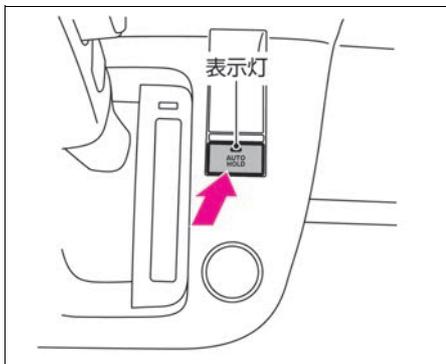
オートブレーキホールド★

オートブレーキホールド機能は、信号待ちなどの停車中にブレーキ力を保持する機能です。

オートブレーキホールド機能について

- オートブレーキホールド機能は、運転者のブレーキ操作によって停車した際に、ブレーキ力を保持する機能です。ブレーキ力が保持されているときにアクセルペダルを踏むと、ブレーキが解除され、発進することができます。

オートブレーキホールド機能の作動について



- オートブレーキホールド機能のON・OFF設定は、再度設定を変更するまで、電源ポジションをOFFにしても、その設定が維持されます。

オートブレーキホールド機能をONにする

- 電源ポジションをONにしくオートブレーキホールドスイッチを押すと、スイッチの表示灯が点灯します。
- オートブレーキホールド機能は、次の条件が満たされたときのみ、オートブレーキホールド表示灯 [④] (白色) が点灯し、待機状態になります。(➡P.44)
 - 運転席のシートベルトを着用している
 - 電動パーキングブレーキが解除されている
 - セレクトレバーがP以外にある
 - 急な坂道の途中で停車していない

オートブレーキホールド機能をOFFにする

オートブレーキホールド機能がONのとき、<オートブレーキホールドスイッチ>を押すと、オートブレーキホールドスイッチ表示灯が消灯しオートブレーキホールド機能がOFFになります。

ただし、ブレーキ力が保持されている状態で、オートブレーキホールドをOFFにするときは、必ずブレーキペダルを踏みながら<オートブレーキホールドスイッチ>を押します。

オートブレーキホールド機能の使いかた

■ ブレーキ力を保持させる

オートブレーキホールド機能が待機状態 (オートブレーキホールド表示灯 [④] が白色に点灯) のとき、ブレーキペダルを踏んで車両を停止させると、オートブレーキホールド機能によってブレーキ力が保持されます。

ブレーキ力が保持されているときは、オートブレーキホールド表示灯 [④] が緑色に点灯します。(➡P.44)

■ 発進する

セレクトレバーがPまたはN以外にあり、ブレーキ力が保持されている状態でアクセルペダルを踏むと、保持されているブレーキ力が解除されて発進します。

ブレーキ力の保持が解除されると、オートブレーキホールド表示灯 [④] が白色に点灯し、待機状態に戻ります。

坂道では、オートブレーキホールドが作動開始するまでブレーキペダルを強く踏み込む必要があります。

オートブレーキホールド機能使用時の注意事項

⚠ 警告

- 急な坂道や滑りやすい路面で使用しない。

⚠ 警告

オートブレーキホールド機能が作動していても、車両が動き出すおそれがあります。

急な坂道などでオートブレーキホールド機能を作動させたとき、運転者にブレーキペダルを踏むよう警告メッセージが表示されることがあります。

- オートブレーキホールド機能が作動していても停止状態を維持できないときは、ブレーキを使用して車両を停車させる。

ブレーキ力保持状態のときに外的要因で車両が動くとき、警告音が鳴り、警告メッセージが表示されることがあります。

警告メッセージ (P.280)

- 次の場合はオートブレーキホールド機能をOFFにする。

- 洗車機を使用するとき
- 車両のけん引時
- 過積載のとき

- 次の場合はセレクトレバーをPにしてパーキングブレーキが確実にかかっているか確認する。

車両が不意に動き出し重大な傷害や事故を起こすおそれがあります。

- 駐車するとき
- 人が乗降するとき
- 荷物の積み下ろしをするとき

- VDC警告灯 [(P)] (P.272)、ブレーキシステム警告灯 [(E)] (P.271)、電動パーキングブレーキ警告灯 [(P)] (P.269)、またはマスターウォーニング [(A)] (P.277) が点灯し、シャシー制御表示の警告メッセージ (P.281) が表示されたときは、オートブレーキホールド機能は作動しません。

- オートブレーキホールド機能をOFFにする際は、ブレーキペダルを踏みながら<オートブレーキホールドスイッチ>を押す。

急な坂道では、オートブレーキホールド機能での停止状態からアクセルペダルを踏んでもオートブレーキホールド機能が解除できない場合があります。

- ブレーキペダルから足を離す前に、オートブレーキホールド表示灯 [(A)] (緑色) が点灯していることを確認する。

⚠ 注意

- オートブレーキホールド機能によってブレーキ力が保持されているときに、オートブレーキホールド機能をOFFにするときは、ブレーキペダルをしっかりと踏む。

ブレーキが解除され車両が動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 車両が停止してもブレーキ保持が開始されないときは、オートブレーキホールド表示灯 [(A)] (緑色) が点灯するまでブレーキペダルを踏み込む。

ブレーキペダルが十分な力で踏まれていない、もしくは、車両停止後にブレーキペダルを離すのが早すぎると、オートブレーキホールド表示灯 [(A)] (緑色) は点灯しません。

🚗 アドバイス

- 次の場合は、システムに異常が発生しているおそれがあります。ただしに日産販売会社で点検を受けてください。

- 警告メッセージが表示されたとき
- <オートブレーキホールドスイッチ>を押してもスイッチの表示灯が点灯しないとき

- オートブレーキホールド機能がONでブレーキ力が保持されているときに、次の状態になるとパーキングブレーキがかかり、ブレーキ力が解除されます。(オートブレーキホールド表示灯 [(A)] が消灯)
 - オートブレーキホールド機能によるブレーキ力の保持が3分以上継続されたとき
 - セレクトレバーをPにしたとき
 - <電動パーキングブレーキスイッチ>を引いたとき
 - 運転席のシートベルトを外したとき
 - 運転席ドアを開けたとき

運転する

- 電源ポジションをOFFにしたとき
- オートブレーキホールド機能に不具合が生じたとき
- ブレーキ力を保持しているときは、車両の停止状態を維持するため、作動音が発生する場合がありますが、異常ではありません。

発進・走行

発進するときの注意事項

警告

- 発進するときは、アクセルペダルを踏んだままセレクトレバーを操作しない。
急発進し、重大な事故につながるおそれがあります。
- 停車中、セレクトレバーが**P**、**N**以外に入っているときは、ブレーキペダルをしっかりと踏む。
クリーブ現象により車が動き出し、事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 電動パーキングブレーキをかけ、運転席ドアが開いた状態でアクセルペダルを踏むと、電動パーキングブレーキが解除されず、電動パーキングブレーキが故障するおそれがあります。(電動パーキングブレーキ付車)

発進のしかた

1. ブレーキペダルを踏んだままエンジンを始動します。
インテリジェントキー付車
( P.122)
リモートコントロールエントリーシステム付車 ( P.124)
 2. ブレーキペダルを右足でしっかりと踏んだまま、ボタンを押してセレクトレバーを**D**に入れます。
 セレクトレバーの操作 (P.128)
 3. ブレーキペダルを右足でしっかりと踏んだまま、パーキングブレーキを解除します。
 パーキングブレーキの解除のしかた (P.130)
 電動パーキングブレーキの解除のしかた (P.131)
 4. ブレーキペダルを徐々にゆるめ、アクセルペダルをゆっくり踏み発進します。
- 急な上り坂で発進するときは、ヒルススタートアシスト ( P.156) が作動します。

走行するときの注意事項

警告

- 下り坂ではフットブレーキとエンジンブレーキを併用する。

ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなるおそれがあり危険です。坂の勾配に応じてエンジンブレーキを併用してください。

- 滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキは効かせない。
タイヤがスリップするおそれがあり危険です。
- 走行中はセレクトレバーを**N**に切り替えない。
エンジンブレーキが全く効かなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、トランスミッションが故障する原因となります。

アドバイス

- 上り坂では、クリーブ現象を利用した停車や、アクセルペダルを踏みながら停車状態を保つような停車はしないでください。車両故障のおそれがあります。
- 上り坂でセレクトレバーを**D**または**L**のまま故意に車両を後退させたり、下り坂で**R**のまま故意に車両を前進させたりしないでください。車両故障のおそれがあります。
- 冠水路など深い水たまりは無理に走行しないでください。エンジン破損や車両故障につながるおそれがあります。

アドバイス

- 浸水・冠水被害に遭われた場合は、車両故障につながるおそれがあるため、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

走行のしかた

- セレクトレバーを**D**にしたまま走行します。アクセルペダルとブレーキペダルの操作で、加速、減速を行います。アクセルペダルの踏み加減と走行速度や走行状況などにより、適切なギヤに自動変速されます。
- 高速道路の入り口などで急加速したいときは、アクセルペダルをいっぱい踏み込みます。キックダウンし急加速します。
- 下り坂では、エンジンブレーキを併用して走行します。セレクトレバーが**D**でも、アクセルペダルを戻すとエンジンブレーキが得られます。また坂の勾配に応じて強いエンジンブレーキが必要な場合は、**L**に入れます。勾配のゆるい下り坂では、オーバードライブをOFFにしても、軽いエンジンブレーキが得られます。
- ➔ オーバードライブスイッチの使いかた (P.129)

停車・駐車

停車・駐車 of 注意事項

警告

- 駐車するときは、ガスライターなどに注意する。

操作部が露出しているガスライターをグローブボックスなどの小物入れに入れておいたり、床やシートのすき間に落としたままにしたりしないでください。荷物を押しこんだときやシートを動かしたときに、ガスが噴出して火災につながるおそれがあります。

また、ライターを使用したあと、すぐに収納すると火災を起こすおそれがあります。

- 停車中の空ぶかしはしない。

万一、セレクトレバーが**P**、**N**以外に入っていると急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

停車後に再発進するときは、セレクトレバーを目で確認してください。

- 換気の悪い場所では、エンジンをかけたままにしない。

排気ガスが車両周辺に滞留したり、車室内に侵入したりすることで、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。一酸化炭素を吸い込むと、意識が薄れて事故につながるおそれがあるほか、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。

- 車から離れるときは、必ずセレクトレバーを**P**にして、エンジンを停止する。

エンジンがかかったままで、セレクトレバーが**P**、**N**以外だと、クリーブ現象で車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込むと急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 坂道などでセレクトレバーを、**D**または**L**に入れたまま惰性での後退をしたり、**R**に入れたまま惰性での前進をしない。

エンジンが止まり、極度にハンドルの操作力が重くなります。また、ブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

- 枯れ草、紙、木材、油など燃えやすい物の上や近くには駐停車しない。

排気管や排気ガスは高温になるため着火するおそれがあり危険です。

- 長期間車両を駐車していると、小動物が巣を作り、思わぬ火災につながる可能性があるので注意する。

- エアコン使用時はエンジン回転数が変動するため、クリーブ現象が断続的に強くなることがあるので注意する。

ブレーキペダルを特にしっかりと踏んでください。

アドバイス

- 炎天下で駐車するときは、車室内にライターや炭酸飲料の缶、サングラス、カメラなどを置いたままにしないでください。車室内が高温になり、爆発したり変形したりするおそれがあります。
- 屋根の低い車庫や立体駐車場など、アンテナが当たるような場所ではアンテナを倒してください。

停車・駐車のしかた

1. 停車するときは、セレクトレバーは **D** または **L** のまま、ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
2. そのまま駐車するときは、ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキをかけます。
➡ パーキングブレーキのかけかた (P.130)
➡ 電動パーキングブレーキのかけかた (P.130)
3. ブレーキペダルを踏んだままボタンを押してセレクトレバーを **P** に入れます。
➡ セレクトレバーの操作 (P.128)
4. キースイッチを左側に回す、または <エンジンスイッチ> を1回押すと、エンジンが停止します。

ランプをつける、ワイパーを使う

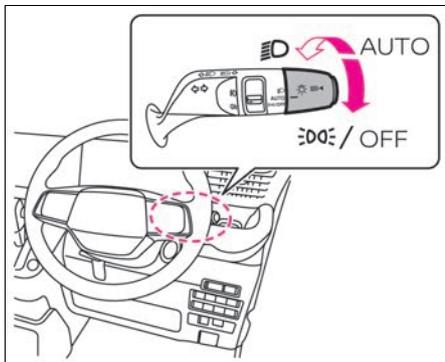
ライトスイッチ

ライトスイッチの注意事項

アドバイス

- エンジン停止時に長時間点灯させないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。

ライトスイッチの使いかた



スイッチを回すと、次のように点灯、消灯します。

スイッチ位置	点灯するランプ
<  >	ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。
< AUTO >	ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が自動点灯・消灯します。

スイッチ位置

点灯するランプ

ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が自動点灯しているとき

停車時に<  / OFF >の位置に回して保持すると、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。

走行を開始すると、周囲の明るさに応じてヘッドランプが自動点灯します。

車幅灯、尾灯、番号灯が点灯しているとき

停車時にセレクトレバーがP位置のとき、またはパーキングブレーキをかけているとき、<  / OFF >の位置に回して保持すると、全ランプが消灯します。

走行を開始すると、周囲の明るさに応じてランプが自動点灯します。

ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が消灯しているとき

<  / OFF >の位置に回して保持すると、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。

- 車幅灯、尾灯、番号灯が点灯しているときはテールランプ表示灯 [] が点灯します。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで [設定] ⇒ [画面カスタマイズ] ⇒ [オペレーションガイダンス] ⇒ [ラ

イトモード] を選択すると、ライトスイッチを動かしたときにメーターに表示する機能のON・OFFを切り替えることができます。

設定の詳細については、画面カスタマイズ ( P.65) をお読みください。

- 通常時は< AUTO >の位置で使用してください。

バッテリーセーバー

- ランプを点灯したままキースイッチ (電源ポジション) をOFFにすると、バッテリーあがりを防止するためランプが消灯します。次回、次の操作を行うとランプが再点灯します。

- キースイッチ (電源ポジション) をONにする
- ライトスイッチを操作する (約5分後にランプは再度消灯します)

オートレベライザー★

- ヘッドランプが下向き点灯時に乗車人員や荷物量の違いにより車両姿勢が変化すると、自動的に照射方向を調整するシステムです。

ヘッドランプ消し忘れ警報

- エンジンをかけていない状態で運転席ドアを開けたとき、次の場合にブザーが鳴ります。
- ライトスイッチが<  >の位置にあるとき
- ライトスイッチを<  / OFF >の位置に回して、テールランプ表示灯 [] が点灯しているとき

ランプをつける、ワイパーを使う

< ⑩ >の使いかた

- ライトスイッチを< ⑩ >の位置に合わせるとヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。

AUTO (自動点灯・消灯) の使いかた

- キースイッチ (電源ポジション) がOFFのときは消灯します。
- キースイッチ (電源ポジション) がONのときは次のように作動します。

周囲が明るいとき

- 停車中、走行中ともにヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が消灯します。

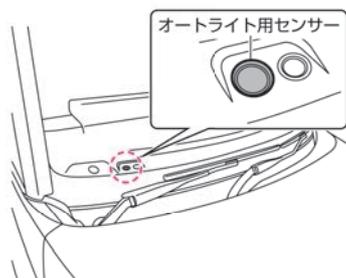
周囲が暗いとき

- 停車中、走行中ともにヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が自動点灯します。

■ フロントワイパー連動、薄暮れ感知「おもいやりライト」機能

- 歩行者事故が多く発生している夕暮れ時や雨天でのワイパー使用時にもランプを自動点灯します。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで [設定] ⇒ [車両設定] ⇒ [ライト/照明] ⇒ [オートライト感度調整] を選択すると、インテリジェントオートライトシステム (フロントワイパー連動、薄暮れ感知「おもいやりライト」機能付) の感度調整ができます。設定の詳細については、車両設定 (👉 P.62) をお読みください。

🚗 アドバイス



- センサーの上に物を置いたり、ガラススクリーナーなどを吹きかけないでください。センサーの感度が低下し、正常に作動しなくなります。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで [設定] ⇒ [車両設定] ⇒ [ライト/照明] ⇒ [オートライト感度調整] を選択すると、オートライトの感度調整ができます。設定の詳細については、車両設定 (👉 P.62) をお読みください。

< ⑪ >の使いかた

ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が自動点灯しているとき (周囲が暗いとき、ワイパーが作動しているとき)

- 停車時にライトスイッチを< ⑪ >の位置に回して保持すると、車幅灯、尾灯、番号灯のみが点灯します。
- ライトスイッチを< ⑪ >の位置に回してすぐに手を離れた場合は、ヘッドランプを消灯できません。

- 走行中にライトスイッチを< ⑪ >の位置に回しても、ヘッドランプを消灯できません。

ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が消灯しているとき (周囲が明るいとき、キースイッチ (電源ポジション) がOFFのとき)

- ライトスイッチを< ⑪ >の位置に回して保持すると、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。
- ライトスイッチを< ⑪ >の位置に回してすぐに手を離れた場合は、車幅灯、尾灯、番号灯を点灯できません。

車幅灯、尾灯、番号灯が点灯しているとき

- 停車時にセレクトレバーがP位置のとき、またはパーキングブレーキをかけているときにライトスイッチを< ⑪ >の位置に回して保持すると、全ランプが消灯します。
- ライトスイッチを< ⑪ >の位置に回してすぐに手を離れた場合は、全ランプを消灯できません。
- 走行を開始すると、周囲の明るさ、ワイパー作動に応じてヘッドランプが自動点灯します。

次の操作をすると、AUTO (自動点灯・消灯) に戻ります。

- セレクトレバーがP位置以外でパーキングブレーキをかけていないとき、再度ライトスイッチを< ⑪ >の位置に回す
- 停車時にセレクトレバーがP位置のとき、またはパーキングブレーキをかけているときは、全ランプを消灯させた後、再度ライトスイッチを< ⑪ >の位置に回す

ランプをつける、ワイパーを使う

- < ⑩ > の位置にしてから < AUTO > の位置にする

自動点灯ランプの消灯のしかた（車両停車時）

- 自動点灯したヘッドランプは走行中に消灯できない仕様となっています。

ヘッドランプの消灯方法

- 停車中にライトスイッチを < ③④⑤ / OFF > の位置に回して保持すると、ヘッドランプが消灯します。

すべてのランプの消灯方法

- 停車中にライトスイッチを < ③④⑤ / OFF > の位置に回して保持し、ヘッドランプを消灯した後、セレクトレバーを **②** 位置にする、またはパーキングブレーキをかけて、再度ライトスイッチを < ③④⑤ / OFF > の位置に回して保持すると、全ランプが消灯します。

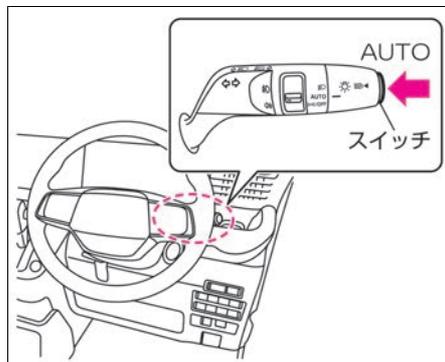
ハイビームアシスト★

先行車または対向車や周囲の明るさなどに応じ、ハイビーム（上向き）とロービーム（下向き）が切り替わります。

約25km/h以上で走行中、ヘッドランプが点灯しているときに切り替えを行い、約15km/h以下になるとロービーム（下向き）に切り替わります。

☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

ハイビームアシストの操作方法



- ライトスイッチが < AUTO > の位置でヘッドランプが点灯しているときにスイッチを押すと、ハイビームアシストが ON になります。（ハイビームアシスト表示灯 [③④⑤A] が点灯）
- ライトスイッチが < AUTO > の位置でもう一度スイッチを押すと、ハイビームアシストが OFF になります。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで [設定] ⇒ [画面カスタマイズ] ⇒ [オペレーションガイダンス] ⇒ [ハイビームアシスト] を選択すると、ライトスイッチが < AUTO > の位置以外でハイビームアシストのスイッチを押したときに、オペレーションガイダンスをメーター内にポップアップで表示する機能の ON・OFF を切り替えることができます。設定の詳細については、画面カスタマイズ (➡ P.65) をお読みください。

🚗 アドバイス

- ハイビームアシストが正しく作動しなかったり、作動中にメーターにハイビームアシスト表示灯 [③④⑤A] が点灯しなかったりしたときは、ハイビームアシストが故障しているおそれがあります。日産販売会社で点検を受けてください。

ハイビームアシスト表示灯
(➡ P.44)

📖 知識

- 次のいずれかの操作をしても、ハイビームアシストが OFF になります。

ハイビームのとき

- ー ライトスイッチを < ⑩ > の位置にする
- ー ライトスイッチを車両前方に押す（ハイビームに切り替わります）
- ー ライトスイッチを車両後方に引く（ロービームに切り替わります）

ロービームのとき

- ー ライトスイッチを < ⑩ > の位置にする
- ー ライトスイッチを車両前方に押す（ハイビームに切り替わります）

ランプをつける、ワイパーを使う

■ ハイビームとロービームの切り替え制御

- 次のような原因で、ハイビームとロービームの切り替わるタイミングが変化することがあります。

- 対向車または先行車のランプの明るさ
- 対向車または先行車の向きや動き
- 対向車または先行車のランプが片側のみ点灯している
- 対向車または先行車が二輪車
- 道路状況（カーブや勾配、路面状況など）
- 乗車している人数や荷物の量

- ハイビームアシストがONでハイビームのとき、ヘッドランプ上向き表示灯  が点灯します。
ヘッドランプ上向き表示灯 (➡ P.43)

■ マルチセンシングフロントカメラについて

フロントガラス上部に、ハイビームアシストの制御に必要な周囲の状況を検知するためのカメラがあります。

ハイビームアシストを正しく作動させるため、次のことをお守りください。

- フロントガラスが汚れたら清掃してください。
- カメラの周辺にアクセサリやステッカーなどを取り付けしないでください。
- カメラのレンズには触れないでください。
- カメラおよびその周囲に強い衝撃を与えないでください。

- ➡ マルチセンシングフロントカメラの取り扱い (P.322)

ハイビームアシスト★の注意事項

⚠ 警告

● システムを過信しない。

常に周囲の状況を確認し、必要に応じて上向きと下向きを手動で切り替えてください。

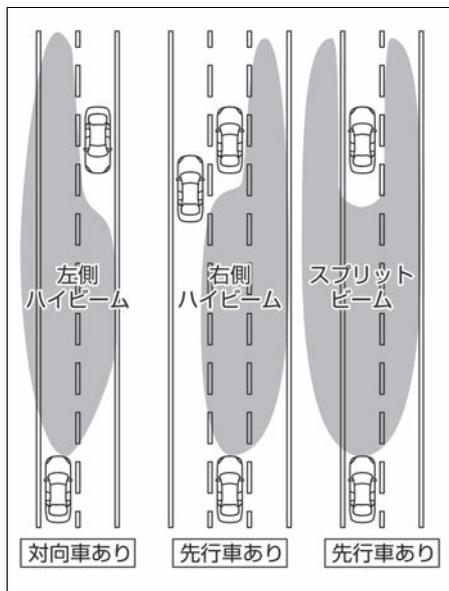
● 次のようなときは、ハイビームアシストが正しく作動しない場合があるため、必要に応じて上向きと下向きを手動で切り替える。

- 悪天候のとき（雨、霧、雪など）
- 薄暗い早朝や夕暮れなどの暗さが不十分なとき
- カメラ前方のフロントガラスがくもっていたり、汚れなどが付着したりしているとき
- カメラの向きがずれているとき
- 周囲にヘッドランプや尾灯に似た光源があるとき
- 対向車または先行車が無灯火のとき
- 対向車のヘッドランプが破損または汚れていたり、光軸がずれているとき
- 自転車やバイクなど、ライトの明るさや大きさが十分でないとき
- 歩行者など光を発しないものとき

- 明るさの急激な変化が連続しているとき
- 段差や起伏のある道路を走行しているとき
- カーブが多い道路を走行しているとき
- ミラーや標識など反射の強いものが前方にあるとき
- トレーラーやコンテナなど先行車の後部の反射が強いとき
- パンクやけん引などで車両が傾いているとき

ランプをつける、ワイパーを使う

アダプティブLEDヘッドライトシステム★

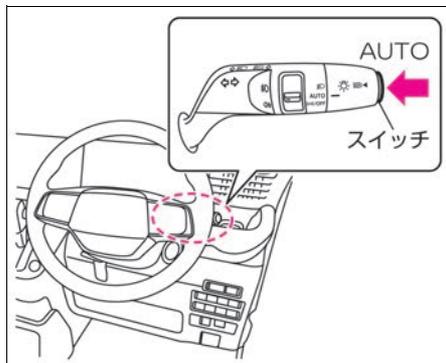


先行車や対向車に照射しないよう、自動的にハイビーム（上向き）の照射範囲を切り替えます。

約25km/h以上で走行中、ヘッドランプが点灯しているときに切り替えを行い、約15km/h以下になるとロービーム（下向き）に切り替わります。

☆/★：車両型式、オプションなどで異なる装備

■ アダプティブLEDヘッドライトシステムの操作方法



- ライトスイッチが<AUTO>の位置でヘッドランプが点灯しているときにスイッチを押すと、アダプティブLEDヘッドライトシステムがONになります。（アダプティブLEDヘッドライト表示灯 [E] が点灯）
- ライトスイッチが<AUTO>の位置でもう一度スイッチを押すと、アダプティブLEDヘッドライトシステムがOFFになります。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで [設定] ⇒ [画面カスタマイズ] ⇒ [オペレーションガイド] ⇒ [アダプティブヘッドライト] を選択すると、ライトスイッチが<AUTO>の位置以外でアダプティブLEDヘッドライトシステムのスイッチを押したときに、オペレーションガイドをメーター内にポップ

アップで表示する機能のON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、画面カスタマイズ (P.65) をお読みください。

知識

- 次のいずれかの操作をしても、アダプティブLEDヘッドライトシステムがOFFになります。

アダプティブLEDヘッドライトシステムが制御中のとき

- ー ライトスイッチを< 〇 >の位置にする
- ー ライトスイッチを車両前方に押す（ハイビームに切り替わります）
- ー ライトスイッチを車両後方に引く（ロービームに切り替わります）

アダプティブLEDヘッドライトシステムが制御していないとき

- ー ライトスイッチを< 〇 >の位置にする
- ー ライトスイッチを車両前方に押す（ハイビームに切り替わります）

アダプティブLEDヘッドライトシステム★の注意事項

警告

- システムを過信しない。
常に周囲の状況を確認し、必要に応じて上向きと下向きを手動で切り替えてください。

ランプをつける、ワイパーを使う

⚠ 警告

- 次のようなときは、アダプティブLEDヘッドライトシステムが正しく作動しない場合があるため、必要に応じて上向きと下向きを手動で切り替える。

- 悪天候のとき（雨、霧、雪など）
- 薄暗い早朝や夕暮れなどの暗さが不十分なとき
- カメラ前方のフロントガラスがくもっていたり、汚れなどが付着したりしているとき
- カメラの向きがずれているとき
- 周囲にヘッドランプや尾灯に似た光源があるとき
- 対向車または先行車が無灯火のとき
- 対向車のヘッドランプが破損または汚れていた、光軸がずれているとき
- 自転車やバイクなど、ライトの明るさや大きさが十分でないとき
- 歩行者など光を発しないものとき
- 明るさの急激な変化が連続しているとき
- 段差や起伏のある道路を走行しているとき
- カーブが多い道路を走行しているとき

- ミラーや標識など反射の強いものが前方にあるとき
- トレーラーやコンテナなど先行車の後部の反射が強いとき
- パンクやけん引などで車両が傾いているとき

🚗 アドバイス

- アダプティブLEDヘッドライトシステムが正しく作動しなかったり、作動中にメーター内にアダプティブLEDヘッドライト表示灯 [ⓂA] が点灯しなかったりしたときは、アダプティブLEDヘッドライトシステムが故障しているおそれがあります。日産販売会社で点検を受けてください。

アダプティブLEDヘッドライト表示灯 (👉P.44)

- システムを正しく作動させるためにカメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。マルチセンシングフロントカメラの取り扱いについては、(👉P.322)をお読みください。

照射範囲切り替え制御★

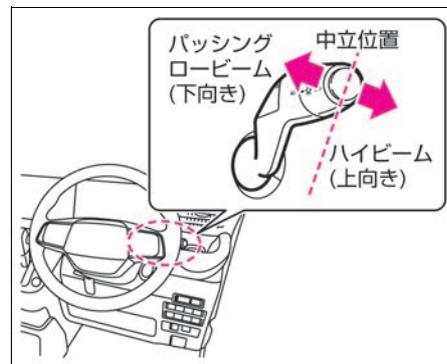
- 次のような原因で、照射範囲の切り替わるタイミングが変化することがあります。
 - 対向車または先行車のランプの明るさ
 - 対向車または先行車の向きや動き
 - 対向車または先行車のランプが片側のみ点灯している

- 対向車または先行車が二輪車
 - 道路状況（カーブや勾配、路面状況など）
 - 乗車している人数や荷物の量
- 対向車または先行車を検知し、照射範囲を切り替えているときにも、ヘッドランプ上向き表示灯 [ⓂO] が点灯することがあります。（ハイビームの一部が点灯しているため）
ヘッドランプ上向き表示灯 (👉P.43)

ハイビーム（上向き）への切り替えかた

🚗 アドバイス

- 対向車があるときや市街地走行などでは下向きにしてください。



ライトスイッチが<ⓂO>の位置のとき

- ライトスイッチを車両前方に押すと、ハイビームに切り替わります。

ランプをつける、ワイパーを使う

- ロービームに戻したいときは、ライトスイッチを車両前方、または後方に動かします。
- パッシングするときは、ライトスイッチを車両後方に引きます。ハイビームの状態からパッシングしたいときは、ライトスイッチを2回車両後方に引きます。

ライトスイッチが<AUTO>の位置のとき

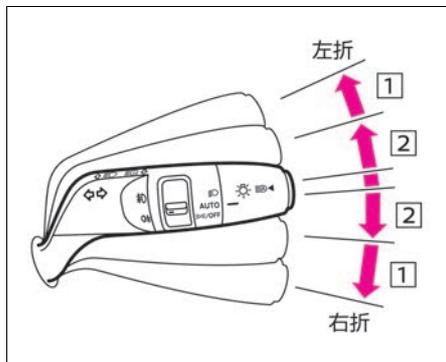
- ヘッドランプが点灯しているとき、ライトスイッチを車両前方に押しとハイビームに切り替わります。
- ロービームに戻したいときは、ライトスイッチを車両前方、または後方に動かします。
- パッシングするときは、ライトスイッチを車両後方に引きます。ハイビームの状態からパッシングしたいときは、ライトスイッチを2回車両後方に引きます。
- ハイビームに切り替えているときは、ヘッドランプ上向き表示灯 [O] が点灯します。
- ハイビームアシスト★またはアダプティブLEDヘッドライトシステム★がONのとき、ライトスイッチを車両前方に押しと、ハイビームに切り替わります。
- ライトスイッチは車両前方に押しでも車両後方に引いても、手を離すと自動で中立位置に戻ります。

方向指示器の使いかた

🚗 アドバイス

- 方向指示器のランプと方向指示表示灯の点滅が速くなったときは、日産販売会社で点検を受けてください。

☆/★：車両型式、オプションなどで異なる装備



キースイッチ（電源ポジション）がONのとき使えます。

- 右折または左折するときは、ライトスイッチを①の位置まで動かします。
- 車線変更などのときは、ライトスイッチを②の位置まで動かして軽く押さえめます。スイッチを押さえている間、方向指示器が点滅します。また、スイッチ②の位置まで上または下に押さえたあと、すぐに手を離れたときは3回点滅し消灯します。（コンフォートフラッシャー機能）

その他の機能について

- 夜間など周囲が暗い場所で車から降りるときに、次の操作を行うと、ヘッドランプが周囲を照らします。
 - －キースイッチ（電源ポジション）がON以外のとき、ライトスイッチを手前に1回引くと、ヘッドランプが約30秒間点灯したあと、消灯します。

- －点灯中、ライトスイッチを手前に引くたびに点灯時間が約30秒間延長され、最大約2分間まで延長することができます。

■ ウェルカムライト機能（フェアウェル機能付）

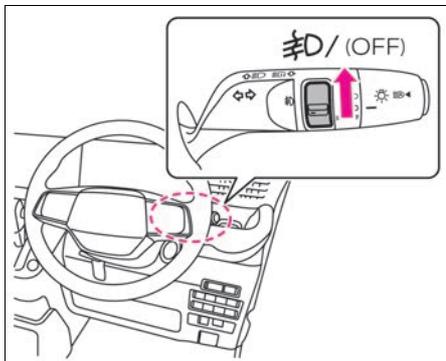
- ドアの施錠・解錠時に、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。（施錠時約10秒、解錠時約30秒）
- ドアが施錠された状態でキー（インテリジェントキー）を携帯して車両に近づいたり、離れたったりしたときも車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。（ドアを解錠せず、複数回近づいたり離れたったりした場合、誤作動防止のため点灯しない場合があります。）
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで [設定] ⇒ [車両設定] ⇒ [ライト/照明] ⇒ [ウェルカムヘッドライト] を選択すると、ウェルカムライト機能（フェアウェル機能付）の設定を変更することができます。設定の詳細については、車両設定 (P.62) をお読みください。

フォグランプスイッチ★

雨、霧、雪などで視界が悪いとき、ヘッドランプや尾灯の補助として使用します。

ランプをつける、ワイパーを使う

フォグランプの使いかた

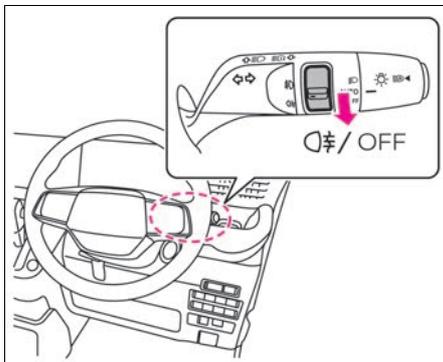


- ヘッドランプまたは車幅灯が点灯しているときに使用できます。
- スイッチを<霧>の位置に合わせます。(リヤフォグランプ付車は、スイッチから手を離すと自動的に中立位置に戻ります)
- 消灯するときは、スイッチを元の位置に戻します。(リヤフォグランプ付車は、再度操作します)
- フォグランプが点灯しているときは、フォグランプ表示灯 [霧] が点灯します。

リヤフォグランプ★の使いかた

🚗 アドバイス

- 降雪時には雪が積もる場合があるため、こまめにリヤフォグランプの雪を取り除いてください。



- ヘッドランプまたはフォグランプが点灯しているときに使用できます。
- スイッチを<上>の位置に合わせます。(スイッチから手を離すと自動的に中立位置に戻ります)
- 消灯するときは、スイッチを再度操作します。
- リヤフォグランプが点灯しているときは、リヤフォグランプ表示灯 [霧] が点灯します。

リヤフォグランプ★の注意事項

⚠ 警告

- 晴天時は使用しない。
後続車の視界を悪くするおそれがあります。

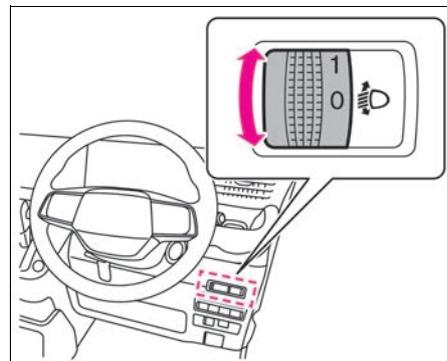
ヘッドランプレベライザースイッチ★

ヘッドランプの照らす方向(光軸)を調節します。乗員の人数や荷物の重さなどに応じ、調節してください。

ヘッドランプレベライザースイッチの使いかた

🚗 アドバイス

- 乗車人員や荷物量の違いにより、ヘッドランプが上側を照らすときや、アップダウンの多い山道などで、前を走行する車のミラーや対向車のフロントガラスを照らすようなときは、照らす向きを下側に調節してください。



ヘッドランプが下向きするとき、ダイヤルを回して調節します。

- 通常は、ダイヤルが0の位置で使います。

ランプをつける、ワイパーを使う

- ダイヤルを大きな数字の方へ回すほど、照らす方向は下向きになります。

■ ダイヤル位置の目安

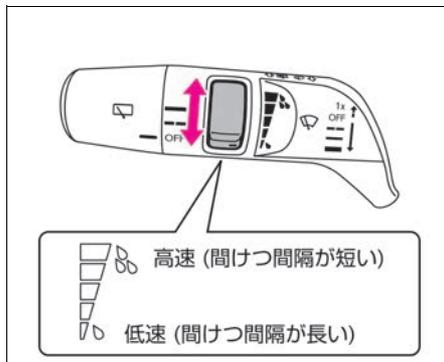
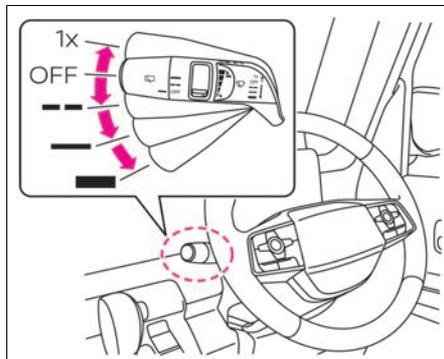
次の表を目安に、乗員の人数や荷物の量に応じてダイヤル位置を選択してください。

スイッチ位置	前席シート乗員数	後席シート乗員数	ラゲッジルームの積載重量
0	1	0	—
	2	0	—
1	2	2	—
2	2	2	82kg
3	1	0	250kg

ワイパー・ウォッシャースイッチ

キースイッチ（電源ポジション）がONのとき使用できます。

フロントワイパーの使いかた



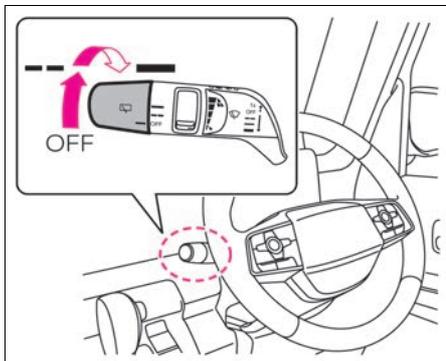
- スイッチを動かすと、次のように作動します。

スイッチ位置	作動
< 1x >	スイッチを上げている間作動します。手を離すと自動的にOFFに戻ります。
< OFF >	停止します。
< -- >	間けつで作動します。スイッチを回し、ワイパーの間けつ時間を調節します。
< — >	低速で連続して作動します。
< — >	高速で連続して作動します。

- スイッチを操作するとメーターにスイッチ位置が表示されます。
- 間けつ作動の間隔は、車速が速くなると短くなる車速感知式です。
- インテリジェントオートライトシステム（フロントワイパー連動、薄曇れ感知「おもいやりライト」機能付）は、ライトスイッチが< AUTO >の位置のときにワイパーが数回作動すると、車外の明るさに関係なくヘッドランプが点灯します。
➡AUTO（自動点灯・消灯）の使いかた（P.138）
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで【設定】⇒【画面カスタマイズ】⇒【オペレーションガイダンス】⇒【フロントワイパーモード】⇒【フロント】を選択すると、ワイパースイッチを動かしたときにメーターに表示する機能のON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、画面カスタマイズ（➡P.65）をお読みください。

ランプをつける、ワイパーを使う

リヤワイパーの使いかた



スイッチを回すと、次のように作動します。

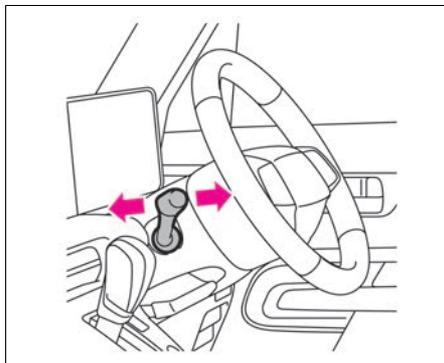
スイッチ位置	作動
<OFF>	停止します。
<--->	間けつで作動します。
<—>	低速で連続して作動します。

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで [設定] ⇒ [画面カスタマイズ] ⇒ [オペレーションガイダンス] ⇒ [フロントワイパーモード] ⇒ [リヤ] を選択すると、ワイパースイッチを動かしたときにメーターに表示する機能のON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、画面カスタマイズ (P.65) をお読みください。

■ リバース連動機能

- フロントワイパー作動中にセレクトレバーを **R** に入れると、リヤワイパーが作動します。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで [設定] ⇒ [車両設定] ⇒ [ワイパー] ⇒ [リバース連動] を選択すると、リバース連動機能のON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、車両設定 (P.62) をお読みください。

ウォッシャーの使いかた



■ フロントウォッシャー

- スwitchを手前に引くと、ウォッシャー液が噴射します。
- スwitchを引いている間はウォッシャー液の噴射とワイパーの作動が続き、レバーを離すとワイパーが数回作動してから停止します。

■ リヤウォッシャー

- スwitchを車両前方に押すと、ウォッシャー液が噴射します。
- スwitchを押している間はウォッシャー液の噴射とワイパーの作動が続き、レバーを離すとワイパーが数回作動してから停止します。

■ ドリップ拭き取り機能

- ウォッシャースイッチを操作したあと、ガラスに残ったウォッシャー液をふき取るため、約3秒後に一度ワイパーが作動します。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで [設定] ⇒ [車両設定] ⇒ [ワイパー] ⇒ [ドリップ拭き取り] を選択すると、ドリップ拭き取り機能のON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、車両設定 (P.62) をお読みください。

ワイパー・ウォッシャーを使うときの注意事項

⚠ 警告

- 寒冷時は、ウォッシャー液を噴射する前に、ヒーターでガラスを温める。また、ウォッシャー液は外気温に合わせて希釈割合にする。

寒冷時は、ガラスに吹きつけられたウォッシャー液が凍結し、視界を妨げ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 雪が降りそうなきや降雪時にはワイパーアームを起こしておいてください。ワイパーに雪が積もり、破損するおそれがあります。
- ワイパー作動中、雪などの障害物によりワイパーが作動できなくなると、モーター保護のためにワイパーの作動が停止することがあります。その場合は、スイッチを<OFF>にして障害物を取り除いたあと、モーターが冷えるまで（約1分間）待ってから、再度スイッチを操作してください。ワイパーが作動を開始します。
- 凍結などでワイパーゴムがガラスに張り付いているときは、ワイパーを作動させないでください。ワイパーが損傷したり、モーターが故障したりするおそれがあります。
- 窓ガラスが乾いているときは、ウォッシャー液を噴射してからワイパーをご使用ください。ガラスが乾いた状態でワイパーを使用すると、ガラスやブレード（ゴム部）を傷つけるおそれがあります。
- ウォッシャー液が出ないときは、連続して30秒以上作動させないでください。モーターが故障する原因となります。
- ウォッシャー液を補給しても液が出ないときは、日産販売会社にご相談ください。

ドライブモードセクター

複数のドライブモードがあります。目的に応じて使い分けてください。

ドライブモードセクターの注意事項

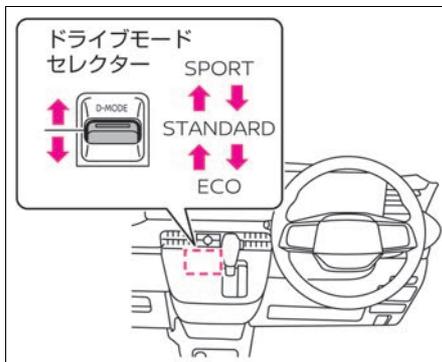
⚠ 注意

- 走行中にくドライブモードセクター>や画面を注視しない。
前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

モードの切り替えかた

🚗 アドバイス

- <ドライブモードセクター>を押してもモードが切り替わらない場合は、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

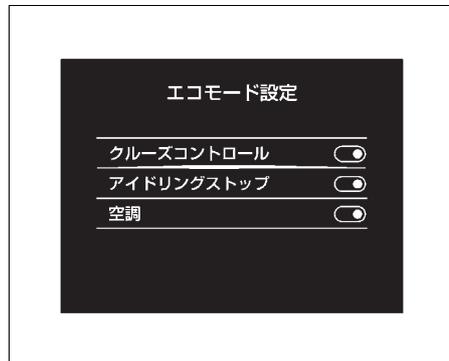


- キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、<ドライブモードセクター>を押すごとにモードが切り替わり、現在選択しているモードがアドバンスドドライブアシストディスプレイに表示されません。
- モードの設定は、キースイッチ（電源ポジション）をOFFにすると次のようになります。
 - SPORT、STANDARD：STANDARD
 - ECO：ECO

ドライブモードについて

ドライブモード	特徴
SPORT	キビキビ走行させたいシーンにて燃費よりも加速力を重視したモード <ul style="list-style-type: none"> ● 流れの速い幹線道路への合流や登坂のシーンでアクセルを深く踏み込む必要がなく余裕を持って走行できる
STANDARD	燃費と加速がバランスよく両立しているモード <ul style="list-style-type: none"> ● 一般道から高速道路まで、どんな場面でも使えるモード
ECO	燃費の良い運転ができるモード <ul style="list-style-type: none"> ● 街中で少しラフなアクセル操作をしても無駄にエンジン回転があがらず低燃費 ● 発進シーンで動き出しが滑らかで唐突感がなく、同乗者にも優しい

エコモード設定



- エコモード設定は、インテリジェントクルーズコントロール、アイドリングストップまたはエアコン機能を燃費重視の設定に切り替える機能です。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで [設定] ⇒ [エコ] ⇒ [エコモード設定] を選択すると、ECOモード時の燃費重視機能のON・OFFを切り替えることができます。

設定の詳細については、エコ (P.61) をお読みください。

知識

- エコモード設定で [クルーズコントロール] をON (燃費優先) にすると、インテリジェントクルーズコントロールの加速度がOFF時に比べて穏やかになり、燃費向上を図ります。

- エコモード設定で [アイドリングストップ] をONにすると、OFF時に比べてアイドリングストップの作動する頻度を増やし、燃費の向上を図ります。
- エコモード設定で [空調] をON (燃費優先) にすると、OFF時に比べて冷房/暖房の効きが弱まり、燃費向上を図ります。
- エコモード設定は、エンジンを停止しても再度設定を変更するまでその状態が維持されます。
- 次のような場合、エコモード設定で [空調] をON (燃費優先) にしていても、エアコン機能が優先となります。
 - <デフロスタースイッチ> (P.111) をONにしたとき

アイドリングストップ

アイドリングストップは、車両が停車したときエンジンを停止させ、発進するときにエンジンを始動することで、アイドリングによる排気ガスの発生や騒音を抑制するとともに燃費を向上させるシステムです。

アイドリングストップの使いかた

警告

- **アイドリングストップ中に車両が動き出したときは、すみやかにブレーキペダルを踏む。**

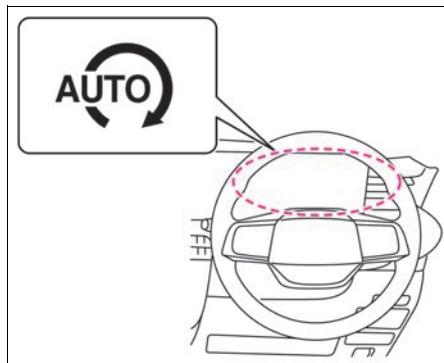
エンジンが再始動するため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- エンジンルーム内の作業をするときは、キースイッチ (電源ポジション) をOFFにする。

エンジンが再始動したときに手、衣服、工具などを入れていると思わぬケガをするおそれがあります。

アドバイス

- セレクトレバーをNからDに入れて発進するときは、必ずエンジンが発動したことを確認してからアクセルペダルの操作を行ってください。



アイドリングストップ中は、アイドリングストップ表示灯が点灯します。

アイドリングストップには、通常のアイドリングストップと停車前アイドリングストップがあります。

- 次のときに、エンジンが停止します。

運転支援機能

- セレクトレバーが**D**または**L**のときに、ブレーキペダルを踏んで停車したとき
- セレクトレバーを**N**にして、ブレーキペダルを踏み停車しているとき
- セレクトレバーが**P**のとき
- ブレーキペダルから足を離すと、エンジンが再始動します。
- 表示灯でアイドリングストップの状態をお知らせします。
 - アイドリングストップ表示灯（緑色）
（👉P.44）
 - アイドリングストップ表示灯（白色）
（👉P.45）
 - アイドリングストップOFF表示灯
（👉P.45）
- アドバンスドドライブアシストディスプレイでアイドリングストップの積算時間と節約した燃料の量などを確認できます。
車両情報（👉P.48）
エコグループ（👉P.49）

停車前アイドリングストップ

- セレクトレバーが**D**のときブレーキペダルを踏んで減速中、車速が約8km/hになるとエンジンが停止します。
- ブレーキペダルから足を離すとエンジンが再始動します。

アイドリングストップ警告ブザー

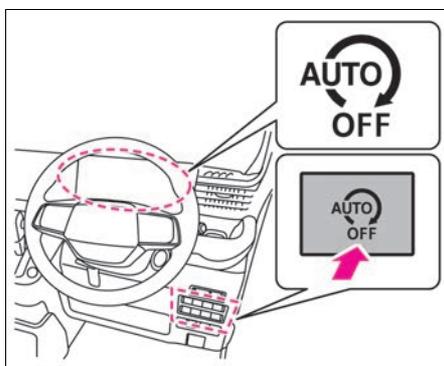
- アイドリングストップ中にボンネットが開いたときにブザーが鳴ります。
- アイドリングストップ警告ブザーが鳴ったときは、ボンネットが開いていないか確認してください。ボンネットが開いて

いると、通常のエンジン停止状態となるため、エンジンをかけ直してください。

アイドリングストップガイダンス表示

- 車両停止時に次の条件によりアイドリングストップしないとき、アドバンスドドライブアシストディスプレイにアイドリングストップガイダンスが表示されます。
 - ブレーキペダルの踏み込みが少ない
（👉P.284）
 - ハンドル操作を検知している
（👉P.284）
 - エアコン（冷房・暖房・除湿機能）を優先している（👉P.284）

アイドリングストップの作動停止のしかた



アイドリングストップの作動を停止（OFF）するには、<アイドリングストップOFFスイッチ>を押します。

- <アイドリングストップOFFスイッチ>を押すと、アイドリングストップの作動が停止します。
（アイドリングストップOFF表示灯 [👉] が点灯）
- 再度、アイドリングストップを使用（ON）するときは、もう一度<アイドリングストップOFFスイッチ>を押します。
（アイドリングストップOFF表示灯 [👉] が消灯）
- アイドリングストップ中に<アイドリングストップOFFスイッチ>を押すと、エンジンは再始動します。
- アイドリングストップのON・OFFを切り替えると、アドバンスドドライブアシストディスプレイにメッセージが表示されます。
- <アイドリングストップOFFスイッチ>を押してアイドリングストップの作動を停止させても、キースイッチ（電源ポジション）をOFFにしてエンジンを始動すると、アイドリングストップは作動しません。

アイドリングストップを使うときの 注意事項

アドバイス

- 充放電能力と寿命性能を強化したアイドリングストップ付車専用のバッテリーをご使用ください。専用バッテリー以外を使用すると、バッテリーの早期劣化やアイドリングストップが正常に作動しなくなる原因となります。
- バッテリーは、お客さまの車両に適合した日産純正部品をおすすめします。詳しくは日産販売会社にご相談ください。
- 次のようなときは、アイドリングストップまたは停車前アイドリングストップが作動しません。
 - ー エンジンを始動して、一度も走行しないでアイドリングを続けているとき
 - ー エンジン冷却水の温度が低いとき
 - ー バッテリーの容量が低いとき
 - ー バッテリーの温度が低いまたは高いとき
 - ー ブレーキ倍力装置の負圧が低下したとき
 - ー エンジン回転中にボンネットを開けたとき
 - ー ボンネットを開けた状態でエンジンを始動させたとき
 - ー 運転席のシートベルトが着用されていないとき
 - ー 運転席ドアが開いているとき
 - ー ハンドル操作をしているとき

☆/★：車両型式、オプションなどで異なる装備

- ー アイドリングストップ表示灯 [AUTO] が点滅しているとき
- ー アクセルペダルを踏んでいるとき
- ー セレクトレバーが**R**のとき
- ー 冷房中で、車室内の温度が約30℃以上のとき
- ー 暖房中で、車室内の温度が約20℃以下のとき
- ー <アイドリングストップOFFスイッチ>がONのとき
- ー EPS（電動パワーステアリング）警告灯、ABS警告灯、VDC警告灯が点灯しているとき
- ー ブレーキペダルの踏み込みが弱いとき
- ー 消費電力が大きいとき
- ー 高度が高いとき
- 次のような場合は、アイドリングストップが作動しません。
 - ー 車両が動いているとき
 - ー 急勾配の坂道で停車したとき
- 次のような場合は、停車前アイドリングストップが作動しません。
 - ー 車速が約8km/h以上のとき
 - ー セレクトレバーが**D**以外のとき
 - ー 平坦路以外のとき
 - ー 踏み間違ひ衝突防止アシストが前方に車両や歩行者を検知しているとき
 - ー プロパイロット★が作動しているとき
- 次のような場合は、システムが作動するまでに時間がかかる場合があります。
 - ー バッテリーが十分に充電されていないとき
 - ー 外気温が低いとき
 - ー バッテリーを交換したあとや、長期間バッテリー端子を外したあと
 - ー 冷房中で、車室内の温度が約30℃以上のとき
 - ー 暖房中で、車室内の温度が約20℃以下のとき
- 次のような場合は、アイドリングストップ中にエンジンが再始動します。
 - ー 坂道でブレーキペダルを緩め、車両が動き出したとき
 - ー セレクトレバーを**R**に入れたとき
 - ー セレクトレバーが**D**、**L**のときにブレーキペダルを緩めたとき
 - ー セレクトレバーが**N**のときに、パーキングブレーキをかけずにブレーキペダルを緩めたとき
 - ー セレクトレバーを**N**または**P**から**L**または**D**に入れたとき
 - ー インテリジェントキーが車外に持ち出された状態で、いずれかのドアを開閉したとき
- 次のような場合は停車前アイドリングストップ中にエンジンが再始動します。
 - ー 車速が約8km/h以上になったとき
 - ー セレクトレバーを**D**以外に操作したとき
 - ー ボンネットを開けたとき
- 停車前アイドリングストップ中に、インテリジェント エマージェンシーブレーキまたは踏み間違ひ衝突防止アシストが作動した場合、停車後に再始動します。
- このシステムは、信号待ちなどのときに使用し、長時間の停車などの場合は、

運転支援機能

キースイッチ（電源ポジション）をOFFにしてエンジンを停止してください。

- アイドリングストップ中にボンネットを開けると、ブザーが鳴るとともに通常のエンジン停止状態となります。その場合は、エンジンをかけ直してください。
- アイドリングストップ中または停車前アイドリングストップ中は、エアコン（冷房・暖房・除湿機能）がOFFになり、送風になります。エアコンを優先させたい場合は、＜アイドリングストップOFFスイッチ＞を押してアイドリングストップの作動を停止してください。
- アイドリングストップ中にハンドルを操作したとき、ハンドル操作力が重く感じることがあります。
- 次のような場合は、アイドリングストップ中にブレーキペダルから足を離しても、エンジンが再始動しません。（次の再始動条件で再始動する場合があります）
 - － セレクトレバーがPのとき
 - － オートブレーキホールド機能★が作動しているとき
 - － プロパイロット★が作動しているとき
 - － セレクトレバーをNにして、電動パーキングブレーキをかけているとき
 - － ボンネットが開いているとき
- 次のようなときは、アイドリングストップ中または停車前アイドリングストップ中にエンジンが再始動する場合があります。
 - － ＜アイドリングストップOFFスイッチ＞を押したとき
 - － プロパイロット★（P.164）をセットしたとき（ブレーキペダルの踏み込

み量によってはエンジンが再始動しない場合があります）

- － プロパイロット★（P.164）で停車中に発進操作したとき
- － プロパイロット★（P.164）で停車中に先行車が発進したとき
- － バッテリーが弱っているとき
- － 冷房中で、車室内の温度が約30℃以上のとき
- － 暖房中で、車室内の温度が約20℃以下のとき
- － アクセルペダルを踏んだとき
- － ハンドル操作をしたとき
- － バッテリーの容量が低くなったとき
- － 消費電力が大きいとき
- － ブレーキペダルを数回踏み直すなどして、ブレーキ装置の負圧が不足したとき
- － 運転席シートベルトを外したり運転席ドアを開けたとき

車両後退抑制機能

- 坂道でアイドリングストップ中から発進するときに、ブレーキペダルからアクセルペダルへの踏み替えの間に発生する車両の後退を軽減するシステムです。
- この装置はVDC（P.154）のブレーキ制御を利用しているため、メーター内のVDC警告灯（P.272）が点灯したときは作動しません。

4WD車★の扱いかた

4WD車は、滑りやすい路面などで優れた走行性能を発揮しますが、万能ではありません。

4WD車特有の取り扱いかたを十分理解し、正しい運転をしてください。

警告

- **4WD車は万能ではないため、走行するときは次のことを必ず守る。**
 - － 渡河などの水中走行はしない
 - － 砂地、ぬかるみなど、車輪が空転しやすいところでの連続走行はしない
 - － 脱輪などにより車輪が宙に浮いているときは、むやみに空転させない

走行するとき

- オフロード（不整地）走行やラリー走行用ではありません。
- 運転操作は一般車と同様です。ハンドル、アクセルペダルおよびブレーキペダルなどの操作は慎重に行い、安全運転を心がけてください。
- 砂地などのオフロード走行や脱輪時の無理な操作などにより、前後輪間の回転数差が大きい（車輪が空転する）状態が続くと駆動系部品の油温が上昇します。この場合、駆動系部品の保護のため、一時的に4WDから2WD（前輪駆動）に切り替わることがあります。しばらくして油温が下がると、4WDに復帰します。

タイヤについて

- タイヤの交換は4輪とも同時に行い必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤを装着してください。
- 摩耗差が大きいものやサイズが異なるタイヤを装着すると車の機構を破損するおそれがあります。冬用タイヤも必ず4輪同じものを装着してください。タイヤ交換は日産販売会社にご相談ください。

4WD車の特徴

■ タイトコーナブレーキング現象

乾燥した舗装路を4WD状態で走行中、ハンドルをいっぱい切って旋回するとブレーキをかけたような状態になることがあります。この現象をタイトコーナブレーキング現象といいます。

この現象は旋回するとき前後輪に回転差が生じるために起きる4WD車特有の現象で異常ではありません。この現象が発生したときはハンドルの操作力が重くなります。

📖 知識

- タイトコーナブレーキング現象が起きるとタイヤのスリップ音や駆動系のきしみ音などが発生することがあります。
- 4WD車は、2WD車に対し、制動距離が短くなるわけではありません。

走行のしかた

⚠️ 警告

- 急加速や急ハンドル、急ブレーキなどはしない。

タイヤがスリップしたり、横滑りや尻振りなどをおこし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ 雪道など舗装路以外を走行するとき

- 路面の状態に合わせ慎重に走行します。

エマージェンシーストップシグナル

エマージェンシーストップシグナルは、急ブレーキを踏んだとき、後続車に追突される可能性を低減させるため、制動灯を点滅させて後方へ急ブレーキを知らせます。

エマージェンシーストップシグナルについて

- 50km/h以上の速度で走行中、急ブレーキを踏むと作動します。
- 次の場合は作動が停止します。
 - ー ブレーキペダルから足を離れたとき
 - ー ブレーキペダルを踏んでいても急ブレーキではなくなったとき

📖 知識

- メーター内のABS警告灯 [(S)] (P.269) が点灯しているときは、エマージェンシーストップシグナルが作動しない場合があります。

ABS (アンチロックブレーキシステム)

ABSとは、急ブレーキ時や滑りやすい路面でのブレーキ時に、タイヤのロックを防止して、車両の安定性を向上させるとともにハンドル操作による障害物回避をしやすくするシステムです。

ABSに関する注意事項

⚠️ 警告

- カーブの手前では十分に減速する。ABSはあくまでも運転者のブレーキ操作を補助するシステムです。ABSの付いていない車両と同様に、カーブの手前では十分な減速が必要です。早めの操作で安全運転を心がけてください。
- でこぼこ道、砂利道、積雪路などでは、特に速度を控え、車間距離を十分にとる。ABSはブレーキ時の車両の安定性、操舵性を確保しようとするための装置で、制動距離が短くなるとは限りません。でこぼこ道、砂利道、積雪路などでは、ABSの付いていない車より制動距離が長くなる場合があります。このような道を走行するときは、特に速度を抑え、車間距離を十分にとって運転してください。
- タイヤ交換時は、必ず指定サイズのタイヤを4輪に装着する。

警告

ABSは各車輪の回転速度をセンサーで検出しています。指定サイズ以外ではABSが正常に作動しなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ABSについて

急ブレーキを踏まなければいけないような状況に陥らないよう、安全運転を心がけることが大切です。万一の危険な状況では次のようにしてください。

- 危険だと感じたら、ためらわず思い切りブレーキペダルを踏み込んでください。
- ABSが作動すると、ブレーキペダルに振動が伝わったり、作動音が聞こえたりします。これはABSの正常な作動によるものです。そのままブレーキペダルを踏み続けてください。
- 障害物回避の際には、ブレーキペダルを踏みながらハンドル操作をしてください。
- キースイッチ（電源ポジション）をONにしたときや、エンジン始動後最初の発進時に、エンジンルーム内から音が聞こえることがありますが、これはシステムの作動をチェックしている音で異常ではありません。

なお、車両を確実に停車させるため、ABSは低速では作動しません。路面の状況により異なりますが約10km/h以下では作動しません。

VDC（ビークルダイナミクスコントロール）

VDCは、横滑りや駆動輪の空転を抑えて走行時の車両安定性を向上させるシステムです。

VDCの機能について

- VDCのシステムには次の機能があります。
 - － VDC機能：走行中の横滑り状態をセンサーで判別し、走行時の車両安定性を向上させる機能です。
 - － トラクションコントロール機能（TCS）：滑りやすい路面などで駆動輪が空転した場合、エンジンの出力を抑えることにより、駆動力およびハンドルの操作性を向上させる機能です。
 - － ブレーキLSD機能：滑りやすい路面などで駆動輪が空転した場合、空転している駆動輪にブレーキをかけることにより、もう一輪の駆動力を確保する機能です。
 - － ABS機能：ABS（P.153）

- VDC作動時は、ブレーキの作動により音や振動が発生する場合がありますが異常ではありません。

VDCの作動について

- VDCの作動と警告灯
 - － VDCが作動しているときは、VDC警告灯 [] が点滅します。

- － トラクションコントロール機能のみが作動しているときもVDC警告灯 [] が点滅します。VDC警告灯が点滅したときは、車両が滑りやすい状態になっていますので特に慎重に運転してください。

- 次の場合、VDC警告灯 [] が点灯することがあります。一度キースイッチ（電源ポジション）をOFFにし、再度ONにするとVDC警告灯は消灯します。
 - － 駐車場の入り口などにあるターンテーブルや動く物の上に車があるとき
 - － 極端に傾いた特殊な路面（サーキット路に見られるバンクなど）を走行したとき

VDCに関する注意事項

警告

- 滑りやすい路面やカーブの手前では速度を落とす。

この装置は車両の走行安定性を向上させるもので事故を防止するものではありません。VDCの作動にも限界があるため、滑りやすい路面やカーブの手前では、特に速度を落とし安全運転を心がけてください。

- 次の場合、VDC警告灯 [] が点灯し正常に作動しないことがあるので注意する。
 - － サスペンション、タイヤ、ブレーキ、ステアリング、エンジン関係部品などを純正品以外に交換したり、改造したとき

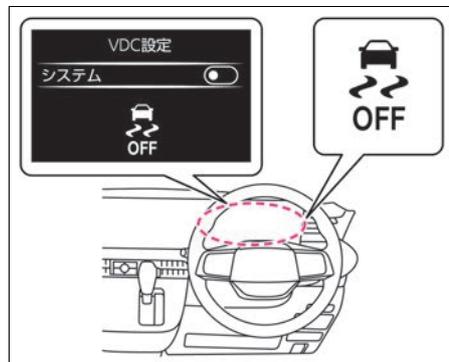
⚠ 警告

— サスペンション、タイヤ、ブレーキなどの関係部品が著しく摩耗および劣化した状態で走行したとき

- VDC付車でも雪道などでは冬用タイヤやタイヤチェーンを装着する。

VDCのON・OFFのしかた

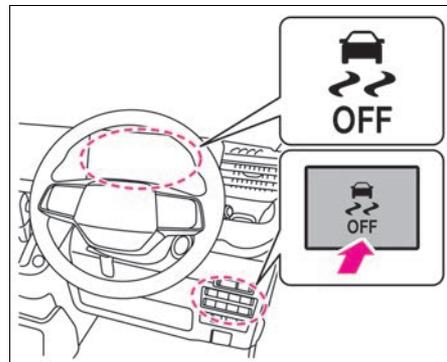
■ VDC OFFスイッチ無車



- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「VDC設定」⇒「システム」を選択すると、VDC機能のON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、VDC設定 (👉P.58) をお読みください。
- VDC機能をOFFに切り替えると、VDCが停止し、VDC OFF表示灯 [🚗] が点灯します。

- 再度、VDCを使用 (ON) するときは、もう一度アドバンスドドライブアシストディスプレイでVDC機能をONに切り替えます。VDC OFF表示灯 [🚗] が消灯し、VDCがONになります。

■ VDC OFFスイッチ付車



VDCの作動を停止 (OFF) するにはVDC OFFスイッチを長押し (約2秒) します。

- VDC OFFスイッチを長押し (約2秒) すると、VDCが停止し、VDC OFF表示灯 [🚗] が点灯します。
- 再度、VDCを使用 (ON) するときは、もう一度VDC OFFスイッチを単押しして、VDC機能をONに切り替えます。VDC OFF表示灯 [🚗] が消灯し、VDCがONになります。

🚗 アドバイス

- VDCが作動しているときは、ぬかるみや雪道から脱出するときに、スリップ状態を検知するため、アクセルペダルを踏み込んでタイヤの回転数が上がらないことがあります。タイヤの回転数を上げたいときはVDCスイッチを長押しして、VDCを停止してください。
- VDC機能をOFFにすると、VDCのすべての機能と、次の機能が停止します。(ABS機能およびブレーキLSD機能を除く)
 - プロパイロット★ (👉P.164)
 - インテリジェント エマージェンシーブレーキ (👉P.176)
 - 踏み間違い衝突防止アシスト (👉P.183)
 - インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) (👉P.197)
 - インテリジェント BSI (後側方衝突防止支援システム) ★ (👉P.189)
 - インテリジェント FCW (前方衝突予測警報) (👉P.200)

📖 知識

- キースイッチ (電源ポジション) をONにするたびに、VDCは自動的にONになります。

📖 知識

- VDCが作動すると発進時や加速時に車体およびペダルにわずかな振動と作動音が発生しますが異常ではありません。
- キースイッチ（電源ポジション）をONにしたときや、エンジン始動後最初の発進時に、エンジンルーム内から音が聞こえることがあります。システムの作動をチェックしている音で異常ではありません。

ヒルスタートアシスト

ヒルスタートアシストは、上り坂での発進を補助するシステムです。

⚠️ 警告

- **ヒルスタートアシストの機能を過信しない。**
凍結している路面や泥状の坂道では、車両がスリップして後退することがあります。特に安全運転を心がけてください。
緩やかな坂道ではヒルスタートアシストが作動せず後退する場合があります。その際はブレーキペダルを踏むか、パーキングブレーキをかけてください。
- **停車するときは、思わぬ事故につながるおそれがあるため、ブレーキペダルを踏み続ける。**

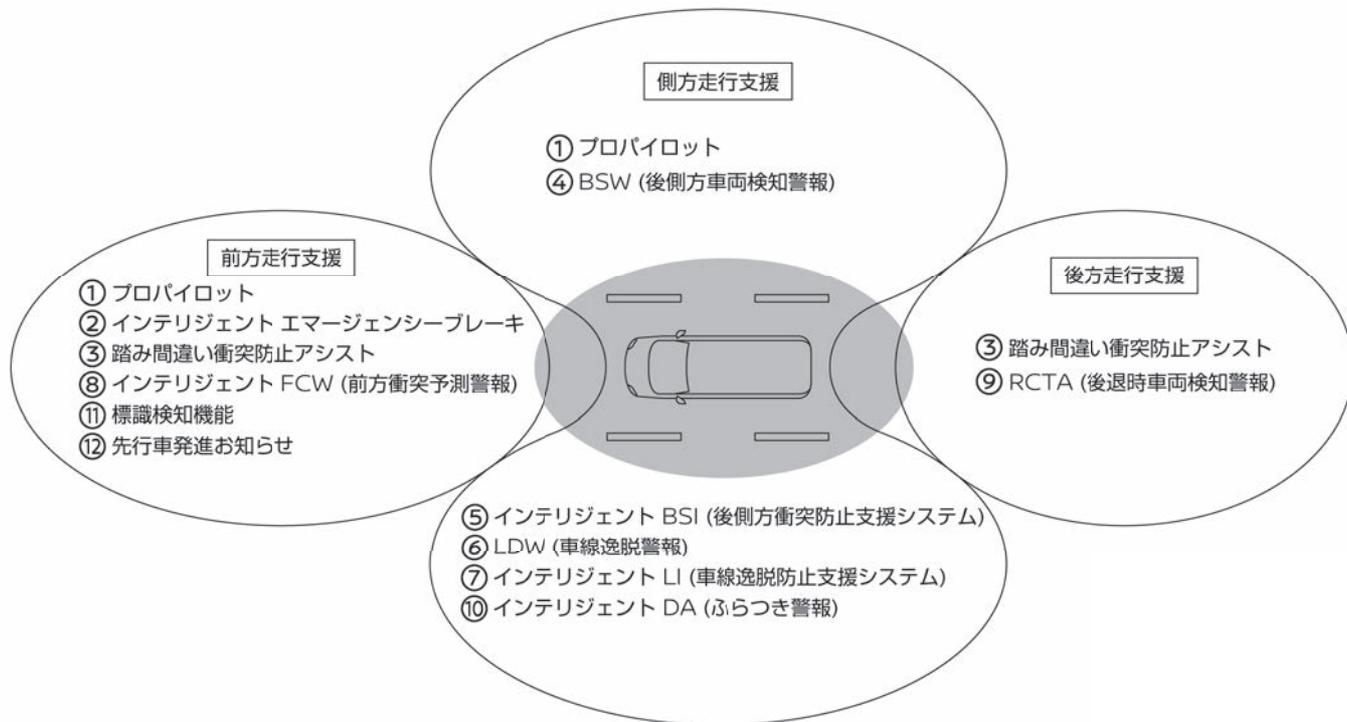
この装置は、ブレーキペダルから足を離すと約2秒間ブレーキ力を保持しますが、その後ブレーキ力が解除されます。駐車するときは確実にセレクトレバーをPに入れ、パーキングブレーキをかけてください。

ヒルスタートアシストについて

- 上り坂で発進するとき、ブレーキペダルからアクセルペダルへ踏み替える間に発生する車両の後退を防ぎます。
- セレクトレバーがP、N以外するとき、ブレーキペダルから足を離すと、約2秒間ブレーキ力を保持します。
- セレクトレバーを操作した直後はブレーキを踏んだ状態で約1秒待ってから発進してください。セレクトレバーをPからDまたはNからDにした直後は、ヒルスタートアシストが作動しないことがあります。
- VDC警告灯 [🚨] (P.272) が点灯したときは作動しません。
- ヒルスタートアシストが作動しているとき、ブレーキペダルの踏みごたえが変化したり、音や振動が発生したりすることがありますが、異常ではありません。

走行支援機能

走行支援機能について



運転支援機能

範囲	機能名	機能説明	支援内容	使用するセンサー※1			
				レーダー	カメラ (フロント)	ソナー	カメラ (アラウンドビューモニター) ★
前方側方	① プロパイロット★	前方車両との車間距離を制御し、前方車両停車時は停車してその状態を保持します。また、走行車線内を走行するようにハンドルを自動制御することで運転操作の負担を減らします。(👉P.164)	支援	○	○	—	—
前方	② インテリジェントエマージェンシーブレーキ	前方の車両や歩行者、自転車と衝突のおそれがあるとき、警報とブレーキにより、運転者の衝突回避操作を支援します。(👉P.176)	支援	○	○	—	—
前方後方	③ 踏み間違い衝突防止アシスト	ブレーキペダルとアクセルペダルの踏み間違いや、ブレーキ操作遅れが起きたときに警報音と表示で警告し、さらに過度な加速の防止や障害物への衝突防止を支援します。(👉P.183)	支援	—	○※2	○	○※3
前方	⑧ インテリジェントFCW(前方衝突予測警報)	前方を走行する2台前の車両を検知し、急な減速などにより、自車の回避操作が必要と判断した場合に警報します。(👉P.200)	情報提供 警報	○	—	—	—
	⑪ 標識検知機能	運転者に最高速度標識/車両進入禁止標識/一時停止標識があることを知らせます。(👉P.207)		—	○	—	—
	⑫ 先行車発進お知らせ	先行車が発進しても自車が停止し続けた場合に、音と表示でお知らせする機能です。(👉P.210)		○	○	—	—

運転支援機能

範囲	機能名	機能説明	支援内容	使用するセンサー※1			
				レーダー	カメラ (フロント)	ソナー	カメラ (ア라운드ビューモニター) ★
側方	⑤ インテリジェント BSI (後側方衝突防止支援システム) ★	隣車線に車両がいるときに車線変更を開始した場合、警報とともに車両を元の車線内に戻すよう支援します。(➡P.189)	支援	○	○	—	—
	⑦ インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム)	運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうなとき、車線内に戻す操作を支援します。(➡P.197)		—	○	—	—
	④ BSW (後側方車両検知警報) ★	車線変更時、隣車線に車両がいる場合に警報します。(➡P.189)	警報	○	—	—	—
	⑥ LDW (車線逸脱警報)	運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうなとき、警報します。(➡P.197)		—	○	—	—
	⑩ インテリジェント DA (ふらつき警報)	ハンドル操作から運転者の注意力が低下していると判断したとき、警報音と表示により運転者に休憩を促します。(➡P.206)		—	—	—	—
後方	⑨ RCTA (後退時車両検知警報) ★	後退時、後方を横切ろうとする車両があるとき、警報します。(➡P.203)	警報	○	—	—	—

※1: レーダーセンサー/カメラ類の取り扱い注意に従って、お手入れをお願いします。適切なお手入れを行わないと、システムが正常に作動しないおそれがあります。(➡レーダーセンサーの取り扱い (P.322))、(➡マルチセンシングフロントカメラの取り扱い (P.322))、(➡ソナーの取り扱い(P.323))、(➡フロントビューカメラ★/サイドビューカメラ★の取り扱い(P.323))、(➡リヤビューカメラ★の取り扱い (P.323))

※2: 後方への支援には使用されません。

※3: 後方への支援時にリヤビューカメラ★が使用されます。

☆/★: 車両型式、オプションなどで異なる装備

走行支援機能

⚠ 警告

- 走行支援機能は、自動で運転する装置ではありません。運転者は交通法規を遵守し、常に周囲に注意し、道路・交通・自車の状況に応じハンドル、ブレーキペダル、アクセルペダルを確実に操作し、安全な運転を行う責任があります。性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。
- レーダー、カメラ、ソナーの性能には限界があります。詳細については、各検知条件と制限をお読みください。
 - ➡ レーダーセンサーの検知条件と制限 (P.161)
 - ➡ マルチセンシングフロントカメラの検知条件と制限 (P.162)
 - ➡ ソナーの検知条件と制限 (P.163)

フロントガラスに装備されたマルチセンシングフロントカメラ、フロントグリルおよびリヤバンパーに装備されたレーダーセンサー、フロントバンパーおよびリヤバンパーに装備されたソナーセンサーで構成された、走行を支援するシステムです。

■ 作動させるためにプロパイロットスイッチ操作が不要な機能（メーターでのON・OFF設定が可能）

- インテリジェント エマージェンシーブレーキ
 - 踏み間違い衝突防止アシスト
 - インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）
 - BSW（後側方車両検知警報）★
 - インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）★
 - インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）
 - LDW（車線逸脱警報）
 - RCTA（後退時車両検知警報）★
 - インテリジェント DA（ふらつき警報）
 - 標識検知機能
 - 先行車発進お知らせ
- ### ■ 作動させるためにプロパイロットスイッチ操作が必要な機能
- プロパイロット★

走行支援機能の設定

- アドバンスドライバアシストディスプレイで [設定] ⇒ [運転支援] ⇒ 必要な機能を選択すると、設定を切り替えることができます。

機能名	設定できる機能
ハンドル支援★	ハンドル支援機能
側方支援	LDW（車線逸脱警報）、インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）
後側方支援★	BSW（後側方車両検知警報）、インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）
緊急支援	インテリジェント エマージェンシーブレーキ、インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）、踏み間違い衝突防止アシスト
先行車発進お知らせ	先行車発進お知らせ
制限速度標識／速度標識表示	最高速度標識検知
道路標識／標識検知支援	進入禁止標識検知／一時停止標識検知
駐車支援	移動物 検知機能、ソナー機能など
後退時車両検知警報★	RCTA（後退時車両検知警報）
ふらつき警報	インテリジェント DA（ふらつき警報）

レーダーセンサーの検知条件と制限

- レーダーセンサーは次のような物体は検知できないことがあります。
 - － 歩行者、自転車、動物など
 - － 対向車
 - － 前方の車両がオートバイのような幅の狭い車両
- RCTA（後退時車両検知警報）のレーダーセンサーは、次のような物体は検知できないことがあります。
 - － 約30km/h以上の速度で通過する車両
 - － 約8km/h以下の速度で通過する車両
- 次のような場合は、前方の車両を検知できないことがあります。
 - － 悪天候（雨、雪、霧など）で視界が悪いとき
 - － 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
 - － 雪や氷、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき
 - － 放送局・レーダー搭載車両など周辺の電波源により影響を受けているとき
 - － トンネル内を走行しているとき
 - － 前方の車両がけん引を行っているとき
 - － 前方の車両との距離が極端に近いとき
 - － 急なカーブや、勾配の変化があるところを走行しているとき
- 次のような状況では、レーダーセンサーが接近する車両を検知できず、RCTA（後退時車両検知警報）が警報を出さない場合があります。

- 隣に駐車している車両などが、レーダーセンサーの検出エリアを妨げているとき
- 駐車枠線が斜めに引かれた駐車場に駐車しているとき
- 回り込むようにして自車両後方へ車両が接近してきたとき
- 接近してきた車両の向きが、自車両の向きと同じまたはそれに近いとき
- 次のような状況では、隣の車線の車両を検知できないことがあります。
 - 車線の幅が極端に広い道路を運転しているとき
 - 悪天候（雨、雪、霧など）で視界が悪いとき
 - 水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
 - 雪や氷、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき
 - 放送局・レーダー搭載車両など周辺の電波源により影響を受けているとき
- 次のような車両は、正確に検知できない場合があります。
 - 背の低い車両や、オートバイなどの幅の狭い車両
 - 停車状態から検知範囲に居続ける車両
 - 後方から速い速度で接近してくる車両
 - 自車両が速い速度で追い越した車両
 - 合流や車線変更で自車両の横にほぼ同じ速度で移動してきた車両

マルチセンシングフロントカメラの検知条件と制限

- マルチセンシングフロントカメラは次のような障害物を検知できないことがあります。
 - 子供などの背の低い人、動物、自転車
 - 対向車両
 - 道路構造物（ガードレール、ポールなど車両と歩行者以外の障害物）
- マルチセンシングフロントカメラは車両の後端を認識するため、次のような車両を検知しないもしくは検知できない場合があります。
 - バンパー形状などにより、タイヤが見えにくい車両
 - 幌がはみ出し、後端形状がはっきりしない車両
 - 前方を横切って通過する車両
 - 斜めもしくは前向きに止まっている車両
- マルチセンシングフロントカメラは次のような場合、前方の車両、歩行者を検知できないことがあります。
 - 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
 - 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
 - カメラ前方のフロントガラスのくもりや、汚れ、油膜、虫汚れ、水滴、氷、雪、泥などが付着しているとき
 - 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
 - 前方の強い光により前方車両のタイヤの部分が影になり見えにくいとき
 - 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れている、または光軸調整が適切に行われていないとき
 - 夜間やトンネル内などで前方の車両のテールランプが点灯していないとき
 - トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
 - カーブを走行しているとき
 - 勾配の変化があるところを走行しているとき
 - 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
 - 歩行者が大きな荷物を持っている、背景と同じ色の服を着ているなど人特有の輪郭が認識できないとき
 - 前方車両からの太陽光などを強く反射されたとき
 - 対象物の位置や動きが大きく変化した場合（自車の車線変更・右左折、前方車両の右左折・急ハンドル・急加速・急減速など）
 - 始動してから約15秒間
 - カメラの向きがずれているとき
- マルチセンシングフロントカメラは次の例のような周辺状況では対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動しない場合があります。
 - 対象物が背景と似た色合いで区別ができない場合

- 対象物が道路標示（道路上の横断歩道、制限速度などの標示）の近くにある場合
- 対象物が路面の水たまりの付近にある場合（周りの風景が水たまりに映りこむなど）
- 対象物が建物や街路樹などの影と重なっているとき
- 対象物と自車の間に水蒸気や煙などがあるとき
- 夜間やトンネル内など暗い場所にいる歩行者
- 車高の低い車両または最低地上高（地面から車体までの高さ）が極端に低いもしくは極端に高い車両
- 特殊な形状の車両（タンクローリー、サイドカーなど）
- 前方の至近距離に割り込んだ車両
- 前方の至近距離に飛び出してきた歩行者
- 自車の正面から横にずれた位置に存在する車両や歩行者、人が乗車している自転車
- 後端面積が小さい車両（空荷のトラックなど）
- リヤタイヤから車両後端までが長い車両
- 四輪車以外の車両（二輪車など）
- 荷台から荷物や幌がはみ出している車両
- マルチセンシングフロントカメラは次の例のような場合、衝突するおそれがある対象を正しく検出できない場合があります。
 - 複数の対象物同士が近接している場合

- 衝突するおそれのある対象の二輪車または車高の低い車両の前方近くに車両がいる場合
- 自車の正面から横にずれた位置に存在する車両や歩行者

ソナーの検知条件と制限

- 次のような場合、ソナーは正しく検出できないことがあります。
 - 人、動物などの動いているもの、特に人は衣服の種類によっても検出できない場合があります。
 - 背の低い障害物
 - 溝や穴など地面より低い場所
 - ボールなどの幅の狭い障害物
 - 針金、ロープ、チェーンなどの細い障害物
 - 金網、フェンス、ショッピングカートなどのすき間が多い障害物
 - 鋭角的な形の障害物
 - 壁などに配置されている配管などの障害物
 - 地面から高い位置に存在する障害物
 - 柱などで構成されている平面ではない障害物
 - スポンジ状のものや雪などの表面が柔らかく音波を吸収しやすい障害物
 - バンパーに非常に近い障害物
 - 急に進行方向に現れた障害物
 - 急にソナーの検出範囲に飛び込んできた障害物
 - 急に近づいてきた障害物
 - 車両側方にある障害物

- 障害物の面が車両の前面、または後面に対して斜めするとき
- ソナーセンサー部や周辺が凍結したり、雨、雪、氷、汚れなどが付着したりしているとき
- 車両姿勢が大きく傾いているとき
- 炎天下や寒冷時でセンサー周辺が著しく高温または低温のとき
- 凸凹道、坂道、砂利道、草むらを走行しているとき
- 他車のホーン、オートバイの排気音や工事など、付近で大きな音がしたとき
- 車両感応センサーや他車のソナーなど、超音波を発するものが付近にあるとき
- 次のような場合、ソナーは検知することがあります。
 - 周囲に草が生い茂っているとき
 - 車両側面の近くに壁があるとき
 - 高さのあるゲート、狭いトンネル、料金所のバーなど
 - マンホールやスピードバンプなど路面上に段差や突起物があるとき
 - 垂れ下がった旗、ビニールカーテンなどをくぐって走行するとき
 - 車両周辺に雪のかたまりがあるとき
 - 勾配路
 - 車両感応センサーや他車のソナーなど、超音波を発するものが付近にあるとき
 - 他車のホーン、オートバイの排気音や工事など、付近で大きな音がしたとき
 - 背が高く上部が張り出しているものがあるとき

運転支援機能

- 雨、雪、氷、汚れなどがソナーセンサーに付着しているとき
- 凸形状または凹形状の構造物の近くを通過しているとき
- 車両側方の近くに構造物（壁、料金所設備、駐車場のゲート設備など）があるとき

プロパイロット★

プロパイロットは、高速道路や自動車専用道路を運転者が設定した車速を上限に、先行車と車速に応じた車間距離を保ちながら、車線中央付近を走行するための運転操作を支援します。

プロパイロットに関する注意事項

- **プロパイロットは自動で運転する装置ではありません。また、脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意での運転操作を補助するものではありません。**
運転者はシステムを過信せず、常に周囲に注意し、道路・交通・自車両の状況に応じて確実にハンドル、アクセルペダル、ブレーキペダルを操作して、安全な運転を行う責任があります。
- **プロパイロットは高速道路や自動車専用道路の直線や緩やかなカーブでの使用を想定して設計されています。**
一般道での使用は思わぬ事故につながるおそれがあるため使用しないでください。
- **プロパイロットは同一方向に走行する車両を検出し、車間距離を保つようアクセル、ブレーキを制御します。**
対向車両、前方を横切る車両、車線外（路肩など）にいる車両、歩行者、自転

車、工事用のパイロン、落下物などの車両以外のものに反応しません。

- **プロパイロットは車線中央付近を走行するようにステアリングを制御します。側方から車両が近づいてきても反応しません。**

交通法規を遵守する責任は運転者にあります。走行している地域や道路の交通法規を遵守し、安全な走行を行ってください。

- **プロパイロットの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。**

自車の前への急な割り込みや先行車が急ブレーキをかけたとき、急なカーブを走行するとき、悪天候などでは、適切な減速や操舵制御が行えず先行車に接近したり、レーンマーカーに近づいたりすることがあります。先行車との車間距離、自車の車線内の位置、周囲の状況に応じて自らアクセルペダル、ブレーキペダル、ハンドルの操作し、常に安全運転を心がけてください。

レーンマーカーとは、走行車線の右側もしくは、左側に引かれた線のことを示します。

- **プロパイロットを解除せずに降車しないでください。**

車両を停止し続ける能力をもっていません。降車する場合は＜プロパイロットスイッチ＞を押してシステムをOFFにし、セレクトレバーを \square に切り替え、電動パーキングブレーキを作動させてください。

- **次のような状況では適切な制御ができず、思わぬ事故につながるおそれがあるため使用しないでください。**

- 凍結路や積雪路など滑りやすい路面を走行しているとき
- 悪天候（雨、雪、霧など）のとき
- 急カーブや曲がりくねった道を走行しているとき
- 急な上り坂、下り坂を走行しているとき
- 頻繁な加減速により、車間距離が保ちにくい交通状況のとき
- 料金所を通るとき
- タイヤの空気圧が適正ではないとき
- 摩耗しているタイヤ、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているときや、タイヤチェーンを装着しているとき
- 純正品以外のブレーキ部品やサスペンション部品を使用しているとき
- レーダー部に雪、氷、泥などの付着物があるとき
- マルチセンシングフロントカメラおよびその前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪、泥などの付着物があるとき
- マルチセンシングフロントカメラおよび、その前方のフロントガラスにくもりや結露があるとき
- レーダー、カメラ、ソナーの機能を妨げるものを取り付けたとき
- 極端に重い荷物を積んでいるとき
- けん引されているとき

プロパイロットの機能

プロパイロットには次の機能があります。

機能名	概要説明	参照先
車速・車間制御機能	<ul style="list-style-type: none"> ● 先行車を検出していないときは、運転者が設定した車速を維持するように制御します。 ● 先行車を検出しているときは、運転者が設定した車速を上限に、車速に応じた車間距離を保つように制御します。 	➡ P.172
車線維持機能（ハンドル支援）	<ul style="list-style-type: none"> ● 車線中央付近を走行するようにステアリングを制御し、運転者のハンドル操作を支援します。 	➡ P.174

システム構成

警告

- プロパイロットは次のような障害物には反応しません。
 - － 歩行者、動物など
 - － 落下物
 - － 工事などで設置されるパイロンなど
 - － 特殊な形状をした車両
- 次のような状況では先行車の検出が遅れる、または検出ができないことがあります。運転者は常に前方の状況に注意し、必要に応じてブレーキペダルやハンドルを操作してください。
 - － 前方に急な割り込みがあったとき
 - － 停止車両など自車速よりも極端に遅い車両がいたとき
 - － 見通しの悪いカーブを走行しているとき
 - － 前方に車線の端を走行する二輪車がいるとき
 - － 先行車や他車線の車両が路上の水や雪などを巻き上げて走行しているとき
 - － 急な上り坂、下り坂が繰り返される道を走行しているとき
 - － 後席やラゲッジルームに極端に重い荷物を積んだとき
 - － 悪天候のとき（雨、霧、雪など）

- 次のような状況では正しくレーンマーカーの検出ができず車線維持機能（ハンドル支援）が使用できないことがあります。
 - － レーンマーカーが消えかかっている、汚れているなど不明瞭なとき
 - － レーンマーカーが路面の色と似ており見えにくいとき
 - － レーンマーカーが多重に描かれているとき
 - － 消されたレーンマーカーが、まだ薄く残っているとき
 - － 工事などによる車線規制や仮設のレーンマーカーがあるとき
 - － 料金所や交差点手前などでレーンマーカーが大きく変化しているとき
 - － 車線幅が極端に狭いときや広いとき、または変化しているとき
 - － 停止禁止部分、または立ち入り禁止部分がある道を走行しているとき
 - － 出口路、分岐路など車線数が増えるとき
 - － 濡れているまたは水たまりのある路面を走行しているとき
 - － 道路構造物、街路樹、建物などの影が差している路面を走行しているとき
 - － 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき

- － 先行車や他車線の車両が路上の水や雪などを巻き上げて走行しているとき
- － 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
- － 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れているとき
- － トンネルの出入り口や日陰などに明るさの変化が起こったとき
- － 急な上り坂、下り坂が繰り返される道を走行しているとき
- － 後席やラゲッジルームに極端に重い荷物を積んでいるとき
- 次のような状況では隣の車線の車両の検出が遅れる、または検出ができないことがあります。運転者は常に周囲の状況に注意し、必要に応じてハンドルを操作してください。
 - － 背の低い車両や、オートバイなどの幅の狭い車両が走行しているとき
 - － 後方から速い速度で接近してくる車両が走行しているとき
 - － 後方から近づいてくる車両が車線変更などにより隣の車線に移動したとき
 - － 自車や周囲の車両が路上の水や雪などを巻き上げて走行しているとき

⚠ 警告

- 放送局・レーダー搭載車両など周辺の電波源により影響を受けているとき
- 急な上り坂、下り坂が繰り返される道を走行しているとき
- 後席やラゲッジルームに極端に重い荷物を積んだとき
- 悪天候のとき（雨、霧、雪など）

● フロントレーダーの汚れを自動的に判定する機能を備えておりますが万全ではありません。

状況によってはレーダーが汚れていても判定できない場合があります。また雪、氷などが付着したときも判定できない場合があります。

このような状況では適切な作動ができなくなるおそれがあるため、常に周囲に注意して走行してください。またフロントレーダーおよびその周辺はいつもきれいにしておいてください。

➡ レーダーセンサーの取り扱い (P.322)

● フロントカメラの汚れを自動的に判定する機能を備えておりますが万全ではありません。

状況によってはフロントカメラが汚れていても判定できない場合があります。また雪、氷などが付着したときも判定できない場合があります。

このような状況では適切な作動ができなくなるおそれがあるため、常に前方に注意して走行してください。またフロントカメラおよびその周辺はいつもきれいにしておいてください。

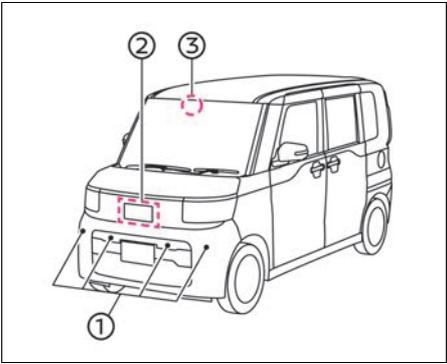
➡ マルチセンシングフロントカメラの取り扱い (P.322)

🚗 アドバイス

- プロパイロットを正しく作動させるために、カメラ前方のフロントガラス、レーダーセンサーおよびソナーセンサー周辺のお手入れを行ってください。

➡ 外装のお手入れ (P.320)

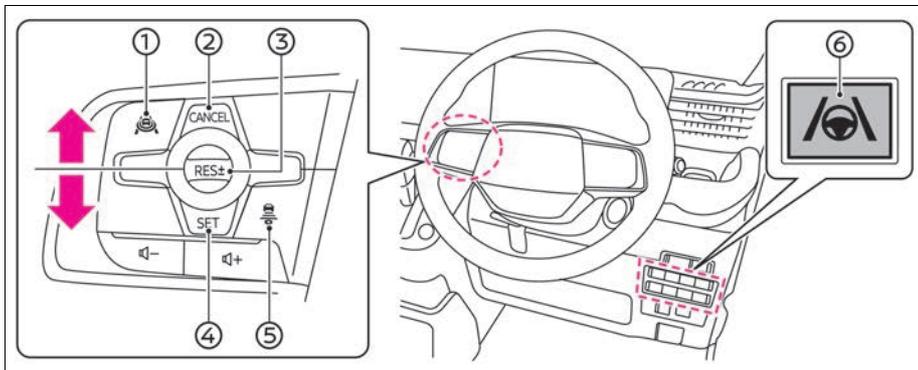
プロパイロットは次のような部品で構成されています。



① ソナーセンサー
前方の車両を検知

- ② フロントレーダーセンサー
前方の車両を検知し、インテリジェントクルーズコントロールに使用
- ③ マルチセンシングフロントカメラ
車線のレーンマーカールを検知し、ハンドル支援に使用

プロパイロットに関連するスイッチ



- ① **プロパイロットスイッチ**
プロパイロットのON・OFFができます。
- ② **CANCELスイッチ**
プロパイロットの解除ができます。
このとき、設定車速を消さずに解除することができます。
- ③ **RES±スイッチ**
プロパイロットを解除後に押すと、解除前の設定車速で再び開始することができます。
上押しすると、設定車速を上げることができます。
下押しすると、設定車速を下げるすることができます。
- ④ **SETスイッチ**
SETスイッチを押したときの車速でプロパイロットを開始できます。
- ⑤ **車間設定スイッチ**
車間距離を「長」「中」「短」の3段階に切り替えることができます。
- ⑥ **ハンドル支援スイッチ**
ハンドル支援のON・OFFができます。

プロパイロットの使いかた

1. <プロパイロットスイッチ>を押します。(1.5秒未満)
 - プロパイロットがONになります。
 - アドバンスドドライブアシストディスプレイにプロパイロットの状態が表示されます。(P.170)

知識

- <プロパイロットスイッチ>を1.5秒以上押し続けると定速制御機能に切り替わり、ハンドル支援を行いません。
2. <SETスイッチ>を押したときの車速でプロパイロットを開始します。
 - 先行車を検出していない場合、運転者が設定した車速を維持するように制御します。

■ 車間距離設定のしかた

警告

- プロパイロットは脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意での運転操作を補助するものではありません。
先行車との車間距離、車線内の位置、周囲の状況に応じてアクセルペダル、ブレーキペダル、ハンドルを操作するなどして、常に安全運転を心がけてください。

プロパイロットがONのときに<車間設定スイッチ>を押すと、車間距離を設定でき

運転支援機能

ます。車両アイコン下のバーの本数で設定を表示します。

アイコン下のバーの本数	車間距離
3本	長
2本	中
1本	短

● 車間設定は、エンジンを停止しても再度設定を変更するまでその状態が維持されます。

■ 設定車速の変更のしかた

加速したいとき：

● 設定車速を上げたいときは、<RES±スイッチ>を上方向に押しします。

減速したいとき：

● 設定車速を下げたいときは、<RES±スイッチ>を下方向に押しします。

設定車速は5km/hきざみで変更できます。スイッチを押し続けると設定車速が5km/hずつ連続して変わります。希望の速度でスイッチを離してください。

■ 一時的に加速、減速をしたいとき

⚠ 警告

● アクセルペダルを操作して加速しているときは、ブレーキ制御、接近警報を行いません。

通常、車間制御中は先行車の速度に合わせて自動的に加速、減速を行います。車線変更などで加速が必要ときや、先行車が急減速したり、他車が割り込むなどして先行車に接近しそうなときなどはアクセルペダル、またはブレーキペダルを踏んで周囲の状況に応じた適切な加速、減速を行ってください。

- ハンドルを持ってアクセルペダルを踏むと加速します。
- アクセルペダルを踏んで加速したときなど、設定車速より実際の車速が高くなった場合は、設定車速表示が点滅します。
- アクセルペダルを離すと再び車速車間制御を行います。
- ブレーキペダルを踏むと減速します。（プロパイロットは解除されます）
- 解除前の設定車速で再び開始したいときは、<RES±スイッチ>を上方向に押しします。

■ 車線維持機能（ハンドル支援）のON・OFFのしかた

スイッチでのON・OFFのしかた

● <ハンドル支援スイッチ>を押すごとにハンドル支援のON・OFFを切り替えることができます。

メーターでのON・OFFの設定

● アドバンスドドライブアシストディスプレイで [設定] ⇒ [運転支援] ⇒ [プロパイロット] ⇒ [ハンドル支援設定] を

選択すると、ハンドル支援のON・OFFを切り替えることができます。ハンドル支援のON・OFF設定はエンジンを停止しても再度設定が変更されるまで、その状態を維持します。

■ プロパイロットの解除のしかた

⚠ 警告

● プロパイロットをOFFにせずに降車しないでください。

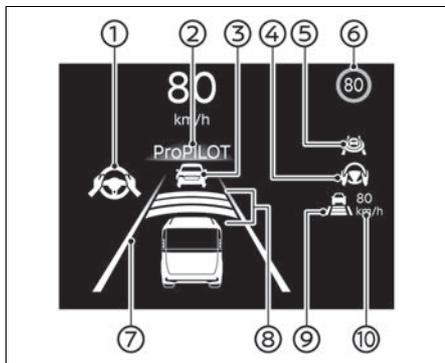
降車する場合は<プロパイロットスイッチ>を押してシステムをOFFにし、電動パーキングブレーキを 작동させ、セレクトレバーをPにしてください。

次のいずれかの操作でプロパイロットが解除されます。

- <プロパイロットスイッチ>を押す
- <CANCEL>スイッチを押す
- ブレーキペダルを踏む（車速・車間制御機能により、自車が停止しているときを除く）
解除前の設定車速で再び開始したいときは、<RES±スイッチ>を上方向に押しします。
車速・車間制御機能により自車が停止しているとき、システムを解除すると電動パーキングブレーキが作動します。

運転支援機能

アドバンスドドライブアシストディスプレイ表示

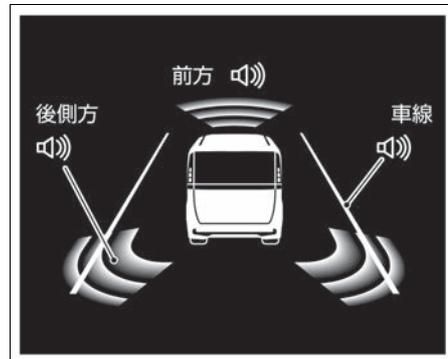


メーター表示項目		表示内容	
①⑦	ハンドル支援の作動状態	灰色⇒ハンドル支援待機中	緑色⇒ハンドル支援中
②	プロパイロット作動状態	プロパイロット作動中は青色に点灯	
③	先行車検出の有無	車両アイコン非表示⇒先行車検出無し	車両アイコン表示⇒先行車検出有り
④	ハンドル支援作動灯／警告灯	灰色⇒ハンドル支援待機中	黄色⇒車線維持機能（ハンドル支援）が故障状態
		赤色⇒ハンドルを離している状態（手放し警報のみ）	緑色⇒ハンドル支援中
⑤	プロパイロットの作動状態	白色⇒プロパイロットON	青色⇒プロパイロット作動開始
⑥	標識検知表示	標識検知機能で検出した速度標識を表示	
⑧	車間設定表示	車間設定状態を表示	

運転支援機能

メーター表示項目		表示内容	
⑨	車速・車間制御作動状態	車両アイコン非表示⇒先行車検出無し（定速制御中）	車両アイコン表示⇒先行車検出有り（定車間制御中）
		車間距離の設定状況を表示	
		レーンマーカーアイコン灰色⇒ハンドル支援待機中	レーンマーカーアイコン緑色⇒ハンドル支援中
		白色⇒プロパイロットON 黄色⇒プロパイロットが故障状態	緑色⇒プロパイロット作動開始
⑩	設定車速表示	設定車速を表示	

運転支援ステータス画面



プロパイロットを起動したあと、車速を設定する前に運転支援ステータス画面が表示されます。画面は、後側方、前方運転支援、および側方運転支援のステータスを表示します。運転支援設定で選択されている場合、<プロパイロットスイッチ>を押すと、システムも作動状態になります。

- 運転支援ステータスを変更するには、アドバンスドドライブアシストディスプレイで次のようにメニューを選択し、設定を変更してください。（➡P.161）
[設定] ⇒ [運転支援]

運転支援機能をONに設定している場合の表示

範囲	運転支援機能名称	機能	表示
前方	インテリジェントエマージェンシーブレーキ	支援	[🔊]
	インテリジェントFCW（前方衝突予測警報）	警報	[🔊]

範囲	運転支援機能名称	機能	表示
車線	LDW（車線逸脱警報）	警報	[🔊]
	インテリジェントLI（車線逸脱防止支援システム）	支援	[🛡️]
後側方	BSW（後側方車両検知警報）	警報	[🔊]
	インテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）	支援	[🛡️]

[🔊]：警報機能がONになっている場合に表示

[🛡️]：支援機能がONになっている場合に表示

[OFF]：どの機能もONになっていない場合に表示

車速・車間制御機能（インテリジェントクルーズコントロール）

インテリジェントクルーズコントロールは、プロパイロットの機能の一部です。このシステムを使用する前に、システムの操作方法（➡P.168）やディスプレイの理解（➡P.170）を含め、プロパイロット全体（➡P.164）をお読みください。

インテリジェントクルーズコントロールは、フロントレーダーセンサーを使用して制御します。

- 先行車を検出していない場合は運転者が設定した車速で定速走行します。
- 先行車を検出しているときは、運転者がセットした車速（約30km/h以上）を上限に、車速に応じた車間距離を保つように車間制御を行い走行します。先行車が停止したときは、先行車に続いて自車も停止します。一度停止すると、インテリジェントクルーズコントロールは停止した状態を保持します。
- 先行車がいなくなると設定車速まで加速します。
- 設定車速は設定車速表示を確認しながら変更してください。
- インテリジェントクルーズコントロールの制御によりブレーキが作動した場合は、自車の制動灯が点灯します。
- インテリジェントクルーズコントロールの制御により自車が停止中、先行車が発進するとアイドリングストップが解除されエンジンが再始動します。

インテリジェントクルーズコントロールは、車両ブレーキ力の最大40%しか適用し

ないため、車速を一定に保ちやすい交通状況で使用してください。

ハンドルを持ってアクセルペダルを踏むと加速します。アクセルペダルを操作して加速しているときは、ブレーキ制御、接近警報を行いません。

インテリジェントクルーズコントロールが作動しているときは、インテリジェントエマージェンシーブレーキおよびインテリジェントFCW（前方衝突予測警報）がONになります。

車速・車間制御の自動解除

次の場合は、警告音とともに車速・車間制御機能が自動的に解除されます。

- 先行車を検出していないときに、車速が約25km/hを下回ったとき
- 運転席、助手席、後席のいずれかのドアを開けたとき
- 運転席のシートベルトを外したとき
- 車速・車間制御機能により自車が停止後、約3分が経過したとき
- セレクトレバーをDまたはL以外にしたとき
- 電動パーキングブレーキをかけたとき
- VDCをOFFにしたとき
- VDCが作動したとき
- タイヤが空転したとき
- 周辺の電波源の影響を受けているとき
- 周辺の電波源や環境による反射などにより、一時的に電波を受信できなかったとき
- レーダーセンサーが汚れているとき

次の場合は、プロパイロットの制御を開始することができません。（設定車速表示が約2秒間点滅します）

- 運転席、後席、またはバックドアのいずれかのドアが開いているとき
- 運転席のシートベルトを着用していないとき
- 車速が約30km/hを下回っていて、先行車を検出していないとき
- セレクトレバーがDまたはL以外するとき
- 電動パーキングブレーキが作動しているとき
- ブレーキペダルを踏んでいるとき
- VDCをOFFにしたとき
- VDC/TCSが作動したとき
- タイヤが空転したとき

システム作動

警告

- 運転者は周囲の状況に注意し、必要に応じてブレーキペダルを操作してください。

車速・車間制御機能で停止したあと、前方に車両が割り込んできた場合、位置や車両の向きによっては検出することができず、先行車が発進すると自車も動きだし割り込んできた車両に接近するおそれがあります。

インテリジェントクルーズコントロールは、次の2つのモードのいずれかに設定できます。

運転支援機能

- 定速制御機能 (P.175)
- 車速・車間制御機能 (P.172)
- 車線維持機能 (ハンドル支援) は定速制御機能では使用できません。ハンドル支援なしで車速・車間制御機能を使用するには、プロパイロットを起動してから、<ハンドル支援スイッチ>または設定メニューで車線維持機能 (ハンドル支援) をOFFにします。詳細については、**➡ 車線維持機能 (ハンドル支援) のON・OFFのしかた (P.174)**を参照してください。

知識

- インテリジェントクルーズコントロールで自車が停止したとき、停止した状態を保持するまでは周囲に注意してください。

■ 先行車を検出していないとき

先行車がないときは、運転者が設定した車速を維持するように制御します。先行車がいなくなると先行車検出表示と車速制御作動灯が消灯し、運転者が設定した車速まで加速します。

知識

- 設定車速までは機能の制御によって加速しますが、素早く加速したいときはアクセルペダルを踏んで加速してください。

- 先行車を検出していない場合、車速が約25km/h以下になると、インテリジェントクルーズコントロールは解除されます。

■ 先行車を検出しているとき

先行車検出表示と車速制御作動灯が点灯し、運転者が設定した車速を上限に、車速に応じた車間距離を保つように制御します。

➡ 車間距離設定のしかた (P.168)

■ 先行車が停止したとき

- インテリジェントクルーズコントロールで走行中に先行車が停止したときは、先行車に続いて自車も停止します。一度停止すると、インテリジェントクルーズコントロールは停止した状態を保持します。(停止した状態を保持しているときは、[RESで発進します]と表示されます)

■ 先行車が発進したとき

- インテリジェントクルーズコントロールで停止状態を保持しているときに先行車が発進したときは、<RES±スイッチ>を上方向に押すか、アクセルペダルを踏むと停止状態は解除され、再びインテリジェントクルーズコントロールによる追従走行を開始します。
- 車両停止保持状態のときに、<RES±スイッチ>を上方向に押すと、約3秒間は発進待機状態になります。

接近警報

- 車間制御中に先行車の減速度合いが大きいかや他車の割り込みなどによって、十分な減速ができない状態で先行車に接近したときは、ブザーとアドバンスドライバシストディスプレイの表示によって運転者に注意を促します。この場合は、ブレーキペダルを踏んで減速し、適切な車間距離を確保してください。
- 先行車に接近し、車間距離が十分でない判断されるときはブザーが“ピッ、ピッ、ピッ...”と鳴り、アドバンスドライバシストディスプレイの先行車検出表示および接近警報表示が点滅します。
- 短い車間距離でも、次の場合には接近警報が作動しないことがあります。
 - 先行車とほぼ同じ速度で走っているとき
 - 先行車の方が自車より速いとき (車間距離が次第に離れていくとき)
 - 他車が至近距離に割り込んできたとき

追い越し時加速機能

- 設定車速が70km/h以上で車速・車間制御中、先行車が設定車速以下のとき、方向指示器を右折側に操作すると、車両が加速し先行車を追い越し準備を始めます。
- 運転者がハンドルを操作し、追い越すために車線を変更したときに先行車を検出した場合は、運転者が設定した車速に応じた車間距離を保つように車間制御を行い走行します。先行車を検出しなかった場合は運転者が設定した車速で定速走行します。

運転支援機能

- 方向指示器を右折側に操作し、車両が加速しているときに先行車との距離が近づきすぎると加速は停止し、設定してある車間距離に戻ります。
- 次の場合は追い越し時加速機能が解除されます。
 - － ブレーキペダルを踏んだとき
 - － <CANCEL>スイッチを押したとき

車線維持機能（ハンドル支援）について

警告

- 車線中央付近を走行するようにステアリングを制御します。側方の車両が近づいてきても反応しません。
- 手放し運転はしない。
必ずハンドルを持ち、安全運転を心がけてください。

車線維持機能（ハンドル支援）は、プロパイロットの機能の一部です。このシステムを使用する前に、システムの操作方法（[P.168](#)）やディスプレイの理解（[P.170](#)）を含め、プロパイロット全体（[P.164](#)）をお読みください。

- 車線維持機能（ハンドル支援）は、マルチセンシングフロントカメラを使用して、左右のレーンマーカーを検出し、車線中央付近を走行するようにステアリングを制御し、運転者のハンドル操作を支援します。
- レーンマーカーとは、走行車線の右側もしくは左側に引かれた線のことを示します。車線維持機能（ハンドル支援）は、

車速・車間制御機能と組み合わせた場合にのみ利用できます。

- 次の条件を満たすとハンドル支援作動表示が緑色で点灯し、作動を開始します。
 - － 車速・車間制御機能が作動しているとき
 - － 両側のレーンマーカーを検出しているとき
 - － 車速が約50km/h以上のとき
 - － 車速が約50km/h以下で、先行車を検出しているとき
 - － 運転者がハンドルを持っているとき
 - － 車線の中央付近を走行しているとき
 - － 方向指示器が作動していないとき
 - － ワイパーが高速で作動していないとき
 - － 車線維持機能（ハンドル支援）がONのとき
- カーブまたは強い横風により、ハンドル支援中に走行車線の右側、もしくは左側のレーンマーカーに近づいたと判断すると、ハンドルが振動するとともに警報音が鳴り、インテリジェントL（車線逸脱防止支援システム）表示がオレンジ色に点滅します。
インテリジェントL（車線逸脱防止支援システム）（[P.197](#)）

■ 車線維持機能（ハンドル支援）のON・OFFのしかた

- <ハンドル支援スイッチ>を押すごとにハンドル支援のON・OFFを切り替えることができます。
ハンドル支援をONにすると、音が鳴ります。

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで [設定] ⇒ [運転支援] ⇒ [プロパイロット] ⇒ [ハンドル支援設定] を選択すると、車線維持機能（ハンドル支援）のON・OFFが切り替えられます。車線維持機能（ハンドル支援）のON・OFF設定はエンジンを停止しても再度設定が変更されるまで、その状態を維持します。

■ 車線維持機能（ハンドル支援）の解除

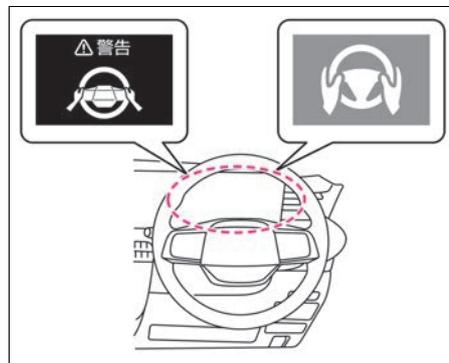
- 次の場合は、音とともにハンドル支援作動表示が灰色になり、車線維持機能（ハンドル支援）が一待機状態になります。（再び作動条件を満たすと作動を再開します）
 - － レーンマーカーを検出しなくなったとき
 - － 前方から強い光を受けたとき
 - － カメラおよびカメラ周辺の温度が高いとき
 - － 運転者がハンドル操作をしたとき
 - － 車速が50km/h以下で、先行車を検知していないとき
- 次の場合は、音とともにハンドル支援作動表示が消灯し、車線維持機能（ハンドル支援）が解除されます。
 - － 車速・車間制御機能が解除されたとき
 - － ワイパーが高速で作動しているとき
 - － 雨、雪、霧または、カメラ前方のフロントガラスの凍結、汚れなどで、カメラの視界が確保できなくなったとき
- ワイパーの高速作動が不要になったら高速作動を解除し、その後プロパイロット

運転支援機能

を再度セット、もしくは<ハンドル支援スイッチ>を押してください。

■ 手放し警告について

運転者がハンドルを持っていない、または操作していない場合、アドバンスドドライバシストディスプレイに手放し警告が表示されます。



概要および対処	
一次警告	<ul style="list-style-type: none"> ● ハンドルを持っていない、またはハンドルを操作していないときに表示します。 ● 運転者のハンドル操作を検出すると警告は消灯します。

概要および対処	
二次警告	<ul style="list-style-type: none"> ● 表示による警告後、運転者がハンドルを操作しないときに表示します。 <ul style="list-style-type: none"> － 音、表示（赤点滅）、および短時間のブレーキ制御で段階的に警告します。 ● 運転者のハンドル操作を検出すると警告は消灯します。
緊急停止	<ul style="list-style-type: none"> ● 警告後、運転者のハンドル操作がない状態が継続したときに表示します。 <ul style="list-style-type: none"> － 緊急警告音が鳴るとともに車両を減速、緊急停止します。 ● 緊急警告音が作動し、自車が減速したとき、車速が約65km/hを下回ると非常点滅表示灯が自動で作動します。ハンドル操作をすると、非常点滅表示灯は自動で消灯します。 ● 車両を緊急停止させた後、SOSコールサービスのオペレーターに接続し、オペレーターから公共機関（警察・消防・医療機関）に救援要請を行います。（SOSコールのシステムを利用するにはNissanConnect サービスの契約が必要です） <ul style="list-style-type: none"> ➡ 先進事故自動通報システム★ (P.235)

📖 知識

- 次のような状況ではハンドルを持っていることを正しく検出できず、ハンドルを持っていても警告が表示されることがあります。
 - － 運転者が手袋を着用しているとき
 - － ハンドルにカバーが取り付けられているとき
 - － 革の繋ぎ目やスポーク部などを握っているとき
 - － ハンドルに手を軽く添えて運転をしているとき

プロパイロット警告メッセージ

警告メッセージが表示されたときは、プロパイロット警告メッセージ (P.292) 「説明・対処方法」に従ってください。表示は、グレード、オプションなどにより異なります。

定速制御機能について

⚠️ 警告

- 定速制御中は車間制御を行わないため、ブレーキ操作も警報も行いません。

先行車との車間距離、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転を心がけてください。

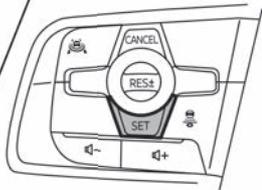
<プロパイロットスイッチ>をONすると点灯し、システムの作動状態を色で表示

運転支援機能

します。セットすると設定した速度を表示します。

1. <プロパイロットスイッチ>を1.5秒以上押し、システムがONになると表示します。

- 白色：システムがONになると表示
- 緑色：車速を設定すると表示
- オレンジ色（警告灯）：システム故障



2. <SETスイッチ>を押したときの車速で定速制御機能をセットします。

- 定速走行中、一時的に加速したいときはアクセルペダルを踏みます。加速後にアクセルペダルを離すと、徐々に設定車速に戻ります。

■ 設定車速の変更のしかた

速度を上げる

- 定速走行中に<RES±スイッチ>を上方に押し続けると加速します。設定したい速度で手を離します。

速度を下げる

- 定速走行中に<RES±スイッチ>を下方に押し続けると減速します。設定したい速度で手を離します。

■ 定速走行の解除のしかた

次の操作をすると、定速走行が解除されます。

- <CANCEL>スイッチを押す
- <プロパイロットスイッチ>を押す
- ブレーキペダルを踏む
- 次の場合は、“ピー”という音とともに制御が解除されます。
 - － 速度が約25km/h以下になったとき
 - － VDCをOFFにしたとき
 - － VDC/TCSが作動したとき
 - － タイヤが空転したとき
 - － セレクトレバーを、**D**または**L**以外にしたとき
 - － システムに異常があるとき

インテリジェント エマージェンシーブレーキ

インテリジェント エマージェンシーブレーキは、前方の車両、対向車★や歩行者、人が乗車している自転車と衝突のおそれがあるとき、警報とブレーキにより、運転者の衝突回避操作を支援します。

システムに関連する表示

⚠ 警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。

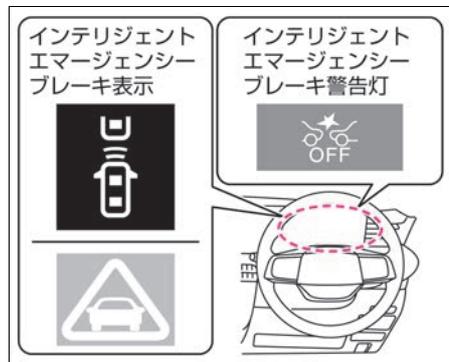
インテリジェント エマージェンシーブレーキは、前方の車両や歩行者、人が乗車している自転車との衝突回避操作を支援、または衝突時の被害や傷害の軽減を目的としています。あらゆる状況で効果があるわけではありません。

必ず周囲の安全確認を行い、前方車両との車間距離を十分に維持して安全運転を心がけて走行してください。

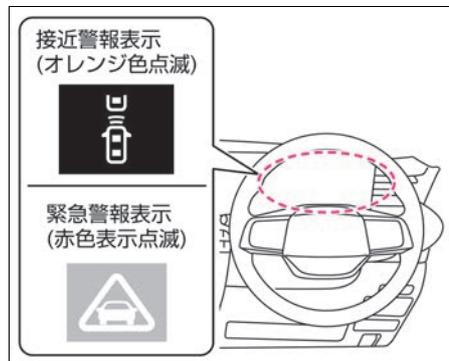
- レーダーやマルチセンシングフロントカメラの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。詳細については、各検知条件と制限をお読みください。

➡ レーダーセンサーの検知条件と制限 (P.161)

➡ マルチセンシングフロントカメラの検知条件と制限 (P.162)



インテリジェントエマージェンシーブレーキについて



- フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラおよび車両前部のレーダーセンサーにより前方の車両、対向車★や歩行者、人が乗車している自転車を検知します。

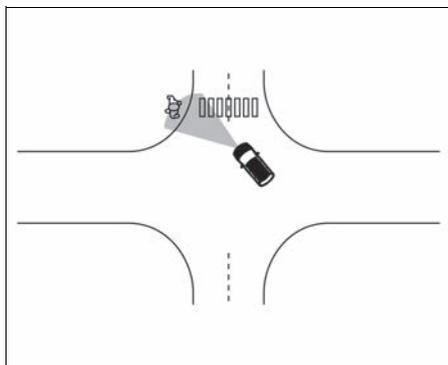
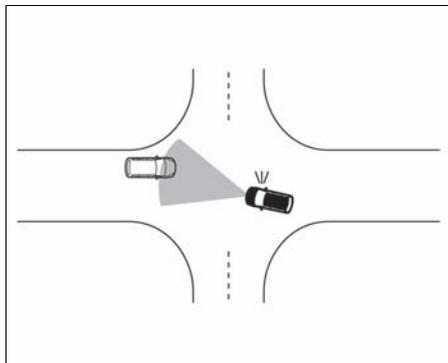
- 車速約5km/hから作動します。歩行者・人が乗車している自転車には約10km/h~80km/hの範囲で作動します。(車速約100km/h以上では停止車両に対しては作動しません)
- 同じ車線の対向車★には約30km/hから作動します。
- 衝突するおそれがあると判断すると、警報音(ブザー)とともにアドバンスドドライブアシストディスプレイのインテリジェントエマージェンシーブレーキ表示(接近警報表示)がオレンジ色に点滅します。
- 運転者の衝突回避操作が不十分で、衝突の危険性が高まったときには、アドバンスドドライブアシストディスプレイのインテリジェントエマージェンシーブレーキ表示が赤色の緊急警報表示になり、警報音(ブザー)とともに軽いブレーキがかかります。
- さらに衝突の危険性が高まったときには、衝突の直前に強いブレーキがかかります。
- 次の場合、システムによるブレーキの作動が解除されます。
 - アクセルペダルを強く踏み込んだとき
 - ハンドルを大きく、または素早く切ったとき
 - 前方の車両や歩行者、人が乗車している自転車との衝突の危険がなくなったと判断したとき
- システムによるブレーキで車両が停止したときは、車両が停止してから約2秒後にブレーキが解除されます。
- 運転者がハンドルやアクセルペダル、ブレーキペダルを操作している場合は、イ

ンテリジェントエマージェンシーブレーキの作動が遅れたり、作動したりしない場合があります。

- 前方車両と自車の速度の差が小さいときは作動しません。
- システムによるブレーキが作動しているときは、制動灯が点灯します。
- システムによるブレーキ作動中にブレーキペダルを踏んだとき、ブレーキペダルの踏みごたえが変化したり、音や振動が発生したりすることがありますが異常ではありません。また踏力を加えることで、ブレーキ力を増すことができます。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイを運転支援に切り替えると、インテリジェントエマージェンシーブレーキの作動状態をアドバンスドドライブアシストディスプレイ内で確認することができます。詳しくは、アドバンスドドライブアシストディスプレイとは(メインメニュー) (P.46)をお読みください。

運転支援機能

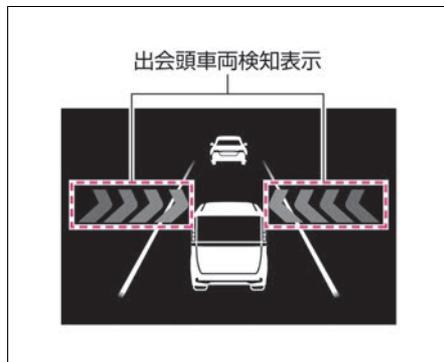
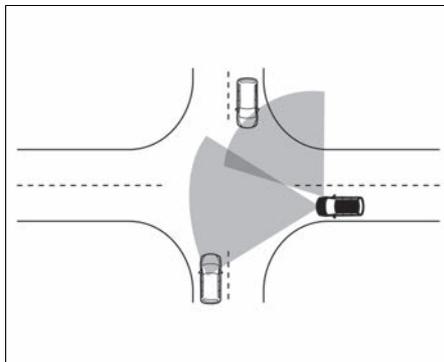
交差点支援（右左折）★



- 次の場合に、衝突するおそれがあるとシステムが判断するとインテリジェントエマージェンシーブレーキが作動します。
 - 右折して対向車の進路を横切るとき
 - 右折または左折時、前方の歩行者または自転車が自車の進路に入ってきたとき

- 車速約10km/h～30km/hの範囲で作動します。
- 対向車に対しては、方向指示器を作動させているときのみ作動します。

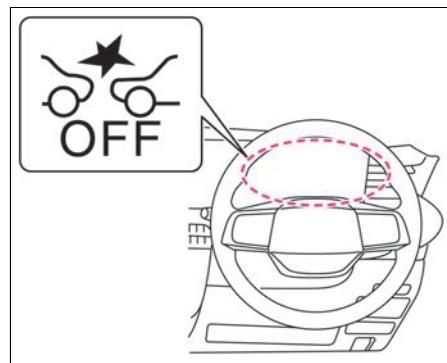
交差点支援（出会頭車両）★



- 車両前部のレーダーセンサーおよびサイドレーダーセンサーにより側方から接近する車両を検知します。

- 車速約5～80km/hの範囲で作動します。
- 交差点などで側方から車両が接近してきたとき、衝突するおそれがあるとシステムが判断すると、警報音（ブザー）とともにアドバンスドドライブアシストディスプレイに出会頭車両検知表示（赤）を表示します。
- 衝突の危険が高まったときには、ブレーキがかかります。
- 車両が停止しているとき、側方から車両が接近してきたときは、アドバンスドドライブアシストディスプレイに出会頭車両検知表示（白）を表示します。

インテリジェントエマージェンシーブレーキの停止のしかた



- アドバンスドドライブアシストディスプレイで [設定] ⇒ [運転支援] ⇒ [緊急支援] ⇒ [前方衝突防止支援] を選択すると、インテリジェントエマージェン

シーブレーキのON・OFFを切り替えることができます。

設定の詳細については、運転支援

(P.58)をお読みください。

- 走行中はインテリジェント エマージェンシーブレーキをOFFにすることができません。
- 機能をOFFにすると、システムが停止します。(インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯が点灯)
- エンジンを再始動するとONになります。
- インテリジェント エマージェンシーブレーキをOFFにすると、インテリジェント FCW (前方衝突予測警報) も連動してOFFになります。
➡ インテリジェント FCW (前方衝突予測警報) (P.200)

インテリジェント エマージェンシーブレーキに関する注意事項

- 次のような障害物は検知しません。
 - 子供などの背の低い人、動物、自転車
 - 道路構造物 (ガードレール、ポールなど車両と歩行者、人が乗車している自転車以外の障害物)
- システムは車両の後端を認識するため、次の例のような車両を検知しないもしくは検知できない場合があります。
 - バンパー形状などにより、タイヤが見えにくい車両
 - 幌がみ出し、後端形状がはっきりしない車両

— 斜めもしくは前向きに止まっている車両

- 次のような場合は、前方の車両、対向車★や歩行者、人が乗車している自転車を検知できないことがあります。
 - 悪天候 (雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など) で視界が悪いとき
 - 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
 - カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪などの付着やワイパーの拭き残しがあるとき
 - カメラ前方のフロントガラスがくもっているとき
 - 前方から強い光 (太陽光や対向車両のハイビームなど) を受けているとき
 - 前方の強い光により前方車両のタイヤの部分が影になり見えにくいとき
 - 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れているとき
 - 夜間やトンネル内などで前方の車両のテールランプが点灯していないとき
 - トンネルの入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
 - カーブを走行しているとき
 - 勾配の変化があるところを走行しているとき
 - 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
 - 歩行者が大きな荷物を持っている、背景と同じ色の服を着ているなど人特有の輪郭が認識できないとき

— 太陽光などが前方車両から強く反射しているとき

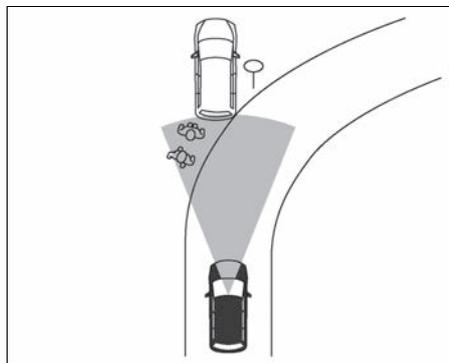
- 対象物の位置や動きが大きく変化した場合 (自車の車線変更・右左折、前方車両の右左折・急ハンドル・急加速・急減速など)
- エンジンを始動してから約15秒間
- エンジン始動後、走行してからインテリジェント エマージェンシーブレーキシステムが1回も障害物を検知していないとき
- カメラの視界がさざぎられているとき (フロントガラスの汚れ、油膜、虫汚れ、ワイパーブレード)
- カメラの向きがずれているとき
- 雪や氷、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき
- 放送局・レーダー搭載車両など周辺の電波源により影響を受けているとき
- オートバイのような幅が狭い車両が前方を走行しているとき
- 子供用の自転車、大きい荷物を載せた自転車、2人以上乗車している自転車、または特殊形状の自転車 (チャイルドシート装着車・タンDEM自転車など)
- 次の例のような周辺状況では対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動しない場合があります。
 - 対象物が背景と似た色合いで区別ができない場合
 - 対象物が道路標示 (道路上の横断歩道、制限速度などの標示) の近くにある場合

運転支援機能

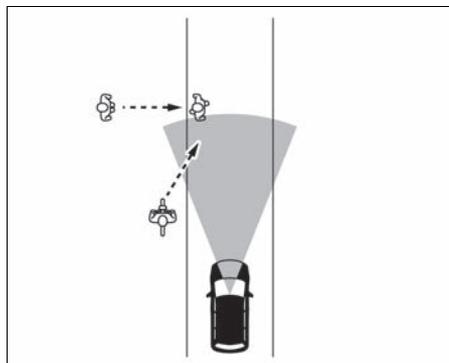
- 対象物が路面の水たまりの付近にある場合（周りの風景が水たまりに映りこむなど）
- 対象物が建物や街路樹などの影と重なっているとき
- 対象物と自車の間に水蒸気や煙などがあるとき
- 次の対象物にはシステムが作動しない場合があります。
 - 歩行者、人が乗車している自転車の移動速度が速いとき
 - 対向して接近する歩行者、自転車
 - 歩行者の姿勢や手足の状態（手を上げているなど）により、歩行していると特定できないとき
 - 夜間やトンネル内など暗い場所にいる歩行者
 - 車高の低い車両または最低地上高（地面から車体までの高さ）が極端に低いもしくは極端に高い車両
 - 特殊な形状の車両（タンクローリー、サイドカーなど）
 - 前方の至近距離に割り込んだ車両
 - 前方の至近距離に飛び出してきた歩行者、自転車
 - 自車の正面から横にずれた位置に存在する車両や歩行者、人が乗車している自転車
 - 後端面積が小さい車両（空荷のトラックなど）
 - リヤタイヤから車両後端までが長い車両
 - 四輪車以外の車両（二輪車など）
 - 荷台から荷物や幌がはみ出している車両

- ショッピングカート、ベビーカー、自転車などを押しているとき
- 次の例のような場合、衝突するおそれがある対象を正しく検出できない場合があります。
 - 複数の対象物同士が近接している場合
 - 衝突するおそれのある対象の二輪車または車高の低い車両の前方近くに車両がいる場合
- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。
- 次のような場合は、システムが機能を十分に発揮できないことがあります。
 - 滑りやすい路面を走行しているとき
 - 勾配のある路面を走行しているとき
 - 外気温が低いときや走行開始直後などでブレーキが冷えているとき
 - 下り坂などでブレーキが過熱してブレーキの効きが悪くなっているとき
 - 水たまり走行後や洗車後などブレーキが濡れてブレーキの効きが悪くなっているとき
 - 長期間駐車などで、ブレーキの性能が十分に発揮できないとき
 - 摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、スペアタイヤのような非常用タイヤ、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているとき
 - タイヤチェーンを装着しているとき
 - 純正品以外のブレーキ部品、サスペンション部品を使用しているとき
 - 車両が傾いているとき（車両後部に極端に重い荷物を積んでいるとき）

- 路面または壁面の影や模様・ペイント（かすれた道路標示や漢字で構成される特殊な道路標示、濡れた路面に映り込んだ模様、わだちなどや光の反射を含む）、前方の道路構造物（トンネル、高架橋、交通標識、車両脇に設置された反射器（リフレクター）、反射シート、ガードレール、カーブミラー、電柱や電線、看板）などで構成される形状が、車両や歩行者、自転車の輪郭の特徴や車両のテールランプの大きさ・位置などと似通っている場合、システムが作動する場合があります。
- 右左折中の前の車両にシステムが作動を継続する場合があります。
- 前の車両に接近し追いつき越す場合、システムが作動する場合があります。
- 道路形状（カーブ、カーブの出入り口、ワインディング、車線規制や工事中など）によっては、一時的に自車正面の対向車にシステムが作動する場合があります。
- 自転車で走行している人を歩行者と検知し、システムが作動する場合があります。
- 次のような物に反応し、システムが作動する場合があります。



- 道路脇にある物（道路標識、ガードレール、歩行者、自転車、人が乗車している自転車、車両など）
- 道幅が狭い路地などを走行する際の歩行者・人が乗車している自転車

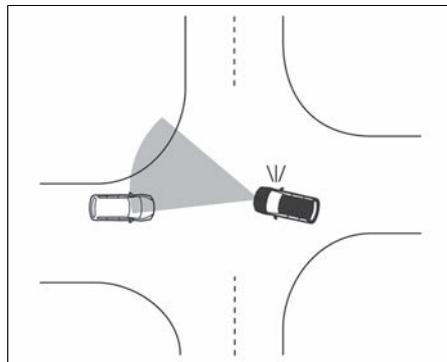


- 路肩の障害物を避けるため、一時的に自車前方の走行レーンにはみ出した

- り、近づいたりする歩行者や人が乗車している自転車
- 路面上にある物（線路、格子、鉄板など）
- 駐車場内にある物（梁など）
- 走行車線または隣接する車線の歩行者、車両など
- 走行車線または隣接する車線に近づいてくる歩行者、車両など
- 対向して接近する歩行者
- 走行路にある物（近接する樹木など）

交差点支援（右左折）★について

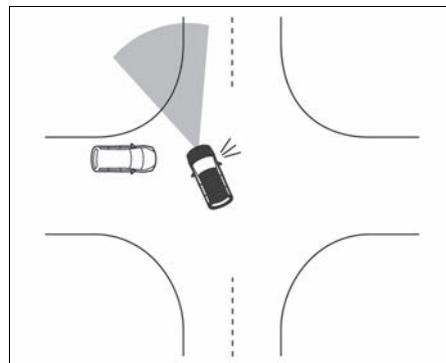
- 交差点支援（右左折）は次のような障害物を検知しません。



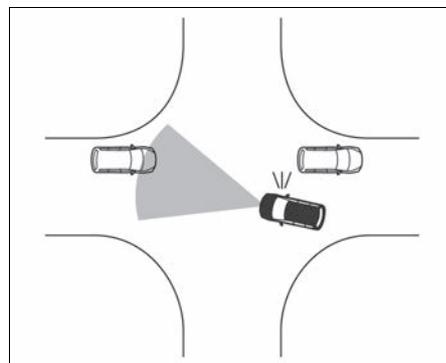
- 自車正面の対向車両

- 次の場合、交差点支援（右左折）が正しく作動しないか、衝突するおそれがある対象を正しく検出できない場合があります。
- 対向車から2車線以上離れた車線を走行しているとき

- 対向車が自車の正面から大きく外れているとき



- 対向車線を横断しているときに、対向車が接近してきたとき
- 急カーブを曲がるとき
- 中央線を認識していないとき



- 対向車が連続しているとき
- 車線幅が極端に広いもしくは狭いとき

- 中央線が道路標示の近くにあるとき
- 次の場合、衝突のおそれがあるとシステムが判断し、交差点支援（右左折）が作動する場合があります。
 - 対向車または横断歩行者が前方を通過したとき
 - 対向車または横断歩行者の手前を通過しようとしたとき
 - 対向車または横断歩行者が自車の進路に入る手前で停止したとき
 - 対向車が自車の前方で右折または左折したとき
- 次のようなものに反応し、交差点支援（右左折）が作動する場合があります。
 - 急ハンドルや急減速などで、動きが予測できない対向車

交差点支援（出会頭車両）★について

- 次の場合、交差点支援（出会頭車両）は車両を検知できない場合があります。
 - 車両の全長が長い場合（大型トラック、トレーラーなど）
 - 車両が構造物や他の車両によって隠れている場合
- 次の場合、交差点支援（出会頭車両）は、車両が接近していなくても作動する場合があります。
 - 壁、ガードレール、または他の車両など、電波を反射する物体が自車に近い場合
 - 車両の上を横切る物体がある場合（高架道路など）

インテリジェント エマージェンシーブレーキの作動が停止するとき

- 次の場合、インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯 [瀟] が点灯し、作動が停止します。
 - インテリジェント エマージェンシーブレーキの設定をOFFにしたとき
- 次の場合、インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯 [瀟] が点灯するとともに、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告を表示し、システムが一時的に作動しなくなります。
 - VDCをOFFにしたとき
 - フロントガラスの汚れなどにより、カメラの前方視界が遮蔽されていると判断したとき
 - 前方からの強い光により、カメラが前方を認識できなくなったとき
 - 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったとき（車室内の温度が下がると、作動を復帰します）
 - 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
 - フロントガラスの結露やくもりなどにより、マルチセンシングフロントカメラが前方を認識できなくなったとき
 - 周辺の電波源の影響を受けているときシステムが停止したときの状態が改善されると、自動的に作動を再開します。

- 車両前部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着しているとき
上記警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してからレーダーセンサーおよびその周辺の汚れを取り除き、エンジンを再始動してください。
- 道路形状や周辺の建造物（長い橋、雪原、長い壁の横など）により、レーダーセンサーが先行車を正確に検知できないとき
上記の状況から離れるとシステムは自動的に作動を再開します。
- 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯せず、真っ暗な状態が継続したとき
- インテリジェント エマージェンシーブレーキのシステムチェックが正常に終了しなかったとき
- けん引されているとき
- システムに異常があると、警告音が鳴るとともにインテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯 [瀟] が点灯し、アドバンスドドライブアシストディスプレイ内に警告が表示され、システムが停止します。
警告灯 (P.275)
警告メッセージ (P.288)
- エンジンが始動してから約15秒間はシステムチェックのためインテリジェント エマージェンシーブレーキシステムは作動しません。

🚗 アドバイス

- システムを正しく作動させるためにカメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。マルチセンシングフロントカメラの取り扱いについては、(📍P.322)をお読みください。
 - インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯 [🚨] が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。
- 上記の操作をしても、警告灯が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

警告灯 (📍P.275)

- VDCをOFFにしたときは、接近警報のみ作動します。

踏み間違い衝突防止アシスト

踏み間違い衝突防止アシストは、マルチセンシングフロントカメラ、インテリジェントアラウンドビューモニターカメラ（リヤビューカメラ）★とソナーで進行方向に壁などの障害物、車両や歩行者を検知し、駐車操作時など低速のときにブレーキペダルと間違えてアクセルペダルを踏み込む、あるいはブレーキ操作が遅れたときに運転者に音と表示で警告します。

さらにエンジンやブレーキを制御することで、過度な加速の防止や障害物への衝突防止を支援します。

システムに関連する表示

⚠️ 警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。

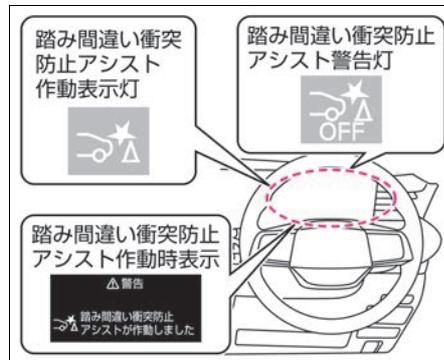
踏み間違い衝突防止アシストは、アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いにより引き起こされる暴走や衝突事故の軽減を目的とした補助機能です。あらゆる状況で効果があるわけではありません。運転者は周囲の安全確認を行い、常に注意深い運転操作を心がけて走行してください。

- ソナーやマルチセンシングフロントカメラ、インテリジェントアラウンドビューモニターカメラ（リヤビューカメラ）★の性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。詳細については、各検知条件と制限をお読みください。

📍 マルチセンシングフロントカメラの検知条件と制限 (P.162)

📍 ソナーの検知条件と制限 (P.163)

📍 インテリジェントアラウンドビューモニターカメラの検知条件と制限 (P.226)



- 踏み間違い衝突防止アシストが作動すると、作動時表示と作動表示灯が表示されます。インテリジェントアラウンドビューモニター付車は、インテリジェントアラウンドビューモニター画面に赤枠が表示されます。

踏み間違い衝突防止アシストの作動

前進時

- フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラにより前方の車両や歩行者を検知し、フロントバンパーに取り付けられたソナーにより、前方の障害物を検知します。

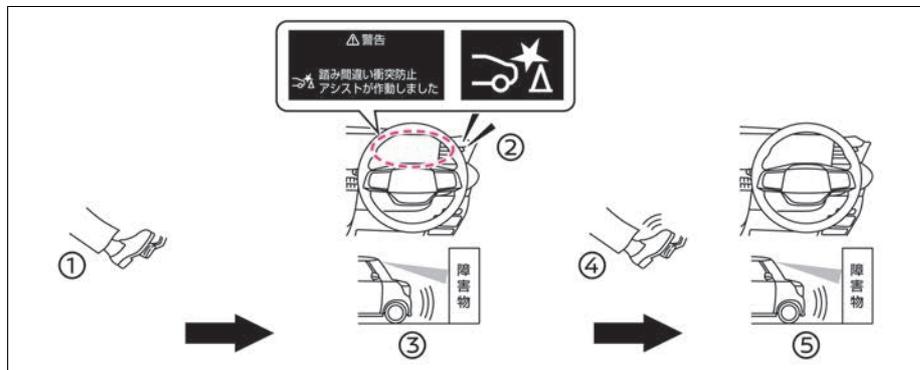
後退時

- リヤナンバープレート上部のインテリジェントアラウンドビューモニターカメラ（リヤビューカメラ）★とリヤバンパーに取り付けられたソナーにより、後方の障害物を検知します。

運転支援機能

- 踏み間違い衝突防止アシストには、2つの機能があります。
 - 低速加速抑制機能
 - 低速衝突軽減ブレーキ機能

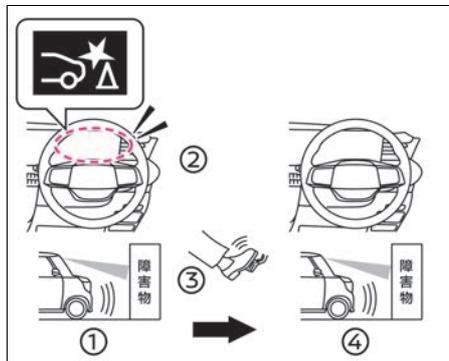
低速加速抑制機能



- ① アクセル誤踏み込み
- ② 警報音と作動表示
- ③ 低速加速抑制
- ④ ブレーキ
- ⑤ 停車、作動停止

- 前進または後退時（停車時含む）、進行方向に車両や歩行者（前進時）、壁などの障害物を検出している場合に、アクセルペダルが必要以上に踏み込まれたとシステムが判断すると、約6秒間加速を抑制したり、弱いブレーキをかけたりすることで車速が上がることを抑えます。
- 次の車速範囲で作動します。
 - 車両、歩行者に対しては、車速約0～25km/h
 - 壁などの障害物に対しては、車速約0～15km/h
- 低速加速抑制機能が作動しているときは、警報音（ブザー）と踏み間違い衝突防止アシスト作動表示灯が表示します。また、アドバンスドドライブアシストディスプレイの表示によって運転者に警告します。
警告メッセージ（➡P.282）

低速衝突軽減ブレーキ機能



- ① 低速衝突軽減ブレーキ
- ② 警報音と作動表示
- ③ ブレーキ
- ④ 停車、作動停止

- 前進、または後退時、進行方向に車両や壁などの障害物を検知し、衝突するおそれがあるとシステムが判断すると、エンジン出力の制御、およびブレーキをかけて衝突を回避、または被害の軽減をします。
- インテリジェントアラウンドビューモニターかつプロパイロット付車は、後退時、進行方向に歩行者を検知し、衝突するおそれがあるとシステムが判断すると、エンジン出力の制御、およびブレーキをかけて衝突を回避、または被害の軽減をします。
- 低速衝突軽減ブレーキ機能は、車速約15km/h以下のとき作動します。

- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動すると、警報音（ブザー）と踏み間違い衝突防止アシスト作動表示灯の表示によって運転者に警告します。
- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動したときは制動灯が点灯します。
- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動しているときは、作動音が聞こえることがありますが異常ではありません。

低速衝突軽減ブレーキが作動するとき・しないとき

クルマ止めのない駐車場などで、壁などに衝突しそうなとき

万一、運転者のブレーキ操作が遅れ、壁などに衝突するおそれがあるとシステムが判断すると、警報音（ブザー）と踏み間違い衝突防止アシスト作動表示灯が表示し、ブレーキをかけて衝突を回避または被害を軽減します。

- ブレーキ制御が作動したあと、再び同じ障害物に近づいたときは作動しません。
- アクセルペダルまたはブレーキペダルを踏んで前進・後退する状況などでは作動が遅れ十分に機能しない場合があります。

縦列駐車をするとき

セレクトレバーを**D**から**R**、または**R**から**D**に切り替えたときは、セレクトレバーの操作を繰り返すたびに進行方向の障害物を検知してブレーキ制御が作動します。

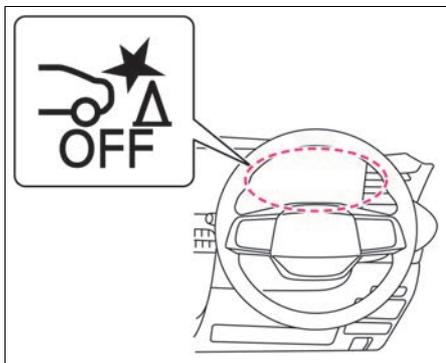
- ブレーキ制御が作動したあと、セレクトレバーを切り替えずにさらに同じ障害物に向かって前進、または後退をした場合は、ブレーキ制御は作動しません。

- アクセルペダルを踏んでいるときは作動が遅れることがあります。
- セレクトレバーが**R**のときは、前方の障害物に対しては作動しません。同様に、セレクトレバーが**D**または**L**のときは後方の障害物に対して作動しません。
- 障害物に対し斜めに接近すると作動しないことがあります。
- 幅の狭い障害物に対しては作動しないことがあります。
- 他の車両が自車両に対して横にすれた位置にあるときは、作動しないまたは作動が遅れることがあります。

並列駐車をするとき

- 狭いスペースに進入するときには作動することがあります。
- 他の車両の角部に向かって接近したときは作動しません。
- 他の車両が自車両に対して横にすれた位置にあるときは、作動しないまたは作動が遅れることがあります。
- セレクトレバーが**R**のときは、前方の障害物に対しては作動しません。同様に、セレクトレバーが**D**または**L**のときは後方の障害物に対して作動しません。
- 壁から突き出している柱や配管などの障害物に対しては作動しません。
- 低い障害物に対しては作動しません。

踏み間違い衝突防止アシストの停止のしかた



- アドバンスドドライブアシストディスプレイで [設定] ⇒ [運転支援] ⇒ [緊急支援] ⇒ [踏み間違い衝突防止アシスト] を選択すると、踏み間違い衝突防止アシストのON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、運転支援 (P.58) をお読みください。
- 機能をOFFにすると、踏み間違い衝突防止アシスト警告灯が点灯し、システムが停止します。
- セレクトレバーをRにしてソナー表示中にステアリングスイッチの<OK>スイッチを押すと、一時的に後方の低速加速抑制機能、低速衝突軽減ブレーキ機能を停止できます。
- エンジンを再始動するとONになります。

踏み間違い衝突防止アシストに関する注意事項

警告

- 故意にアクセルペダルを踏み込まない。
車両が急に動き出し思わぬ事故につながるおそれがあります。また、低速加速抑制機能は、アクセルペダルをゆっくりと深く踏み込んだときには作動しません。
- 次の場合は、予期せずシステムが作動し、思わぬ事故につながるおそれがあるため、踏み間違い衝突防止アシストをOFFにする。
 - けん引するとき
 - トレーラーなどに積載するとき
 - 点検などでシャシーダイナモを使用するとき
 - 純正品以外のサスペンション部品を使用しているとき
(車高や車両の傾きが変わると正しく障害物を検知できないことがあります)
 - センサーを妨げるようなバイクラックなどを装着しているとき
- 外部の騒音などにより、警報音(ブザー)が聞こえない場合があります。

低速衝突軽減ブレーキ機能について

- ブレーキ制御は短時間しか作動しません。必ず運転者がブレーキペダルを踏んでください。

低速加速抑制機能が作動したあとに低速衝突軽減ブレーキ機能が作動したときは、車両が停止してから約2秒後にブレーキが解除され、車両が動き出します。

注意

低速衝突軽減ブレーキ機能について

- システムの作動を待たず、すみやかにブレーキ操作を行う。
車両の状態、走行状況、交通環境、天候、路面状況などにより作動しない場合や、本来の性能を発揮できないことがあります。
- アクセルペダルを踏んだ状態で障害物に接近したときは、作動が遅れることがあります。

アドバイス

- 次の場合は、システムが正常に作動しない、または機能を十分に発揮できないことがあります。
 - 悪天候(雨、霧、雪など)のとき
 - 勾配が急な坂道を走行しているとき
 - 段差などをまたいでいるときなど車両姿勢が変化しているとき
 - 滑りやすい路面を走行しているとき
 - ハンドルを大きく切って旋回しているとき

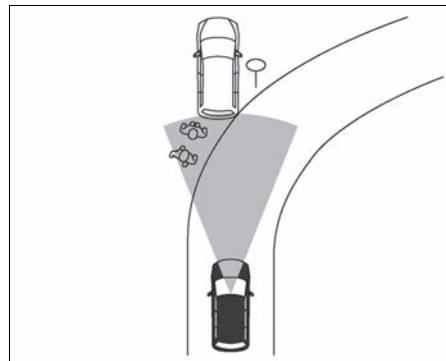
🚗 アドバイス

- 外気温が低いときや走行開始直後などでブレーキが冷えているとき
- 下り坂などでブレーキが過熱、または水たまり走行後や洗車後などでブレーキが濡れてブレーキの効きが悪くなっているとき
- 長期間駐車などで、ブレーキの性能が十分に発揮できないとき
- 摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、スペアタイヤのような非常用タイヤ、日産純正品もしくは日産販売会社に購入したタイヤ以外を使用しているとき
- タイヤチェーンを装着しているとき
- 車両が傾いているとき（後席やラゲッジルームに極端に重い荷物を積んでいるとき）
- 動いている物体に対しては踏み間違い衝突防止アシストは作動しません。（前方の車両、歩行者を除く）

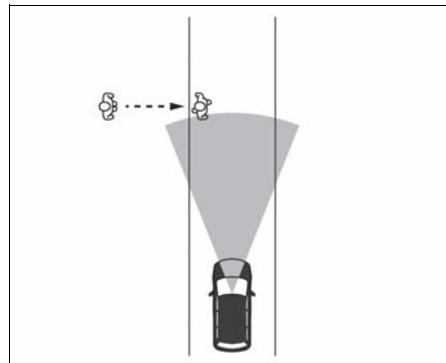
低速加速抑制機能について

- ソナーで検出した壁や車両などの大きな障害物に対して作動します。車両の幅以下の障害物は検知しません。
- マルチセンシングフロントカメラで検出した衝突のおそれのある前方の車両や歩行者に対して作動します。
- 低速加速抑制機能は、運転者がアクセルペダルを戻すと解除されます。

- 渋滞中などで前方にいる車両を追い越すときなどに低速加速抑制機能が一時的に作動することがあります。
- 信号待ちや右折待ちなどで、車間距離の短い状態から前の車に続いて発進する際、アクセルペダルを素早く深く踏み込むと低速加速抑制機能が一時的に作動することがあります。
- 次の場合は作動しません。
 - アクセルペダルをゆっくりと踏み込んだとき
 - ブレーキペダルを踏んでいるとき
 - セレクトレバーが **D**、**L**、**R** 以外のとき
 - トラクションコントロール機能（TCS）が作動しているとき
 - タイヤが空転しているとき
- 路面または壁面の模様・ペイント（かすれた道路標示や漢字で構成される特殊な道路標示を含む）、前方の道路構造物（トンネル、高架橋、交通標識、車両脇に設置された反射器（リフレクター）、反射シート、ガードレール）などで構成される形状が、車両や歩行者の輪郭の特徴や車両のテールランプの大きさ・位置などと似通っている場合、マルチセンシングフロントカメラが対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動する場合があります。
- 自転車で走行している人を歩行者と検出し、システムが作動する場合があります。
- 次のような物に反応し、システムが作動する場合があります。



- 道路脇にある物（道路標識、ガードレール、歩行者、車両など）



- 歩行者が自車前方の走行レーンに近づいた場合
- 道路上方にある物（低い橋、道路標識など）
- 路面上にある物（線路、格子、鉄板など）

運転支援機能

- 駐車場内にある物（梁など）
- 走行車線または隣接する車線の歩行者、車両など
- 走行車線または隣接する車線に近づいてくる歩行者、車両など
- 対向して接近する歩行者
- 走行路にある物（近接する樹木など）

低速衝突軽減ブレーキ機能について

- ブレーキ制御が作動したあと、再び同じ障害物に近づいても作動しません。
- 次の場合は作動しません。
 - セレクトレバーが **D**、**L**、**R** 以外有的时候
- セレクトレバーが **R** のときは、前方の障害物に対しては作動しません。同様に、セレクトレバーが **D** または **L** のときは後方の障害物に対して作動しません。

踏み間違い衝突防止アシストの作動が停止するとき

- 次の場合、踏み間違い衝突防止アシスト警告灯 [㊦] が点灯し、作動が停止します。
 - 踏み間違い衝突防止アシストの設定を OFF にしたとき
 - VDC を OFF にしたとき
 - 駐車支援機能（フロントソナー、コーナーソナー、リヤソナー）に異常があるとき
- 踏み間違い衝突防止アシストが一時的に作動できなくなったときは、踏み間違い衝突防止アシスト警告灯 [㊦] が点滅します。

- システムに異常があると、警告音が鳴るとともに踏み間違い衝突防止アシスト警告灯 [㊦] が点灯し、アドバンスドドライバアシストディスプレイ内に警告が表示され、システムが停止します。
警告灯 (➡ P.277)
警告メッセージ (➡ P.282)

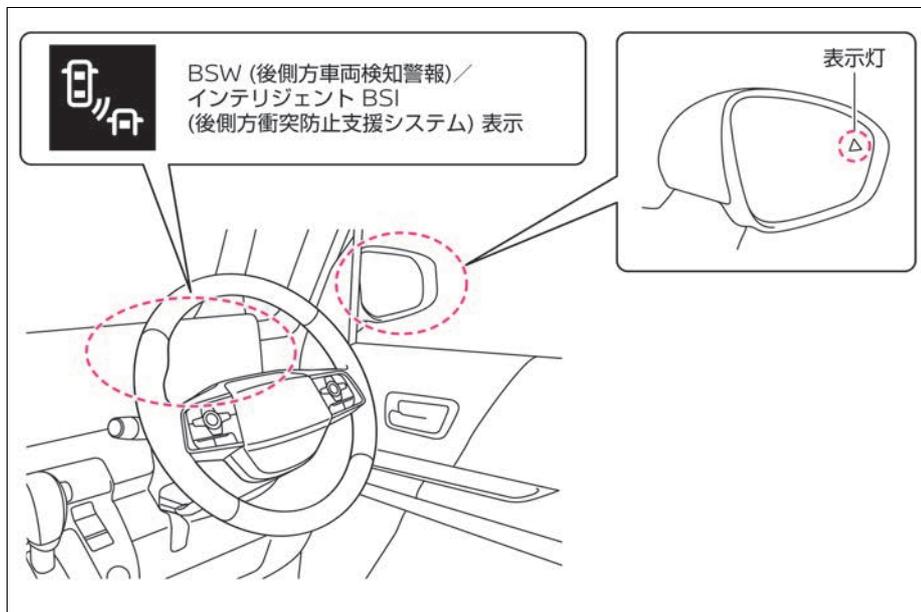
アドバイス

- システムを正しく作動させるためにマルチセンシングフロントカメラ、インテリジェントアラウンドビューモニターカメラ（リヤビューカメラ）★、ソナーはいつもきれいにしておいてください。各センサー、カメラ類の取り扱いについては (➡ P.322)、(➡ P.323)、(➡ P.323) をお読みください。
- 踏み間違い衝突防止アシスト警告灯 [㊦] が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。
上記の操作をしても、警告灯が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
警告灯 (➡ P.277)

BSW（後側方車両検知警報）★／インテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）★

BSW（後側方車両検知警報）は、車線変更をするとき、隣車線に車両がいる場合に警報によって運転者に注意を促します。インテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）は、隣車線に車両がいるときに運転者が車線変更を開始した場合、警報とともに車両を元の車線内に戻す方向に力を発生させ、隣接車両との接触を回避するよう支援します。

システムに関連する表示



警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。

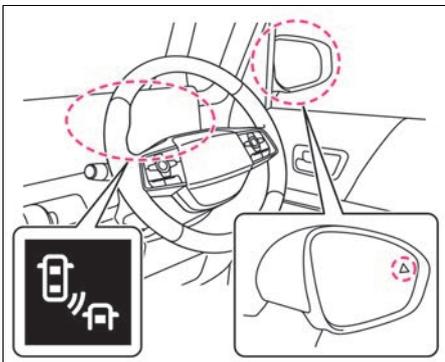
BSW（後側方車両検知警報）およびインテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）は、ドアミラーによる周囲の検知を代わりに行ったたり、車両や障害物との接触を防いだりする機能ではありません。車線変更を行うときは、機能に頼った確認をせず、必ずドアミラーおよびルームミラーで側方および後方の安全を確認してください。

- レーダーやマルチセンシングフロントカメラの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。詳細については、各検知条件と制限をお読みください。

➡ レーダーセンサーの検知条件と制限 (P.161)

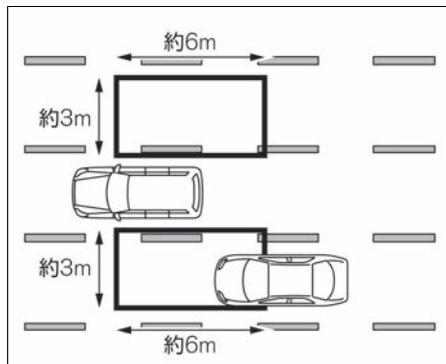
➡ マルチセンシングフロントカメラの検知条件と制限 (P.162)

BSW（後側方車両検知警報）について



- 車両後部のレーダーセンサーにより隣車線の車両を検知します。
- 車速約30km/h以上で作動します。
- レーダーセンサーにより隣車線の車両を検知すると、検知した側のドアミラー鏡面の表示灯が点灯します。
- 隣車線の車両を検知しているときに、検知している側方向指示器を作動させると、警報音（ブザー）とともにアドバンスドドライブアシストディスプレイのBSW（後側方車両検知警報）表示と、ドアミラー鏡面の表示灯が点滅します。

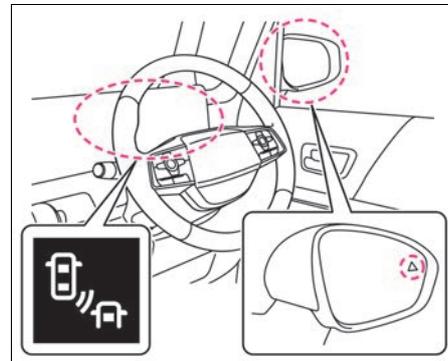
検知範囲について



- レーダーセンサーは、自車両の左右にある検知範囲内にある車両を検知します。
- 検知範囲は、自車両のドアミラーから後方に約6m、車両の側面から横方向に約3mです。
- ドアミラー鏡面の表示灯は<エンジンイッチ>をONにすると点灯し、数秒後に消灯します。
- ドアミラー鏡面の表示灯の明るさは車両周囲の明るさによって切り替わります。
- 方向指示器が作動しているときに、レーダーセンサーにより隣車線の車両を検知した場合には、表示灯は点滅しますが警報音（ブザー）は鳴りません。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイを運転支援に切り替えると、BSW（後側方車両検知警報）の作動状態をアドバンスドドライブアシストディスプレイ内で確認することができます。

詳しくは、アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（メインメニュー）
 (P.46) をお読みください。

インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）について

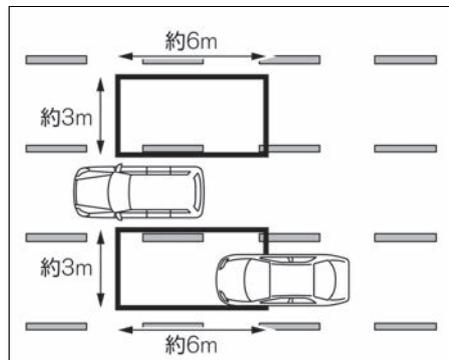


- 車両後部のレーダーセンサーにより隣車線の車両を検知します。また、ルームミラー上方に取り付けられたカメラを使用し、走行している車線のレーンマーカ进行检测します。
- 約60km/h以上で走行中に隣車線の車両を検知しているとき、検知している側のレーンマーカに自車両が接近すると、警報音（ブザー）とともにアドバンスドドライブアシストディスプレイのインテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）表示と、ドアミラー鏡面の表示灯が点滅します。同時にステアリングを制御し、車両を車線内に戻す操作を支援します。

運転支援機能

レーンマーカーとは、車線の右側もしくは左側に引かれた線のことを示します。

検知範囲について



- レーダーセンサーは、自車両の左右にある検知範囲内にいる車両を検知します。
- 検知範囲は、自車両のドアミラーから後方に約6m、車両の側面から横方向に約3mです。
- あらかじめ表示灯が点灯した状態で自車両がレーンマーカーに接近すると、警報とステアリング制御の両方が作動します。ただし、自車両がレーンマーカーと交差してから検知範囲に車両が入ってきたときは、警報とステアリング制御は作動しません。
- インテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）は、インテリジェントLI（車線逸脱防止支援システム）よりも先に作動します。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイを運転支援に切り替えると、インテリジェントBSI（後側方衝突防止支援シ

☆/★：車両型式、オプションなどで異なる装備

ステム)の作動状態をアドバンスドドライブアシストディスプレイ内で確認することができます。

詳しくは、アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（メインメニュー）

（P.46）をお読みください。

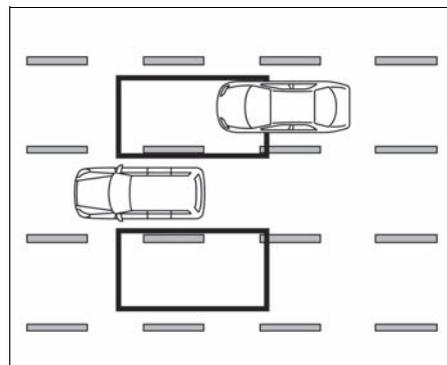
作動するとき・しないとき

⚠ 注意

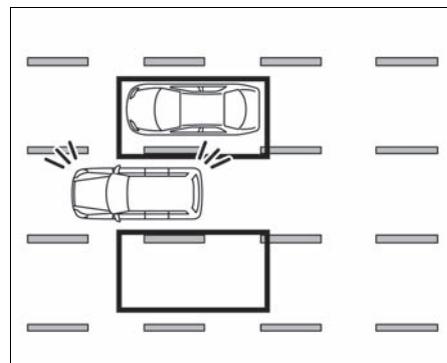
- 車線変更を行うときは、必ずドアミラーおよびルームミラーを使用して周囲の安全を確認する。

自車両より極端に速い速度で接近してくる車両は検知できないことがあります。

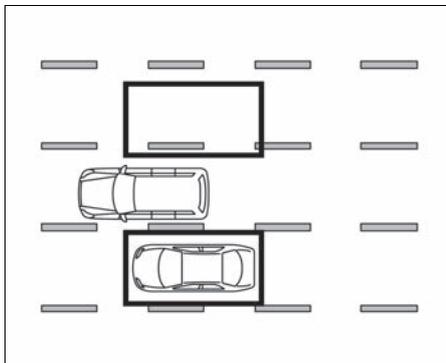
後方から車両が接近してくるとき



- 後方から車両が接近してくる場合、その車両が検知範囲内に入るとドアミラー鏡面の表示灯が点灯します。

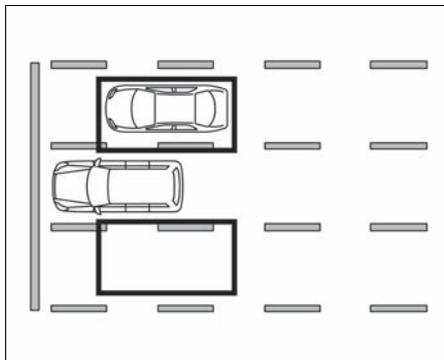


- 車両を検知しているときに、検知している側に方向指示器を作動させると警報音（ブザー）が鳴るとともに、BSW（後側方車両検知警報）／インテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）表示とドアミラー鏡面の表示灯が点滅します。
- 方向指示器を作動したあとに、検知範囲に車両が入ってきたときは、BSW（後側方車両検知警報）／インテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）表示とドアミラー鏡面の表示灯は点滅しますが警報音（ブザー）は鳴りません。
- 自車両がレーンマーカーと交差してから検知範囲に車両が入ってきたときは、警報とステアリング制御は作動しません。



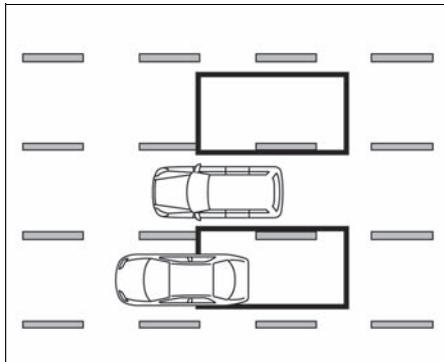
- 車両を検知しているときに、検知している側のレーンマーカーに接近すると、警報音（ブザー）が鳴るとともにBSW（後側方車両検知警報）／インテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）表示とドアミラー鏡面の表示灯が点滅します。同時にステアリングを制御し、車両を車線内に戻す操作を支援します。

発進するとき

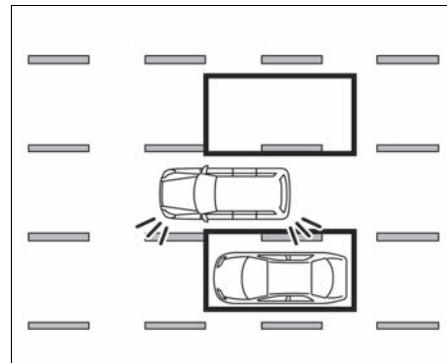


- 停車状態から検知範囲に居続ける車両は検知できないことがあります。

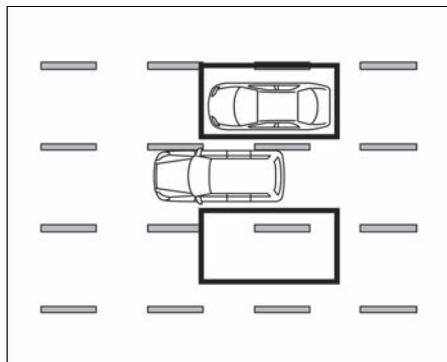
他の車両を追い越すとき



- 他の車両を追い越すとき、追い越される車両が検知範囲内に2秒以上とどまるとドアミラー鏡面の表示灯が点灯します。

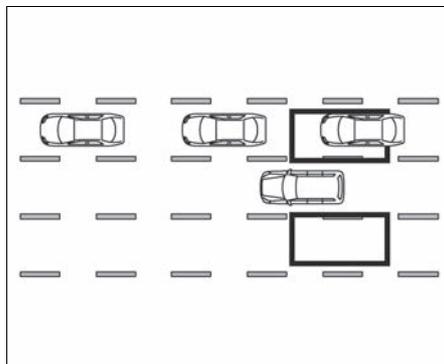


- 車両を検知し表示灯が点灯しているときに、検知している側に方向指示器を 작동させると警報音（ブザー）が鳴るとともに、BSW（後側方車両検知警報）／インテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）表示とドアミラー鏡面の表示灯が点滅します。
- 速度の遅い車両を素早く追い越したときはシステムが検知しません。



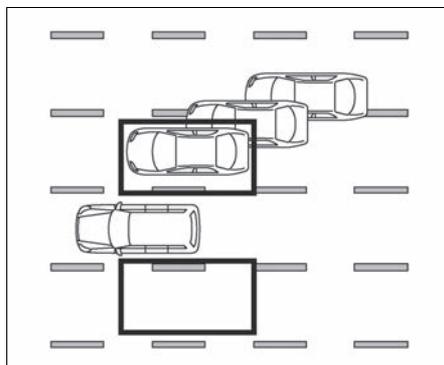
- 車両を検知しているときに、検知している側のレーンマーカーに接近すると、警報音（ブザー）が鳴るとともにBSW（後側方車両検知警報）／インテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）表示とドアミラー鏡面の表示灯が点滅しします。同時にステアリングを制御し、車両を車線内に戻す操作を支援します。

他の車両に追い越されるとき

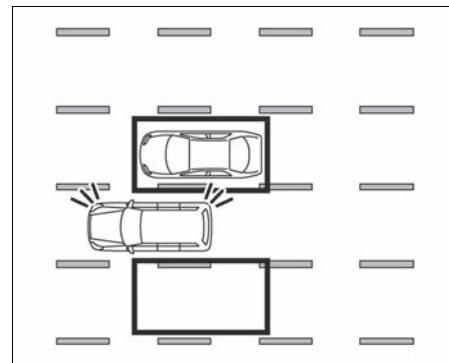


- 複数の車両に連続して追い越されるとき、追い越す車両の車間距離が短い場合は、2台目以降が検出されないことがあります。

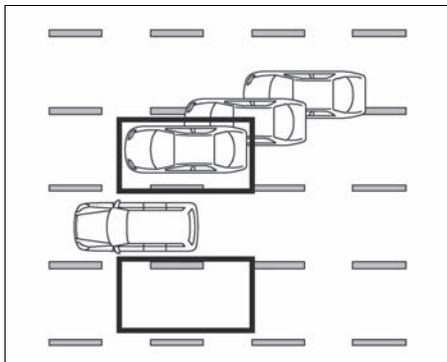
他の車線から車両が接近してきたとき



- 車線変更などで車両が接近してきたときは、検知範囲内に入るとドアミラー鏡面の表示灯が点灯します。

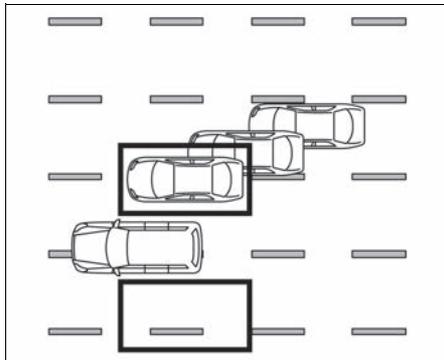


- 車両を検知しているときに、検知している側に方向指示器を作動させると警報音（ブザー）が鳴るとともに、BSW（後側方車両検知警報）／インテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）表示とドアミラー鏡面の表示灯が点滅しします。
- 自車両とはほぼ同じ速度で走行する車両が車線変更してきた場合、検出できないことがあります。
- 方向指示器を作動させたあとに、検知範囲に車両が入ってきたときは、BSW（後側方車両検知警報）／インテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）表示とドアミラー鏡面の表示灯は点滅しませんが警報音（ブザー）は鳴りません。



- 車両を検知しているときに、検知している側のレーンマーカーに接近すると、警報音（ブザー）が鳴るとともにBSW（後側方車両検知警報）／インテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）表示とドアミラー鏡面の表示灯が点滅します。同時にステアリングを制御し、車両を車線内に戻す操作を支援します。

自車両がレーンマーカーの上を走行しているとき



- 検知範囲に車両が入ってもインテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）は作動しません。この場合、BSW（後側方車両検知警報）のみが作動します。

BSW（後側方車両検知警報）／インテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）の使いかた

BSW（後側方車両検知警報）

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで [設定] ⇒ [運転支援] ⇒ [後側方支援] ⇒ [後側方車両検知警報] を選択すると、BSW（後側方車両検知警報）機能のON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、運転支援（P.58）をお読みください。

インテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで [設定] ⇒ [運転支援] ⇒ [後側方支援] ⇒ [後側方衝突防止支援] をONにするとシステムがONになります。インテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）をONにするには、BSW（後側方車両検知警報）をONにしている必要があります。設定の詳細については、運転支援（P.58）をお読みください。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで [設定] ⇒ [運転支援] ⇒ [後側方支援] ⇒ [後側方衝突防止支援] でOFFにすると、インテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）だけをOFFにできます。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイのON・OFF設定は、エンジンを停止しても再度設定を変更するまでその状態が維持されます。

BSW（後側方車両検知警報）／インテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）に関する注意事項

警告

- 次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがあるためインテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）を使用しないでください。
— 悪天候（雨、雪、霧など）のとき

⚠ 警告

- 凍結路や積雪路など滑りやすい路面を走行するとき
- 急なカーブ、急な上り坂・下り坂が繰り返されるとき
- 工事中の道路や車線規制がある道路を走行するとき
- 車線の幅が狭い道路を走行するとき
- 摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、スベアタイヤ、タイヤチェーンを装着しているときや、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外のタイヤを使用しているとき
- 純正部品以外のステアリング部品、ブレーキ部品、サスペンション部品を使用しているとき
- 次のような車両は、正確に検知できず、システムが正しく作動しないおそれがあります。
 - 背の低い車両や、オートバイなどの幅の狭い車両
 - 停車状態から検知範囲に居続ける車両
 - 後方から速い速度で接近してくる車両
 - 自車両が速い速度で追い越した車両
 - 合流や車線変更で自車両の横にほぼ同じ速度で移動してきた車両

● 次のような状況では、隣の車線の車両を検知できないことがあります。

- 車線の幅が極端に広い道路を運転しているとき
- 悪天候（雨、雪、霧など）で視界が悪いとき
- 水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
- 雪や氷、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき

● 次のような状況では、レーンマーカーを正確に検出できず、適切な作動ができない場合があります。

- 検出しにくいレーンマーカー（不明瞭なレーンマーカー、黄色のレーンマーカー、一般的でないレーンマーカー、水たまり・汚れ・雪などで隠れているレーンマーカー）がある道路を走行するとき
- 急なカーブのある道路を走行するとき
- 消されたレーンマーカーがまだ見えている道路を走行するとき
- 道路上に影、雪、水たまり、わだち、道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき（これらのものをレーンマーカーとして検出して警報したり、制御したりする場合があります）
- 車線の分岐・合流のある道路を走行したとき

- 自車がレーンマーカーに対してまっすぐに走行していないとき
- 先行車との車間距離が短く、マルチセンシングフロントカメラの検出範囲が遮られるとき
- 雨、雪、汚れなどがフロントガラスに付着しているとき
- 放送局・レーダー搭載車両など周辺の電波源により影響を受けているとき
- 汚れなどでヘッドランプの明るさが不十分なときやヘッドランプの光軸調整が適切に行われていないとき

- 前方から強い光（太陽光など）を受けているとき
- 急な明るさの変化が起こったとき（トンネルの出入り口など）

● レーダーセンサー周辺へのステッカー（透明なものを含む）の貼り付け、アクセサリ類の取り付け、追加の塗装をしないでください。

車両を検知する性能が低下するおそれがあります。

⚠ 注意

- レーダーセンサーは次のような障害物は検知しません。
 - 歩行者、自転車、動物など
 - 対向車

アドバイス

- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

- 車線の幅が極端に広い道路を運転する場合、隣車線の車両を検知できないことがあります。また、車線の幅が極端に狭い道路を運転する場合、2つ隣の車線にいる車両を検知することがあります。
- レーダーセンサーは静止している障害物を検知しないよう設計されていますが状況によっては、ガードレール、壁、植物、駐車された車両などを検知してしまうことがあります。
- 次の場合はステアリング制御を行いません。
 - － 大きな減速が車にかかったとき
 - － 素早いハンドル操作を行ったとき
 - － インテリジェントクルーズコントロールの接近警報が鳴っているとき
 - － インテリジェントエマージェンシーブレーキが作動しているとき
 - － 非常点滅表示灯を作動させているとき
 - － カーブでスピードを出して走行しているとき
- ステアリング制御しているとき、運転者がアクセルペダルを踏み増すとステアリング制御を中止します。

BSW（後側方車両検知警報）の作動が停止するとき

アドバイス

- レーダーセンサーの周辺が汚れているときは安全な場所に停車し、レーダーセンサー周辺の汚れなどを取り除いてからエンジンを再始動してください。レーダーセンサーの取り扱いについては、(🔄P.322)をお読みください。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。エンジン再始動後も表示され続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
- 次の場合はアドバンスドドライブアシストディスプレイに [サイドレーダー及びその周辺が汚れています 拭いてください] と警告が表示され、一時的にシステムが停止します。
 - － レーダーセンサーが汚れているとき
 - － レーダーセンサーに雨、雪、氷などが付着しているとき
- システムに異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、システムが停止します。警告メッセージ (🔄P.282)

インテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）の作動が停止するとき

- 次の場合は“ポー”というブザー音とともにアドバンスドドライブアシストディスプレイに [作動範囲外のため現在使用できません] と警告が表示され、作動を解除します。
 - － VDCをOFFにしたとき
- 炎天下に駐車したときなど、マルチセンシングフロントカメラが高温になったときは、“ポー”というブザー音とともにアドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、作動を解除します。システムを再び作動させる場合は、車室内の温度が下がってから再びシステムをONにしてください。
- 次の場合は“ポー”というブザー音とともにアドバンスドドライブアシストディスプレイに [サイドレーダー及びその周辺が汚れています 拭いてください] と警告が表示され、システムが停止します。
 - － サイドレーダー周辺が汚れているとき
 - － サイドレーダー周辺に雨、雪、氷などが付着しているとき
- システムに異常があると、警告音が鳴るとともにアドバンスドドライブアシストディスプレイに [システム故障 取扱説明書を見てください] および、インテリジェントBSI（後側方衝突防止支援システム）表示がオレンジ色に点灯し、作動が停止します。

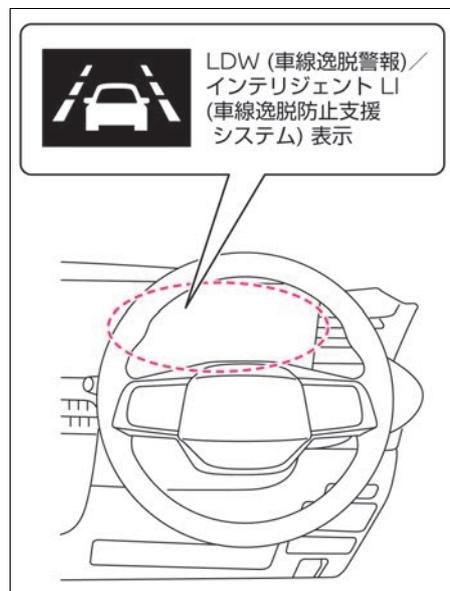
運転支援機能

LDW (車線逸脱警報) / インテリジェント Li (車線逸脱防止支援システム)

LDW (車線逸脱警報) は、運転者が意図せず走行車線から逸脱しようとしたとき、警報によって注意を促します。

インテリジェント Li (車線逸脱防止支援システム) は、運転者が意図せず走行車線から逸脱しようとしたとき、運転者が車線内に戻す操作を支援します。

システムに関連する表示



☆/★：車両型式、オプションなどで異なる装備

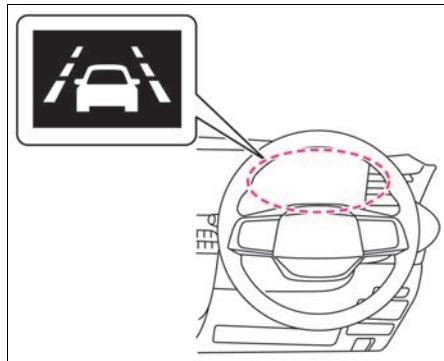
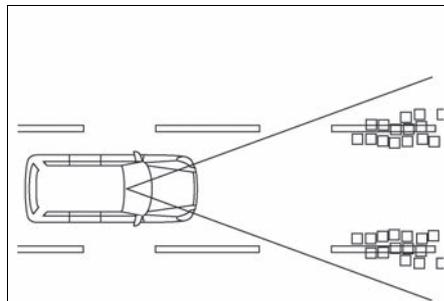
⚠ 警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。

LDW (車線逸脱警報) / インテリジェント Li (車線逸脱防止支援システム) は、脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意および雨、霧などの視界不良による危険を回避するものではありません。周囲の状況に応じてハンドル操作を行い、常に安全運転を心がけてください。

- マルチセンシングフロントカメラの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。詳細については、検知条件と制限をお読みください。
➡ マルチセンシングフロントカメラの検知条件と制限 (P.162)

LDW (車線逸脱警報) について



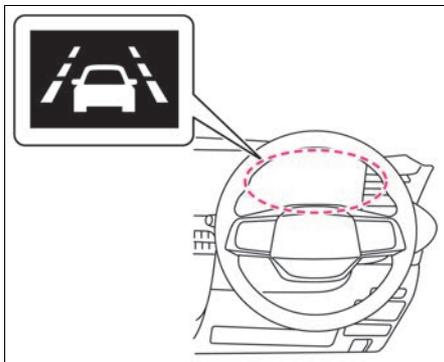
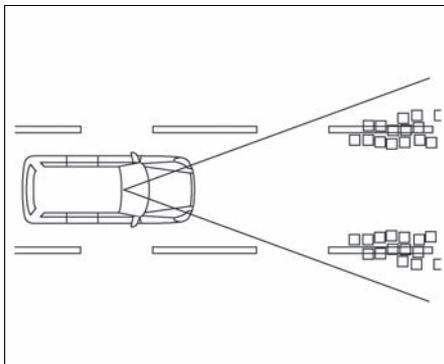
- フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラにより走行車線のレーンマーカーを検知します。
- 車速約60km/h以上で作動します。
- 走行車線の右側もしくは、左側のレーンマーカーに近づいたと判断すると、ハン

運転支援機能

ドルの振動とともにLDW（車線逸脱警報）表示がオレンジ色に点滅し、運転者に注意を促します。レーンマーカーとは、走行車線の右側もしくは左側に引かれた線のことをいいます。

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで [設定] ⇒ [運転支援] ⇒ [側方支援] ⇒ [ステアリング振動] を選択すると、LDW（車線逸脱警報）作動時のステアリングホイール（ハンドル）振動を調節することができます。設定の詳細については、運転支援（👉P.58）をお読みください。
- 車両の移動する方向に方向指示器を作動させている場合は警報を行いません。（方向指示器を解除したあと、約2秒間は警報を行いません）
- アドバンスドドライブアシストディスプレイを運転支援に切り替えると、LDW（車線逸脱警報）の作動状態をアドバンスドドライブアシストディスプレイ内で確認することができます。詳しくは、アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（メインメニュー）（👉P.46）をお読みください。

インテリジェントL（車線逸脱防止支援システム）について



- フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラにより走行車線のレーンマーカーを検知します。
- 車速が約60km/h以上で作動します。

- 走行車線の右側もしくは、左側のレーンマーカーに近づいたと判断すると、ハンドルの振動とともにインテリジェントL（車線逸脱防止支援システム）表示がオレンジ色に点滅します。同時にステアリングを制御し、車両を車線内に戻す操作を支援します。レーンマーカーとは、走行車線の右側もしくは、左側に引かれた線のことをいいます。
- 車両の移動する方向に方向指示器を使用している場合は、警報もステアリング制御も行いません。（方向指示器を解除したあと、約2秒間は作動しません。）
- アドバンスドドライブアシストディスプレイを運転支援に切り替えると、インテリジェントL（車線逸脱防止支援システム）の作動状態をアドバンスドドライブアシストディスプレイ内で確認することができます。詳しくは、アドバンスドドライブアシストディスプレイとは（メインメニュー）（👉P.46）をお読みください。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで [設定] ⇒ [運転支援] ⇒ [側方支援] ⇒ [ステアリング振動] を選択すると、インテリジェントL（車線逸脱防止支援システム）作動時のステアリングホイール（ハンドル）振動を調節することができます。設定の詳細については、運転支援（👉P.58）をお読みください。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで [設定] ⇒ [運転支援] ⇒ [側方支援] ⇒ [警報感度] を選択すると、インテリジェントL（車線逸脱防止支援シ

運転支援機能

ステム) 作動時の感度を調節することができます。

一推奨値：標準

設定の詳細については、運転支援

(P.58)をお読みください。

- インテリジェント L (車線逸脱防止支援システム) によるステアリング制御中に、ハンドル操作をしなかったり、ハンドルをしっかり握っていない状態だとシステムが判断したとき、作動回数が増えることに警報ブザーの継続時間が長くなります。ハンドルを操作したとシステムが判断しても一定時間警報ブザーが鳴り続けます。

ON・OFFのしかた

■ LDW (車線逸脱警報)

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで [設定] ⇒ [運転支援] ⇒ [側方支援] ⇒ [車線逸脱警報] を選択すると、LDW (車線逸脱警報) 機能のON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、運転支援(P.58)をお読みください。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイのON・OFF設定は、エンジンを再始動しても再度設定を変更するまでその状態が維持されます。
- インテリジェント L (車線逸脱防止支援システム)
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで [設定] ⇒ [運転支援] ⇒ [側方

支援] ⇒ [車線逸脱防止支援] をONにするとシステムがONになります。

設定の詳細については、運転支援

(P.58)をお読みください。

- アドバンスドドライブアシストディスプレイのON・OFF設定は、エンジンを再始動しても再度設定を変更するまでその状態が維持されます。

LDW (車線逸脱警報) / インテリジェント L (車線逸脱防止支援システム) に関する注意事項

⚠ 警告

- 次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがあるため、インテリジェント L (車線逸脱防止支援システム) を使用しないでください。
 - 悪天候 (雨、雪、霧など) のとき
 - 凍結路や積雪路など滑りやすい路面を走行するとき
 - 急なカーブ、急な上り坂・下り坂が繰り返されるとき
 - 工事中の道路や車線規制がある道路を走行するとき
 - 車線の幅が狭い道路を走行するとき
 - 摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、スペアタイヤ、タイヤチェーンを装着しているときや、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外のタイヤを使用しているとき

— 純正品以外のステアリング部品、ブレーキ部品、サスペンション部品を使用しているとき

- 次のような状況では、レーンマーカーを正確に検出できず、適切な作動ができない場合があります。

- 検出しにくいレーンマーカー (不明瞭なレーンマーカー、黄色のレーンマーカー、一般的でないレーンマーカー、水たまり・汚れ・雪などで隠れているレーンマーカー) がある道路を走行するとき
- 急なカーブのある道路を走行するとき
- 消されたレーンマーカーがまだ見えている道路を走行するとき
- 道路上に影、雪、水たまり、わだち、道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき (これらのものをレーンマーカーとして検出して警報する場合があります)
- 車線の分岐・合流のある道路を走行したとき
- 自車がレーンマーカーに対してまっすぐに走行していないとき
- 先行車との車間距離が短く、カメラの検出範囲が遮られるとき
- 雨、雪、汚れなどがフロントガラスに付着しているとき

警告

- 汚れなどでヘッドランプの明るさが不十分なときやヘッドランプの光軸調整が適切に行われていないとき
- 前方から強い光（太陽光など）を受けているとき
- 急な明るさの変化が起こったとき（トンネルの出入り口など）

アドバイス

- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。
- 次の場合はステアリング制御を行いません。
 - 大きな減速が車にかかったとき
 - 素早いハンドル操作を行ったとき
 - インテリジェントクルーズコントロールの接近警報が鳴っているとき
 - インテリジェントエマージェンシーブレーキが作動しているとき
 - 非常点滅表示灯を作動させているとき
 - カーブでスピードを出して走行しているとき
- ステアリング制御中に、運転者がアクセルペダルを踏み増すとステアリング制御を中止します。

作動が停止するとき

アドバイス

- システムを正しく作動させるためにカメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。マルチセンシングフロントカメラの取り扱いについては、(P.322)をお読みください。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。エンジン再始動後も警告が表示され続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

LDW（車線逸脱警報）

- 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったときは、アドバンスドドライブアシストディスプレイに「カメラが高温のため現在使用できません」と警告が表示され、一時的にシステムが停止します。（車室内の温度が下がると、作動を復帰します）
- システムに異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、システムが停止します。警告 (P.282)

インテリジェントLI（車線逸脱防止支援システム）

- 次の場合は、「ポー」というブザー音とともにアドバンスドドライブアシスト

ディスプレイに「作動範囲外のため現在使用できません」と警告が表示され、作動を解除します。

— VDCをOFFにしたとき

- 炎天下に駐車したときなど、マルチセンシングフロントカメラが高温になったときは、「ポー」というブザー音とともにアドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、作動を解除します。システムを再び作動させる場合は、車室内の温度が下がってから再びシステムをONにしてください。
- システムに異常があると、警告音が鳴るとともにアドバンスドドライブアシストディスプレイに「システム故障 取扱説明書を見てください」および、インテリジェントLI（車線逸脱防止支援システム）表示がオレンジ色に点灯し、作動が停止します。

インテリジェントFCW（前方衝突予測警報）

前方を走行する2台前の車両を検知し、急な減速などにより、自車の回避操作が必要と判断した場合には、警報によって運転者に注意を促します。

システムに関する表示

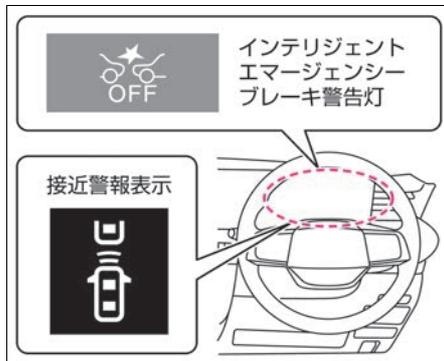
⚠ 警告

- インテリジェントFCW（前方衝突予測警報）は前方を走行する2台前の車両の急な減速などを検知したとき運転者に警報を行います。衝突を回避する機能はありません。
- インテリジェントFCW（前方衝突予測警報）は脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意および雨、霧などの視界不良による危険を回避するものではありません。

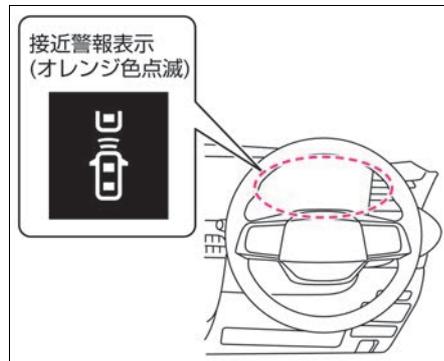
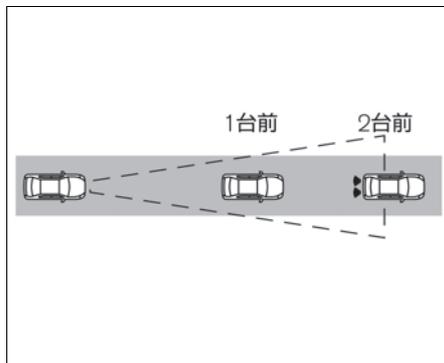
前方の車両との車間距離、周囲の状態に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転を心がけてください。

- レーダーの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。詳細については、検知条件と制限をお読みください。

➡ レーダーセンサーの検知条件と制限 (P.161)



インテリジェントFCW（前方衝突予測警報）について

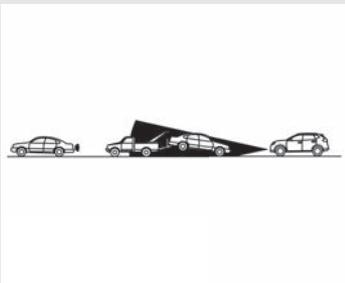


- インテリジェントFCW（前方衝突予測警報）は車速が約5km/h以上で作動します。
- 車両前部に取り付けられたレーダーセンサーにより前方の2台前の車両との距離を計測します。
- 自車の回避操作が必要と判断すると、アドバンスドドライブアシストディスプレイの接近警報表示がオレンジ色に点滅するとともに警報音（ブザー）を鳴らして、運転者に注意を促します。
- インテリジェントエマージェンシーブレーキのON・OFFを切り替えると、インテリジェントFCW（前方衝突予測警報）も連動してON・OFFされます。
- ➡ インテリジェントエマージェンシーブレーキ (P.176)

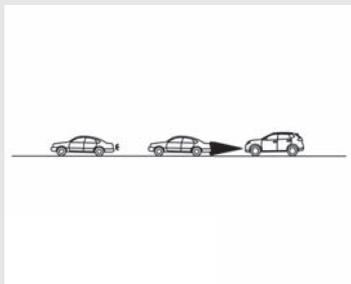
インテリジェントFCW（前方衝突予測警報）に関する注意事項

警告

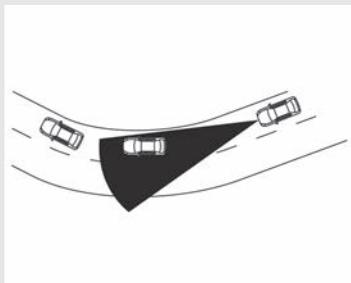
- 次のような障害物は検知しません。
 - － 歩行者、自転車、動物、道路上に落ちている障害物
 - － 対向車両
 - － 前方を横切って通過する車両
- 次のような場合は、前方の2台前の車両を検知できないことがあります。
 - － 悪天候（雨、雪、霧など）で視界が悪いとき
 - － 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
 - － 雪や氷、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき
 - － 放送局など周辺の電波源により影響を受けているとき
 - － トンネル内を走行しているとき



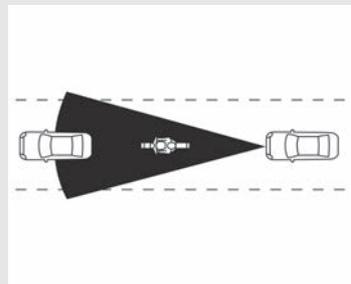
- － 前方の車両がけん引を行っているとき



- － 前方の車両との距離が極端に近いとき



- － 急なカーブや、勾配の変化があるところを走行しているとき



- 前方の車両がオートバイのような幅の狭い車両のときは、前方の車両を検知できず、インテリジェントFCW（前方衝突予測警報）は警報を行わないことがあります。
- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

インテリジェントFCW（前方衝突予測警報）の作動が停止するとき

アドバイス

- インテリジェント エマージェンシーブレーキをONにできない、または警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。上記の操作をしても、警告灯が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

警告灯 (P.275)

- レーダーセンサーの周辺が汚れているときは安全な場所に停車し、レーダーセンサー周辺の汚れなどを取り除いてからエンジンを再始動してください。レーダーセンサーの取り扱いについては、(P.322)をお読みください。
- 次の場合、インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯 [] が点灯し、作動が停止します。
 - ー インテリジェント エマージェンシーブレーキの設定をOFFにしたとき
 - ー インテリジェント エマージェンシーブレーキが異常により作動を停止したとき
- 次の場合、インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯 [] が点灯するとともに、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告を表示し、システムが一時的に作動しなくなります。
 - ー フロントガラスの汚れなどにより、カメラの前方視界が遮蔽されていると判断したとき
 - ー 前方からの強い光により、カメラが前方を認識できなくなったとき
 - ー 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったとき (車室内の温度が下がると、作動を復帰します)

- ー 悪天候 (雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など) で視界が悪いとき
システムが停止したときの状態が改善されると、自動的に作動を再開します。
- ー 周辺の電波源の影響を受けているとき
- ー 車両前部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着しているとき
上記警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してからレーダーセンサーおよびその周辺の汚れを取り除き、エンジンを再始動してください。
- ー 道路形状や周辺の建造物により、レーダーセンサーが先行車を正確に検知できないとき (例: 長い橋、雪原、長い壁の横など)
上記の状況から離れるとシステムは自動的に作動を再開します。
- ー 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯せず、真っ暗な状態が継続したとき
- システムに異常があると、警告音が鳴るとともにインテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯 [] が点灯し、アドバンスドドライブアシストディスプレイ内に警告が表示され、システムが停止します。
上記警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。

RCTA (後退時車両検知警報) ★

RCTA (後退時車両検知警報) は、後退時に後方を横切ろうと接近する車両を検知した場合、警報によって運転者に注意を促します。

システムに関連する表示

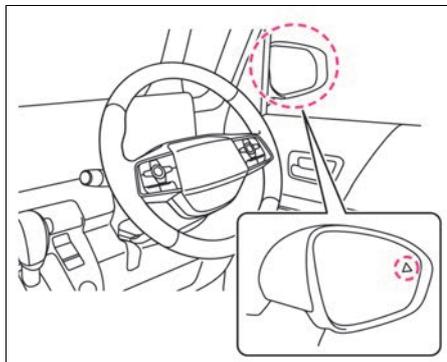
警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。

RCTA (後退時車両検知警報) は、運転者の代わりに周囲を確認したり、車両と障害物との接触を防いだりする機能ではありません。駐車スペースから後退するときは、機能に頼らず、必ず運転者自身で周囲の安全を確認してください。

- レーダーの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。詳細については、検知条件と制限をお読みください。

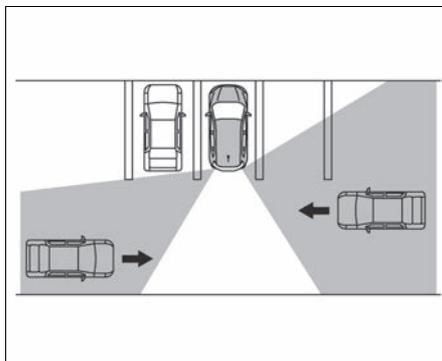
 レーダーセンサーの検知条件と制限 (P.161)



RCTA（後退時車両検知警報）について

- 車両後部のレーダーセンサーにより後方を横切ろうとする車両を検知します。
- セレクトレバーが **R** で、車速約8km/h以下のとき作動します。
- レーダーセンサーにより後方を横切ろうとする車両を検知すると、警報音（ブザー）とともに検知した側のドアミラー鏡面の表示灯が点滅します。
- RCTA（後退時車両検知警報）の設定をOFFにしているときにセレクトレバーを **R** にすると、アドバンスドドライブアシストディスプレイに「システムOFF」と表示されます。
- RCTA（後退時車両検知警報）が作動しているときは、インテリジェントアラウンドビューモニター画面★に黄色枠が表示されます。

検知範囲について



- レーダーセンサーは、約20m先から近づいてくる車両を検知します。
- ドアミラー鏡面の表示灯は電源ポジションをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。
- ドアミラー鏡面の表示灯の明るさは車両周囲の明るさによって切り替わります。

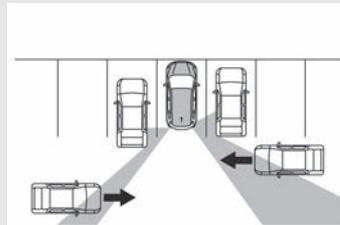
RCTA（後退時車両検知警報）の使いかた

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで【設定】⇒【運転支援】⇒【後退時車両検知警報】を選択すると、RCTA（後退時車両検知警報）機能のON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、運転支援（P.58）をお読みください。
- 設定は、エンジンを再始動しても維持されます。

RCTA（後退時車両検知警報）に関する注意事項

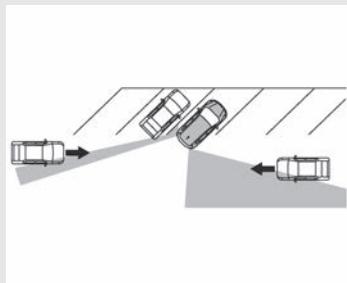
警告

- 後退する前に、必ず目視で周囲の状況を確認してください。レーダーセンサーは接近している（動いている）車両を検知します。次のようなものは検知できないことがあります。
 - 歩行者、自転車、動物、児童用の玩具の車など
 - 約30km/h以上の速度で通過する車両
 - 約8km/h以下の速度で通過する車両
- 次のような状況では、レーダーセンサーが接近する車両を検知できないことがあります。

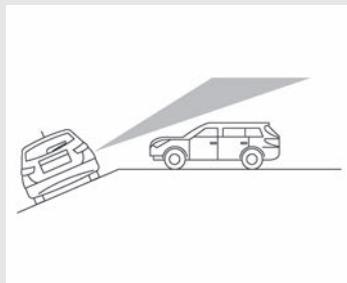


警告

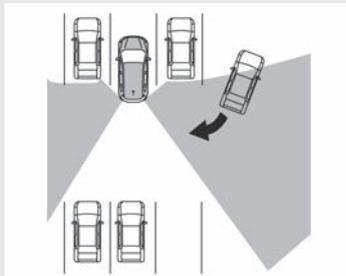
- 隣に駐車している車両などが、レーダーセンサーの検出エリアを妨げているとき



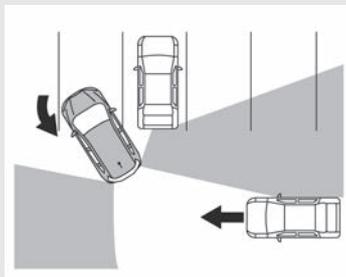
- 駐車枠線が斜めに引かれた駐車場に駐車しているとき



- 傾斜した地面に駐車しているとき



- 回り込むようにして自車両後方へ車両が接近してきたとき



- 接近してきた車両の向きが、自車両の向きと同じまたはそれに近いとき

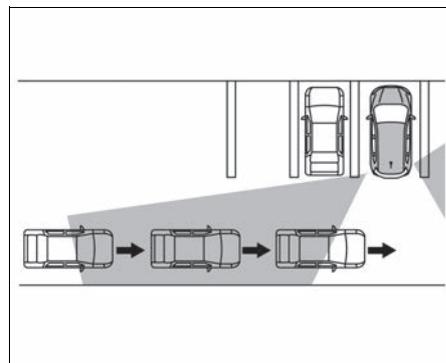
- 次のような場合は、思わぬ事故につながるおそれがあるため、システムを使用しないでください。

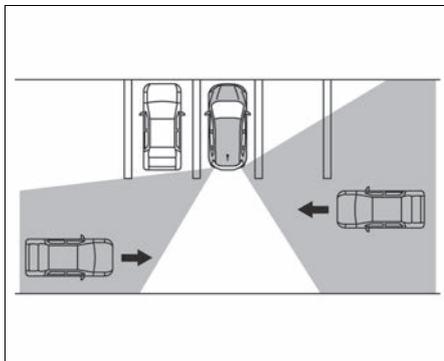
- 悪天候（雨、雪、霧など）で視界が悪いとき
- 水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき

- 雪や氷、泥などがレーダーセンサー付近に付着しているとき

- レーダーセンサーは静止している障害物を検知しないように設計されていますが状況によっては、ガードレール、壁、駐車された車両などを検知してしまうことがあります。
- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。
- レーダーセンサー周辺へのステッカー（透明なものを含む）の貼り付け、アクセサリ類の取り付け、追加の塗装をしないでください。

車両を検知する性能が低下するおそれがあります。





- 複数の車両が連続して後方を通過する場合や、最初に検知した車両と逆方向から車両が接近してきた場合、2台目以降に対して警報が作動しない場合があります。

RCTA（後退時車両検知警報）の作動が停止するとき

アドバイス

- レーダーセンサー周辺が汚れているときは安全な場所に停車し、レーダーセンサー周辺の汚れなどを取り除いてからエンジンを再始動してください。レーダーセンサーの取り扱いについては、(📍P.322)をお読みください。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。

エンジン再始動後も表示され続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

- 次の場合はアドバンスドドライブアシストディスプレイに [サイドレーダー及びその周辺が汚れています 拭いてください] と警告が表示され、一時的にシステムが停止します。
 - － レーダーセンサーが汚れているとき
 - － レーダーセンサーに雨、雪、氷などが付着しているとき
- スライドドアを開けているとき、セレクトレバーを  にすると [スライドドア開のため後退時車両検知警報が使用できません] と警告が表示され、一時的にシステムが停止します
- システムに異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、システムが停止します。警告メッセージ (📍P.282)

インテリジェント DA（ふらつき警報）

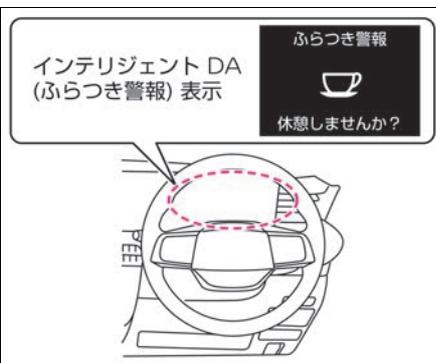
インテリジェント DA（ふらつき警報）は、ハンドル操作から運転者の注意力が低下していると判断したときに、アドバンスドドライブアシストディスプレイの表示と音により運転者に休憩を促します。

システムに関連する表示

警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。

このシステムは疲労時の運転を補助するものではありません。疲労時の運転は重大な事故にいたる危険があるため、運転前に十分に休憩をとり、安全運転を心がけてください。



インテリジェント DA（ふらつき警報）について

- 車速約60km/h以上で走行中、運転者のハンドル操作から注意力が低下していると判断したときに、警報音（ブザー）とともにアドバンスドドライブアシストディスプレイに [休憩しませんか?] と警告メッセージを表示します。警告メッセージ (📍P.284)

インテリジェントDA（ふらつき警報）の停止のしかた

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「運転支援」⇒「ふらつき警報」を選択すると、インテリジェントDA（ふらつき警報）機能のON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、運転支援（👉P.58）をお読みください。
- 設定は、エンジンを再始動するとONになります。
- プロパイロットのハンドル支援中は、インテリジェントDA（ふらつき警報）のシステムはOFFになります。（プロパイロット付車）
👉 プロパイロット★（P.164）

インテリジェントDA（ふらつき警報）の作動が停止するとき

アドバイス

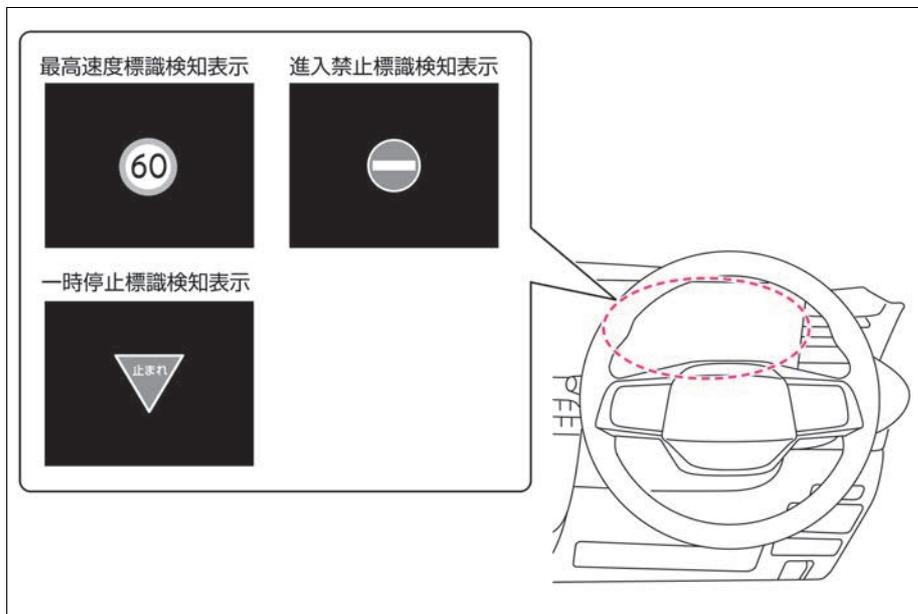
- 安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。
- 再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。
通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
- システムに異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、作動が停止します。
警告メッセージ（👉P.283）

☆/★：車両型式、オプションなどで異なる装備

標識検知機能

フロントガラス上部にあるマルチセンシングフロントカメラにより標識を検知し、アドバンスドドライブアシストディスプレイに表示します。

システムに関連する表示



警告

- 走行中は運転者の責任で実際の標識を確認する。
標識検知機能は、運転者の安全運転をサポートする機能です。

標識検知機能には限界があり、状況によっては標識を検知できなかったり、実際とは異なる標識を表示したりする場合があります。

運転の際は、必ず運転者の責任で実際の標識を確認してください。

警告

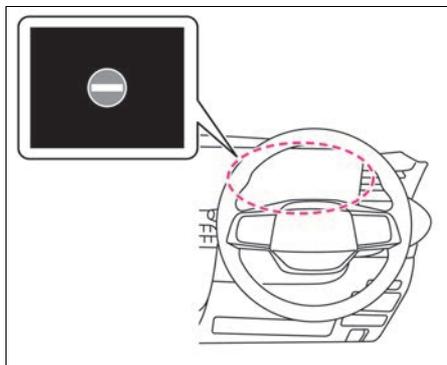
- マルチセンシングフロントカメラの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。詳細については、検知条件と制限をお読みください。

➡ マルチセンシングフロントカメラの検知条件と制限 (P.162)

標識検知機能について

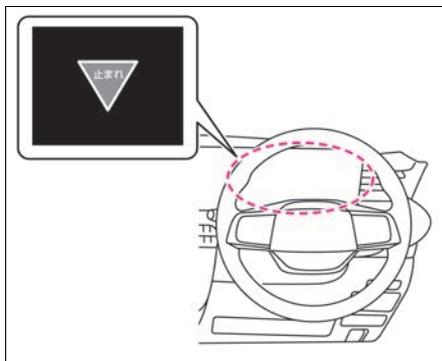
- 標識検知機能には次の機能があります。

進入禁止標識検知



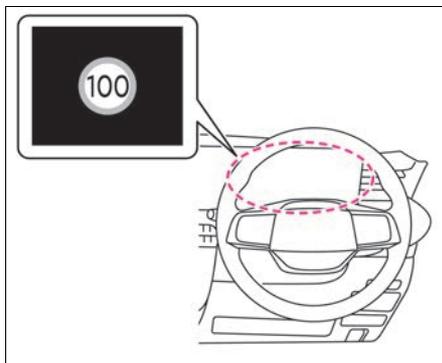
- 前方の車両進入禁止標識を検知し、一方通行路へ進入する可能性がある場合にはアドバンスドドライブアシストディスプレイに警告表示します。
- 万一、車両進入禁止標識を通過した場合には警告音が鳴ります。

一時停止標識検知



- 前方の一時停止標識を検知した場合には、アドバンスドドライブアシストディスプレイに表示します。

最高速度標識検知



- 前方の最高速度標識を検知した場合には、アドバンスドドライブアシストディスプレイに表示します。

- 次の場合は、最高速度標識の表示を終了します。
 - 最高速度標識を検知し、車両がその標識を通過してから一定の距離を走行したとき
 - 右左折などで走行している路線が変わったとシステムが判断したとき

進入禁止標識／一時停止標識検知の停止のしかた

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで [設定] ⇒ [運転支援] ⇒ [標識検知支援] を選択すると、進入禁止標識／一時停止標識検知機能のON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、運転支援 (P.58) をお読みください。
- いずれの設定も、エンジンを再始動しても維持されます。

最高速度標識検知の停止のしかた

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで [設定] ⇒ [運転支援] ⇒ [速度標識表示] を選択すると、最高速度標識検知機能のON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、運転支援 (P.58) をお読みください。
- 最高速度標識検知の設定は、エンジンを再始動しても維持されます。

標識検知機能に関する注意事項

⚠ 警告

- 次のような場合は、標識の検知が遅れたり、検知できなかったりすることがあります。
- 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れているとき
- カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪、虫汚れなどが付着しカメラの視界がさえぎられているとき
- カメラ前方のフロントガラスがくもっているとき
- 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
- 前方車両から反射した強い光（太陽光など）を受けているとき
- トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
- 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
- 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
- 勾配の変化があるところを走行しているとき
- 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき

- 隣車線の車両で視界がさえぎられているとき
- 標識が曲がり角やカーブの先にあるとき
- 標識の周辺が煩雑で標識を認識しにくいとき
- 標識が自転車から遠く離れた位置にあるとき
- 夜間で標識に自車のヘッドランプの光が届きにくい位置にあるとき
- 標識が色あせたり、折れ曲がったりしているとき
- 標識が破損しているなど形状が変わってしまっているとき
- 標識が泥、雪、または霜などで覆われているとき
- 標識の一部が樹木や汚れなどによって隠れて不明瞭なとき
- 標識に光（街灯など）や影が映り込んでいるとき
- 標識が大きすぎたり、小さすぎたりするとき
- 標識が低すぎたり、高すぎたりするとき
- 標識が明るすぎたり、暗すぎたりするとき
- カメラの向きがずれているとき
- 始動してから約15秒間は標識を検知しません

- 次のような場合は、標識の検知が適正に行えず、実際の規制内容とは異なるものを表示したり、実際には対象となる標識が無いのに表示したりすることがあります。（最高速度標識においては、実際の最高速度よりも高い数字や、低い数字を表示したりすることがあります）

- 数字が認識しにくい標識（数字が消えかかっているなど）
- 検知対象となる標識の色、形に似たものが周辺にある場合（類似の標識、電光掲示板、看板、のぼり旗、構造物、案内標識上の数字など）



- 自車の路線に対しての標識ではないが、自車の路線付近にあり、その標識が自車の路線に向いている場合（本線から分岐する側道の一時停止標識や最高速度標識など）
- コントラストが低い電光標識
- 数字が認識しにくい電光標識（遠く離れた位置にある標識、3桁の標識など）

⚠ 警告

- 標識の近傍に補助標識（区間の始まり、終わり、曜日、時間など）があるとき
- 工事などの通行規制区間に標識があるとき

⚠ 注意

- 標識検知機能は、運転者の安全運転をサポートする機能です。

標識検知機能には限界があり、状況によっては標識を検知できなかったり、実際とは異なる表示をしたりする場合があります。

運転の際は、必ず運転者の責任で実際の標識を確認してください。



- 標識の近傍にある補助標識は検知しないため、実際の規制内容と異なる表示をする場合があります。必ず運転者の責任で実際の標識を確認してください。

🚗 アドバイス

- システムを正しく作動させるためにカメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。マルチセンシングフロントカメラの取り扱いについては、(📖 P.322)をお読みください。

- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

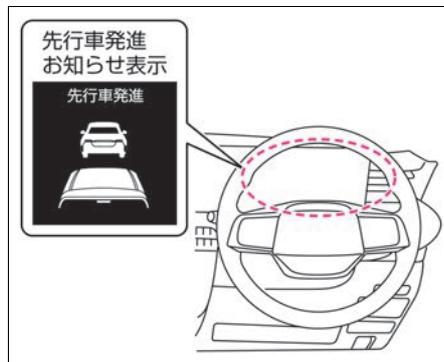
先行車発進お知らせ

先行車が発進しても自車が停止し続けた場合に、音と表示でお知らせする機能です。

システムに関連する表示

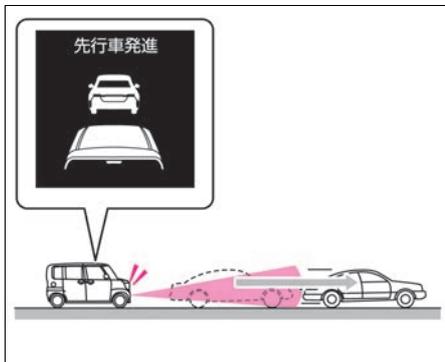
⚠ 注意

- 先行車との車間距離や周囲の状況を目視で直接確認し、常に安全運転を心がけてください。



先行車発進お知らせについて

- 自車と先行車が停止したあと、先行車が発進しても自車が停止し続けた場合に、ブザー音とアドバンスドドライブアシストディスプレイの表示でお知らせします。
- 次のいずれかの条件を満たしているときに作動します。
 - セレクトレバーが**P**、**R**以外でブレーキペダルを踏んで停止している
 - セレクトレバーが**P**、**R**以外でオートブレーキホールド機能★が作動している
 - セレクトレバーが**N**で停止している
 - インテリジェントクルーズコントロールで停止状態を保持している



先車発進お知らせの設定のしかた

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで【設定】⇒【運転支援】⇒【先車発進お知らせ】を選択すると、先車発進お知らせの設定（OFF／遅め／標準／早め）を切り替えることができます。設定の詳細については、運転支援（🔍P.58）をお読みください。

先車発進お知らせに関する注意事項

📖 知識

- 次の場合は作動しません。

- インテリジェント エマージェンシーブレーキのシステム異常等により、インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯が点灯しているとき（インテリジェント エマージェンシーブレーキやVDC をOFFにしているときを除く）
- 先車との車間距離が長いとき
- システムを正しく作動させるために車両前部に取り付けられたレーダーセンサーとその周辺、およびマルチセンシングフロントカメラ前方のフロントガラスのお手入れを行ってください。
 - 🔍 レーダーセンサーの取り扱い (P.322)
 - 🔍 マルチセンシングフロントカメラの取り扱い (P.322)
- 次のような場合は、作動が遅れたり、作動しないことがあります。
 - 自車と先車との間に別の車両や歩行者、自転車などが割り込んだり横切ったとき
 - 先車がオートバイのような幅の狭い車両のとき
 - 先車との車間距離が極端に短いとき
 - 先車が自車に対して左右にずれているとき
 - 先車が右左折、車線変更、急旋回をしたとき

- 先車が極端に遅い速度で移動しているとき
- 急勾配の坂道、急カーブで停止しているとき
- 未舗装路など凹凸のある路面で停止しているとき
- 車両が傾いているとき（車両後部に極端に重い荷物を積んでいるとき）
- ハンドルが大きく切れているとき
- 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）のとき
- 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
- 雪や氷、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき
- カメラの視界がさえぎられているとき（フロントガラスの汚れ、油膜、虫汚れ、ワイパーブレード）
- カメラ前方のフロントガラスがくもっているとき
- アドバンスドドライブアシストディスプレイにソナー表示されているとき
- 道路状況や交通状況などにより必要な作動をすることがあります。周囲の状況を目視で直接確認してください。

駐車支援システム

インテリジェントアラウンドビューモニター（移動物検知機能付）★

インテリジェントアラウンドビューモニターは、自車位置を映し出すことにより、駐車スペースへの駐車時や縦列駐車時に運転者を補助します。

インテリジェントアラウンドビューモニターについて

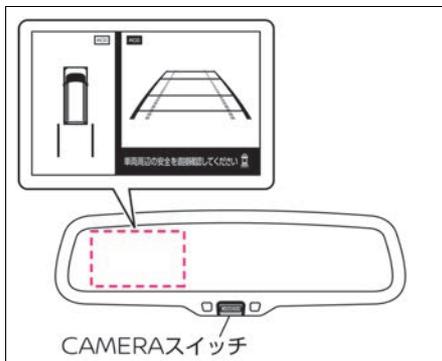
警告

- インテリジェントアラウンドビューモニターの機能を過信しない。

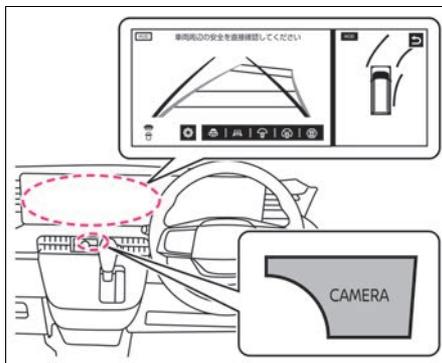
インテリジェントアラウンドビューモニターは障害物などの確認を補助するシステムです。車両の操作をするときは、周囲の安全をミラーや目視で直接確認してください。特に車両の四隅は、トップビュー、フロントビュー、リアビューに障害物が映らない死角になります。必ず窓から目視し、安全を確認してから車両を操作してください。常に低速で車両を移動させてください。

- 実際の距離感を間違えないように注意する。

インテリジェントアラウンドビューモニターに映し出される障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。



- ディスプレイ付自動防眩式ルームミラー付車は、電源ポジションがONのときに、<CAMERA>スイッチを押すか、セレクトレバーをRにするとディスプレイ付自動防眩式ルームミラーに表示します。



- NissanConnectインフォテインメントシステム装着車は、電源ポジションがONのときに、<CAMERA>スイッチを

押すか、セレクトレバーをRにするとインフォテインメントシステムに表示します。

インテリジェントアラウンドビューモニターの使いかた

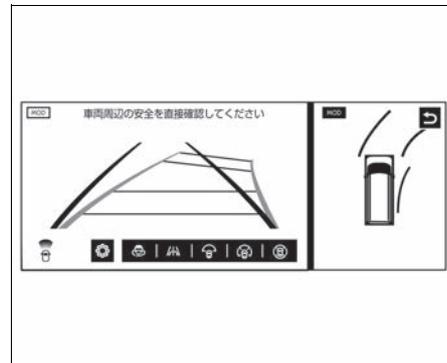
警告

- ドアミラーを格納した状態で使用しない。

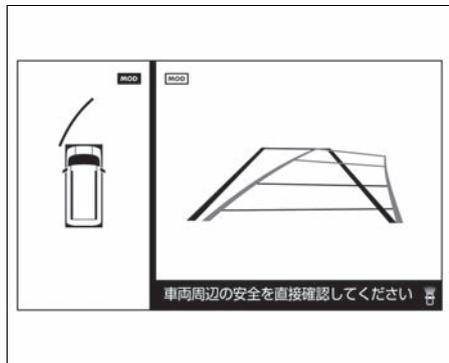
適切な範囲を映すことができません。また使用するときには、バックドアが確実に閉まっているか確認してください。

※各ビューの表示位置はグレード、オプションなどにより異なります。

3Dビュー機能付車



3Dビュー機能無車



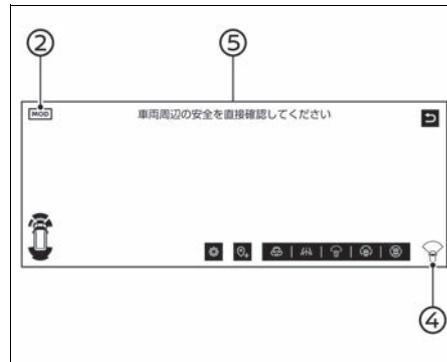
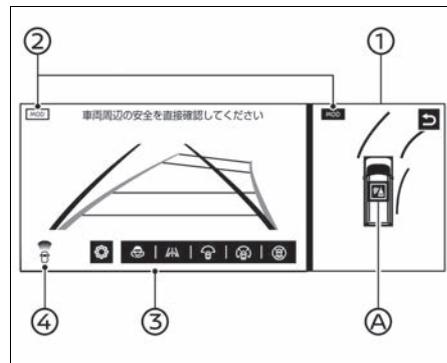
- セレクトレバーを**R**にするとインテリジェントアラウンドビューモニターがONになり、トップビュー／リヤビューを表示します。
- セレクトレバーを**R**以外にするとフロントビューを表示します。フロントビューは、車速が一定速度を超えると表示されなくなります。
- セレクトレバーが**D**または**L**のときに、ソナーが障害物を検知したときはインテリジェントアラウンドビューモニターがONになり、トップビュー／フロントビューを表示します。障害物の検知がなくなると、インテリジェントアラウンドビューモニターはOFFになります。
- <CAMERA>スイッチを押すとインテリジェントアラウンドビューモニターがONになり、トップビュー／フロントビューを表示します。

知識

- <CAMERA>スイッチを押すと、次のとおり画面を切り替えることができます。
 - ー セレクトレバーが**R**のとき
 - トップビュー／リヤビュー
 - サイドブラインドビュー／リヤビュー
 - リヤワイドビュー（全画面）
 - トップビュー／リヤビュー
 - ー セレクトレバーが**R**以外のとき
 - トップビュー／フロントビュー
 - サイドブラインドビュー／フロントビュー
 - フロントワイドビュー（全画面）
 - インビジブルフードビュー★（全画面）
 - インテリジェントアラウンドビューモニターOFF
- フロントビューが表示されているときにセレクトレバーを**R**にすると、リヤビューに切り替わります。セレクトレバーを**R**以外にすると、再度、フロントビューに切り替わります。
- **3分タイマー機能**
 <CAMERA>スイッチを押してから約3分後にインテリジェントアラウンドビューモニター表示が消える機能です。セレクトレバーが**R**以外にのときに作動します。（ただし、タイマー作動中に<CAMERA>スイッチを押したり、ソナーまたは移動物検知機能が作動したりするとタイマーがリセットされます。）

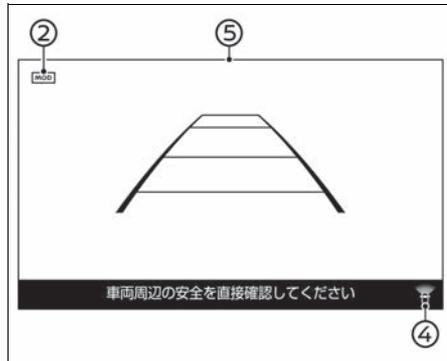
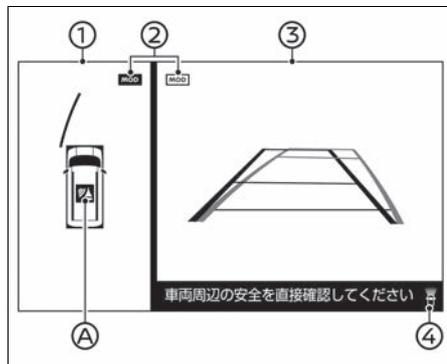
画面の見かた

3Dビュー機能付車



駐車支援システム

3Dビュー機能無車



①右側画面（3Dビュー機能付車）／左側画面（3Dビュー機能無車）

- トップビューまたはサイドブラインドビューを表示します。
- 電源ポジションをONにしてから初めてインテリジェントアラウンドビューモニター

ターを表示したときに、アイコン④が約3秒間赤色に点滅します。

- 3Dビュー機能付車のサイドブラインドビューは画面の左右に表示されます。

②移動物検知機能作動状態アイコン

- どちらのビューで移動物検知機能が作動するかを表します。

- MOD (緑色) : 移動物検知機能が作動します
- MOD (灰色) : 移動物検知機能が作動しません

- 表示しているビューで映している範囲でのみ移動物検知機能が作動します。例えば、リヤビューで移動物検知機能を作動させている場合には、車両前方の移動物は検知しません。

③左側画面（3Dビュー機能付車）／右側画面（3Dビュー機能無車）

- セレクトレバーがRのときはリヤビューを、R以外のときはフロントビューを表示します。

- 3Dビュー機能付車は、サイドブラインドビュー表示時にリヤビューまたはフロントビューが画面の中央に表示されます。

④方向指示アイコン

- 画面の映している方向を表します。

- : リヤビュー表示
- : フロントビュー表示
- : リヤワイドビュー表示
- : フロントワイドビュー表示

⑤ワイドビュー画面

- フロントまたはリヤワイドビューを表示します。

※：グレード、オプションなどにより表示は異なります。

画面表示に関する注意事項

警告

- リヤビューに表示される障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。
- ドアミラー、車両前方、車両後方に装着されているカメラからの映像を組み合わせて処理した疑似的な映像のため、トップビューは、障害物を実際より遠く映します。
- 囲いや車両といった高さのある障害物は、映像の継ぎ目で位置がずれたり、表示されなかったりすることがあります。
- カメラの高さよりも上にある障害物は表示されません。
- トップビューの映像は、カメラの位置が変化するとずれることがあります。
- 路上の線は映像の継ぎ目でずれたり、曲がって見えたりすることがあります。ずれは、車両から遠ざかるにつれて大きくなります。

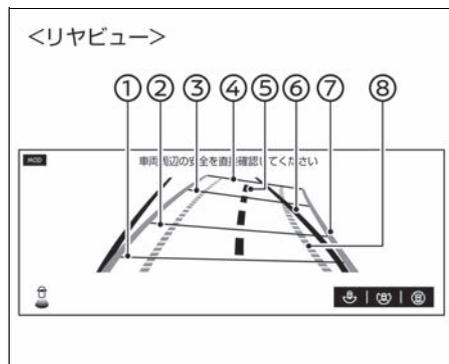
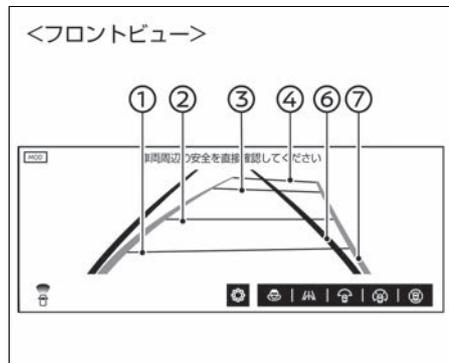
画面表示の種類について

※各ビューの表示位置はグレード、オプションなどにより異なります。

駐車支援システム

■ フロントビュー／リヤビュー

- 車両の前方／後方の映像をインテリジェントアラウンドビューモニターに表示します。



距離目安ライン

- 車体からの距離の目安を表示します。
 - － ①赤色：約0.5m

- － ②水色：約1m
- － ③水色：約2m
- － ④水色：約3m

⑤車両中心線

- 車両中心の予想進路を示します。

⑥車幅目安ライン

- 車幅の目安を表示します。

⑦予想進路線

- 運転操作時に予想進路を表示します。ハンドルを切った角度に応じて移動します。

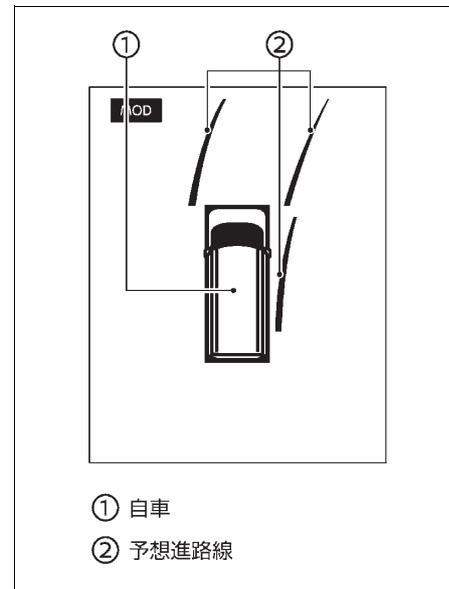
⑧タイヤ予想進路線

- タイヤの予想進路を表示します。ハンドルを切った角度に応じて移動します。

🚗 アドバイス

- フロントビューが表示されているときに、中立位置から約90度の範囲内でハンドルを切ると、予想進路線が左右に表示されます。約90度以上ハンドルを切ると、予想進路線はハンドルを切った方向とは逆方向にのみ表示されます。
- リヤビューモニターの映像は、ルームミラーやドアミラーで見ると同様に左右反転させた映像です。
- 雪道や滑りやすい路面では、予想進路線と実際の進路が異なることがあります。
- リヤビューカメラは車幅の中心よりずれた位置に取り付けられているため、リヤビューの表示は多少中心からずれて見えます。

■ トップビュー



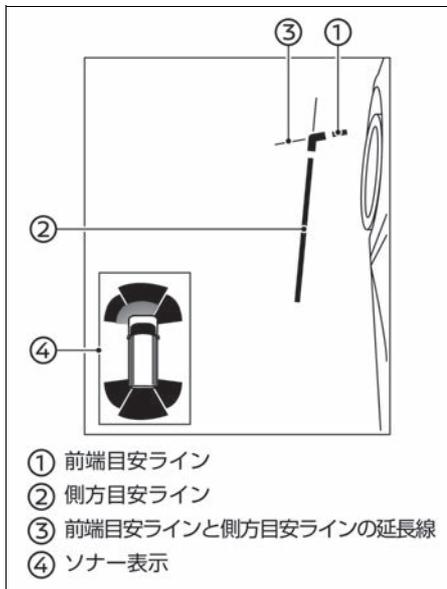
- ① 自車
- ② 予想進路線

- 自車位置や駐車スペースへの進入コースが分かりやすい、車両を上から見たような映像をインテリジェントアラウンドビューモニターに表示します。
- 自車①は、自車位置を示しています。トップビューに表示される障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。

駐車支援システム

- 予想進路線②はハンドルを切った角度のまま進んだときの予想進路を表示します。

■ サイドブラインドビュー



- 車両の前輪付近から前方を、インテリジェントアラウンドビューモニターに表示します。道路端への幅寄せ駐車などに便利です。

目安ライン

- モニターには車幅と車両の前端を示す目安ラインが表示されます。
 - － ①前端目安ラインは、車両前部の位置の目安を示します。

- － ②側方目安ラインは、ドアミラーを含めた車幅の目安を示します。
- － ③前端目安ラインと側方目安ラインの延長線は、水色の破線で表示します。

ソナー表示

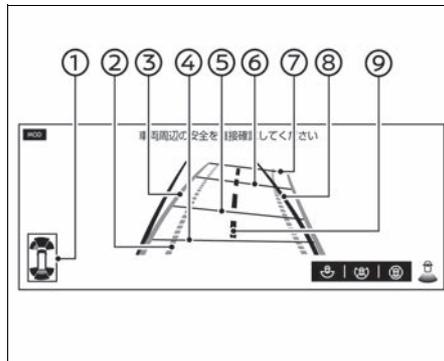
- ④ソナー表示は、ソナーが障害物を検知すると、表示されます。

🚗 アドバイス

- 方向指示器の光が側方目安ラインと重なる場合がありますが、異常ではありません。
- サイドブラインドビュー表示中に、車速が一定速度を超えると画面の一部がグレーとなりますが、異常ではありません。

■ フロントワイドビュー (3Dビュー機能無車) / リヤワイドビュー

- 車両の前方／後方の映像を画面幅いっぱいに表示します。



①ソナー表示

- ソナーが障害物を検知すると表示します。

②タイヤ予想進路線 (リヤワイドビューのみ)

- タイヤの予想進路を表示します。ハンドルを切った角度に応じて移動します。

③予想進路線

- 運転操作時に予想進路を示します。ハンドルを切った角度に応じて移動します。

距離目安ライン

- 車体からの距離の目安を表示します。

- － ④赤色：約0.5m
- － ⑤水色：約1m
- － ⑥水色：約2m
- － ⑦水色：約3m

⑧車幅目安ライン

- 車幅の目安を示します。

⑨車両中心線

- 車両中心の予想進路を示します。

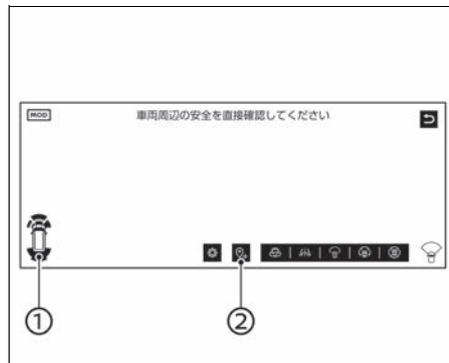
🚗 アドバイス

- リヤビューモニターの映像は、ルームミラーやドアミラーで見ると同様左右反転させた映像です。
- 雪道や滑りやすい路面では、予想進路線と実際の進路が異なることがあります。
- リヤビューカメラは車幅の中心よりずれた位置に取り付けられているため、リヤビューの表示は多少中心からずれて見えます。

駐車支援システム

■ フロントワイドビュー (3Dビュー機能付車)

- 車両の前方の映像を画面幅いっぱいに表示します。



①ソナー表示

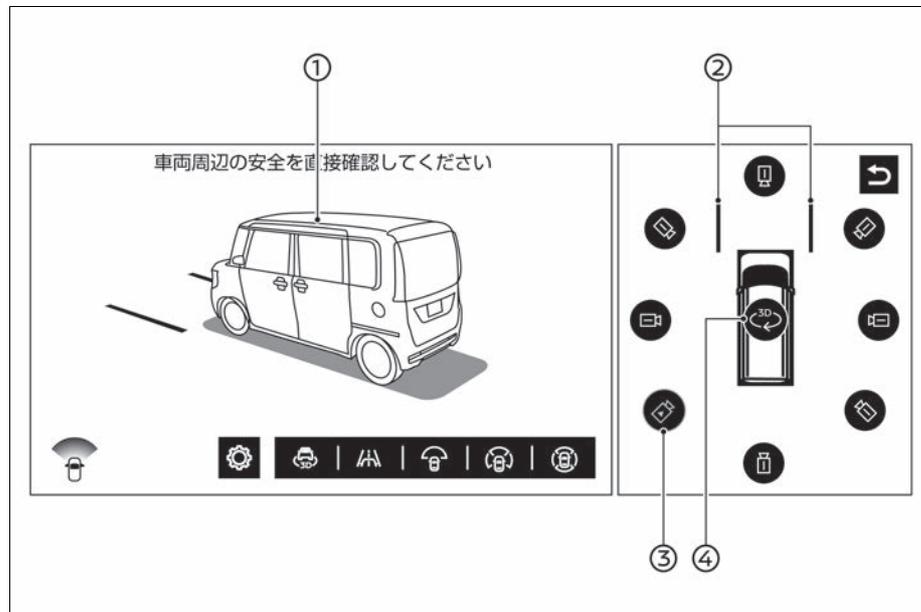
- ソナーが障害物を検知すると表示します。

②自動表示地点ボタン

- フロントワイドビューを表示しているときにタッチすると、自動的に表示される地点を登録することができます。運転者が見通しの悪い交差点で死角を確認する必要がある場合などに役立ちます。
- 登録した地点は、確認、編集、削除することができます。

➡ インテリジェントアラウンドビューモニターの設定 (3Dビュー機能付車)
(P.219)

■ 3Dビュー (3Dビュー機能付車)



- 車両の周囲360°の映像をインテリジェントアラウンドビューモニター左側画面に表示します。

①車両画像

- 車両画像を表示します。

②予想進路線

- タイヤの予想進路を表示します。ハンドルを切った角度に応じて移動します。

③カメラ位置アイコン

- タッチすると、8種類のカメラ方向を選択することができます。

④回転アイコン

- セレクトレバーがPのときにタッチすると、車両画像①が360°回転し、車両の周囲を確認できます。

駐車支援システム

警告

- 3Dビューに表示される障害物までの距離は、実際の距離とは異なります。

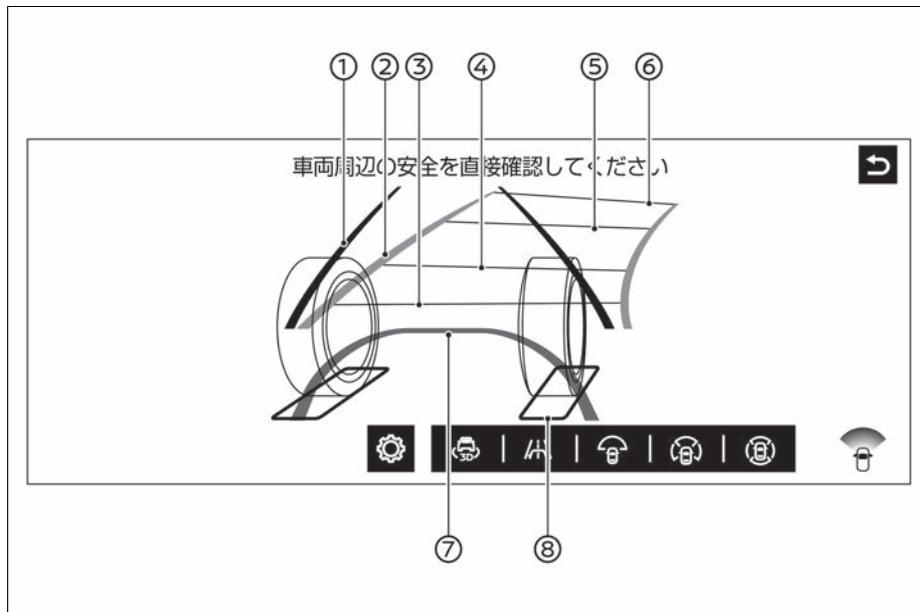
3Dビュー自動回転

- 電源ポジションをONにしてから初めて<CAMERA>スイッチを押すと、車両画像とその周辺の画像が表示され、自動的に360°回転して車両の周囲を確認します。
- [] をタッチすると、3Dビュー自動回転のON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、[インテリジェントアラウンドビューモニターの設定 \(3Dビュー機能付車\)](#) (P.219)をお読みください。

アドバイス

- 3Dビュー表示中に車速が一定速度を超えると、進行方向にある3台のカメラしか選択できなくなりますが、異常ではありません。

■ インビジブルフードビュー (3Dビュー機能付車)



- エンジンルーム下の映像を画面幅いっぱいに表示します。

①車幅目安ライン

- 車幅の目安を表示します。

②予想進路線

- 運転操作時に予想進路を表示します。ハンドルを切った角度に応じて移動します。

距離目安ライン

- 車体からの距離の目安を表示します。
 - ③赤色：約0.5m

- ④水色：約1m

- ⑤水色：約2m

- ⑥水色：約3m

⑦車両輪郭線

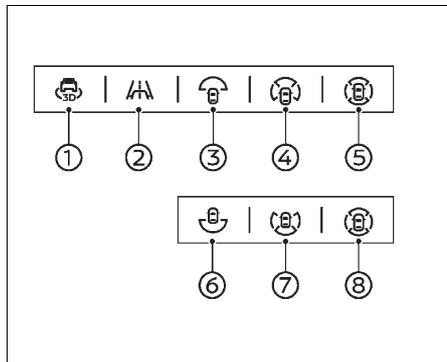
- 車両前部の目安を表示します。

⑧タイヤ目安線

- 前輪タイヤの目安を表示します。

駐車支援システム

画面切替アイコン (3Dビュー機能付車)



● 画面下部にあるアイコンをタッチして、各ビューに切り替えます。

- ①3Dビュー
- ②インビジブルフードビュー
- ③フロントワイドビュー
- ④フロントビュー／サイドブラインドビュー
- ⑤トップビュー／フロントビュー
- ⑥リヤワイドビュー
- ⑦リヤビュー／サイドブラインドビュー
- ⑧トップビュー／リヤビュー

インテリジェントアラウンドビューモニターの設定 (3Dビュー機能付車)

● インテリジェントアラウンドビューモニター画面の [⚙️] をタッチすると、イ
☆/★：車両型式、オプションなどで異なる装備

ンテリジェントアラウンドビューモニターの設定をすることができます。

● [⚙️] は、セレクトレバーがR以外のときに表示されます。

項目1	項目2	機能
画質調整	明るさ	● [+]、[-] をタッチして明るさを調整します。
	コントラスト	● [+]、[-] をタッチしてコントラストを調整します。
	色合い	● [+]、[-] をタッチして色合いを調整します。
	色の濃さ	● [+]、[-] をタッチして色の濃さを調整します。
	黒レベル	● [+]、[-] をタッチして黒レベルを調整します。
自動表示地点		● 自動地点登録の一覧の確認、編集および削除ができます。
3Dビュー自動回転		● 3Dビュー自動回転機能のON・OFFを切り替えます。
ボディーカラー		● トップビューと3Dビューに表示される車両の色を選択します。

移動物 検知機能について

⚠️ 注意

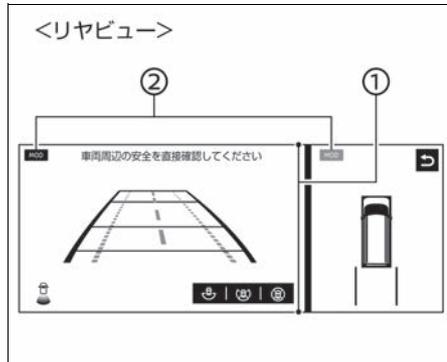
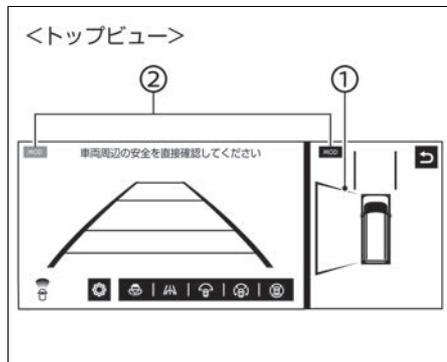
● 車両の操作をするときは、周囲の安全をミラーや目視で直接確認してください。

- 車庫入れや駐車場からの発進時などに自車周辺の移動物を運転者にお知らせすることで、安全確認をサポートする機能です。
- 車両周辺に移動物があるときに、音と黄枠を表示してお知らせします。
- トップビューに MOD (緑色) 表示がある場合には移動物を検知したエリア (前後左右) に黄枠を表示します。
- 移動物 検知機能は次の条件のとき、MOD (緑色) が表示されている画面で作動します。
 - ー セレクトレバーがPまたはNで停車しているときに、トップビュー側で作動します。
 - ー セレクトレバーがDまたはLで低車速時に、フロントビューで作動します。
 - ー セレクトレバーがRで低車速時に、リヤビューで作動します。
- ソナーブザーが鳴っている場合は移動物 検知機能ブザーは鳴りません。
- サイドブラインドビュー、3Dビュー★およびインビジブルフードビュー★には移動物 検知機能がないため、移動物 検知機能作動状態アイコンを表示しません。

駐車支援システム

画面の見かた

※各ビューの表示位置はグレード、オプションなどにより異なります。



① 移動物 検知表示

- 移動物 検知機能で移動物を検知したときに、黄枠でお知らせします。

② 移動物 検知機能作動状態アイコン

- 移動物 検知機能を作動させる側の画面のアイコンを緑色で表示します。
 - MOD (緑色) : 移動物 検知機能が作動します
 - MOD (灰色) : 移動物 検知機能が作動しません
- 次の場合には移動物 検知機能は作動しません。
 - 車速やセレクタレバーの位置が移動物 検知機能の作動条件から外れている場合
 - トップビューによる移動物 検知機能作動中でいずれかのドアが開いている場合
 - リヤビューによる移動物 検知機能作動中でバックドアが開いている場合
- トップビューによる移動物 検知機能作動中で電動格納式ミラーの開閉作動中は、MOD (灰色) が表示され、移動物 検知機能が作動しません。

ソナー機能について

警告

- バンパーにへこみなどがあると正確な距離が測定できず、正常に作動できない場合があります。
- 適正なタイヤの空気圧を維持してください。誤作動の原因になります。
- 純正以外のバンパーを取り付けたとき、正常に作動できない場合があります。

- ソナーの性能には限界があるため、システムだけに頼らず、常に安全な心がけてください。詳細については、検知条件と制限をお読みください。

➡ ソナーの検知条件と制限
(P.163)

注意

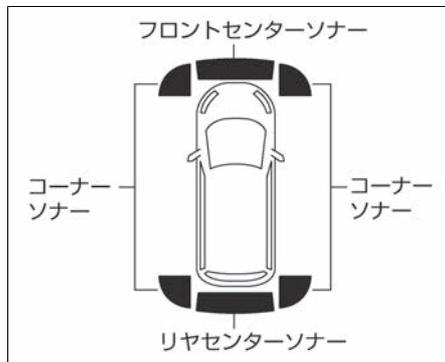
- 気温や天候、路面状態などの周囲の状況や、障害物の大きさ、形状によってはソナーが検知できないことがあります。また、音波を吸収しやすいものにも、ソナーが検知できないことがあります。必ず周囲を確認して運転をしてください。
- 次のような障害物には作動しません。
 - 背の低い障害物
 - 幅の狭い障害物
 - 針金、金網、ロープなどの細い障害物
 - ソナーに非常に近い障害物
 - 急に進行方向に現れた障害物
- 次のような障害物は検知しないことや作動が遅れることがあります。
 - 地面から高い位置に存在する障害物
 - スポンジ状のものや雪など表面が柔らかく音波を吸収しやすい障害物
- ソナーは次のような場合は検知しない、もしくは正しく検知できない場合があります。

駐車支援システム

⚠ 注意

- 雨、雪、氷、汚れなどがソナーセンサー部や周辺に付着しているとき
- 障害物の面が車両の前面、または後面に対して斜めするとき
- 周囲に草が生い茂っているとき
- 車両側面の近くに壁があるとき
- 路面上に段差や突起物があるとき
- 垂れ下がった旗、ビニールカーテンなどをくぐって走行するとき
- 車両周辺に雪のかたまりがあるとき
- 周囲で大きな音が鳴っているとき
- 車両感応センサーやホーン、他車のソナー、オートパイの排気音など超音波を発生するものが付近に存在するとき
- 炎天下や寒冷時
- 表面が一樣でない障害物（複数の障害物が積載されて凹凸な形状の場合）
- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。
- ソナー部が凍結したときは異常表示が出たり、壁などの障害物があったりしてもソナーが検知しないことがあります。
(氷が解ければ、正常に復帰します)

- ソナーは前後バンパーについています。バンパーには、ステッカーを貼ったりアクセサリなどを取り付けたりしないでください。
- 適正なタイヤの空気圧を維持してください。誤警報や誤操作の原因になります。



- インテリジェント アラウンドビューモニター（移動物 検知機能付）を表示させて、走行中にソナーが静止した障害物を検知した場合は、ソナー表示とブザーでお知らせします。
- ソナー表示はトップビュー、サイドブラインドビュー、リヤワイドビュー、フロントワイドビュー★、3Dビュー★またはインビジブルフードビュー★画面に表示されます。
- 障害物を検知してから、ソナー表示とブザーが出るまでに多少時間がかかります。

🚗 アドバイス

- システムを正しく作動させるためにソナーはいつもきれいにしておいてください。ソナーの取り扱いについては、（📖 P.323）をお読みください。

■ フロントコーナーソナー

障害物までの距離（目安）	60～50cm	50～30cm	30cm以下
表示色	緑	黄（オレンジ）	赤
表示点減速度	遅い	速い	点灯
ブザー音	ピッ、ピッ、ピッ...	ピピピ、ピピ...	ピー

■ リヤコーナーソナー

障害物までの距離（目安）	100～50cm	50～30cm	30cm以下
表示色	緑	黄（オレンジ）	赤
表示点減速度	遅い	速い	点灯
ブザー音	ピッ、ピッ、ピッ...	ピピピ、ピピ...	ピー

駐車支援システム

■ フロントセンターソナー

障害物までの距離 (目安)	100～50cm	50～30cm	30cm以下
表示色	緑	黄 (オレンジ)	赤
表示点滅速度	遅い	速い	点灯
ブザー音	ピッ、ピッ、ピッ...	ピピピ、ピピ...	ピー

■ リヤセンターソナー

障害物までの距離 (目安)	150～50cm	50～30cm	30cm以下
表示色	緑	黄 (オレンジ)	赤
表示点滅速度	遅い	速い	点灯
ブザー音	ピッ、ピッ、ピッ...	ピピピ、ピピ...	ピー

■ ソナー表示色

- ソナー表示の色は、障害物に近づくに従って、緑、黄 (オレンジ)、赤と変化します。ソナーの表示の色と距離目安線とは障害物までの距離は異なります。

■ 警報音 (ブザー)

- 障害物との距離が近づくに従って、断続音の間隔が短くなります。表示が赤の場合は連続音になります。
- 障害物との距離が広がった場合は断続音が消え、ソナー表示のみとなります。
- フロントソナーが検知したときは低音、リヤソナーが検知したときは高音でお知らせします。

■ ソナー機能OFF

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで [設定] ⇒ [運転支援] ⇒ [駐車支援] を選択すると、フロントソナー機能のON・OFFを設定できます。

■ ソナーによるカメラ画面の自動表示機能★

- セレクトレバーがDかつ低車速で走行中でカメラ画面が表示されていない場合に、車両前方の障害物を検知した場合はインテリジェントアラウンドビューモニター画面を自動で表示します。
- 障害物がなくなると、自動的にインテリジェントアラウンドビューモニターはOFFになります。

■ ソナーシステムの作動が停止するとき

- システムに異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイ内に警告が表示され、システムが停止します。ソナーシステム異常警告 (P.283)

インテリジェントアラウンドビューモニター★に関する注意事項

⚠ 警告

- カメラはフロントグリル下部、ドアミラー、リヤナンバープレート上部に装着されています。カメラの作動を妨げるような物をカメラ部分に取り付けしないでください。字光式ナンバープレートやナンバープレートリムを装着すると、フロントビューおよびリヤビューモニターの映像が一部映らなくなることがあります。

外観フロント (P.2またはP.4)

外観リヤ (P.6)

- 距離目安ラインと車幅目安ラインは、舗装された平坦な路面上での目安として使用してください。画面に表示される距離は目安であり、自車と映し出されている障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。
- 目安ラインや予想進路線は、乗車人数や燃料の容量などの影響により実際の距離と異なることがあります。目安としてお使いください。
- サイズが異なるタイヤと交換すると、予想進路線とトップビューが不適切に表示されることがあります。

警告

- 上り坂では、モニターに表示される障害物は実際よりも遠くにあるように見えます。下り坂では、モニターに表示される障害物は実際よりも近くにあるように見えます。ミラーを併用するか、目視によって正確な距離を判断してください。
- フロントビューおよびリヤビューの表示線は、路面の状況により障害物への距離が実際と異なって見ることがあります。特徴をよく理解してください。

アドバイス

- カメラに汚れ、雨、雪が付着すると、映像の映りが悪くなる場合があります。カメラを清掃してください。
➡ フロントビューカメラ★/サイドビューカメラ★の取り扱い
(P.323)
- リヤビューカメラ★の取り扱い
(P.323)
- アルコール、ベンジン、シンナーなどを使用してカメラを清掃しないでください。変色する原因となります。中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ったあと、乾いた柔らかい布でふいてください。
- モニター映像に悪影響が生じるため、カメラに傷をつけないよう注意してください。

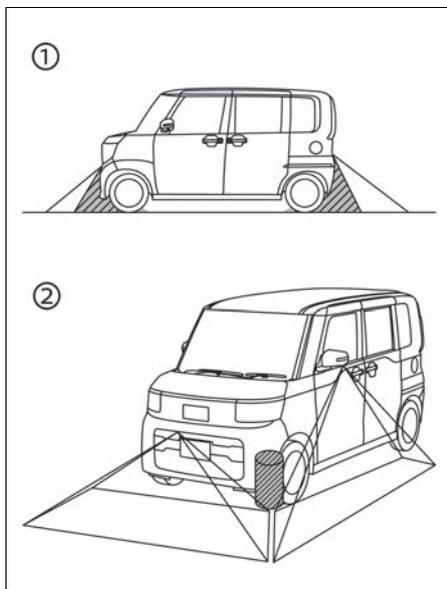
● カメラにはワックスを使用しないでください。中性洗剤を薄めて含ませた清潔な布でワックスをふき取ってください。

- カメラレンズの特性により、画面上の距離と実際の距離が異なって見えたり、対象物に変形して見えたりすることがあります。車幅目安ラインと予想進路線は、実際の車幅と進路よりも広がっています。
- セレクトレバーが **R** 以外のおとき、<CAMERA>スイッチを押してインテリジェントアラウンドビューモニターを表示させたあと、ソナーまたは移動物検知機能が作動しない状態で約3分間操作を行わないでいると、インテリジェントアラウンドビューモニター表示が消えます。(3分タイマー機能)
- 画面の切り替わり後は、映像の表示が遅れることがあります。インテリジェントアラウンドビューモニターが完全に表示されるまでは、映像が一時的にゆがむことがあります。
- 外気温が極端に高いか、低いときは、映像の映りが悪くなる場合がありますが、異常ではありません。
- カメラに直接強い光を当てると、映像の映りが悪くなる場合がありますが、異常ではありません。
- 蛍光灯照明が当たると、映像にちらつきが出る場合がありますが、異常ではありません。

- インテリジェントアラウンドビューモニター映像の色味は、実際とはわずかに異なって見えることがあります。
- 暗い所や夜間時には映りが悪くなり、色味が異なって見えることがありますが、異常ではありません。
- トップビューの各カメラの映像に鮮明さの違いが生じることがあります。
- トップビューの画像は、4つのカメラからの映像を加工処理して表示するため、次のように表示される場合があります。
 - ー 立体物が倒れこんで見える
 - ー 路面よりも高い位置にある車両などが実際より遠くに見える
 - ー 高さのあるものが画像の継ぎ目でずれ表示される
 - ー 各カメラ画像の明るさが違う

駐車支援システム

映し出す範囲



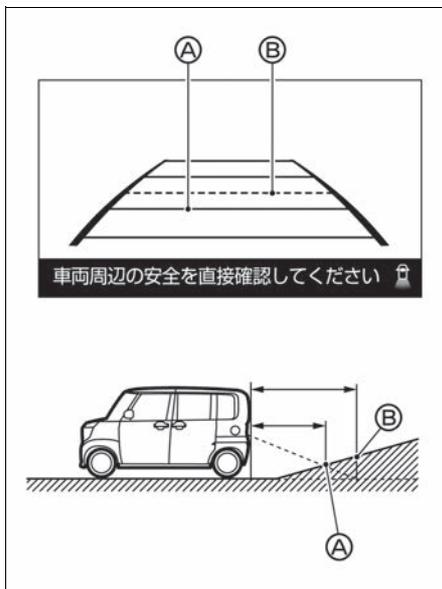
- 特定の領域は、カメラに映し出されません。フロントビューまたはリアビューでは、バンパー下側または地上面の部分は表示されないことがあります①。トップビューではカメラの映し出す範囲の境目付近にあるもの、路面より高さのあるものは表示されないことがあります②。

映像と実際の路面との誤差

- フロントビューとリアビューに表示される距離目安ラインと車幅目安ラインは、舗装された平坦な路面上での目安として

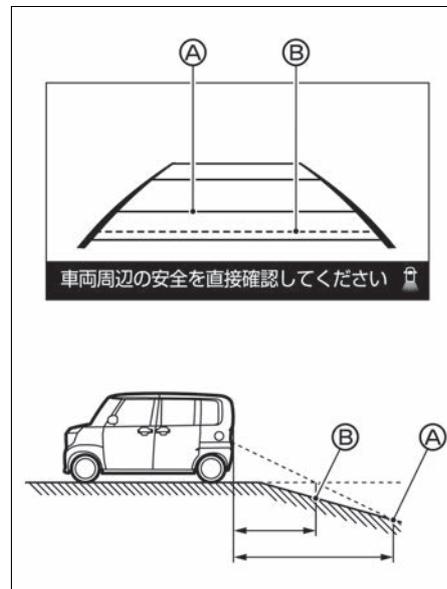
使用してください。画面に表示される距離はあくまでも目安であり、自車と映し出されている障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。

急な上り坂が後方にあるとき



- 距離目安ライン、車幅目安ラインは実際の距離よりも手前に表示されます。例えば、位置Aまでの距離が1mと表示されていても、実際に1mの距離にあるのは、位置Bです。上り坂に障害物があるときは、障害物は実際よりも遠くにあるように見えます。

急な下り坂が後方にあるとき



- 距離目安ラインと車幅目安ラインは実際の距離よりも後ろに表示されます。例えば、位置Aまでの距離が1mと表示されていても、実際に1mの距離にあるのは、位置Bです。下り坂に障害物があるときは、障害物は実際よりも近くにあるように見えます。

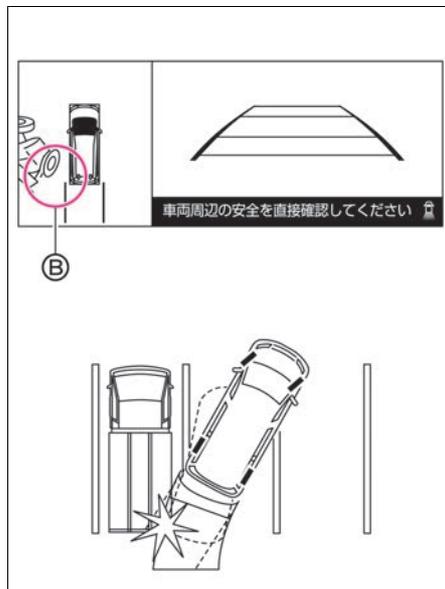
駐車支援システム

立体物が近くにあるとき

- 立体物が近くにある場合には実際の距離と異なって表示される場合があります。



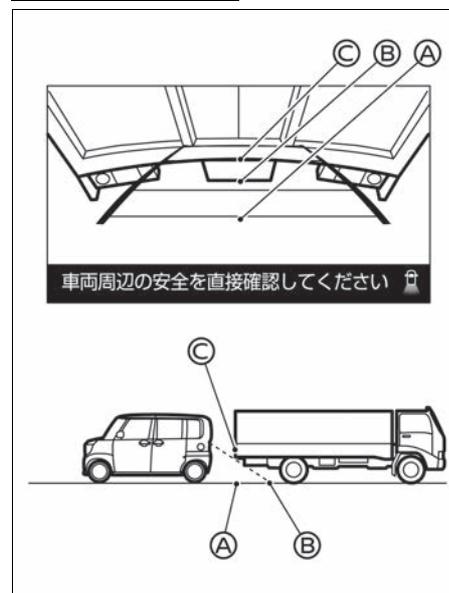
- 例1：予想進路線①は表示されているトラックの車体に触れていません。しかし、トラックの車体が実際の進路上に張り出している場合は、ぶつかることがあります。



- 例2：表示されているトップビュー②では、自車とトラックの車体との間にはわずかな距離があるように見えます。しかし、実際の距離は表示されているよりも短く、トラックの車体にぶつかることがあります。

※表示位置はグレード、オプションなどにより異なります。

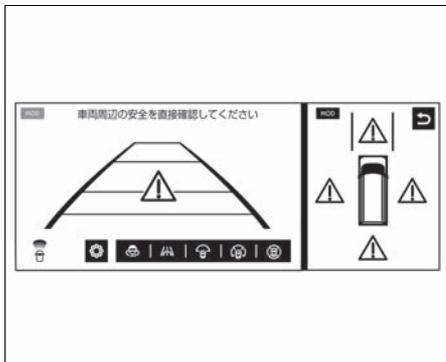
立体物に接近するとき



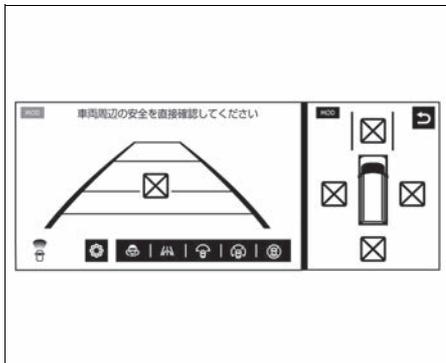
- ③の位置は②の位置よりも遠くにあるように見えますが、実際は④の位置と同じ距離です。トラックの車体が実際の進路上に張り出している場合は、④の位置まで下がるとぶつかることがあります。

画面のエラー表示について

※各ビューの表示位置はグレード、オプションなどにより異なります。



△アイコンが画面内に表示された場合は、インテリジェントアラウンドビューモニター（移動物検知機能付）の異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。



☒アイコンが画面内に表示された場合は、カメラ映像が一時的に周囲の電子機器の影響を受けている可能性があります。頻繁に

表示される場合は日産販売会社で点検を受けてください。

インテリジェントアラウンドビューモニターカメラの検知条件と制限

●インテリジェントアラウンドビューモニターカメラは次のような場合、障害物や区画線などを検知できないことがあります。

- － 雨や水しぶきがかかったとき
- － 夜間、地下、立体駐車場など周囲が暗いとき
- － 悪天候（雨、雪、霧、粉じん、砂じん、吹雪など）などで視界が悪いとき
- － カメラにお湯や水をかけたときなど、レンズがくもっているとき
- － 太陽や電灯の光が路面に映っているとき
- － 太陽や電灯の強い光が路面にあたっているとき
- － 降雨時や雨上がりなど、路面が濡れて光っていたり、水たまりがあったりするとき
- － 朝日や夕日など、太陽の光がカメラに入るとき
- － カメラのレンズのくもりや、汚れ、油膜、虫汚れ、水滴、氷、雪、泥などが付着しているとき
- － カメラの視界を妨げるようなものを取り付けたとき
- － カメラのレンズに強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき

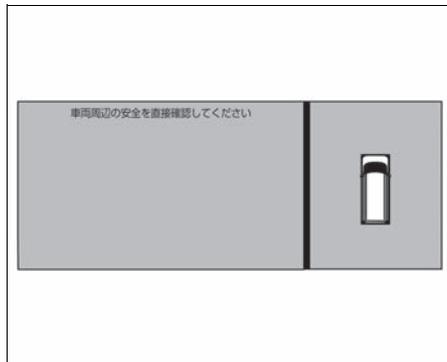
- － 急ブレーキや積載によって車両姿勢が大きく傾いたとき
- － トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
- － 勾配の変化があるところを走行しているとき
- － バックドアが開いているとき
- － セレクトレバーがR以外のとき
- － 至近距離に歩行者が飛び出してきたとき
- － 子供などの背の低い人や動物、自転車
- － 前屈や後屈など直立・歩行以外の姿勢の人
- － 乗り物に乗っている人
- － ショッピングカートやベビーカーなどを押している人
- － 合羽やワンピースなど輪郭が曖昧になる服装の人
- － 傘や大きなカバンを所持していて身体の一部が隠れている人
- － 歩行者が大きな荷物を持っている、背景と同じ色の服を着ているなど人特有の輪郭が認識できないとき

カメラ映像が正常に表示されない場合

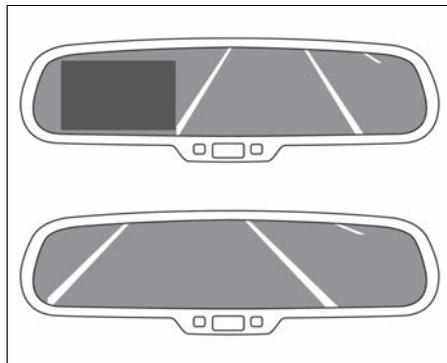
インテリジェントアラウンドビューモニター作動中に、次のような画面表示が続く場合は、カメラシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

駐車支援システム

NissanConnectインフォテインメントシステム画面★



● 画面が黒色または灰色に表示されたとき ディスプレイ付自動防眩式ルームミラー画面★



● インテリジェント アラウンドビューモニター画面が黒色に表示されたとき

- インテリジェント アラウンドビューモニター画面が表示されなくなったとき

MEMO

室内灯

マップランプ/ラゲッジランプ	P.230
----------------	-------

収納装備

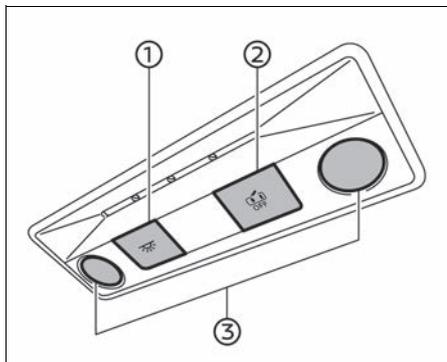
グローブボックス	P.232
インスト助手席スライドボックス	P.232
インスト運転席アッパーボックス	P.232
インストセンタースライドボックス	P.233
カップホルダー/ボトルホルダー	P.233

その他の室内装備

先進事故自動通報システム★	P.235
ドライブレコーダー (NissanConnect インフォテインメントシステム装着車)	P.238
ステアリングヒーター★	P.246
ヒーターシート★	P.246
電源ソケット	P.246
USB電源ソケット	P.247
ロールサンシェード★	P.248
パーソナルテーブル★	P.248
コンビニフック	P.249
フロアカーペット	P.250
サンバイザー/バニティミラー	P.250
チケットホルダー	P.251
アシストグリップ	P.251

マップランプ／ラゲッジランプ

マップランプの使いかた



- マップランプは、前席シート天井部の中央にあります。
- 次のように点灯・消灯します。

スイッチ	点灯・消灯のしかた
① < 茶 >	スイッチを押すと、マップランプ、ラゲッジランプ（ラゲッジランプのスイッチが中立の位置にあるときのみ）が常時点灯します。もう一度押すと消灯します。

スイッチ	点灯・消灯のしかた
② < OFF >	スイッチが押し込まれていないとき、ドアを開けるとマップランプ、ラゲッジランプ（ラゲッジランプのスイッチが中立の位置にあるときのみ）が点灯し、閉めると消灯します。スイッチが押し込まれているとき、常時点灯します。
③	ランプを押すごとに点灯・消灯します。

- キースイッチ（電源ポジション）がOFFのときは、マップランプを長時間点灯させないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。

キー連動室内照明システム

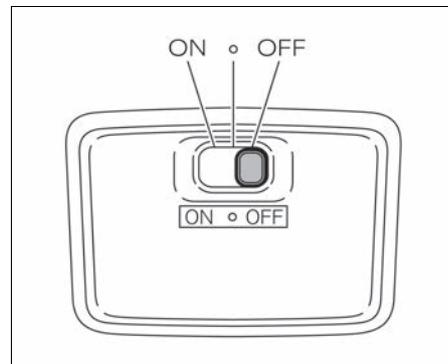
- < OFF >スイッチが押し込まれていないとき、次の条件で点灯します。
 - － キースイッチ（電源ポジション）をOFFにしてから約20秒間
 - － キースイッチ（電源ポジション）がOFFのとき、ドアを解錠してから約20秒間
 - － キースイッチ（電源ポジション）がOFFのとき、ドアを閉めてから約20秒間
 - － ドアが開いているとき

バッテリーセーバー

- キースイッチ（電源ポジション）がOFFのとき、バッテリーあがりを防止するため、マップランプは10分以上点灯し続けると自動的に消灯します。

ラゲッジランプの使いかた

- 次のように点灯・消灯します。



スイッチ	点灯・消灯のしかた
ON	常時点灯します。
○（中立）	ドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。
OFF	常時点灯します。

- キースイッチ（電源ポジション）がOFFのときは、ラゲッジランプを長時間点灯させないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。

キー連動室内照明システム

- スイッチが中立の位置にあると、次の条件で点灯します。
 - － キースイッチ（電源ポジション）をOFFにしてから約20秒間
 - － キースイッチ（電源ポジション）がOFFのとき、ドアを解錠してから約20秒間

室内灯

- キースイッチ（電源ポジション）がOFFのとき、ドアを開けてから約20秒間
- ドアが開いているとき

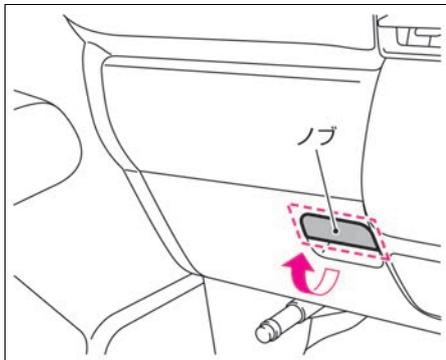
バッテリーセーバー

- キースイッチ（電源ポジション）がOFFのとき、バッテリーあがりを防止するため、ラゲッジランプは10分以上点灯し続けると消灯します。

グローブボックス

グローブボックスの使いかた

- 開けるときは、ノブを手前に引きます。
- 閉めるときは、ロックするまでふたを押します。



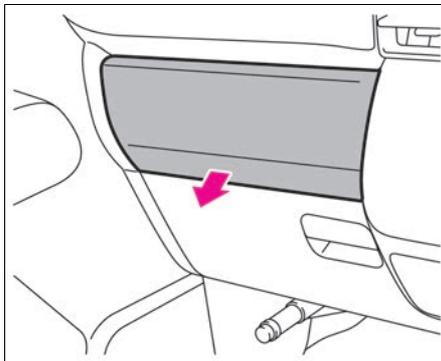
⚠ 注意

- グローブボックスを開けたまま走行しない。
ブレーキをかけたときに、収納したものが飛び出したり、ふたに当たったりするなどして、思わぬケガをするおそれがあります。
- ふたを開けるときは、ゆっくり開ける。
ふたを全開にしたとき身体に当たるおそれがあります。

インスト助手席スライドボックス

インスト助手席スライドボックスの使いかた

- 開けるときは、引き出します。
- 閉めるときは、押し戻します。
- ボックス内には取り外し可能な仕切り板があり、ボックス内の任意の3箇所に仕切り板を移動することで、仕切り位置を変更することができます。



⚠ 注意

- 開けたまま走行しない。
収納した物が飛び出したりして、思わぬケガをしたり、事故につながるおそれがあります。
- インスト助手席スライドボックスを開けるときは、ゆっくり開ける。

ボックスを勢いよく開けると、ボックスが外れ、思わぬケガをするおそれがあります。

🚗 アドバイス

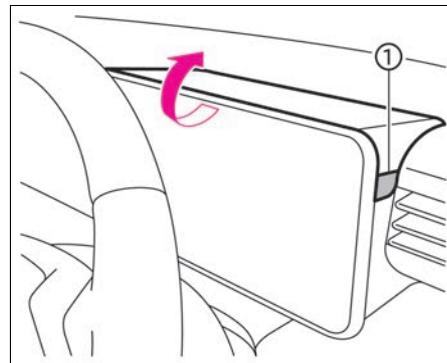
- 3kg以上の物をいれないでください。
ボックスが破損するおそれがあります。

インスト運転席アップパーボックス

インスト運転席アップパーボックスの使いかた

⚠ 注意

- ふたを開けたまま走行しない。
収納した物が飛び出したりして、思わぬケガをしたり、事故につながるおそれがあります。



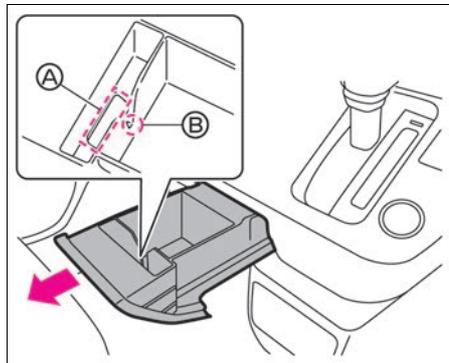
収納装備

- 開けるときは①に指をかけ、ふたを持ち上げます。
- 閉めるときは、押し戻します。

インストセンタースライドボックス

インストセンタースライドボックスの使いかた

- 開けるときは、引き出します。
- 閉めるときは、押し戻します。
- Ⓐにはモバイル機器接続用のケーブルを通す穴があり、ボックスにモバイル機器を置いた状態で、USB電源ソケットからケーブルを接続することができます。
- Ⓑの溝にモバイル機器接続用のケーブルを掛けておくことができます。



⚠ 注意

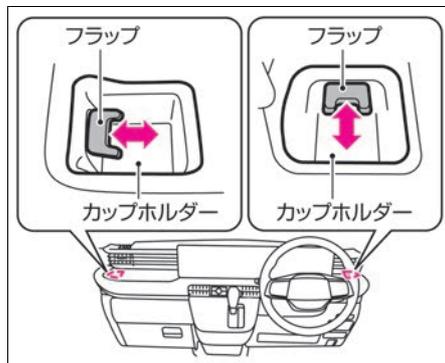
- モバイル機器をボックスに置いて使用する場合は、必ず安全な場所に停車してから使用する。

走行中にモバイル機器を使用すると、前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

カップホルダー／ボトルホルダー

前席シート用カップホルダーについて

- インストゥルメントパネル部に2箇所あります。



カップホルダーについて

- フラップを使うときは、フラップを手前に引き出します。
- フラップを格納するときは、ロックするまでフラップを押します。

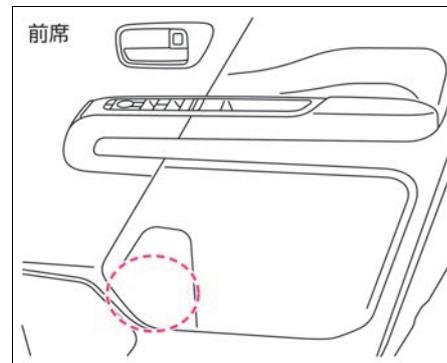
⚠ 注意

- 助手席側カップホルダーの横にある平らな部分に物を置いたまま走行しない。

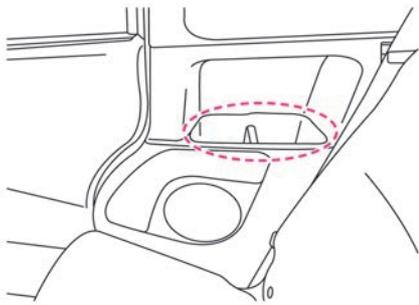
走行中に置いた物が落ちたり、飛んだりして、運転に支障をきたし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ボトルホルダーについて

- ペットボトルのふたを閉めてから収納してください。

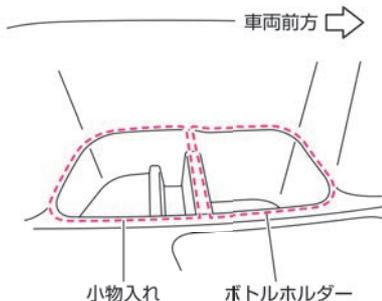


後席



🚗 アドバイス

- 助手席側の後席ボトルホルダー車両後方部は、小物入れになっております。ボトルホルダーとして使用しないでください。



カップホルダー／ボトルホルダーに関する注意事項

⚠️ 警告

- **運転中に飲物を出し入れしない。**
運転中に飲物を出し入れすると前方不注意となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。運転中は信号待ちなどの停車中に飲物を出し入れしてください。
- **ピンなどの硬いものは入れない。**
側面衝突などの事故のとき、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠️ 注意

- **熱い飲物を置かない。**
熱い飲物をカップホルダーに置くと、走行中にこぼれたり、飛び散ったりして、乗員がやけどを負うおそれがあります。
- **飲物をこぼさないように注意する。**
飲物の容器の形によっては、確実に固定されないおそれがあります。
- **車室内のスイッチや画面などに飲物をこぼさないようにする。**
故障や火災のおそれがあります。

🚗 アドバイス

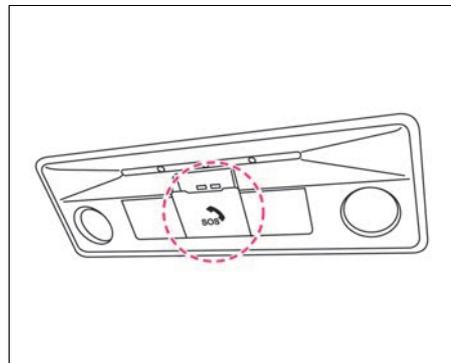
- 飲物や液体がいっぱいになった容器をカップホルダーに置くと、走行中にこぼれたり、漏れ出したりして、車両の電子機器などに損傷を与えるおそれがあります。いっぱいになった容器を置かないでください。

その他の室内装備

先進事故自動通報システム★

<SOSコールスイッチ>を押すことでSOSコールを開始できます。また、エアバッグやプリテンショナーシートベルトが作動するレベルの事故では、自動でSOSコールを開始します。

先進事故自動通報システムについて



- 電源ポジションがONのとき、<SOSコールスイッチ>を押すと、SOSコールを開始できます。
- <SOSコールスイッチ>は、マップランプ中央にあります。
- プロパイロット緊急停止支援システム（SOSコール機能付）により緊急停止したときには自動でSOSコールを開始します。
- SOSコールとは、急病・犯罪・事故などの緊急時に警察・消防・医療機関への連絡を補助するサービスです。

☆/★：車両型式、オプションなどで異なる装備

- SOSコールのサービス提供は、(株)日本緊急通報サービスからのものです。
- 日産販売会社でサービスのお申し込みと、車両側での初期設定が完了していないと、SOSコールを利用することができません。
- エアバッグ展開を伴う自動通報（SOSコール）後は、自動通報機能が使用できなくなります。リセット作業が必要ですので、日産販売会社へお問い合わせください。

先進事故自動通報システムの使いかた

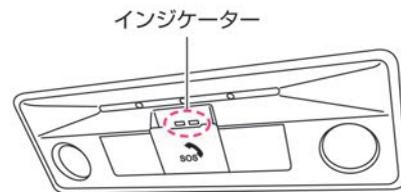
⚠ 警告

- <SOSコールスイッチ>を押すときは、安全な場所に停車してから行う。走行中に運転者がスイッチを押そうとすると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- SOSコールは無線通信機能を利用しています。心臓ペースメーカーなどの医療用電気機器を使用している場合は、当該の医療用電気機器メーカー、もしくは販売業者に電波の影響について必ず確認してください。

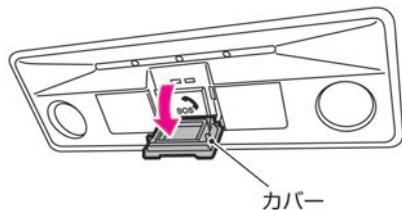
🚗 アドバイス

- 次の場合は、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
 - 電源ポジションをONにしても、インジケーターが赤色・緑色ともに点灯状態にならないとき

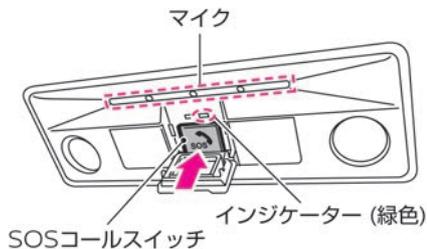
- インジケーターが赤色・緑色ともに点灯してから一定時間後、赤色のインジケーターのみ点灯しているとき
- インジケーターが赤色・緑色ともに消灯している場合は、電波環境のよい場所まで車を移動させてください。



1. 電源ポジションをONにします。
<SOSコールスイッチ>のインジケーターが赤色・緑色ともに点灯し、一定時間後に緑色のみ点灯を続けます。



2. <SOSコールスイッチ>のカバーを押し開きます。



3. <SOSコールスイッチ>を約1秒間押します。
緑色のインジケーターが点滅し、オペレーターに繋がります。

4. SOSコールサービスのオペレーターと通話します。
状況に応じてオペレーターからの折り返し、もしくは公共機関（警察・消防・医療機関）からの通話着信があります。着信時は自動で音声接続します。
通話が終了したら、カバーを戻し、ロックするまで押します。

- SOSコールサービスのオペレーターや公共機関との通話中は、車両側から通話を終了させることはできません。

SOSコールスイッチのインジケータについて

● <SOSコールスイッチ>には、システムの状態を表すインジケータがあります。

インジケータの点灯パターン		システム状態	説明・対処方法
赤色	緑色		
 (消灯)	 (消灯)	システムOFF サービスエリア外	<ul style="list-style-type: none"> ● システムがOFFの状態です。 ● 電源ポジションをONにすると電源が入ります。電源ポジションをONにしても、インジケータが赤色・緑色ともに点灯状態にならないときは日産販売会社で点検を受けてください。 ● 電波環境が悪く、SOSコールを開始できない状態です。車を電波環境のよい場所へ移動させてください。
 (点灯)	 (点灯)	システムON通知	<ul style="list-style-type: none"> ● システムがONになったことを知らせます。 ● システムがONになると、一定時間点灯します。 ● 初期設定が完了していないと点灯を続けます。
 (消灯)	 (点灯)	SOSコール開始可能	<ul style="list-style-type: none"> ● SOSコールを開始できる状態です。
 (消灯)	 (点滅)	SOSコール利用中	<ul style="list-style-type: none"> ● オペレーターと通話中の状態です。
 (点灯)	 (消灯)	システム異常 SOSコールサービス 契約なし 先進事故自動通報システム使用不可	<ul style="list-style-type: none"> ● システム異常またはSOSコールサービス契約がなく、サービスを正常に提供できない状態です。すみやかにサービスの利用契約期限をご確認いただき、日産販売会社で点検を受けてください。

先進事故自動通報システムに関する 注意事項

アドバイス

- <SOSコールスイッチ>の赤色のインジケーターのみ点灯する場合は、システムに異常があるか、サービスの契約期限が切れている可能性があります。契約期限をご確認いただき、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
- バッテリーあがりにつながるため、SOSコール利用中は安全を確認したうえでエンジンを停止せずにご使用ください。
- 通話中は、マップランプにあるマイクに向かって話してください。
- 先進事故自動通報システムは、携帯電話と同様のデータ網を使用しています。圏外エリア（トンネル内、地下駐車場など）や電波の届きにくい場所（山間部）では利用できない場合があります。
- 救急車両は車両位置／車種／車体色／登録ナンバーをもとに現場の通報車両を特定します。元の車体色がわからなくなるほど塗り替えをしまっていると、救急車両の到着が遅れる場合があります。
- システムを利用する前に車側で初期設定が必要です。サービス契約後は日産販売会社で初期設定を完了してください。

- 車の登録ナンバーを変更したときは、NissanConnect お客さまセンターへ必ずご連絡ください。SOSコール利用時、会員登録上の車のナンバーと実際の車のナンバーが一致しない場合、救急隊員の到着が遅れることがあります。
- SOSコールサービス契約中に車を手放す場合は、NissanConnect お客さまセンターに必ずご連絡いただき、解約を行ってください。

NissanConnect お客さまセンター：

0120-981-523

受付時間 9:00～17:00（年末年始を除く）

- 先進事故自動通報システムは、国内でのみ利用できます。
- 先進事故自動通報システムは、NissanConnect サービスを申し込みただくことで利用できます。
- <SOSコールスイッチ>の赤色のインジケーターが点灯していても、SOSコールを開始することができます。ただし、発生している異常によっては、音声通話や救急車両の案内を正常に行えないことがあります。すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
- SOSコール開始後は通話のキャンセルはできません。いたずらや機能確認など、緊急の場合以外で<SOSコールスイッチ>を押さないでください。

- SOSコールは車載された通信機を使用するため、お客さまの携帯電話がなくても利用できません。
- 通話中の音声は、ボリュームを変更することができません。
- SOSコールサービスの契約期限後、継続利用を希望しない場合、日産販売会社にて退会手続きを行ってください。
- 本システムは、オープンソースを使用したソフトウェアを実装しています。ライセンスについて、次のWEBサイトを参照してください。
<https://www.oss-valeo.com/nissan/default.html>

ドライブレコーダー (NissanConnectインフォテインメントシステム装着車)

車両前方および後方の映像を動画や写真で保存し、インフォテインメントシステムやスマートフォンで確認することができます。

設定については、 [ドライブレコーダーの設定 \(P.244\)](#)をお読みください。

ドライブレコーダーについて

- ドライブレコーダーの録画機能には、一定時間ごとに連続で録画する常時録画と、手動操作や車両への衝撃で録画を開始する緊急録画があります。
- 常時録画のデータは、microSDカードの録画領域を超えると古いデータから自動的に上書き保存されます。定期的にバックアップをとることをおすすめします。

その他の室内装備

- 緊急録画や写真データは上書きされません。microSDカードの録画領域を超えるとデータを保存できなくなり、ドライブレコーダー画面にメッセージが表示されます。日頃から不要なデータはこまめに削除することをおすすめします。

ドライブレコーダーの注意事項

- 電源ポジションをONにした直後は、ドライブレコーダーが起動していないため、録画することができません。ドライブレコーダーが起動するまでお待ちください。
- microSDカードを挿入した直後は、microSDカードを読み込むため、録画することができません。microSDカードの読み込みが完了するまでお待ちください。
- 車室内が高温または低温の場合、部品保護のため、録画機能やWi-Fi通信機能が停止する場合があります。エアコンなどを使用して、車室内を適切な温度に調整してください。
- 録画ファイルの時刻情報は、フロントカメラとリヤカメラで差異が生じる場合があります。
- 次の場合、予期せず録画が開始される可能性があります。
 - － 車体に強い衝撃を加えた場合
 - － ドアを強く開閉した場合
- 衝突が発生しても、衝撃が軽微だと録画されない場合があります。
- 車室内の音や、周囲の騒音で正しく録音できない場合があります。
- 周囲の明るさや距離によって、映像が見えにくくなる場合があります。

☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備

- LED式信号機などを録画すると、点滅して見えたり、色を識別できない場合があります。
- 録画した映像は、事故などの証拠としての効力を保証するものではありません。
- すべての状況において映像／音声の品質や記録を保証するものではありません。
- 火災や地震、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤使用、異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、補償はできません。
- ドライブレコーダーの使用や使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など）に関しては、補償できません。
- 機能を使用したことによる車のバッテリー上がりについては補償できません。
- 次の場合も、補償はできません。
 - － 誤使用や、静電気などの電氣的なノイズを受けたことにより本機が正常に動作しなくなった場合
 - － 誤使用や、静電気などの電氣的なノイズを受けたとき、または故障・修理のときなどにmicroSDカードに記録されていたファイルが変化・消失した場合

知識

- 走行中はカメラ画面や、保存した動画、静止画を表示することはできません。

- microSDカードを挿入した状態で、本機を譲渡または処分するときは、プライバシー保護のため、保存された記録データをすべて削除してください。
- 本製品には、次のソフトウェアが含まれています。

- ① パナソニックオートモーティブシステムズ株式会社（「パナソニック」）により、またはパナソニックのために開発されたソフトウェア
- ② パナソニックにライセンスされた第三者所有のソフトウェア
- ③ オープンソースソフトウェア

- 上記③に分類されるソフトウェアには、下記WEBサイトに記載されているライセンス情報が適用される様々なソフトウェアを含むオープンソースソフトウェア（OSS）が含まれています。

<http://car.panasonic.jp/oss/l01yv/n7c>

microSDカードについて

警告

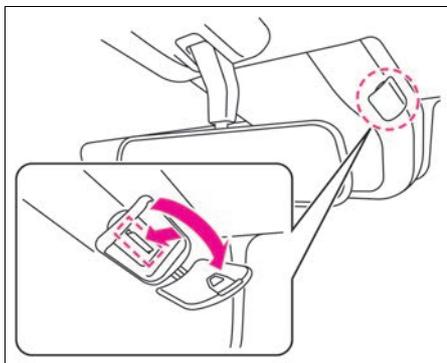
- **microSDカードはお子さまに触れさせない。**

誤って飲み込むと、のどなどにつまらせ重大な傷害につながります。また最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

その他の室内装備

🚗 アドバイス

- 録画および再生中にmicroSDカードを取り出すと、データが破損するおそれがあります。



- ドライブレコーダーで保存した動画や静止画は、マルチセンシングフロントカメラ側面に挿入されているmicroSDカードに保管されています。
- 次の場合、正しくデータを保存できない可能性があります。
 - 本機以外で初期化をした場合
 - 本機以外で作成したファイルが混在している場合
 - microSDカード内に記録されたファイル名を変更した場合
 - 本機付属のmicroSDカード以外を使用した場合
 - microSDカードが正しく挿入されていない場合

著作権について

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 撮影した映像や画像は、個人で使用する以外は、権利者に無断で使用できません。個人使用目的でも撮影が制限されている場合があります。
- 本機を利用して、本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがあるためお控えください。
- お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律・条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

Nissan Drive Recorderアプリで利用できる機能について

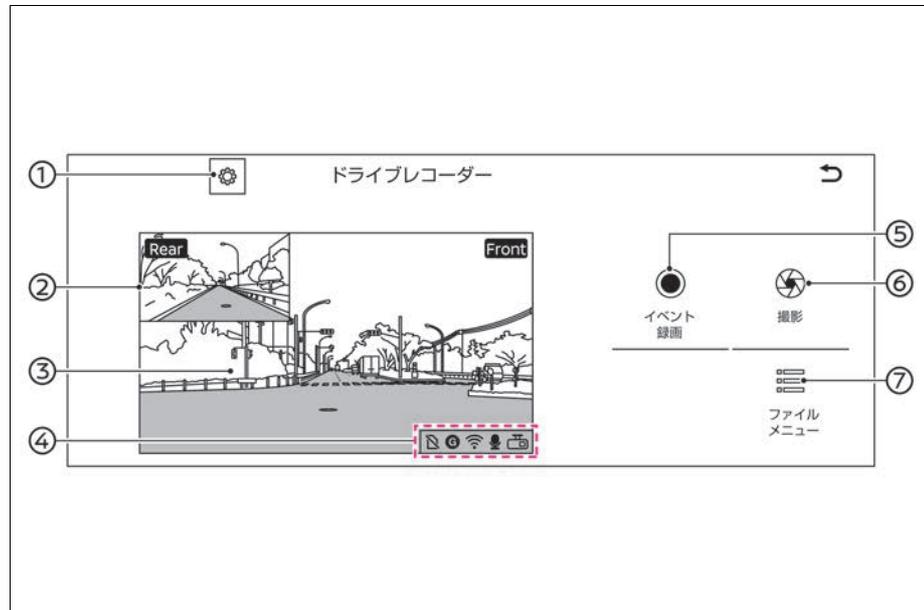
- Nissan Drive Recorderアプリを使用すると、次のようなことができます。これらの機能はNissanConnect サービスを申し込みいただくことで利用できます。
 - 遠隔操作で写真を撮影する
 - 駐車中にぶつけられたり、ロックが壊れたりしたとき、Nissan Drive Recorderアプリに通知と画像を送信する

ドライブレコーダー画面を表示する

NissanConnectインフォテインメントシステムで次の操作をすると、ドライブレコーダー画面を表示することができます。

[品] ⇒ [ドライブレコーダー]

インフォテインメントシステムの操作方法は、別冊のNissanConnectインフォテインメントシステム取扱説明書をお読みください。



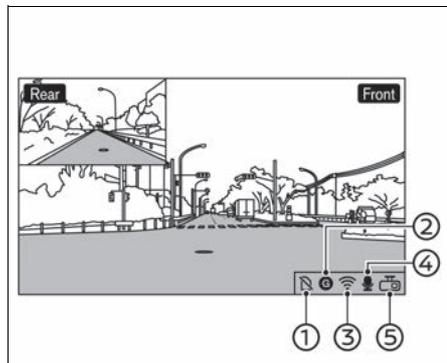
- ① [⚙️]
ドライブレコーダー設定画面を表示します。
- ② **カメラ画面 (副)**
リヤカメラの映像が表示されます。タッチすると、カメラ画面 (主) と表示を入れ替えることができます。
- ③ **カメラ画面 (主)**
フロントカメラの映像が表示されます。
- ④ **情報表示**
ドライブレコーダーの作動状況を示すアイコンが表示されます。
- ⑤ **イベント録画**
緊急時などに手動で録画を開始することができます。
- ⑥ **撮影**
カメラ画面 (主) に映っている映像を静止画で保存することができます。
- ⑦ **ファイルメニュー**
撮影した写真、録画ファイルの閲覧や削除をすることができます。

📖 知識

- カメラ画面 (主) / (副) の映像は、実際よりも遅れて表示されることがあります。
- 走行中にカメラ画面は表示されませんが、[撮影] と [イベント録画] は使用できます。

情報表示

ドライブレコーダー画面には、ドライブレコーダーの作動状態を示すアイコンが表示されます。



位置	アイコン	状態
①	無し	microSDカード認識中
		microSDカード未挿入
②		衝突録画機能ON
		衝突録画機能OFF

位置	アイコン	状態
③		Wi-Fi接続ON
	無し	Wi-Fi接続OFF
④		録音設定ON
		録音設定OFF
⑤		緊急・手動・常時録画中
		録画停止中

アドバイス

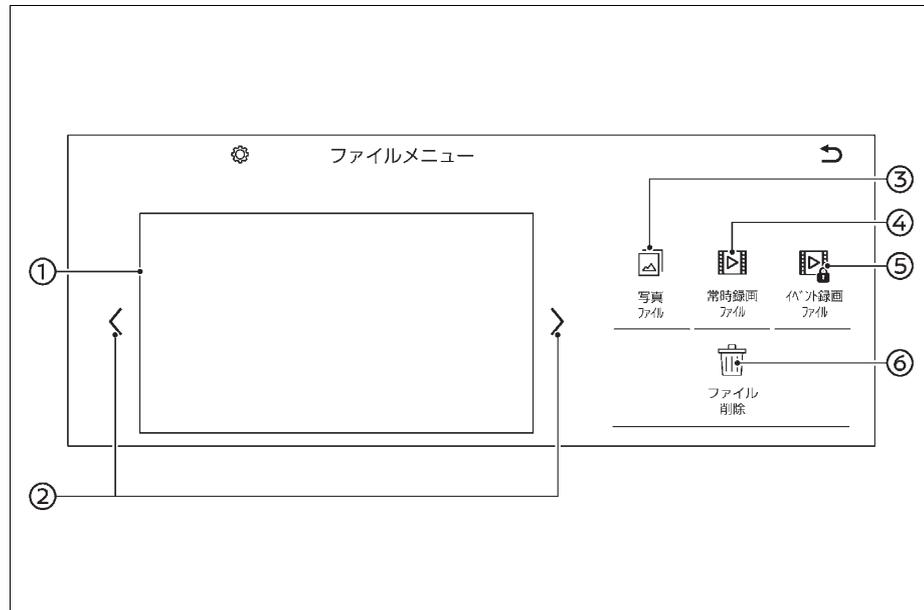
- 表示場所①にアイコンが表示されていない状態で、撮影や録画したデータが保存されない場合は、microSDカードの空き容量が不足している可能性があるため、不要なデータを削除してください。
- が表示された場合は、microSDカードが故障している可能性があります。microSDカードを初期化しても消えない場合は、新しいmicroSDカードに差し替えてください。
- 、 (灰色) または (灰色) が表示された場合は、車両またはドライブレコーダーが故障している可能性があるため、日産販売会社で点検を受けてください。

ファイルメニュー

NissanConnectインフォテインメントシステムで次の操作をすると、撮影した写真、録画ファイルの閲覧や削除をすることができます。

[品] ⇒ [ドライブレコーダー] ⇒ [ファイルメニュー]

インフォテインメントシステムの操作方法は、別冊のNissanConnectインフォテインメントシステム取扱説明書をお読みください。



- ① **ファイル一覧**
ファイルの一覧が表示されます。一覧からファイルを選択すると、動画の再生や写真の表示ができます。動画や写真を削除することもできます。
- ② **</>**
ページを切り替えることができます。
- ③ **写真ファイル**
ファイル一覧で写真を選択して表示することができます。
- ④ **常時録画ファイル**
ファイル一覧で常時録画ファイルを選択して再生することができます。
- ⑤ **イベント録画ファイル**
ファイル一覧でイベント録画ファイルを選択して再生することができます。
- ⑥ **ファイル削除**
撮影した写真や動画を選択して削除することができます。

知識

- 走行中にファイル一覧の表示やファイルの閲覧はできません。
- ファイル一覧が表示されているときや動画を再生しているときなどは、録画機能を使用することができません。

ドライブレコーダーの設定

NissanConnectインフォテインメントシステムで次の操作をすると、ドライブレコーダー設定画面を表示します。

[] ⇒ [ドライブレコーダー] ⇒ []

スマートフォンの専用アプリを使って、ドライブレコーダーにスマートフォンをWi-Fi接続すると、スマートフォンでドライブレコーダーに保存されているファイルの確認やダウンロードができます。

インフォテインメントシステムの操作方法は、別冊のNissanConnectインフォテインメントシステム取扱説明書をお読みください。

※画面に表示される項目名はソフトウェアバージョンなどによって変わる可能性があります。

項目1	項目2	機能
常時録画		常時録画のON・OFFを設定します。
録画時の録音		録音のON・OFFを設定します。
駐車録画モード		駐車時に車両が衝撃を受けた際に自動で録画を開始する機能のON・OFFを設定します。
衝撃によるイベント録画		走行中または停車中に車両が衝撃を受けた際に自動で録画を開始する機能のON・OFFを設定します。
録画時間		常時録画の1ファイルの録画時間を [1分]、[3分]、[5分] から選択します。
画質		画質を [高画質]、[標準]、[低い] から選択します。
車両情報表示		車両情報アイコンの表示・非表示を設定します。 ONにすると、録画ファイルに車両情報アイコンが表示されます。
衝撃感度		衝撃による緊急録画や駐車録画モードを開始する衝撃の感度を [低]、[中]、[高] から選択します。

その他の室内装備

項目1	項目2	機能
デバイスのWi-Fi接続		<p>ドライブレコーダーのWi-FiのON・OFFを設定します。</p> <p>ONのときに、スマートフォンの専用アプリを使って、ドライブレコーダーにスマートフォンをWi-Fi接続すると、ドライブレコーダーに保存されているファイルの確認やダウンロードができます。</p> <p>専用アプリは下記よりダウンロードできます。</p> <p>アプリ名称：Nissan Drive Recorder</p> <p>Androidの場合：Google Play</p> <p>iOSの場合：App Store</p> <p>初期Wi-Fi名称：dvr_ssid</p> <p>初期Wi-Fiパスワード：dvr_pass</p> <p>Wi-Fi名称とWi-Fiパスワードを忘れた場合は、[ドライブレコーダ初期化]で初期に戻すことができます。</p> <p>ドライブレコーダーにスマートフォンを初めてWi-Fi接続するときは、セキュリティ対策としてドライブレコーダーに設定されている初期Wi-Fi名称およびWi-Fiパスワードを変更する必要があります。</p> <p>パスワードには、アルファベット大文字・小文字、数字、記号をそれぞれ1文字以上使用することをおすすめします。</p> <p>他人から簡単に推測されるパスワードは使用しないでください。</p>
カメラ角度調整		カメラの角度を調整します。
ドライブレコーダーシステム	ソフトウェアバージョン	ドライブレコーダーのソフトウェアバージョン情報を表示します。
	SDカードのフォーマット	microSDカードを初期化します。
	ドライブレコーダー初期化	ドライブレコーダーを初期化します。
フロントカメラ		カメラの明るさとコントラストを調整します。
リアカメラ		

その他の室内装備

📖 知識

- 初めにドライブレコーダーをご使用になるときに録画設定がOFFになっていた場合は、ドライブレコーダーの初期化を行ってください。
- microSDカードを初期化するとすべてのデータが消去されます。あらかじめバックアップをとることをおすすめします。

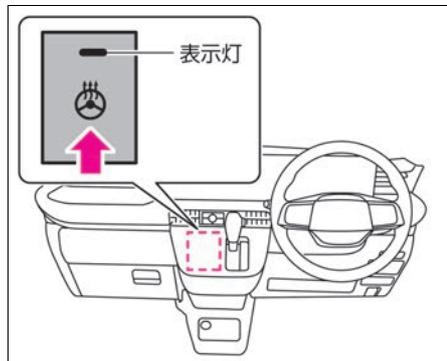
ステアリングヒーター★

ハンドルを温めます。

ステアリングヒーターの使いかた

🚗 アドバイス

- バッテリーあがりを防止するため、エンジンをかけた状態でご使用ください。ただし、アイドリング状態での連続使用は避けてください。



- スイッチをタッチすると約30分間作動します。（スイッチの表示灯が点灯）
- 作動中にスイッチをタッチすると作動が停止します。（スイッチの表示灯が消灯）
- ハンドルの表面温度が一定温度以上のときは、スイッチをタッチしてもステアリングヒーターは作動しません。

ヒーターシート★

前席シートの座面を温めます。キースイッチ（電源ポジション）がONのときに使えます。

⚠️ 注意

- 長時間の連続使用はしない。
低温やけどの原因になります。特に皮膚の弱い方、乳幼児、病人、お年寄り、身体の不自由な方、眠気をもよおす薬を服用された方、深酒や疲労の激しい方は注意してください。
- 硬くて重い物や突起がある物をシートに載せたり、ピンや針などの鋭い物でシートを突き刺したりしない。

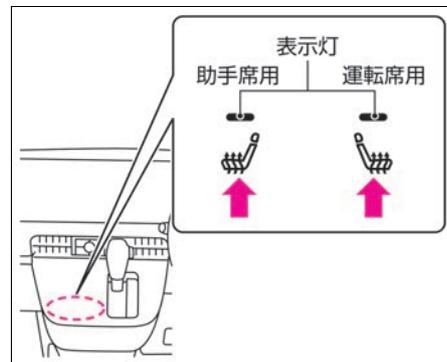
🚗 アドバイス

- 過熱するおそれがあるため、シートに毛皮や座布団を載せたり、シートカバーを使用したりしないでください。
- シートを清掃するときは、シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤を使用しないでください。
- 水などをこぼしたときは、乾いた布ですぐにふき取ってください。

- バッテリーあがりを防止するため、エンジンをかけた状態でご使用ください。ただし、アイドリング状態での連続使用は避けてください。

ヒーターシートの使いかた

- スイッチをタッチすると作動します。（スイッチの表示灯が点灯）
- 止めるときは、再度スイッチをタッチします。（スイッチの表示灯が消灯）
- スイッチをタッチすると、操作音が鳴ります。



電源ソケット

カーアクセサリーの電源をとるときに使います。キースイッチ（電源ポジション）がONまたはOFF（ACC状態）のとき使えます。

電源ソケットの使いかた

⚠ 警告

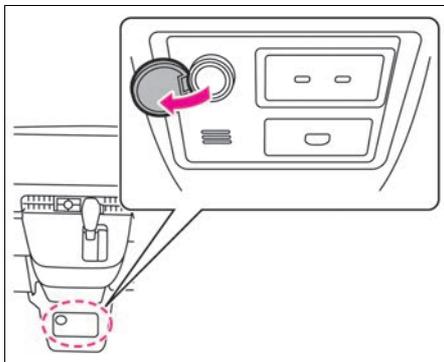
- 電源ソケットを使うときは、次のことを守る。

電源ソケットの不適切な使用は、車両のヒューズが切れるだけでなく、最悪の場合、車両火災ややけどのおそれがあります。

- 複数の電源ソケットを持つアダプターを使用して、一度にたくさんの機器を接続しないでください。
- 消費電力120W以下のものを使ってください。
- 相手プラグをソケットの奥まできちんと挿入してください。
- 使用中や使用後はソケットやプラグの取り扱いに十分注意してください。
- シガーライターをソケットに差し込まないでください。
- ソケットに水をかけたり、指や金属などを入れたりしないでください。

🚗 アドバイス

- バッテリーあがりを防止するため、エンジンをかけた状態で使用してください。



- 電源ソケットはインストルメントパネルにあります。
- ふたを開けて使います。
- 使用しないときは、ふたを閉めます。
- 容量は、12V（ボルト）、10A（アンペア）、120W（ワット）です。
- プラグを挿入したり抜いたりするときは、使用機器側の電源をOFFにするか、キースイッチ（電源ポジション）をOFFにしてください。

USB電源ソケット

USB電源ソケットでモバイル機器などを充電できます。NissanConnectインフォテインメントシステム装着車は、インストルメントパネルのUSB電源ソケットで通信も可能です。

USB電源ソケットの使いかた

⚠ 警告

- SRSエアバッグの作動を妨げるような場所に、モバイル機器や接続用のケーブルを設置しない。

SRSエアバッグが正常に作動しなくなったり、SRSエアバッグの作動時にモバイル機器が飛ばされたりして、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。

- USB電源ソケットを使用するときは、次のことを守る。

USB電源ソケットの不適切な使用は、車両のヒューズが切れるだけでなく、最悪の場合、車両火災ややけどにつながるおそれがあります。

- 複数のUSB電源ソケットを持つアダプターを使用して、一度にたくさんのモバイル機器を充電しない
- 消費電力15W以下のものを使用する
- ケーブルはしっかり奥まで挿入する
- ソケットに水をかけたり、指や金属などを入れたりしない
- ソケットの向きに注意し、無理な接続や取り外しをしない

その他の室内装備

⚠ 注意

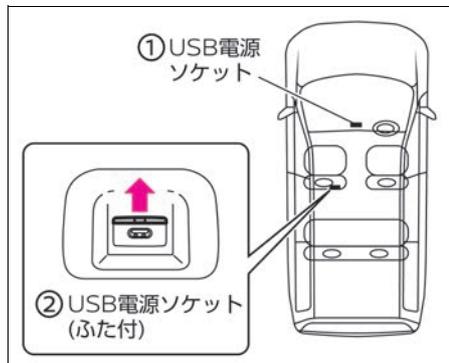
- モバイル機器または接続用のケーブルは、運転の邪魔にならない場所に固定する。

運転に支障をきたし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- バッテリーあがりを防止するため、エンジンをかけた状態で使用してください。

モバイル機器を充電するのに便利なUSBソケットが用意されています。



- USBソケットは次の場所にあります。
 - ①インストルメントパネル
 - ②助手席シートの背もたれの裏側★
- 助手席シート背もたれの裏側にあるUSB電源ソケットは、ふたを開けて使います。
- 使用しないときは、ふたを閉めます。

- 容量は5V (ボルト)、3A (アンペア)、15W (ワット) です。

ロールサンシェード★

後席シートの左右にあります。

ロールサンシェードの使いかた

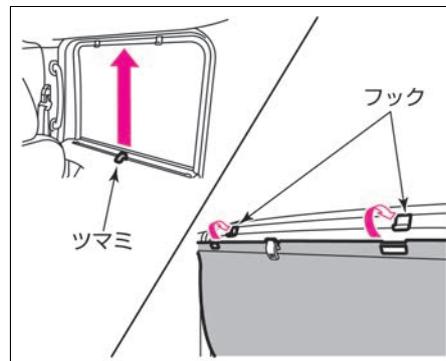
⚠ 注意

- ロールサンシェードを使用しているときは、窓ガラスを開けた状態で走行しない。

風にあおられてロールサンシェードがフックから外れてケガをしたり、シェード部分にしわがでかたりするおそれがあります。

🚗 アドバイス

- ロールサンシェードを上方向以外に引っ張らないでください。破損の原因になります。
- ロールサンシェードを格納するときは、傾けた状態で格納しないでください。しわになる場合があります。
- スライドドアの開閉時はロールサンシェードを操作しないでください。ロールサンシェードが破損するおそれがあります。



- ツマミを持って上方向に引き出し、フックに引っ掛けます。
- 格納するときは、フックから外して元の位置に格納します。

パーソナルテーブル★

前席シート左右の背もたれの裏側に折りたたみ式テーブルがあります。

⚠ 注意

- 走行中はテーブルを格納し、使用しない。
- テーブルを使うときは、確実に固定されていることを確認する。
- パーソナルテーブルとコンビニフックを同時に使用するときは、合計が3kgを超えないようにする。

破損、またはテーブルが格納することで物が落ち、思わぬケガをするおそれがあります。

その他の室内装備

パーソナルテーブルの使いかた



- 手前に引き上げて使います。
- 格納するときは、テーブル先端の中央部を持ち、押し下げます。
- テーブルにはカップホルダーとコンビニック (P.249) が付いています。

コンビニック

コンビニックの使いかた

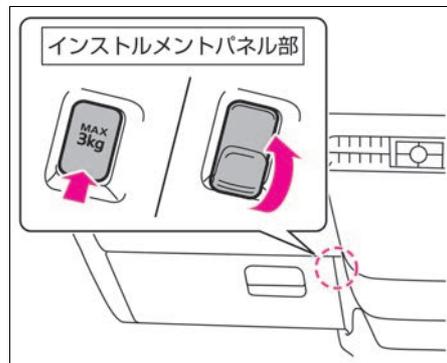
⚠ 注意

- パーソナルテーブルとコンビニックを同時に使用するときは、合計が**3kg**を超えないようにする。

破損、またはテーブルが格納することで物が落ち、思わぬケガをするおそれがあります。

- 走行中はパーソナルテーブルを格納し、使用しないでください。

- 買い物袋などを引っ掛けるときに使います。
- コンビニックは、以下の場所にあります。
 - インストルメントパネル部
 - 前席シートバック部
- インストルメントパネル部のフックは、フックの下側を押すと開き、使用できます。
- 前席シートバック部のフック (パーソナルテーブル付車) はパーソナルテーブル使用時に使用できません。
- 前席シートバック部のフック (パーソナルテーブル無車) はフックに指をかけて引き出すと使用できます。



🚗 アドバイス

- フックの変形または破損を防ぐため、次のことをお守りください。
 - 3kg以上の物を掛けない (インストルメントパネル部)
 - 4kg以上の物を掛けない (前席シートバック部 (パーソナルテーブル無車))
 - 炎天下などで車内が高温のときは、物をかけたままにしない
- パーソナルテーブル付車は、テーブルには3kg以上の荷物を乗せないでください。また、コンビニックには1kg以上の荷物を掛けないでください。テーブルとコンビニックを同時に使用するときは、合計が3kgを超えないようにしてください。

その他の室内装備

フロアカーペット

この車（年式）専用のフロアカーペットが設定されています。

固定のしかた

⚠ 警告

- この車（年式）専用のフロアカーペットを、床の上しっかりと固定して正しく使用する。

フロアカーペットがずれて各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たりブレーキが効きづらくなったりするなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

- 運転席にフロアカーペットを敷くときは、次のことを守る。

- 日産純正品であっても、他車種および異なる年式のフロアカーペットは使用しない。
- フロアカーペットでペダルを覆わない。
- フロアカーペットを重ねて敷かない。
- 運転席専用のフロアカーペットを使用する。
- フロアカーペットを前後さかさまにしたり、裏返しにしたりして使用しない。

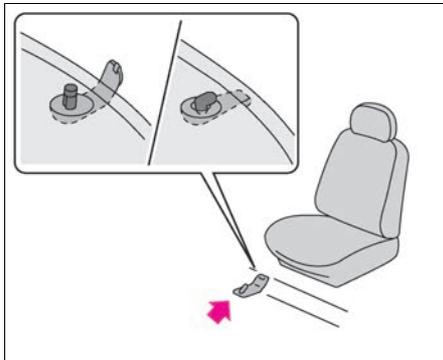
- 運転する前にフロアカーペットが正しく固定されていることを定期的に確認し、洗車後は必ず確認する。

- 運転に支障がないことを確認する。

運転する前、キースイッチ（電源ポジション）がOFFの状態でごペダルをいっぱい踏み込み、フロアカーペットと干渉しないことを確認してください。

- タバコの火種をフロアカーペットなどに落とさない。

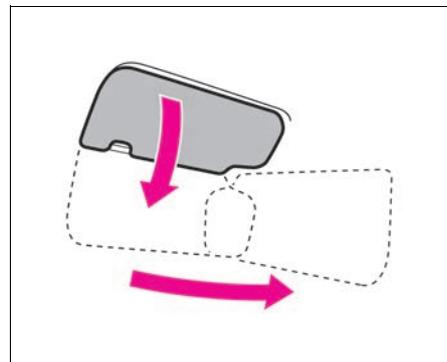
火災につながるおそれがあります。



- 床面には日産純正フロアカーペット用の固定クリップが付いています。
- フロアカーペットを床の形状に合わせて敷き、取り付け穴に固定クリップのピンを通して確実に固定します。
- 車種により、固定クリップ・ピンの形状や、各シートごとに設定されている数量は異なります。詳しい固定方法は、日産販売会社にお問い合わせください。

サンバイザー／バニティミラー

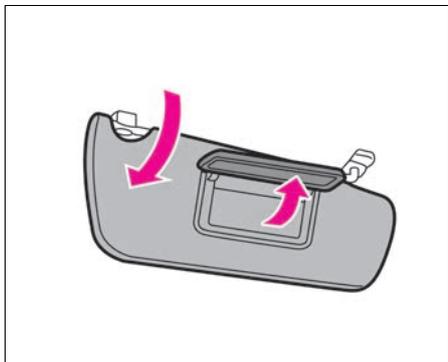
サンバイザー



- 前方からの日差しを防ぐときは、下に下げて使います。
- 横からの日差しを防ぐときは、下に下げてフックから外し、横にして使います。

その他の室内装備

バニティミラーの使いかた



- サンバイザー裏側にバニティミラー（鏡）が付いています。
- サンバイザーを下に下げて、カバーを開けて使います。

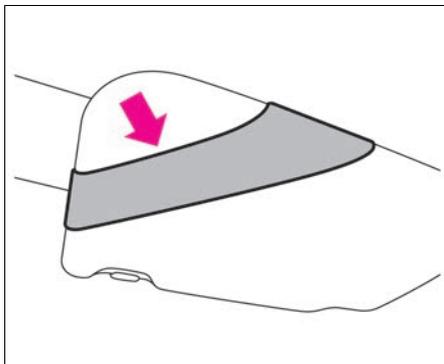
チケットホルダー

チケットホルダーの使いかた

アドバイス

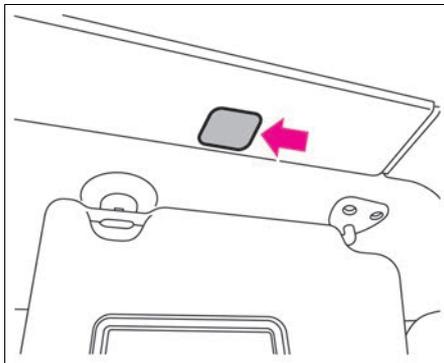
- 炎天下での駐車は車室内が大変高温になりますので、カードを入れたままにしないでください。カードが変形するおそれがあります。

タイプA



- 運転席側のサンバイザーにチケットホルダーが付いています。
- カードをスライドさせ、差し込みます。

タイプB

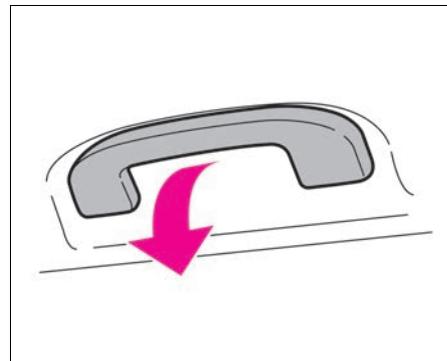


- サンバイザーの後ろにチケットホルダーが付いています。

- カードを挟み込んで使います。

アシストグリップ

アシストグリップの使いかた



- アシストグリップは、前席シート左右、後席シート左右にあります。

注意

- アシストグリップに手をかけて乗り降りしない。
アシストグリップは、走行中などシートに座った状態で身体を支えるために使用してください。乗降用ではないため、手をかけて乗り降りしないでください。万一、アシストグリップが外れた場合は、思わぬケガをするおそれがあります。

MEMO

トラブルがおきたときは

まずはじめに

故障したときは	P.254
発炎筒	P.255
けん引について	P.256

緊急時の対処法

パンクしたときは	P.259
ドアが開かないときは	P.262
インテリジェントキー★で始動できないときは	P.263
ハンドルがロックし、エンジンの始動ができないときは	P.264
バッテリーがあがったときは	P.265
警告灯がついたときは	P.268
警告メッセージが表示されたときは	P.278
警報音（ブザー）が鳴ったときは	P.294
窓ガラスがくもったときは	P.296
オーバーヒートしたときは	P.296
セレクトレバーが動かないときは	P.298
雪道やぬかるみにはまったときは	P.298
水没したときは	P.299
外装ランプが点灯しないときは	P.300
ヒューズが切れたときは	P.302

まずはじめに

故障したときは

車両が故障したときは、次の手順で対処してください。

故障したときの対処のしかた

警告

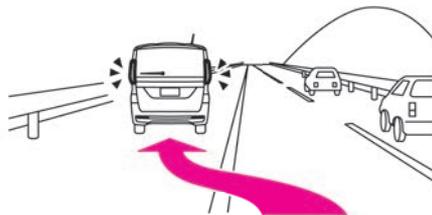
- 発炎筒はトンネル内では使用しない。
煙で視界が悪くなり、他車の走行の妨げとなり、事故につながるおそれがあります。非常点滅表示灯を使ってください。

注意

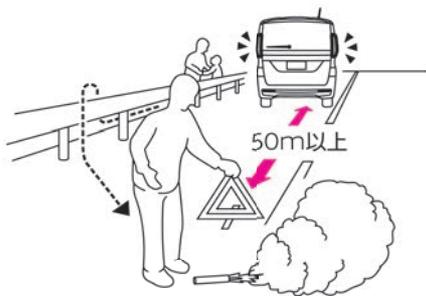
- エンジンが停止しているときは、慎重に運転する。
故障によりエンジンが停止していると、ブレーキやパワーステアリングが正しく機能せず、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルの操作力が重くなったりすることがあります。すみやかに安全な場所に停車してください。

アドバイス

- 高速道路や自動車専用道路では、停止表示板（停止表示灯）の表示が法律で義務付けられています。
- 高速道路上では1kmごとに非常電話が設置されています。



1. 非常点滅表示灯で後続車に危険を知らせながら、できるだけ路肩に寄せて停車します。
路肩が無い場所では、可能な限り広いところまで自走します。

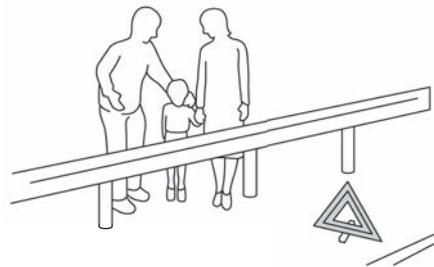


2. 同乗者をガードレールの外側などに避難させ、車両の50m以上後方に発

炎筒と停止表示板（停止表示灯）を置きます。

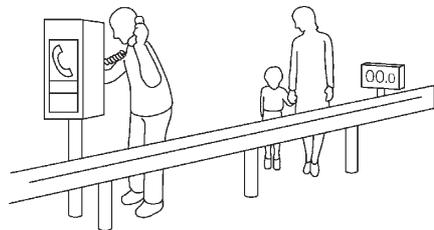
➡ 発炎筒 (P.255)

避難するときは、停止車両への追突事故が発生したときに巻き込まれないよう注意してください。



3. 運転者もガードレールの外側などに避難します。

まずはじめに



4. 非常電話や携帯電話などで救援依頼をします。

発炎筒

高速道路や踏み切りなどで故障・事故により緊急停車したとき、周囲に危険を知らせるために使います。

発炎時間は約5分です。非常点滅表示灯と併用してください。

発炎筒の使いかた

警告

- お子さまには触らせない。
いたずらなどで発火するおそれがあり危険です。
- 可燃物の近くで使用しない。
引火するおそれがあります。
- 点火は必ず車外で行い、点火後は顔や身体に近づけない。

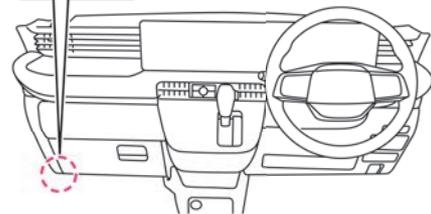
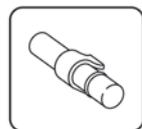
やけどをするおそれがあります。

● トンネル内では使用しない。

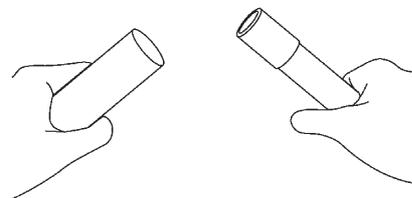
煙で視界が悪くなり、他車の走行の妨げとなり、事故につながるおそれがあります。このときは非常点滅表示灯をご使用ください。

🚗 アドバイス

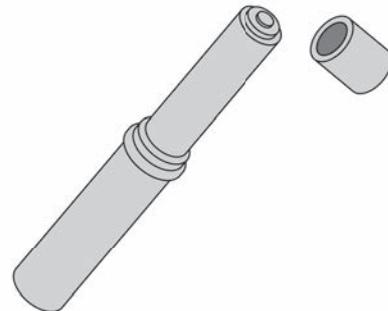
- 発炎筒に記載してある使用方法、注意をあらかじめ確認しておいてください。
- 発炎筒には有効期限があります。期限が切れる前に日産販売会社でお買い求めください。



1. 助手席足元部のホルダーから発炎筒を外します。



2. 本体を回しながらケースから引き抜き、本体を逆さにして差し込みます。



3. 先端のふたを取り、ケースのすり薬で発炎筒の先端をこすって着火します。

まずはじめに

けん引について

けん引が必要なときは、日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに依頼してください。

やむをえずけん引されるときは、できる限り短距離の移動のみとしてください。

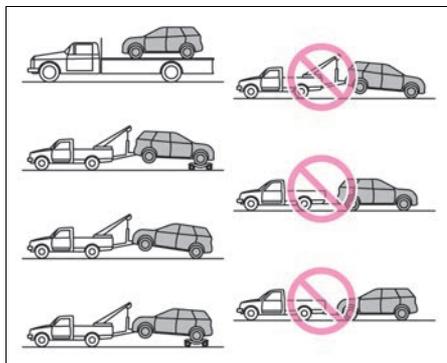
この車両で他車をけん引することはできません。

けん引時の注意事項

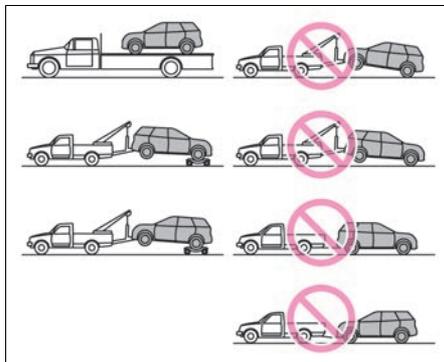
⚠ 注意

- 2WD車の前輪を持ち上げて後輪接地でけん引するときは、キースイッチ（電源ポジション）をOFFにする。
VDCが作動し、ブレーキがかかることがあります。

2WD車



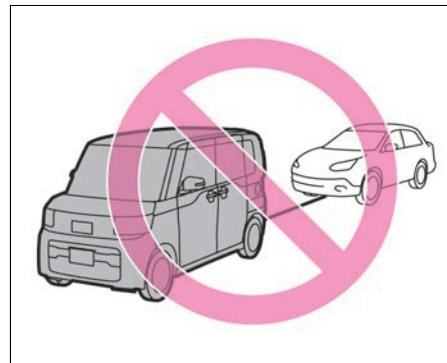
4WD車



- 車両が動かなかつたり、異常な音がしたりするときは、けん引せずに日産販売会社へご連絡ください。
- 車両を運搬するときは、2WD車は前輪または4輪を、4WD車は4輪を持ち上げてください。
- やむをえず4輪接地の状態でけん引されるときは、セレクトレバーをNに入れて行ってください。
- 4輪接地でけん引してもらうときは、速度30km/h以下、距離40km以内にしてください。高速走行や長距離走行をすると、トランスミッションが破損するおそれがあります。できるだけレッカー車、またはトレーラーを依頼してください。
- けん引ロープはできるだけソフトロープを使い、バンパーに傷をつけないように注意してください。
- けん引中はロープをたるませないように、前の車の制動灯に注意してください。

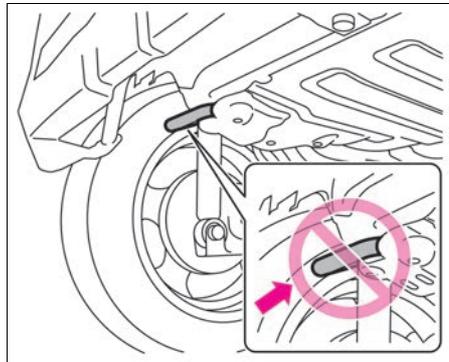
- けん引フックは他車をけん引するために使用しないでください。
- けん引中は、プロパイロット★をOFFにしてください。
- けん引中は、踏み間違い衝突防止アシストをOFFにしてください。

リヤフックについて

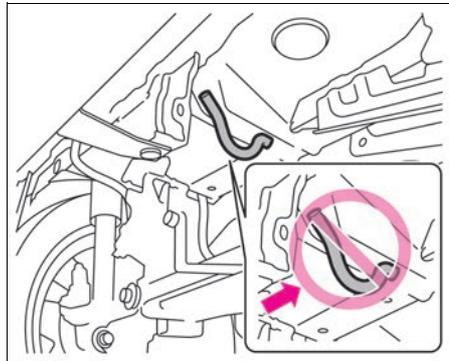


まずはじめに

2WD車



4WD車



後ろ側についているフック（リヤフック）は船舶輸送時の固定専用です。けん引やトレーラー輸送時などの固定には絶対に使用しないでください。

アドバイス

- けん引用として使うと、車両を損傷するおそれがあります。

やむをえず4輪接地でけん引される ときは

警告

インテリジェントキー付車

- 4輪接地でけん引されるときは、電源ポジションをOFFにしない。

電源ポジションがOFFでバッテリーがあがると、ハンドルロック（ステアリングロック）の解除ができなくなるため、このままの状態でけん引しないでください。

けん引するときは救援車のバッテリーとつなぎ、電源ポジションをONにしてハンドル操作ができる状態で行ってください。また、けん引中は電源ポジションをOFFにしないでください。ハンドル操作ができなくなり危険です。

リモートコントロールエントリーシステム付車

- 4輪接地でけん引されるときは、キースイッチをLOCKにしない。

ハンドルがロックされ操作ができなくなり危険です。

注意

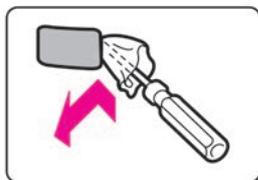
- エンジンが停止していると、ブレーキや電動パワーステアリングの倍力装置が働かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルの操作力が重くなったりすることがあるので注意する。
- けん引フックに指定以外のフックは絶対に使用しない。
フック部が破損するおそれがあります。
- 長い下り坂ではけん引しない。
ブレーキが過熱して効かなくなり、事故につながるおそれがあります。このような場所でけん引するときは、レッカー車で引いてもらってください。
- 4WD車はトレーラーに搭載するか、4輪接地の状態でけん引してもらう。
2輪を上げた状態でけん引すると、上げた車輪が回転して、思わぬ事故や故障につながるおそれがあります。

アドバイス

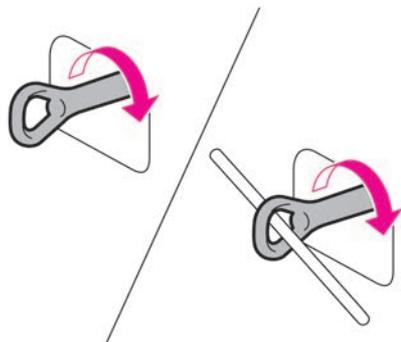
- けん引中はローブをたるませないように、前の車の制動灯に注意してください。

1. 先の細いお手持ちの工具を布などで覆い、フロントバンパーのカバーの溝に差し込んでカバーを外します。

まずはじめに

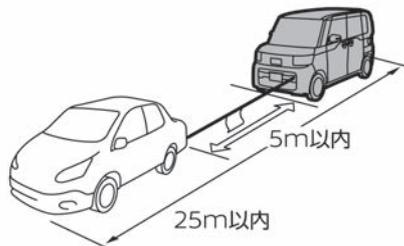


2. 金属の固い棒などを使用して、けん引フックを取り付けます。
➡ 工具、タイヤ応急修理キットの格納場所 (P.305)

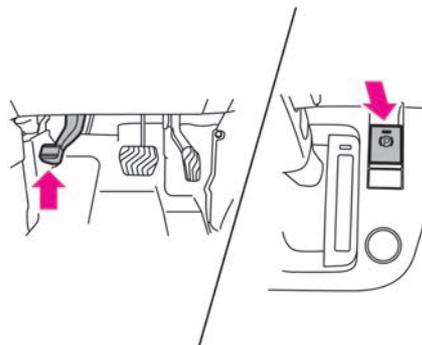


3. 自車および他車のけん引フックにロープを掛け、ロープ中央に

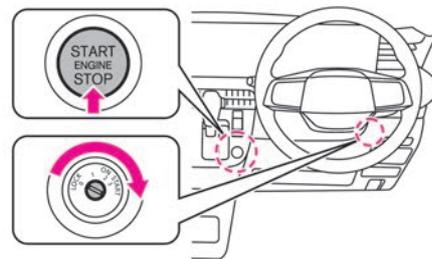
30cm×30cm以上の白い布を取り付けます。
ロープをかけるときは、できるだけ同じ側で水平になるように掛けてください。



4. エンジンを始動しセレクトレバーを **N** に入れ、パーキングブレーキを解除します。



5. エンジンを始動できないときはキースイッチ（電源ポジション）をONにし、セレクトレバーを **N** にしてください。



知識

- けん引が終わったら、けん引フックを取り付けたときと逆の手順で取り外します。

緊急時の対処法

パンクしたときは

この車両には、スベアタイヤおよびジャッキが標準で搭載されていません。

タイヤがパンクしたときは、タイヤ応急修理キットで応急修理ができます。

応急修理する前に

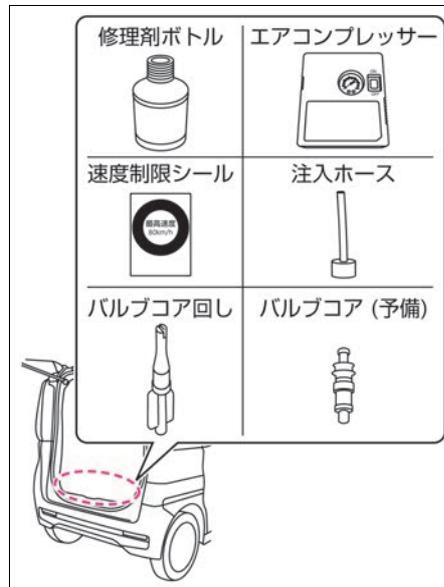
🚗 アドバイス

- タイヤに釘やネジが刺さっている場合は、抜いてしまうとパンク穴が大きくなり空気が漏れやすくなるため、抜かずにタイヤ応急修理キットで応急修理してください。
 - タイヤ応急修理キットの修理剤を使用したタイヤは、新しいタイヤに交換されることをおすすめします。タイヤの交換については日産販売会社または専門の修理業者と相談し、損傷が激しい場合は交換、修理可能と判断された場合は修理を実施してください。
 - ホイールは付着した修理剤をふき取れば再使用できますが、タイヤのバルブは新しいものと取り替えてください。
 - 修理剤とホースは再使用できません。使用後は新しい修理剤とホースをお求めください。詳しくは日産販売会社にご相談ください。
- 応急修理を行うときは、次の準備をしてください。
- 地面が固く平らな場所に車両を移動する。
 - パーキングブレーキをかける。
 - セレクトレバーをPにする。

☆/★：車両型式、オプションなどで異なる装備

- キースイッチ（電源ポジション）をOFFにする。
- 非常点滅表示灯を点滅させる。
- 次の場合はタイヤ応急修理キットでは応急修理できません。日産販売会社またはJAFなどにご連絡ください。
 - ー 約4mm以上の切り傷や刺し傷があるとき
 - ー タイヤサイド部が損傷を受けたとき
 - ー ほとんど空気の抜けた状態で走行したとき
 - ー タイヤがホイールから外れているとき
 - ー ホイールが破損しているとき
 - ー タイヤが2本以上パンクしているとき
 - ー 修理剤の有効期限が切れているとき

タイヤ応急修理キットについて



- タイヤトレッド部（接地面）の軽度なパンクは、タイヤ応急修理キットで応急修理できます。
- タイヤ応急修理キットは、ラゲッジルームに格納されています。
➡ 工具、タイヤ応急修理キットの格納場所 (P.305)
- 応急修理を目的としているため、修理後に長期間の走行はできません。修理後はすみやかに日産販売会社または専門の修理業者で点検、恒久修理またはタイヤ交換を行ってください。

緊急時の対処法

- タイヤ応急修理キットを取り出すときは、後席シートを車両前方へスライドさせてください。

応急修理のしかた

■ 修理剤の注入

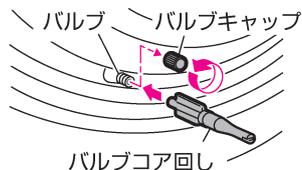
1. 修理剤ボトルとエアコンプレッサーを取り出し、修理剤ボトルをよく振ります。



2. 修理剤ボトルの内ぶたを付けたまま注入ホースをねじ込みます。
(注入ホースをねじ込むと内ぶたが破れます。)



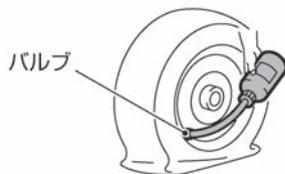
3. パンクしたタイヤのバルブからバルブキャップを外し、ビニール袋に入っているバルブコア回しの後ろでバルブ内のバルブコアを押し、タイヤの空気を完全に抜きます。



4. バルブコア回しでバルブコアを回し、取り外します。



5. 注入ホースをバルブに差し込みます。その後、修理剤ボトルをさかさまにして持ち、修理剤がすべてタイヤ内に注入できるまで何回も圧迫します。



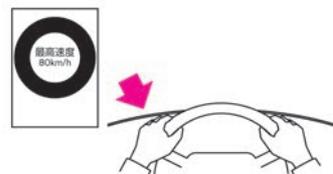
6. 注入し終わったら、注入ホースをバルブから引き抜き、バルブコア回しを使ってバルブコアをバルブにしっかりとねじ込みます。



7. 注入が終わった空ボトルから修理剤が漏れるのを防ぐため、注入ホースの先端にバルブコア回しを差し込んで栓をします。



8. 速度制限シールを運転者のよく見えるところに貼ります。



⚠ 注意

- バルブコアは慎重に取り外す。
外すときにタイヤに空気が残っていると、コアが飛び出すおそれがあります。
- ハンドルのセンターパッド部には速度制限シールを貼らない。

緊急時の対処法

⚠ 注意

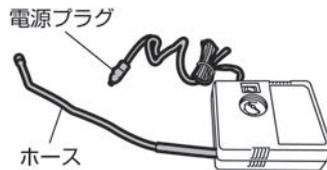
SRSエアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。また、警告灯やスピードメーターが見えなくなる位置にも貼らないでください。

📖 知識

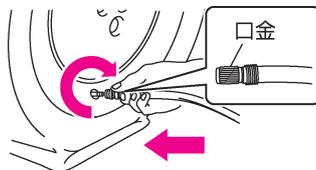
- 修理剤ボトルは注入ホースをねじ込む前によく振ってください。注入ホースをねじ込んだあとに修理剤ボトルを振ると、修理剤が飛び散るおそれがあります。
- 修理剤は衣服などに付着すると取れなくなるおそれがありますので注意してください。
- 寒冷時には修理剤の粘度が高くなり、注入作業がしにくくなります。その場合、車内などで温めると注入作業がしやすくなります。
- バルブコアは汚れないようにきれいに保管してください。
- 空になった修理剤ボトルは、タイヤ交換または恒久修理のときに修理剤の回収に使用しますので、捨てずに日産販売会社または修理業者までお持ちください。

■ エアの注入

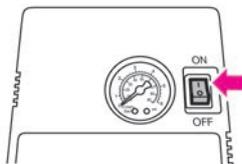
1. エアコンプレッサーに格納されているホースと電源プラグを取り出します。



2. エアコンプレッサーのホースの口金をタイヤバルブにしっかりとねじ込みます。



3. 電源プラグを車内の電源ソケットに差し込みます。
4. キースイッチ（電源ポジション）をONにします。
5. エアコンプレッサーのスイッチをONにし、タイヤを指定空気圧まで昇圧させます。



6. 指定空気圧まで昇圧できたら、エアコンプレッサーのスイッチをOFFにし、電源プラグを電源ソケットから抜きます。

7. ホースをタイヤのバルブからすばやく取り外し、タイヤのバルブにキャップを取り付けます。

10分以内に指定空気圧まで昇圧できない場合

10分以内に指定空気圧まで昇圧できない場合は、タイヤがひどい損傷を受けているおそれがあります。この場合は、本修理キットで応急修理することができません。日産販売会社またはJAFなどに連絡してください。

空気を入れすぎたとき

ホースの口金を緩めて空気を抜いてください。

⚠ 注意

- 空気を入れたあとは、ホースの口金が発熱することがあるため、やけどしないように注意する。

🚗 アドバイス

- コンプレッサーは長時間使用すると故障につながるおそれがありますので、10分以上連続して作動させないでください。タイヤ空気圧を昇圧できない場合は修理できません。

📖 知識

- タイヤの指定空気圧は運転席ドア開口部に表示してあります。
- 車種により、コンプレッサーの形状が異なります。

緊急時の対処法

■ 点検走行

1. ただちに走行を始め、10分間または5km程度走行してください。80km/h以下の速度で注意深く運転してください。
2. 走行後、エアコンプレッサーのスイッチがOFFになっていることを確認し、エアコンプレッサーに付属している空気圧計でタイヤ空気圧をチェックしてください。

130kPa未満の場合

本修理キットによる応急修理はできません。運転を中止して日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。

130kPa以上指定空気圧未満の場合

エアコンプレッサーのスイッチをONにして指定空気圧まで昇圧し、点検走行の作業を行います。上記作業を繰り返しても指定空気圧より低下する場合は、本修理キットによる応急修理はできません。運転を中止して日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。

指定空気圧の場合

応急修理は完了です。すみやかに日産販売会社または専門の修理業者まで慎重に運転してください。

⚠ 注意

- 走行するときは、低速で慎重に運転し、特にカーブや旋回時には注意する。

アドバイス

- 応急修理後の恒久修理の際、パンク穴を発見できないために恒久修理できないことがあります。そのまま走行を続ける場合は、こまめに空気圧をチェックしてください。頻りに空気圧の低下がみられるときは、日産販売会社または修理業者で点検を受けてください。

タイヤ応急修理キットの注意事項

⚠ 注意

タイヤ応急修理キットについて

- タイヤ応急修理キットは搭載車両専用のため、他の車には使用しない。
- タイヤ応急修理キットは自動車用タイヤの空気充てんや空気圧チェック以外で使用しない。
- タイヤ応急修理キットはDC12V専用のため、他の電源での使用はしない。
- 分解、改造などは絶対にしない。
- コンプレッサーに衝撃を与えない。故障の原因となります。
- お子さまが誤って手を触れないように注意する。

修理剤について

- 修理剤を口に入れない。

修理剤を飲みこむと健康に害があります。万一誤って飲んだ場合は、できるだけたくさん水を飲み、ただちに医師の診療を受けてください。

- 万一、目や皮膚に付着したときは、水でよく洗い流す。
それでも異常を感じたときは、医師の診療を受けてください。

アドバイス

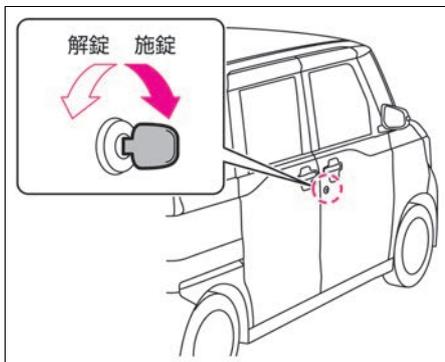
- タイヤ応急修理キットは、必ず日産純正品を使用してください。
- 水やほこりを避けて使用してください。

ドアが開かないときは

インテリジェントキーの電池が切れたときや、バッテリーがあがったときなどドアが開かないときは、次の方法で施錠・解錠してください。

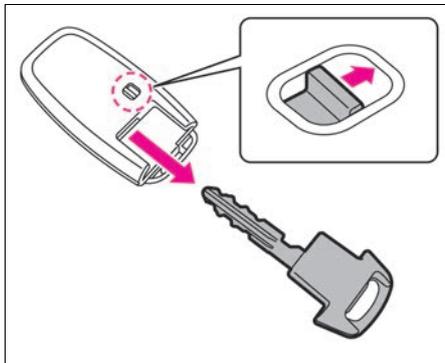
緊急時の対処法

内蔵キー（メカニカルキー）でのドアの開けかた



運転席ドアにある鍵穴に内蔵キーを差し込んで車両後方に内蔵キーを回すと解錠します。施錠するときは、車両前方に内蔵キーを回します。

インテリジェントキー付車



☆/★：車両型式、オプションなどで異なる装備

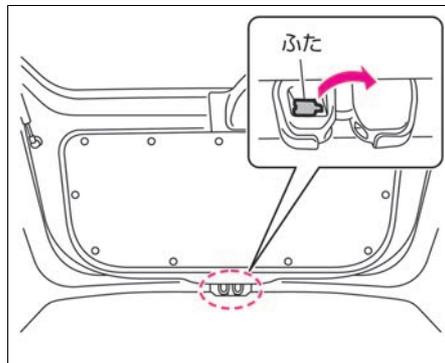
- 内蔵キーはインテリジェントキーに内蔵されています。

緊急時のバックドアの開けかた

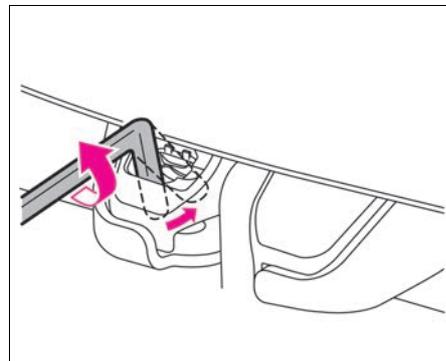
アドバイス

- 次の手順は、あくまで故障時の緊急手段です。故障の原因になるため、正常なときは使用しないでください。
- <バックドアオープナースイッチ>などの故障につながるおそれがあるため、操作をしたときは日産販売会社で点検を受けてください。
- 操作後はなるべく早く日産販売会社で点検を受けてください。

バッテリーあがりなどにより、バックドアを開けられなくなったときは、次の操作をしてください。



- バックドアの車室内側にあるロック機構のふたを開けます。



- お手持ちの六角レンチを穴に差し込みレバーを矢印の方向に動かして解錠し、バックドアを持ち上げます。

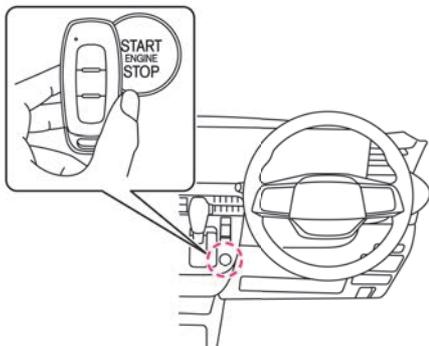
インテリジェントキー★で始動できないときは

キー（インテリジェントキー）の電池が切れたときや、使用環境によりキーと車両の通信が正常に行われていないときは、次の手順でエンジンを始動してください。

始動のしかた

アドバイス

- 次の手順でエンジンを始動できない場合は、早めに日産販売会社にご連絡ください。



- ブレーキペダルを踏み、キーのロゴの裏面を<エンジンスイッチ>に接触させます。
(ブザーが“ピピッ”と鳴ります)
- ブザーが鳴ってから10秒以内に、ブレーキペダルをしっかりと踏みながら、<エンジンスイッチ>を押します。

- 停止操作は通常と同じ手順です。
- ドアの施錠・解錠は、内蔵キー（メカニカルキー）（➡P.263）をご使用ください。
- キーの電池が切れたときは、早めに電池を交換してください。
➡キー（インテリジェントキー）★の電池交換（P.316）

ハンドルがロックし、エンジンの始動ができないときは

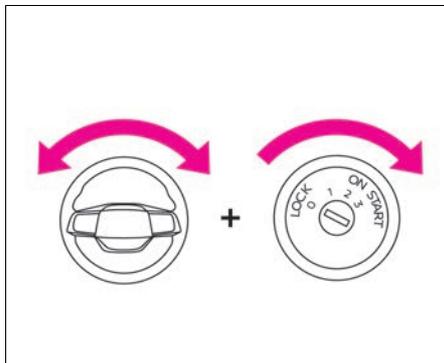
ハンドルがロックされているときはキーが回せなかったり（リモートコントロールエント

リースystem付車）、エンジンスイッチを押しても電源ポジションが切り替わらない場合があります（インテリジェントキー付車）。次の手順でハンドルロック（ステアリングロック）を解除してください。

ハンドルロック（ステアリングロック）の解除のしかた

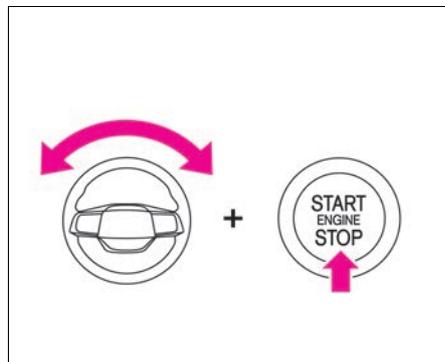
リモートコントロールエントリーシステム付車

- ハンドルを左右に回しながらキーを回します。ロックが解除できないときは、繰り返し行ってください。
エンジンの始動のしかた（➡P.124）



インテリジェントキー付車

- ハンドルを左右に回しながらエンジンスイッチを押します。ロックが解除できないときは、繰り返し行ってください。
エンジンの始動のしかた（➡P.122）



アドバイス

- ハンドルがロックされていても、数mm～数cmだけ動かすことができます。その範囲内でハンドルを左右にゆっくり回しながらキーを回す（リモートコントロールエントリーシステム付車）、またはエンジンスイッチを押してください。（インテリジェントキー付車）
- ハンドルがロックされているときはハンドルが重く、力を入れないと回すことができないことがあります。
- インテリジェントキー付車は、バッテリーがあがるとハンドルロック（ステアリングロック）の解除が行えず、電源ポジションが切り替わらなくなります。すみやかにバッテリーを充電してください。

バッテリーがあがったときは

バッテリーがあがり、エンジンの始動ができなくなったときは救援車を依頼し、ブースターケーブル（別売り）をつないで始動してください。

⚠ 警告

- ジャンプスタートを行うときは換気を十分に行い、火気は近づけない。

バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。

- バッテリー液が付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、飲み込んだときは多量の水を飲んで応急処置をしたあと、医師の診療を受ける。

バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると、失明や炎症など重大な傷害につながるおそれがあります。

- ブースターケーブルを正しい順番と位置でつなぐ。
- ブースターケーブルを自車バッテリーの⊖端子に直接つながない。
- ブースターケーブルの⊕端子と⊖端子を接触させない。

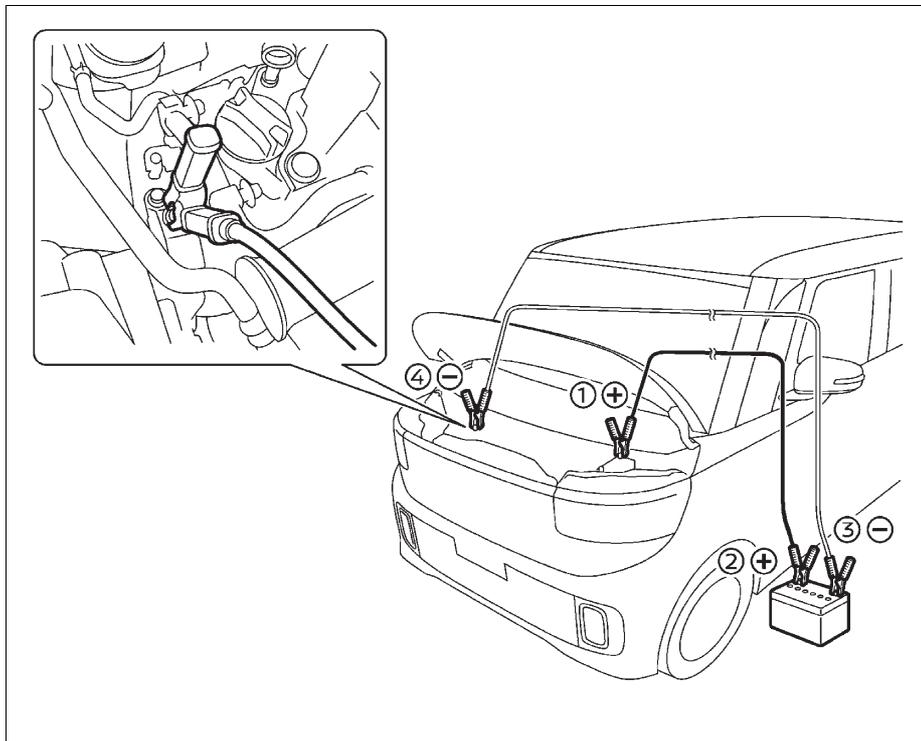
火花が発生し、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。

- バッテリーの⊕側ターミナルが周辺の金属と接触しないようにする。

接触するとショートして火災の原因となるおそれがあります。また、バッテリーの端子の締め付けが緩いと、配線などが過熱、焼損し、火災につながるおそれがあります。

- バッテリーを交換するときは、必ず同じサイズ（型式）に交換し、動かないようにしっかりと固定する。

しっかりと固定できていないと、ショートなどの原因となり火災につながるおそれがあります。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。



ジャンプスタートのしかた

⚠ 注意

- ブースターケーブルのワニグチクリップは、車体に触れたり、他のワニグチクリップと接触したりしないように注意する。
- ブースターケーブルは、確実に接続する。
エンジン始動時の振動で外れたりしないように確実につないでください。
- 冷却ファンやベルトに注意する。
ブースターケーブルをつなぐときや外すときは、冷却ファンやベルトに巻き込まないように注意してください。

🚗 アドバイス

- 押しがけによる始動はできません。
- 救援車には12Vバッテリー仕様の車両を使用してください。
- エンジンを開始するときは、ヘッドランプやエアコン、およびその他の電装品はOFFにしてください。
- エンジンが始動しても、しばらくエアコンやオーディオ★を使用しないでください。

緊急時の対処法

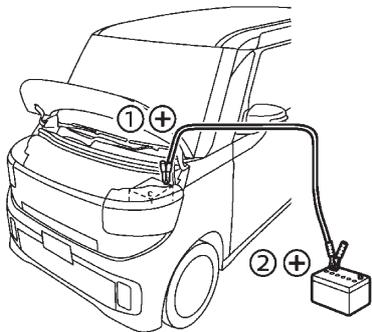
インテリジェントキー付車

- バッテリーがあがるとハンドルロック（ステアリングロック）の解除が行えず、電源ポジションが切り替わらなくなります。

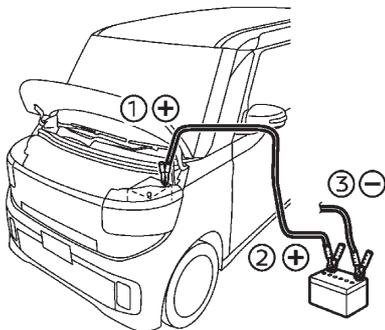
すみやかにバッテリーを充電してください。

- エンジンが始動できない場合には、一旦電源ポジションをOFFにして、10秒以上待ってから再始動してください。

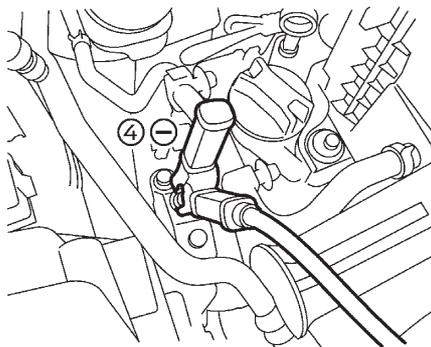
1. 自転車と救援車のキースイッチ（電源ポジション）をOFFにします。
2. 自転車の運転席の右下にあるボンネットオープナーを引いて、ボンネットを開けます。
➡ ボンネットの開けかた、閉めかた (P.309)
3. ブースターケーブル①を自転車のバッテリーの⊕端子に接続します。



4. 手順3のケーブルの反対側②を救援車のバッテリーの⊕端子に接続します。



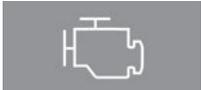
5. もう1本のブースターケーブル③を救援車のバッテリーの⊖端子に接続します。



6. 手順5で接続したケーブルの反対側をイラストのような自転車の車体④に接続します。
7. 救援車のエンジンを始動し、回転数を少し高めにします。
8. 自転車のエンジンを始動します。
9. エンジンが始動したら、ブースターケーブルをつないだときと逆の手順で外します。

警告灯がついたときは

警告灯は、車両故障などを運転者に知らせるためのものです。警告灯が点灯または点滅したときは、次の「説明・対処方法」に従ってください。警告や表示は、グレード、オプションなどにより異なります。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	油圧警告灯	<ul style="list-style-type: none"> ● 正常なときは、キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、エンジンが始動すると消灯します。 ● エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。 <p>⚠ 注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 油圧警告灯が点灯したまま走行しない。 エンジンを破損するおそれがあります。
	充電警告灯	<ul style="list-style-type: none"> ● キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● エンジン回転中、バッテリーの充電系統に異常があると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。 <p>⚠ 注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 充電警告灯が点灯したまま走行しない。 バッテリーが破損したり、エンジンが突然停止したりし、思わぬ事故につながるおそれがあります。
	故障警告灯（MIL）	<ul style="list-style-type: none"> ● 正常なときは、キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、エンジンが始動すると消灯します。 ● キースイッチ（電源ポジション）がONで警告灯が点灯しているときに、システムチェックにより点滅することがありますが異常ではありません。 ● エンジン回転中、エンジン電子制御システムに異常があると点灯または点滅します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 点灯または点滅したときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	ABS警告灯	<ul style="list-style-type: none"> ● キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、ABSのシステムに異常があると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● キースイッチ（電源ポジション）をONにしても点灯しないとき、または点灯し続けるときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">  アドバイス </div> <ul style="list-style-type: none"> ● ABS警告灯が点灯したときは、ABSは作動しませんが、通常のブレーキ性能は確保されています。この場合、滑りやすい路面でのブレーキ時や急ブレーキ時にタイヤがロックすることがあります。
	電動パーキングブレーキ警告灯★	<ul style="list-style-type: none"> ● 正常なときは、電源ポジションがONのとき、電動パーキングブレーキがかかっていると点灯し、電動パーキングブレーキを解除すると消灯します。 ● 電源ポジションがONのとき電動パーキングブレーキのシステムに異常があると点滅します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源ポジションがONで警告灯が点滅しているときに、電動パーキングブレーキを解除しても点滅が続くときは、すみやかに車両を安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
 <p>電動パーキングブレーキ無車</p>	<p>ブレーキ警告灯（赤色）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 正常なときは、キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、数秒後に消灯します。（パーキングブレーキをかけているときは消灯しません） ● キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、次の場合は点灯し続けます。 <ul style="list-style-type: none"> － パーキングブレーキをかけているとき － ブレーキ液が不足しているとき － ブレーキシステムに異常があるとき 	<ul style="list-style-type: none"> ● パーキングブレーキがかかっているときは、パーキングブレーキを解除します。 ● パーキングブレーキを解除しても点灯するときは、ただちに安全な場所に停車して、日産販売会社にご連絡ください。ブレーキの効きが悪いときは、ブレーキペダルを強く踏んで停車してください。 ● ブレーキ液量が正常でABS警告灯と同時に点灯したときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 <div data-bbox="1034 442 1150 471" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">  警告 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● パーキングブレーキを解除してもブレーキ警告灯が点灯し続けるときは、点灯したまま走行しない。 ブレーキの効きが極度に悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。 <div data-bbox="1034 617 1241 646" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">  アドバイス </div> <ul style="list-style-type: none"> ● パーキングブレーキを戻し忘れたまま走行（約7km/h以上）すると、ブザーが鳴ります。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
 <p>電動パーキングブレーキ付車</p>	<p>ブレーキ警告灯（赤色）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 正常なときは、電源ポジションをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● 電源ポジションがONのとき、次の場合は点灯し続けます。 <ul style="list-style-type: none"> － ブレーキ液が不足しているとき － ブレーキシステムに異常があるとき 	<ul style="list-style-type: none"> ● 走行中にブレーキ警告灯（赤色）が点灯した場合は、車両を停止し、次の確認を行ってください。（ブレーキシステム警告灯（黄色）と同時にVDC警告灯 [] も点灯します） <ul style="list-style-type: none"> － ブレーキ液の量が規定通りに入っていることを確認してください。ブレーキ液が不足している場合は、ブレーキ液を補充し日産販売会社で点検を受けてください。 － ブレーキ液の量が適正のときは、他に原因があることが考えられますので、日産販売会社で点検を受けてください。 ● ブレーキシステムの電源系統に異常があるときは、ブザーが鳴ります。
 <p>電動パーキングブレーキ付車</p>	<p>ブレーキシステム警告灯（黄色）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 正常なときは、電源ポジションをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● 電源ポジションがONのとき、次の機能に異常があると点灯します。 <ul style="list-style-type: none"> － 電動パーキングブレーキ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 走行中にブレーキシステム警告灯（黄色）が点灯した場合は、日産販売会社で点検を受けてください。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	シートベルト警告灯	<ul style="list-style-type: none"> ● キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、シートベルトが装着されていないと点灯します。 ● シートベルトを着用していない状態で走行すると（約15km/h以上）、警告灯が点滅します。 シートベルト非着用警報（シートベルトリマインダー） ● シートベルトを着用していない状態で車速が一定以上になると、ブザーが一定時間鳴ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ● シートベルトを着用してください。 <p>⚠ 警告</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 走行中は全員がシートベルトを着用する。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。 <p>📖 知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 助手席シートに荷物などを置くと、センサーが重量を検知して、警告灯が点灯することがあります。 ● 後席シートベルトの着用状態は、アドバンスドドライブアシストディスプレイにも表示されます。 警告メッセージ (👉 P.279)
	SRSエアバッグ警告灯	<ul style="list-style-type: none"> ● キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、約7秒後に消灯します。 ● キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、SRSエアバッグのシステム、プリテンショナー機能に異常があると、点灯を続けます。 	<p>⚠ 警告</p> <ul style="list-style-type: none"> ● キースイッチ（電源ポジション）をONにしても点灯しないとき、または点灯を続けるときは、放置したまま走行しない。万一のときSRSエアバッグ、プリテンショナーシートベルトが作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。
	VDC警告灯	<ul style="list-style-type: none"> ● キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、VDCが作動すると点滅します。 ● キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、VDCシステムに異常があると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 点灯したときはVDCの作動は停止しますが、VDCシステムのない普通の車として走行できます。滑りやすい路面では注意して走行し、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 <p>👉 VDC（ビークルダイナミクスコントロール） (P.154)</p>

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	<p>EPS（電動パワーステアリング）警告灯</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、エンジンを始動すると消灯します。 ● エンジン回転中、電動パワーステアリングのシステムに異常があると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 ● 赤色に点灯しているときは、電動パワーステアリングが作動しません。すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。 ● 黄色に点灯しているときは、電動パワーステアリングのシステムに異常があるため、ハンドル操作力の重さが変化します。ハンドルをしっかりと握り、慎重に操作してください。 <div data-bbox="1046 437 1257 468" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">  アドバイス </div> <ul style="list-style-type: none"> ● ハンドルに長時間力をかけた状態が続いたり停車中に操作を繰り返すと、システムの過熱を防ぐためハンドル操作力が重くなりますが、異常ではありません。しばらくハンドル操作を控え、システムの温度が下がると、通常のハンドル操作力に戻ります。 <div data-bbox="1046 661 1166 692" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">  知識 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● すばやいハンドル操作を行うと、ハンドル付近から擦れるような音が聞こえてくる場合がありますが、異常ではありません。

緊急時の対処法

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	燃料残量警告灯	<ul style="list-style-type: none">● キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、燃料の残量が少ないと黄色に点灯します。	<ul style="list-style-type: none">● すみやかに指定の燃料を補給してください。 <div data-bbox="1034 202 1241 229" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> アドバイス</div> <ul style="list-style-type: none">● 燃料の残量が約6.5ℓ以下で点灯します。なお、走行に使用できる燃料残量は、上記より若干少なくなります。● 車両姿勢、走行状況などによっては燃料がタンク内で移動するため、警告灯の点灯するタイミングが変わる場合があります。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯	<ul style="list-style-type: none"> ● キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、エンジンを始動すると消灯します。 ● 次の場合は点灯します。 <ul style="list-style-type: none"> － インテリジェント エマージェンシーブレーキの設定をOFFにしているとき － VDCの設定をOFFにしているとき － インテリジェント エマージェンシーブレーキ、インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）に異常が発生しているとき － フロントガラスの汚れなどにより、マルチセンシングフロントカメラの前方視界が遮蔽されていると判断したとき － 前方からの強い光により、マルチセンシングフロントカメラが前方を認識できなくなったとき － 炎天下に駐車したときなど、マルチセンシングフロントカメラが高温になったとき － 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき － フロントガラスの結露やくもりなどにより、マルチセンシングフロントカメラが前方を認識できなくなったとき 	<ul style="list-style-type: none"> ● インテリジェント エマージェンシーブレーキの設定をOFFにしていることによって点灯しているときは、ONにすると消灯します。 ● VDCの設定をOFFにしていることによって点灯しているときは、ONにすると消灯します。 ➡ <u>VDCのON・OFFのしかた (P.155)</u> ● 一度キースイッチ（電源ポジション）をOFFにしてから再始動しても警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。 ● フロントガラスが汚れているときは、フロントガラスを清掃し、警告灯が消灯したことを確認してください。 ● 車室内の温度が高いときなどは、温度が下がると自動的に作動を復帰します。各システムについては、インテリジェント エマージェンシーブレーキ (➡ P.176)、インテリジェント FCW（前方衝突予測警報） (➡ P.200) をお読みください。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
		<ul style="list-style-type: none"> ● 次の場合にも点灯します。 <ul style="list-style-type: none"> － 周辺の電波源の影響を受けているとき － センサーの汚れなどで、インテリジェント エマージェンシーブレーキが一時的に作動できない状態になっているとき － 車両前部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着しているとき － 道路形状や周辺の建造物により、レーダーセンサーが先行車を正確に検知できないとき（例：長い橋、雪原、長い壁の横など） － 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯せず、真っ暗な状態が継続したとき － インテリジェント エマージェンシーブレーキのシステムチェックが正常に終了しなかったとき － けん引されているとき 	

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	踏み間違い衝突防止アシスト警告灯	<ul style="list-style-type: none"> ● キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、エンジンを始動すると消灯します。 ● 次の場合は点灯します。 <ul style="list-style-type: none"> － 踏み間違い衝突防止アシストの設定をOFFにしているとき － VDCの設定をOFFにしているとき － 踏み間違い衝突防止アシストのシステムに異常が発生しているとき － 駐車支援機能（フロントソナー、コーナソナー、リヤソナー）に異常が発生しているとき ● 次の場合はゆっくり点滅します。 <ul style="list-style-type: none"> － 踏み間違い衝突防止アシストのシステムが一時的に使用できない場合 	<ul style="list-style-type: none"> ● 踏み間違い衝突防止アシストの設定をOFFにしていることによって点灯しているときは、ONにすると消灯します。 ● VDCの設定をOFFにしていることによって点灯しているときは、ONにすると消灯します。 ➡VDCのON・OFFのしかた (P.155) ● 一度キースイッチ（電源ポジション）をOFFにしてから再始動しても警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。 ● システムについては、踏み間違い衝突防止アシスト (➡P.183) をお読みください。
	マスターウォーニング	<ul style="list-style-type: none"> ● メーターに警告メッセージが表示されると同時に黄色か赤色に点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 同時に表示した警告メッセージを確認し、それぞれの対処方法に従ってください。
	手放し警告灯★	<ul style="list-style-type: none"> ● プロパイロットでハンドル支援を行っているとき、ハンドルを持っていない、またはハンドル操作が検出されないと点灯します。 ● 手放し警告灯が点灯しているにもかかわらず、運転者のハンドル操作が検出されない場合は、警告音とともに手放し警告灯が点滅し、ハンドル支援は解除されません。 ● プロパイロットのシステムに異常があると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● すみやかにハンドルを持って操作してください。運転者のハンドル操作を検出すると警告灯は消灯し、ハンドル支援が復帰します。 ● エンジン再始動後も警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

警告メッセージが表示されたときは

警告メッセージが表示されたときは、次の「説明・対処方法」に従ってください。表示は、グレード、オプションなどにより異なります。

警告メッセージ

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
 <p>始動時はブレーキを踏み エンジンスイッチを押してください</p>	エンジン始動 操作表示	<ul style="list-style-type: none"> ● インテリジェントキーを持って車室内に入ると表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ブレーキペダルを踏みながら<エンジンスイッチ>を押すと、エンジンが始動し、走行できるようになります。 ● 次の場合、表示が消えます。 <ul style="list-style-type: none"> ー エンジンが始動したとき ー リモコン機能、ドアにあるスイッチ、またはバックドアのスイッチでドアを施錠したとき
 <p>インテリジェントキーを エンジンスイッチに接触させてください</p>	インテリジェントキー非作 動時エンジン 始動表示	<ul style="list-style-type: none"> ● インテリジェントキーの電池が切れたときや、使用環境により、キーと車両の通信が正常に行われないときに表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ブレーキペダルを踏みながら、キーの裏面を<エンジンスイッチ>に接触させてください。 ● <u>🔑 インテリジェントキー★で始動できないときは (P263)</u>
 <p>キー電池残量が 低下しています</p>	インテリジェントキー電池 切れ表示	<ul style="list-style-type: none"> ● インテリジェントキーの電池切れが近くなると電池の交換を知らせます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新しい電池に交換してください。 ● <u>🔑 キー (インテリジェントキー) ★ の電池交換 (P316)</u> ● 次の場合、インテリジェントキー電池切れ表示が消えます。 <ul style="list-style-type: none"> ー 表示から約30秒経過したとき ー 電源ポジションをON以外にしたとき

緊急時の対処法

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
 警告  キーが 見つかりません	インテリジェントキー持ち出し警告	<ul style="list-style-type: none"> ● 次の場合に表示します。 <ul style="list-style-type: none"> － エンジンがかかっている状態で、インテリジェントキーが車外に持ち出されたとき － キーを携帯していないとき － 携帯しているキーの電池が切れているとき － 登録されていないキーを携帯しているとき 	<ul style="list-style-type: none"> ● 次のように対処してください。 <ul style="list-style-type: none"> － キーが車外に持ち出されていないか確認してください。 － キーを携帯してください。 － 新しい電池に交換してください。 ➡ キー（インテリジェントキー）★の電池交換（P.316） － 自車のキーであることを確認してください。 ● エンジンを停止させるときは、次の操作を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> － <エンジンスイッチ>を2秒以上押し続ける
	ドア開き警告	<ul style="list-style-type: none"> ● ドアが確実に閉まっていないとき、開いている位置を表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ドアを確実に閉めてください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">  注意 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 走行前に表示が消えていることを確認する。 ドアが完全に閉まっていない（半ドア）と走行中に突然開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。
	シートベルト警告	<ul style="list-style-type: none"> ● キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、シートベルトが装着されていない席を赤色で表示します。 ● シートベルトを着用している席は緑色で表示されます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● シートベルトを着用してください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">  警告 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 走行中は全員がシートベルトを着用する。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。
 警告  キーシステム故障 取扱説明書を見てください	キーシステム警告	<ul style="list-style-type: none"> ● キーシステムに異常があると表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日産販売会社にご連絡ください。キースイッチ（電源ポジション）を切り替えられないことがあります。

緊急時の対処法

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
 警告  シフトをPレンジに入れてください	P 戻し忘れ警告	<ul style="list-style-type: none"> ● セレクトレバーがP以外で運転席ドアが開いていると表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● セレクトレバーをPに入れてください。
 警告 パーキングブレーキを解除してください	電動パーキングブレーキ戻し忘れ警告	<ul style="list-style-type: none"> ● 電動パーキングブレーキをかけ、運転席ドアを閉めずにアクセルペダルを踏み、発進すると表示します。 ● 電動パーキングブレーキを解除し忘れたまま走行すると表示します。 ● 走行中、非常事態で電動パーキングブレーキを作動させると表示します。 <p>➡ <u>電動パーキングブレーキに関する注意事項 (P.131)</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ● すみやかに電動パーキングブレーキを解除してください。 <p>➡ <u>電動パーキングブレーキ★ (P.130)</u></p>
 警告 ブレーキペダルを踏んでください	電動パーキングブレーキ警告	<ul style="list-style-type: none"> ● 急な坂道などで電動パーキングブレーキがかかった状態で車両が動く则表示し、ブザーが鳴ります。 ● 電動パーキングブレーキがかかった状態で、ブレーキペダルを踏まずに<電動パーキングブレーキスイッチ>を押した場合に表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● すみやかにブレーキペダルを踏んでください。 ● 解除する場合は、ブレーキペダルを踏んでから<電動パーキングブレーキスイッチ>を押してください。 <p>➡ <u>電動パーキングブレーキ★ (P.130)</u></p>
 警告 ブレーキを踏んでください	オートブレーキホールド警告	<ul style="list-style-type: none"> ● オートブレーキホールドが作動中に車両が動いたときに表示し、ブザーが鳴ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ブレーキペダルを踏んで車両を停止させてください。
AUTO HOLD  急坂路に停車しています車が進むことがあります	オートブレーキホールド急坂路注意表示	<ul style="list-style-type: none"> ● 急な坂道などでオートブレーキホールドが作動したときに表示し、ブザーが鳴ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ● すみやかにブレーキペダルを踏んでください。 ● 急な坂道や滑りやすい路面でオートブレーキホールド機能が作動していても、車両が動き出すおそれがあります。 <p>➡ <u>オートブレーキホールド★ (P.132)</u></p>

緊急時の対処法

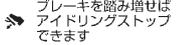
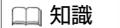
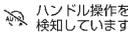
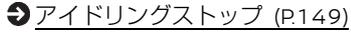
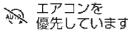
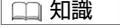
画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
 <p>AUTO HOLD 急坂路では ブレーキを踏んでください 車が動くことがあります</p>	オートブレーキホールド急坂路操作表示	<ul style="list-style-type: none"> ● 急な坂道などでオートブレーキホールドが作動してから一定時間経過し、ブレーキが踏まれていなかった場合に表示し、ブザーが鳴ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ● すみやかにブレーキペダルを踏んでください。 ● 急な坂道などでオートブレーキホールドが作動してから一定時間経過し、電動パーキングブレーキがかかるときに車両が動き出すおそれがあります。 ➡ <u>オートブレーキホールド★ (P.132)</u>
 <p>AUTO HOLD ブレーキを踏み スイッチを操作すれば 解除できます</p>	オートブレーキホールドスイッチ解除操作表示	<ul style="list-style-type: none"> ● オートブレーキホールド作動中、ブレーキペダルを踏まずに<オートブレーキホールドスイッチ>を押したときに表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ブレーキペダルを踏んでから<オートブレーキホールドスイッチ>を押してください。 ➡ <u>オートブレーキホールド★ (P.132)</u>
 <p>給油してください</p>	燃料残量警告	<ul style="list-style-type: none"> ● 燃料が少なくなると表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● すみやかに指定の燃料を補給してください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">  知識 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 燃料の残量が約6.5ℓ以下で表示します。 なお、走行に使用できる燃料容量は、上記残量より若干少なくなります。 ● 車両姿勢、走行状況によっては、燃料がタンク内で移動するため、警告が表示されるタイミングが変わる場合があります。
 <p>警告 オーバーヒート 安全な場所に車を停め 取扱説明書を見てください</p>	オーバーヒート警告	<ul style="list-style-type: none"> ● エンジン冷却水の温度が異常に高くなると表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 表示したときは、ただちに安全な場所に車を停めて処置してください。 ➡ <u>オーバーヒートしたときは (P.296)</u> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">  注意 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 表示したまま走行をしない。 そのまま走行を続けると、エンジン故障の原因となり、火災につながるおそれがあります。
 <p>警告 シャシー制御 システム故障 取扱説明書を見てください</p>	シャシー制御表示	<ul style="list-style-type: none"> ● シャシー制御のシステムに異常があると表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

☆/★：車両型式、オプションなどで異なる装備

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
 踏み間違い衝突防止アシストが作動しました	踏み間違い衝突防止アシスト作動時表示	<ul style="list-style-type: none"> ● 踏み間違い衝突防止アシストが作動すると表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 進行方向に壁などの障害物、車両や歩行者などを検知している場合に、アクセルペダルが素早く深く踏み込まれたとシステムが判断したときに作動します。 ➡ <u>踏み間違い衝突防止アシスト (P.183)</u>
 ヘッドランプシステム異常 取扱説明書を見てください	ヘッドランプ警告	<ul style="list-style-type: none"> ● LEDヘッドランプに異常があると表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してからマルチセンシングフロントカメラの前の障害物を取り除き、汚れを清掃してエンジンを再始動してください。 ● 再始動後もメッセージを表示するときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
 システム故障 取扱説明書を見てください	システム故障警告	<ul style="list-style-type: none"> ● プロパイロット、踏み間違い衝突防止アシスト、BSW（後側方車両検知警報）、インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）、LDW（車線逸脱警報）、インテリジェント L（車線逸脱防止支援システム）、RCTA（後退時車両検知警報）、駐車支援機能（フロントゾナー、コーナースォナー、リヤソナー）が故障すると表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。 ● 再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。 ➡ <u>プロパイロット★ (P.164)</u> ➡ <u>踏み間違い衝突防止アシスト (P.183)</u> ➡ <u>BSW（後側方車両検知警報）★ / インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）★ (P.189)</u> ➡ <u>LDW（車線逸脱警報） / インテリジェント L（車線逸脱防止支援システム） (P.197)</u> ➡ <u>RCTA（後退時車両検知警報）★ (P.203)</u>

緊急時の対処法

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
 警告  ふらつき警報システム故障	インテリジェント DA (ふらつき警報) システム異常警告	<ul style="list-style-type: none"> ● インテリジェント DA (ふらつき警報) に異常があると表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。 ● 再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。  <u>インテリジェント DA (ふらつき警報) (P.206)</u>
 警告 ソナー故障 取扱説明書を見てください	ソナーシステム異常警告A	<ul style="list-style-type: none"> ● ソナーが故障したときに表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。 ● 再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。 ソナー表示 ( P.70)
現在ソナーが使用できません	ソナーシステム異常警告B	<ul style="list-style-type: none"> ● ソナーが一時的に使用できない状態になっているときに表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してからソナーの汚れを取り除き、エンジンを再始動してください。 ● 他車のソナーが付近に存在するときや周囲で大きな音が鳴っているときは、静かな場所に移動し、一度エンジンを停止してから再始動してください。
アイドリングストップ  アイドリングストップシステム故障	アイドリングストップシステム異常警告	<ul style="list-style-type: none"> ● アイドリングストップシステムに異常があると表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。  <u>アイドリングストップ (P.149)</u>
アイドリングストップ  エンジン再始動しません	アイドリングストップエンジン再始動不可表示	<ul style="list-style-type: none"> ● アイドリングストップ中にボンネットを開け、通常のエンジン停止状態になったときに表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● アイドリングストップから通常のエンジン停止状態になっています。キースイッチ (電源ポジション) をOFFにする、またはエンジンを再始動してください。

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
アイドリングストップ 	アイドリングストップガイドダンス表示 (ブレーキ踏み増し)	<ul style="list-style-type: none"> ● 車両停止時に、ブレーキペダルの踏み込みが少ないことにより、アイドリングストップしないときに表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● アイドリングストップを作動させたいときはブレーキペダルを踏み増してください。  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 次の場合、表示が消えます。 <ul style="list-style-type: none"> － アイドリングストップが作動したとき － 走行を開始したとき
アイドリングストップ 	アイドリングストップガイドダンス表示 (ハンドル操作検知)	<ul style="list-style-type: none"> ● 車両停止時に、ハンドル操作を検知していることにより、アイドリングストップしないときに表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ハンドル操作を検知しているため、アイドリングストップが作動しません。  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 次の場合、表示が消えます。 <ul style="list-style-type: none"> － アイドリングストップが作動したとき － 走行を開始したとき
アイドリングストップ 	アイドリングストップガイドダンス表示 (エアコン優先)	<ul style="list-style-type: none"> ● 車両停止時に、エアコン(冷房・暖房・除湿機能)を優先していることにより、アイドリングストップしないときに表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● エアコンを優先しているため、アイドリングストップが作動しません。  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 次の場合、表示が消えます。 <ul style="list-style-type: none"> － アイドリングストップが作動したとき － 走行を開始したとき
ふうつき警報 	インテリジェント DA (ふうつき警報) 表示	<ul style="list-style-type: none"> ● 運転者のハンドル操作から注意力が低下していると判断したときに表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 表示・非表示の設定ができます。 

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
 <p>ライト消灯してください</p>	ライト消し忘れ警告	<ul style="list-style-type: none"> ● エンジンをかけていない状態で運転席ドアを開けたとき、次の場合に表示し、ブザーが鳴ります。 <ul style="list-style-type: none"> － ライトスイッチが<  >の位置にあるとき － ライトスイッチを<  /OFF >の位置に回して、テールランプ表示灯 [] が点灯しているとき 	<ul style="list-style-type: none"> ● ライトスイッチを<AUTO>の位置にする、または<  /OFF >の位置に回してテールランプ表示灯 [] を消灯してください。
<p>メンテナンス</p>  <p>オイル/オイルフィルター</p>	オイル/オイルフィルター交換表示	<ul style="list-style-type: none"> ● 設定したオイル/オイルフィルター交換距離に達すると表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● オイル/オイルフィルター交換距離は、設定したりリセットしたりできます。設定については、メンテナンス (🔧 P.64) をお読みください。
<p>メンテナンス</p>  <p>タイヤ</p>	タイヤ交換表示	<ul style="list-style-type: none"> ● 設定したタイヤ交換距離に達すると表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● タイヤ交換距離は、設定したりリセットしたりできます。設定については、メンテナンス (🔧 P.64) をお読みください。
<p>メンテナンス</p>  <p>ユーザー</p>	メンテナンス距離表示	<ul style="list-style-type: none"> ● オイル/オイルフィルター、タイヤ以外の整備項目の点検距離または交換距離に達すると表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● その他の整備項目には、たとえばタイヤのローテーションを行う距離の設定ができません。項目の点検/交換距離は、設定したりリセットしたりできます。設定については、メンテナンス (🔧 P.64) をお読みください。
<p>ふらつき警報</p>  <p>設定した走行時間になりました。休憩しませんか？</p>	走行時間アラーム表示	<ul style="list-style-type: none"> ● 設定した時間まで連続走行したことを知らせます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 走行時間アラーム表示は、設定したりリセットしたりできます。設定については、運転支援 (🔧 P.58) をお読みください。

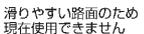
緊急時の対処法

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
省電源のため自動的に電源OFFします	自動電源OFF表示A	● エンジンが停止している状態で、電源ポジションをONにしたまましばらくすると表示することがあります。	● そのまま電源ポジションを切り替えないと、省エネのため電源ポジションがOFFになります。
省電源のため自動的に電源OFFしました	自動電源OFF表示B	● エンジンが停止している状態で、電源ポジションをONにしたまま時間が経過し、電源ポジションが自動でOFFになったときに表示することがあります。	
警告 フロントレーダー及びその周辺が汚れています 拭いてください	フロントレーダーシステム 停止警告	● 車両前部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着し、次のシステムが停止すると表示します。 ➡ <u>プロパイロット★ (P.164)</u>	● 安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してからレーダーセンサーおよびその周辺の汚れなどを取り除き、エンジンを再始動してください。 ● 停止したときの状態が改善、または変更されると、システムは作動を再開します。
⚠ 警告 レーダー 現在一部の運転支援が 使用できません センサー周辺を拭いてください		● 次のような道路形状、または建造物がある場合は、レーダーが先行車を正確に検知できず、作動が停止します。 — 長い橋を走行しているとき — 砂地や雪原を走行しているとき — 長い壁の近くを走行しているとき	
		● 車両前部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着し、次のシステムが停止すると表示します。 ➡ <u>インテリジェント エマージェンシーブレーキ (P.176)</u> ➡ <u>インテリジェント FCW (前方衝突予測警報) (P.200)</u>	

緊急時の対処法

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
サイドレーダー及びその周辺が汚れています 拭いてください	サイドレーダーシステム 停止警告	<ul style="list-style-type: none"> ● 車両に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着し、次のシステムが停止すると表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ➡ <u>BSW（後側方車両検知警報）★／インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）★</u> (P.189) ➡ <u>RCTA（後退時車両検知警報）★</u> (P.203) 	<ul style="list-style-type: none"> ● レーダーセンサーおよびその周辺の汚れなどを取り除いてから、システムを一旦OFFにしたあと、再びONにしてください。
作動範囲外のため 現在使用できません	作動範囲外警告	<ul style="list-style-type: none"> ● 次のシステムが停止すると表示します。停止する条件については、各システムをお読みください。 <ul style="list-style-type: none"> ➡ <u>フロパイロット★</u> (P.164) — インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム） (➡ P.189) — インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム） (➡ P.197) ● VDCをOFFにしたとき 	<ul style="list-style-type: none"> ● 停止したシステムを再び作動させる場合は、停止したときの状態が改善されてから、スイッチで再びONにしてください。
車線認識カメラ・その周辺が高温のため使用できません	カメラ高温警告	<ul style="list-style-type: none"> ● 炎天下に駐車したときなど、マルチセンシングフロントカメラが高温になり、次のシステムが停止すると表示します。 <ul style="list-style-type: none"> — インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム） (➡ P.189) ➡ <u>LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）</u> (P.197) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 停止したシステムを再び作動させる場合は、マルチセンシングフロントカメラ周辺の温度が下がってから、再びONにしてください。
カメラが高温のため 現在使用できません		<ul style="list-style-type: none"> ● カメラおよびカメラ周辺の温度が高いときに表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 車室内の温度が下がるとシステムは自動的に作動を再開します。
⚠ 警告 カメラが高温のため 一部の運転支援を 制限しています			

緊急時の対処法

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
 <p>滑りやすい路面のため 現在使用できません</p>	スリップ警告	<ul style="list-style-type: none"> ● 次のシステムが停止すると表示します。停止する条件については、各システムをお読みください。 —  <u>プロパイロット★</u> (P.164) ● ABSまたはVDC（トラクションコントロール機能（TCS）は含まない）が作動したとき 	<ul style="list-style-type: none"> ● 停止したシステムを再び作動させる場合は、停止したときの状態が改善されてから、スイッチで再びONにしてください。
 <p>スライドドア開のため 後退時車両検知警報が 使用できません</p>	RCTA（後退時車両検知警報）停止警告	<ul style="list-style-type: none"> ● スライドドアを開けているとき、セレクトレバーをRにすると表示します。  <u>RCTA（後退時車両検知警報）★</u> (P.203) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 停止したシステムを再び作動させる場合は、スライドドアを閉めてください。
 システムOFF	システムOFF表示	<ul style="list-style-type: none"> ● RCTA（後退時車両検知警報）がOFFのとき、セレクトレバーをRにすると表示します。  <u>RCTA（後退時車両検知警報）★</u> (P.203) 	<ul style="list-style-type: none"> ● RCTA（後退時車両検知警報）をONにすると、セレクトレバーをRにしても表示されません。
 警告 システム故障のため、 一部の運転支援を 使用できません	インテリジェント エマージェンシーブレーキシステム故障警告	<ul style="list-style-type: none"> ● インテリジェント エマージェンシーブレーキシステムが故障すると表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。 ● 再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。  <u>インテリジェント エマージェンシーブレーキ</u> (P.176)  <u>インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）</u> (P.200)

緊急時の対処法

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
 警告 視界不良のため 一部の運転支援を 制限しています	インテリジェントエマー ジェンシーブ レーキシステム 視界不良警告	<ul style="list-style-type: none"> ● 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いときに表示します。 ● 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているときに表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 悪天候時にはインテリジェントエマー ジェンシーブレーキシステムは作動しません。 ● 状況が改善されると、システムは自動的に 作動を再開します。
 警告 カメラ  現在一部の運転支援が 使用できません センサー高度を抜いてください	カメラ視界不 良警告	<ul style="list-style-type: none"> ● 雨、雪、霧または、カメラ前方のフロント ガラス凍結、汚れなどで、カメラの視界が 確保できなくなったときに表示します。 ● 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点 灯せず、真っ暗な状態が継続したときに表 示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全な場所に停車し、一度エンジンを停止 してからカメラ前方のフロントガラスの汚 れなどを取り除き、エンジンを再始動して ください。 ● 停止したときの状態が改善されると、シス テムは作動を再開します。
 警告 VDC OFFのため 一部の運転支援が 制限されています	VDC OFF警 告	<ul style="list-style-type: none"> ● VDCをOFFにしたときに表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● VDCをOFFにしたときに停止する機能に ついては、（👉P.155）をお読みください。
 警告 現在一部の運転支援を 制限しています	インテリジェントエマー ジェンシーブ レーキシステム 作動制限警 告	<ul style="list-style-type: none"> ● インテリジェントエマー ジェンシーブレーキのシステム チェックが正常に終了しな かったときと表示します。 👉 <u>インテリジェントエマー ジェンシーブレーキの作動が 停止するとき (P.182)</u> ● けん引されているときに表示 します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全な場所に停車し、一度エンジンを停止 してから再始動してください。 ● けん引されているときはインテリジェント エマー ジェンシーブレーキシステムは作動 しません。 ● 状況が改善されると、システムは自動的に 作動を再開します。 👉 <u>インテリジェントエマー ジェンシーブレーキ (P.176)</u>
 警告 CVT故障 走行制限中 販売店で点検してください	CVT故障警告 A	<ul style="list-style-type: none"> ● CVTに異常が発生し、出力が制限されて いると表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● すみやかに日産販売会社で点検を受けてく ださい。
 警告 CVT故障 安全な場所に 停車してください	CVT故障警告 B	<ul style="list-style-type: none"> ● CVTに異常があると表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● すみやかに安全な場所に停車し、日産販売 会社にご連絡ください。

緊急時の対処法

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
<p>⚠ 警告</p> <p>CVT CVT故障 販売店で点検してください</p>	CVT故障警告 C	● CVTに異常があると表示します。	● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
<p>⚠ 警告</p> <p>CVT CVT高温 取扱書を確認してください</p>	CVT高油温警告	● CVTフルードの温度が異常に高くなると表示します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 表示すると出力が制限されています。周囲に注意して走行してください。 ● CVTフルードが正常な温度まで下がると表示は消灯します。
<p>⚠ 警告</p> <p>CVT エンジンが停止します 停車してください</p>	エンジン異常警告A	● 走行中、エンジンに異常が発生し、エンジンが停止しているときに表示します。	● すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。
<p>⚠ 警告</p> <p>エンジン出力低下 販売店で点検してください</p>	エンジン異常警告B	● 走行中、エンジンに異常が発生し、出力が制限されていると表示します。	● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
<p>⚠ 警告</p> <p>エンジン高温 取扱説明書を確認してください</p>	エンジン異常警告C	● 走行中、エンジンの温度が異常に高くなると表示します。	● すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。
<p>⚠ 警告</p> <p>ステアリングシステム故障 安全な場所に停車してください</p>	EPS（電動パワーステアリング）警告A	● 電動パワーステアリングのシステムに異常があるときに表示します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電動パワーステアリングが作動しません。 ● すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。
<p>⚠ 警告</p> <p>ステアリングシステム故障 販売店で点検してください</p>	EPS（電動パワーステアリング）警告B	● 電動パワーステアリングのシステムに異常があるときに表示します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電動パワーステアリングのシステムに異常があるため、ハンドル操作力の重さが変わります。ハンドルをしっかりと握り、慎重に操作してください。 ● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

緊急時の対処法

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
後席を確認してください	後席リマインダー表示	<ul style="list-style-type: none"> ● 後席リマインダーがONのとき、走行前にスライドドアを開閉してから15分以内に車両を発進させると、走行後にキースイッチ（電源ポジション）をOFFにしたときに表示し、ブザーが鳴ります。 ➡後席リマインダー（P98） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 後席を確認してください。
オイルコントロールシステム エンジンオイル オイル交換まで  1495km	オイル交換残り距離表示	<ul style="list-style-type: none"> ● 車両システムが自動で設定したエンジンオイル交換までの距離が1,500km未満になると、キースイッチ（電源ポジション）をONにしたときに表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● エンジンオイル交換までの距離は、走行状況に応じてシステムにより自動で設定されます。手動で設定することはできません。 ● エンジンオイル交換後は、必ず表示をリセットしてください。リセットするときは、この画面を表示中にステアリングスイッチの<OK>スイッチを1秒以上押します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">  アドバイス </div> <ul style="list-style-type: none"> ● エンジンオイル交換時以外にリセットはしないでください。
エンジンオイル  交換してください	オイル交換警告表示	<ul style="list-style-type: none"> ● 車両システムが自動で設定したエンジンオイル交換距離になると、キースイッチ（電源ポジション）をONにしたときに表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● エンジンオイル交換後は、必ず表示をリセットしてください。リセットするときは、この画面を表示中にステアリングスイッチの<OK>スイッチを1秒以上押します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">  アドバイス </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 表示されたときは、できるだけ早くエンジンオイルを交換してください。劣化したエンジンオイルのまま走行し続けると、エンジンが破損するおそれがあります。 ● エンジンオイル交換時以外にリセットはしないでください。

トヨタがおきたときは

プロパイロット（インテリジェントクルーズコントロール）警告メッセージ

警告表示	表示する条件	説明・対処方法
 <p>作動範囲外のため 現在使用できません</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● VDCをOFFにしたとき 	<ul style="list-style-type: none"> ● VDCがOFFの場合はプロパイロットを使用することができません。
 <p>パーキングブレーキが 作動しているため 使用できません</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 電動パーキングブレーキが作動したとき 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電動パーキングブレーキが作動しているときはプロパイロットを使用することができません。
 <p>シートベルトが 解除されているため 使用できません</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 運転席のシートベルトを解除したとき 	<ul style="list-style-type: none"> ● 運転席のシートベルトが解除されている場合はプロパイロットを使用することができません。
<p>⚠ 警告</p>  <p>システム故障 取扱説明書を見てください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● システム故障 	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全な場所に停車して、一度エンジンを停止してから再始動します。再始動後も警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
<p>⚠ 警告</p>  <p>停車状態を維持できません ブレーキを踏んでください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● プロパイロットにより車両が停止中、運転席ドアが開いたが電動パーキングブレーキが正常に作動しなかったとき 	<ul style="list-style-type: none"> ● すみやかにブレーキペダルを踏んでください。
 <p>フロントレーダー及び その周辺が汚れています 拭いてください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 車両前部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着したとき 	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してからレーダーセンサーおよびその周辺の汚れなどを取り除き、エンジンを再始動してください。 ➡ <u>レーダーセンサーの取り扱い (P.322)</u>
 <p>滑りやすい路面のため 現在使用できません</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● VDC/TCSが作動したとき ● タイヤの空転を検出したとき 	<ul style="list-style-type: none"> ● VDC/TCSが作動する、または、タイヤが空転するような状況ではプロパイロットは使用できません。

プロパイロット（ハンドル支援）警告メッセージ

警告表示	表示する条件	説明・対処方法
レーンを認識できません ハンドル支援を解除します	<ul style="list-style-type: none"> ● 走行車線内にレーンマーカールに見えるようなものがあるなど、レーンマーカールが正しく検出できない状態が長時間続いたとき（雪のわだち、雨の日の周辺の光の反射、消し忘れのレーンマーカールなど） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 再びハンドル支援を使用したいときは、レーンマーカールがはっきりと描かれている道路でプロパイロットを再セット、もしくは<ハンドル支援スイッチ>を押してください。
 悪天候のため 現在使用できません	<ul style="list-style-type: none"> ● ワイパーを高速で作動させたとき 	<ul style="list-style-type: none"> ● ワイパーの高速動作を解除してください。その後、プロパイロットを再度セット、もしくは<ハンドル支援スイッチ>を押してください。
 カメラが認識できないため 現在使用できません	<ul style="list-style-type: none"> ● 雨、雪、霧または、カメラ前方のフロントガラスの凍結、汚れなどで、カメラの視界が確保できなくなったとき 	<ul style="list-style-type: none"> ● 状況が改善された後、プロパイロットを再セット、もしくは<ハンドル支援スイッチ>を押してください。 ● 警告表示が出続ける場合は、安全な場所に停車して、エンジンを一旦停止してカメラ前方のフロントガラスの汚れなどを取り除いてください。
 カメラが高温のため 現在使用できません	<ul style="list-style-type: none"> ● カメラおよびカメラ周辺の温度が高いとき 	<ul style="list-style-type: none"> ● 車室内の温度が下がるとプロパイロットを使用することができます。
 警告  システム故障 取扱説明書を見てください	<ul style="list-style-type: none"> ● システム故障 	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全な場所に停車して、エンジンを一旦停止して再始動し、再びシステムをONにしてください。
 警告 	<ul style="list-style-type: none"> ● ハンドルを持っていない、またはハンドルを操作していないときに点灯します。 <ul style="list-style-type: none"> － 表示（赤）により警告します。 ● 点灯後、運転者がハンドルを操作しないときに点滅します。 <ul style="list-style-type: none"> － 音、表示（赤）、および短時間のブレーキ制御で段階的に警告します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● 運転者のハンドル操作を検出すると警告は消灯します。

緊急時の対処法

警告表示	表示する条件	説明・対処方法
 △警告 減速します	<ul style="list-style-type: none"> ● 警告後、運転者のハンドル操作がない状態が継続したときに表示します。 ー 緊急警報音が鳴るとともに車両を減速、緊急停止します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● 運転者のハンドル操作を検出すると警告は消灯し、プロパイロットが解除されます。
 △警告 ハンドルを操作してください	<ul style="list-style-type: none"> ● 車両を緊急停止させたあと、運転者がハンドルを操作しないときに表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● すみやかにハンドルを持って操作してください。 ● 運転者のハンドル操作を検出すると警告は消灯します。 ● ハンドル操作をすると、非常点滅表示灯は自動で消灯します。

警報音（ブザー）が鳴ったときは

車両盗難などを防ぐため、車内外で警報音（ブザー）が鳴ることがあります。

どこで音が鳴りましたか？	どんな音が鳴りましたか？	何をしたときに鳴りましたか？	確認すること
車外	ピピピピ... (数秒間) (インテリジェントキー付車)	ドアハンドルのスイッチを押したとき	電源ポジションはOFFになっているか いずれかのドアが半ドアになっていないか ドアを閉める前にドアハンドルのスイッチを押していないか
		キーのドア施錠スイッチを押したとき	いずれかのドアが半ドアになっていないか ドアを閉める前に施錠スイッチを押してはいないか
		ドアを閉めたとき	無意識にドアハンドルのスイッチを押していないか
	ピッピッピッ (3回) (インテリジェントキー付車)	ドアを閉めたとき	電源ポジションがONのまま、キーが車外に持ち出されていないか
	キー (金属音)	走行中にブレーキペダルを踏んだとき	ディスクブレーキのパッド (摩擦材) が摩耗していないか 金属音が発生したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。そのまま走行を続けると、ブレーキが効かなくなり、事故につながるおそれがあります。
	ピー (継続) (インテリジェントキー付車)	ドアを閉めたとき	セレクトレバーが  以外のままキーが車外に持ち出されていないか

緊急時の対処法

どこで音が鳴りましたか？	どんな音が鳴りましたか？	何をしたときに鳴りましたか？	確認すること
車室内	ピピピピッ、 ピピピピッ... (繰り返し) (インテリジェントキー付車)	電源ポジションを OFFにしたとき	運転席ドアが開いていないか
	ピピピピッ、 ピピピピッ... (繰り返し) (リモートコントロールエントリー システム付車)	運転席ドアを開けた とき	キースイッチにキーが差し込まれたままになっていないか
	ピピピピピッピッ (3回) (インテリジェントキー付車)	ドアを閉めたとき	電源ポジションがONのまま、キーが車外に持ち出されていないか
		エンジンスイッチを 押したとき	キーを携帯しているか キーを携帯してもブザーが鳴るときは、キーの電池を交換してください
	ポンポン、ポンポン (繰り返し) (インテリジェントキー付車)	電源ポジションを OFFにしたとき	セレクトレバーをPに入れていないか

窓ガラスがくもったときは

- <デフロスタースイッチ>は、キースイッチ（電源ポジション）がONのとき使えます。<リヤウインドーデフォッガースイッチ>は、エンジンがかかっているとき使えます。

フロントガラスのくもりの取りかた

⚠ 注意

- <デフロスタースイッチ>をONにしているときは、エアコンの設定温度を低くしない。

フロントガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- <デフロスタースイッチ>をONにしているときは、内気循環にしないでください。くもりが取れにくくなります。
- <デフロスタースイッチ>は、連続して長時間ONにしないでください。消費電力が多いため、バッテリーあがりの原因になります。
- <デフロスタースイッチ>をタッチするとエアコンが作動し、外気導入に切り替わります。
(<デフロスタースイッチ>の表示灯が点灯)

- 止めるときは、もう一度スイッチをタッチします。
(<デフロスタースイッチ>の表示灯が消灯)

デフロスタースイッチ (👉P.111)

バックドアガラスのくもりの取りかた

🚗 アドバイス

- 連続して長時間使用しないでください。消費電力が多いためバッテリーあがりの原因になります。
 - <リヤウインドーデフォッガースイッチ>をタッチすると約15分間作動し、バックドアガラスの熱線が暖まります。(スイッチの表示灯が点灯)
 - 止めるときは、もう一度スイッチをタッチします。
(スイッチの表示灯が消灯)
- リヤウインドーデフォッガースイッチ (👉P.111)
- <リヤウインドーデフォッガースイッチ>をタッチすると、ドアミラーヒーター★も同時に作動します。

■ ワイパーデアイサー★

🚗 アドバイス

- ガラスにたまった雪はこまめに取り除き、視界を確保してください。
- フロントガラスを温めて、ガラス下端にたまった雪を取り除きやすくします。
<リヤウインドーデフォッガースイ

チ>をタッチすると約15分間作動します。

(スイッチの表示灯が点灯)

- 止めるときは、もう一度スイッチをタッチします。
(スイッチの表示灯が消灯)

オーバーヒートしたときは

アドバンスドドライブアシストディスプレイにオーバーヒート警告 (👉P.281) が表示されたときや、エンジンルームのすき間から蒸気が出ているときはオーバーヒートしていません。次の方法で処置してください。

処置のしかた

⚠ 警告

- **ボンネットを開けるときは十分に注意する。**
エンジンルーム内は高温になっているため、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
- **蒸気が出ているときは、ボンネットを開けない。**
やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
エンジンを停止し、蒸気が出なくなるまで待ち、ボンネットを開けてください。
- **エンジンが十分に冷えていないときは、ラジエーターやリザーバータンクのキャップを外さない。**

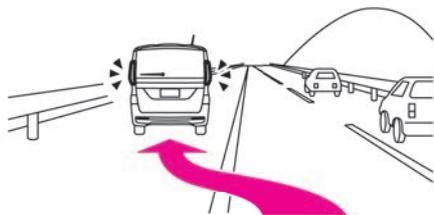
緊急時の対処法

警告

蒸気や熱湯が噴き出し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。

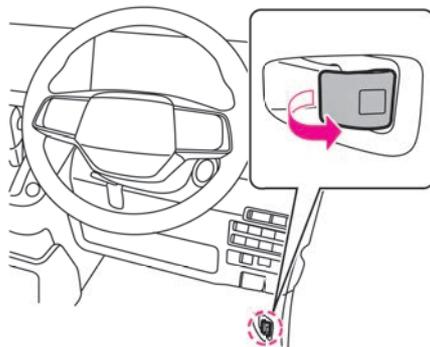
- **オーバーヒートしたときは、ただちに安全な場所に車を停めて処置をす**る。

そのまま走行を続けると、エンジン故障の原因となり、火災につながるおそれがあります。



1. **ただちに安全な場所に停車します。**

➡ 故障したときの対処のしかた
(P.254)



2. エンジンがかけたままボンネットを開け、風通しをよくしてエンジンを冷やします。
万一、冷却ファンが回っていないときは、ただちにエンジンを停止し、自然冷却してください。

警告



オーバーヒート
安全な場所に車を停め
取扱説明書を見てください

3. アドバンスドドライブアシストディスプレイのオーバーヒート警告が消

えたら、エンジンを止めしばらく待ちます。
エンジンが十分冷えてから冷却水の量、ホースなどからの水漏れを点検してください。



4. 冷却水が不足しているときは、ラジエーターとリザーバータンクに冷却水を補充してください。

➡ エンジンルーム内の配置図
(P.309)

補充後は、しっかりキャップを閉めてください。

5. 走行中、再度アドバンスドドライブアシストディスプレイにオーバーヒート警告が表示されたら、手順1～手順4の作業を繰り返して行ってください。
6. 早めに日産販売会社で点検を受けてください。

緊急時の対処法

アドバイス

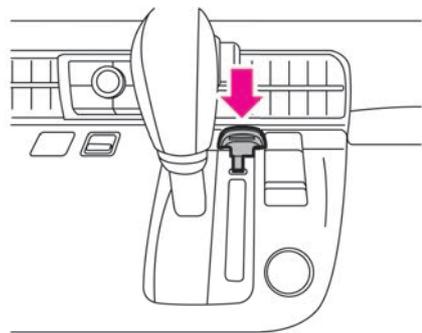
- 応急的に水だけを補充したときは、早めに日産販売会社で点検を受けてください。

セレクトレバーが動かないときは

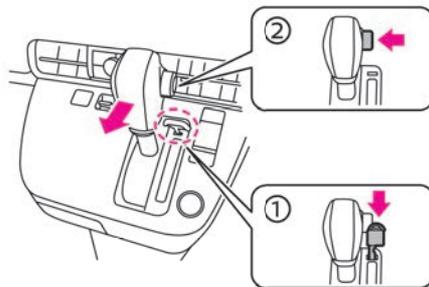
万一バッテリーあがりなどでセレクトレバーをPから動かせないときは、次の方法で動かすことができます。

セレクトレバーの動かしかた

1. 安全のためパーキングブレーキをかけ、ブレーキペダルを踏み続けます。



2. 内蔵キー（メカニカルキー）または、お手持ちの先の細い工具などをシフトロック解除穴に押し込みます。内蔵キーまたはお手持ちの先の細い工具などを押し込んだまま①、セレクトレバーのボタンを押して②セレクトレバーを動かします。



アドバイス

- セレクトレバーをPから動かせないときは、シフトロックシステムなどの故障が考えられます。すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

知識

インテリジェントキー付車

- 内蔵キーはインテリジェントキーに内蔵されています。詳しくは（P.263）をお読みください。

雪道やぬかるみにはまったときは

雪道、砂地、ぬかるみなどでタイヤが空転したり、埋まり込んで動けなくなったりしたときは、次の方法で脱出してください。

脱出のしかた

警告

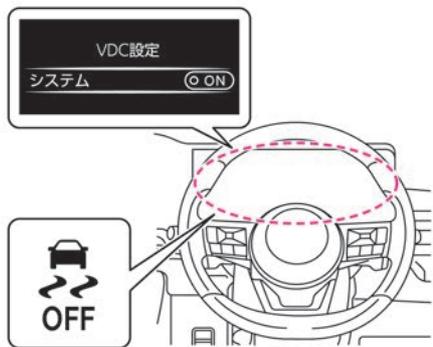
- 周囲の安全を必ず確認する。
周囲の人や物との衝突を避けるため、前進と後退を繰り返すときは、周囲に何もいないことを確認してください。特に脱出の瞬間は、車両が前方または後方に飛び出すおそれがあります。
- 必要以上にアクセルペダルを踏み込まない。
急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

- 脱出するときは、過度にタイヤを空転させない。
タイヤがバースト（破裂）したり、駆動部品が異常過熱したりすることにより思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 数回試しても脱出できないときは、日産販売会社またはJAFなどのロードサービスにご連絡ください。



1. VDC OFFスイッチを長押し（約2秒）するか、アドバンスドドライブアシストディスプレイでVDCをOFFにします。
 ➡VDCのON・OFFのしかた (P.155)
2. 車両の前後に障害物が無いことを確認し、ハンドルを左右に回して前輪の周囲をならします。
 必要に応じ、タイヤの下に木材などをそえてください。
3. ゆっくりとアクセルペダルを踏み、前進または後退します。
 周囲の安全を確認したうえで、前進と後退を繰り返してください。

水没したときは

水没したときの対処のしかた

警告

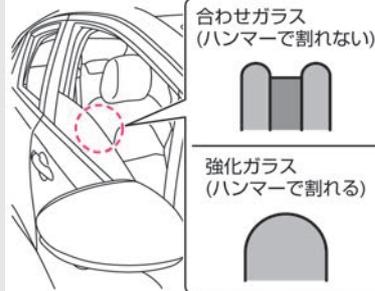
- 水位が窓ガラスよりも高いとき、緊急脱出用ハンマーを使用した場合、割れたガラスが車室内に入り、ケガをするおそれがあります。

緊急脱出用ハンマー（ディーラーオプション）について

- フロントウインドーガラスは合わせガラスのため、緊急脱出用ハンマーで割ることはできません。フロントドアガラス、リヤドアガラス、バックドアガラスを割って脱出してください。
- ドアガラスは車種によって、合わせガラスを使用しています。ただし、車両の仕様変更により合わせガラスの位置が異なる場合があります。合わせ、または強化ガラスの見分け方法については、ガラスの断面、もしくは刻印（マーク）を確認することで見分けることができます。

ガラスの断面で合わせガラスを見分ける方法

- ドアガラスを半分ほど開け、断面を上から確認し、2枚のガラスが貼り合わせられている場合は合わせガラスとなります。



ガラスにある刻印（マーク）で合わせガラスを見分ける方法

- ドアガラスには次のような刻印（マーク）が表示されています。この表示によって、合わせガラスかどうかを見分けることができます。

Eマーク



- 合わせガラス：XI、V-XI
- 強化ガラス：無印、V

JISマーク



- 合わせガラス：L
- 強化ガラス：T

※車両によっては、刻印（マーク）が表示されていない、またはガラスの種類を示す表示の位置が異なる場合があります。

緊急時の対処法

水没したときは、次のような対処方法で車外に脱出してください。

- シートベルトを外して車外に脱出してください。
- ドアが開く水位が低いうちにドアを開けて、車外に脱出してください。
- ドアが開かなかった場合、窓ガラスを開け、窓から車外に脱出してください。
- <パワーウィンドースイッチ>を押しても窓ガラスが開かない場合、次の方法で脱出してください。
 - ー 緊急脱出用ハンマー（ディーラーオプション）がある場合、窓ガラスを割り窓から車外に脱出してください。
 - ー 緊急脱出用ハンマー（ディーラーオプション）がない場合、または緊急脱出用ハンマーで窓ガラスが割れない場合には、車内外の水位が同じ高さくらいまで浸水するのを待ち、ドアを強く押し開けて車外に脱出してください。（車内外の水圧差がなくなると、ドアを開けることができます）

- 浸水・冠水被害に遭われた場合は、車両故障につながるおそれがあるため、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

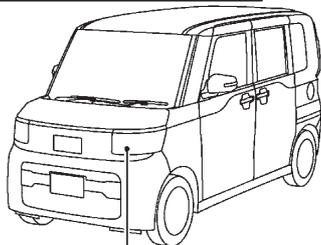
外装ランプが点灯しないときは

- 次の交換可能な電球（バルブ）、番号灯、方向指示器 兼 非常点滅表示灯（側面/フェンダータイプ）以外の外装ランプはすべてLEDです。LEDが一部でも点灯しない場合は日産販売会社で点検を受けてください。

- ヘッドランプ、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがあります。またヘッドランプ内と外気との温度差により、レンズ内面が結露することもあります。これは雨天時などに窓ガラスがくもると同様の現象で、機能上の問題ではありません。また、レンズの構造上、レンズのふちに水滴が付着することがありますが、機能上の問題ではありません。ただし、ランプ内に水がたまっている場合やレンズ内面に大粒の水滴が付着している場合は、日産販売会社にご相談ください。

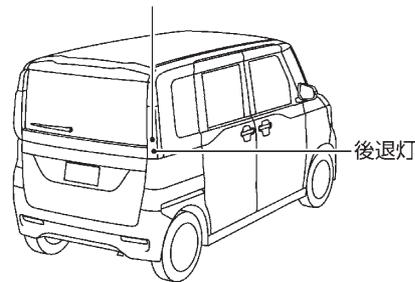
交換可能な電球（バルブ）の位置

アダプティブLEDヘッドライトシステム付車以外



方向指示器 兼 非常点滅表示灯 (前面)

方向指示器 兼 非常点滅表示灯 (後面)



⚠ 注意

- 電球交換は、ボンネットや電球が冷えた状態で行う。
やけどをするおそれがあります。
- ステアなどの端で指や腕をケガしないように注意する。
- 電球は確実に取り付ける。

電球は点灯中、表面が高温になります。電球が正しく取り付けられていないと、走行中に電球が外れて周辺の部品に接触するなどし、発熱、発火につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- 電球交換するときは、軍手などを着用してください。
- 外した部品は確実に取り付けてください。水が入り故障の原因になるおそれがあります。

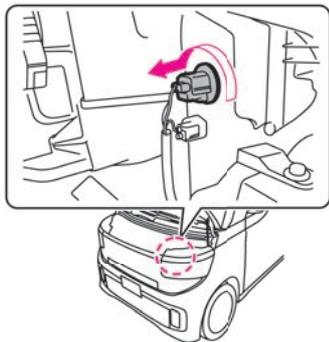
緊急時の対処法

🚗 アドバイス

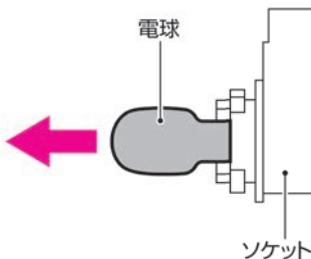
- 電球に油が付着したときは柔らかい布などでふき取ってください。また、素手でガラス部分に触れないでください。電球の寿命が短くなったり電球が破損するおそれがあります。

方向指示器兼非常点滅表示灯（前面）（アダプティブLEDヘッドライト無車）

1. ボンネットを開け、ソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。
👉 ボンネットの開けかた、閉めかた (P.309)



2. 古い電球を引き抜き、新しい電球をソケットに取り付けます。



3. 取り付けるときは、外したときと逆の手順で取り付けます。

🚗 アドバイス

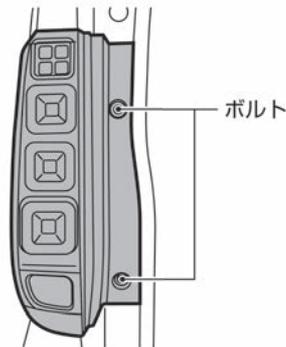
- 取り外すときは、無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。

📖 知識

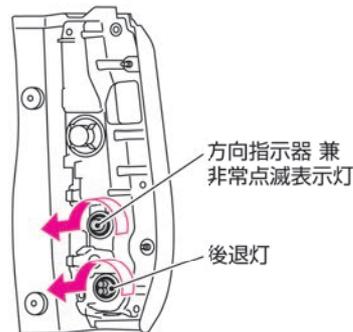
- 方向指示器兼非常点滅表示灯（前面）：12V-21W（アンバー）（WY21W）

方向指示器兼非常点滅表示灯（後面）／後退灯

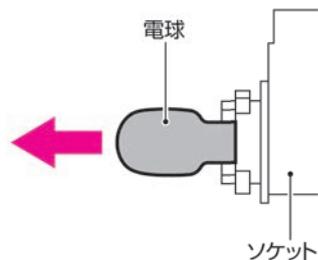
1. バックドアを開けます。
2. リヤコンビランプのボルトを外し、ランプをまっすぐ後方に引いて取り外します。



3. 交換したい電球のソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。



4. 古い電球を引き抜き、新しい電球をソケットに取り付けます。



5. 取り付けるときは、外したときと逆の手順で取り付けます。

アドバイス

- 取り外すときは、無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。

知識

- 方向指示器 兼 非常点滅表示灯（後面）：12V-21W（アンバー）（WY21W）
- 後退灯：12V-16W（W16W）

ヒューズが切れたときは

ランプがつかないときや電気系統の装置が作動しないときは、日産販売会社にご相談ください。

メンテナンスの前に

点検整備について	P.304
----------	-------

工具・ジャッキ

工具★・ジャッキ★について	P.305
---------------	-------

点検と整備

エンジンルーム	P.309
---------	-------

ウォッシュ液の補給	P.311
-----------	-------

寒冷時の取り扱い	P.311
----------	-------

タイヤ	P.312
-----	-------

冬用タイヤ・タイヤチェーン	P.314
---------------	-------

ワイパー	P.315
------	-------

キー（インテリジェントキー）★の電池交換	P.316
----------------------	-------

キー（リモートコントロールエントリーシステム）★ の電池交換	P.317
-----------------------------------	-------

バッテリー	P.318
-------	-------

エンジンオイル	P.319
---------	-------

清掃・お手入れ

外装のお手入れ	P.320
---------	-------

内装のお手入れ	P.324
---------	-------

サービスデータ

点検値	P.326
-----	-------

交換油脂類	P.326
-------	-------

車両仕様	P.329
------	-------

イベントデータレコーダ（EDR）	P.330
------------------	-------

車両状態記録機能	P.331
----------	-------

メンテナンスの前に

点検整備について

道路運送車両法により、定期点検と日常点検が義務付けられています。正しい点検整備を行いお車を安全にお使いください。

点検整備の詳細については、別冊のメンテナンスノートをお読みください。

点検整備の種類

- 点検・整備および保証の内容は、別冊のメンテナンスノートに詳しく記載されていますので、必ずお読みください。
- **日常点検**
走行距離や使用時の状態から判断し、適切な時期にお客さまご自身で行う点検です。
いつもと違うことに気がいたら日産販売会社で点検を受けてください。（音、振動、におい、水漏れ、油漏れなど）
- **定期点検**
1年ごとに実施する点検です。12か月点検および24か月点検があります。
- **その他の点検**
新車時の無料点検や、厳しい使われかたをしたときに必要な点検があります。

車検、点検整備のとき

- 車検、点検整備については、日産販売会社にご相談ください。

工具・ジャッキ

工具★・ジャッキ★について

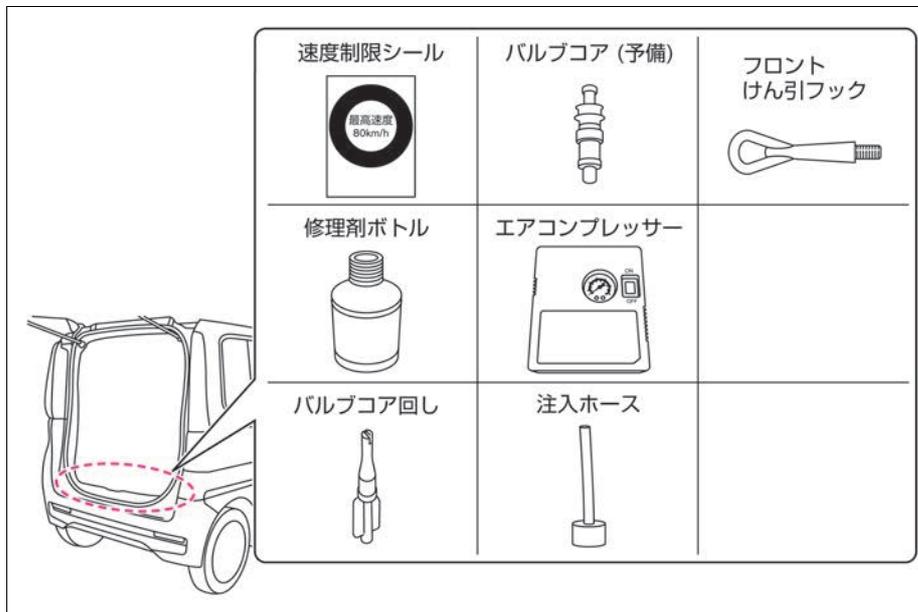
この車両には、スベアタイヤ、ジャッキ、ハンドル兼ホイールナットレンチ、ハンドルレバーが標準で搭載されていません。ジャッキアップをする場合は、この車両専用のジャッキを準備してください。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

工具、タイヤ応急修理キットの格納場所

⚠ 注意

- 工具を使ったあとは、元の場所に収納する。

車室内に放置すると思わぬ事故につながるおそれがあります。



- 停止表示板（停止表示灯）、輪止めは標準で搭載されておりませんので必要に応じて準備してください。
- 工具の種類や発炎筒（🔥 P.255）などは、万一のときに困らないようにあらかじめ位置を確認しておいてください。
- 工具、タイヤ応急修理キットはラゲッジルームに格納されています。
 - ➡ 応急修理する前に (P.259)
 - ➡ タイヤ応急修理キットについて (P.259)

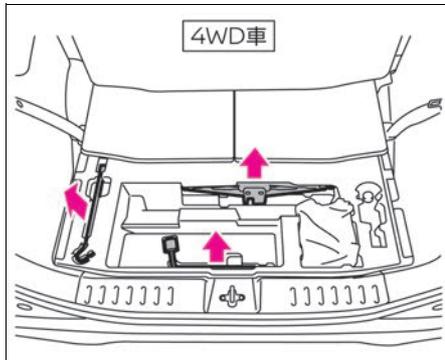
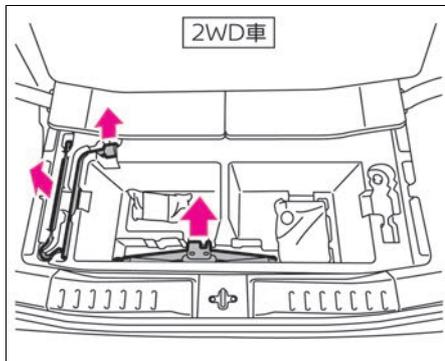
ジャッキ、ハンドル兼ホイールナットレンチ、ハンドルレバーの取り出しかた（ディーラーオプション）

⚠ 注意

- ジャッキを取り出すときは、手をぶつけないように注意する。
金属部などに手をぶつくと、ケガをするおそれがあります。
- ジャッキはタイヤ交換またはタイヤチェーンの脱着以外には使用しない。

アドバイス

- ジャッキが内装部品にぶつからないようにしてください。傷がつくおそれがあります。



- ラゲッジルームのフロアカバーを持ち上げて取り出します。

- ジャッキを取り出すときは、後席シートを車両前方へスライドさせてください。
- この車両には、ジャッキ、ハンドル兼ホイールナットレンチ、ハンドルレバーが標準で搭載されていません。ジャッキアップをする場合は、この車両専用のジャッキを準備してください。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

ジャッキの使いかた

警告

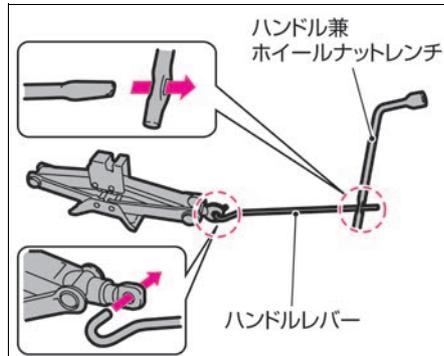
- ジャッキアップしたときは絶対に車両の下に入らない。
ジャッキが外れると、重大な傷害につながるおそれがあり非常に危険です。

注意

- 工具、ジャッキを使ったあとは、元の場所に収納する。
車室内に放置すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ハンドル兼ホイールナットレンチを回すときは、ハンドルレバーをしっかり握って回す。
ハンドルレバーが回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。
- ハンドルレバーは、確実にハンドル兼ホイールナットレンチの穴に差し込む。

ハンドルレバーが確実に差し込まれていないと、外れて思わぬケガをするおそれがあります。

- ジャッキアップ中はエンジンを始動しない。
車が発進し、重大な傷害につながるおそれがあります。



- ジャッキにハンドルレバーとハンドル兼ホイールナットレンチをセットします。
- ジャッキを使って車両を持ち上げるときは、正しい位置にジャッキを設置してください。

ジャッキアップポイント

注意

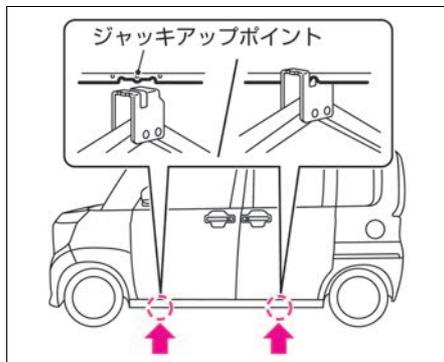
- ジャッキを使うときは、次のことを必ず守る。

⚠ 注意

- ジャッキは必ずこの車両専用のものを使い、他車のジャッキは使用しないでください。また、この車両専用のジャッキは他車に使用しないでください。
- ジャッキはタイヤ交換またはタイヤチェーンの脱着以外には使用しないでください。
- 平坦で硬いところに駐車して作業してください。
- 使用前にパーキングブレーキをかけ、セレクトレバーを**P**にしてください。
- 輪止めなどで車を固定してください。
- ジャッキの上下に台やブロックなどを入れないでください。
- 人や荷物は必ず車から降ろしてください。

🚗 アドバイス

- ジャッキアップポイント以外のところにはジャッキをかけないでください。車体に変形するおそれがあります。



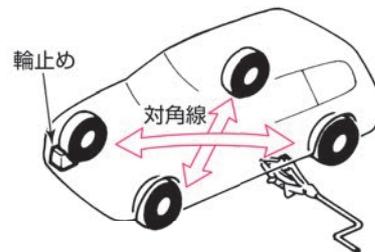
- 矢印の位置がジャッキアップポイントです。

ジャッキアップのしかた

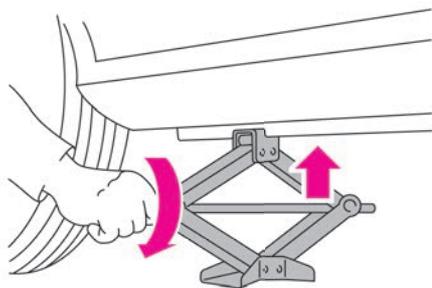
⚠ 注意

- 柔らかい地面の上ではジャッキアップしない。
ジャッキが倒れ、事故につながるおそれがあります。
- やむをえず傾斜地で作業するときは、ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤの下り側に輪止めをし、車が動き出さないようにする。
- 輪止めは標準で搭載されていませんので必要に応じて準備してください。なお、輪止めはタイヤを固定できる大きさの石、木片などで代用できます。

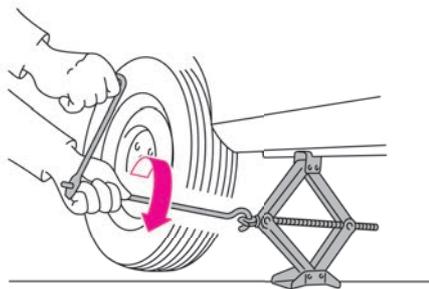
1. 交通の妨げにならず、安全に作業ができる地面（平坦な硬い場所）に停車し、人や荷物を車から降ろします。
🔄 停車・駐車のしかた (P.136)



2. ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤに輪止めをします。
前輪をジャッキアップするとき：後輪の後ろ側
後輪をジャッキアップするとき：前輪の前側



3. ジャッキの上部がジャッキアップポイントに接触するまで、ジャッキを矢印の方向に手で回します。

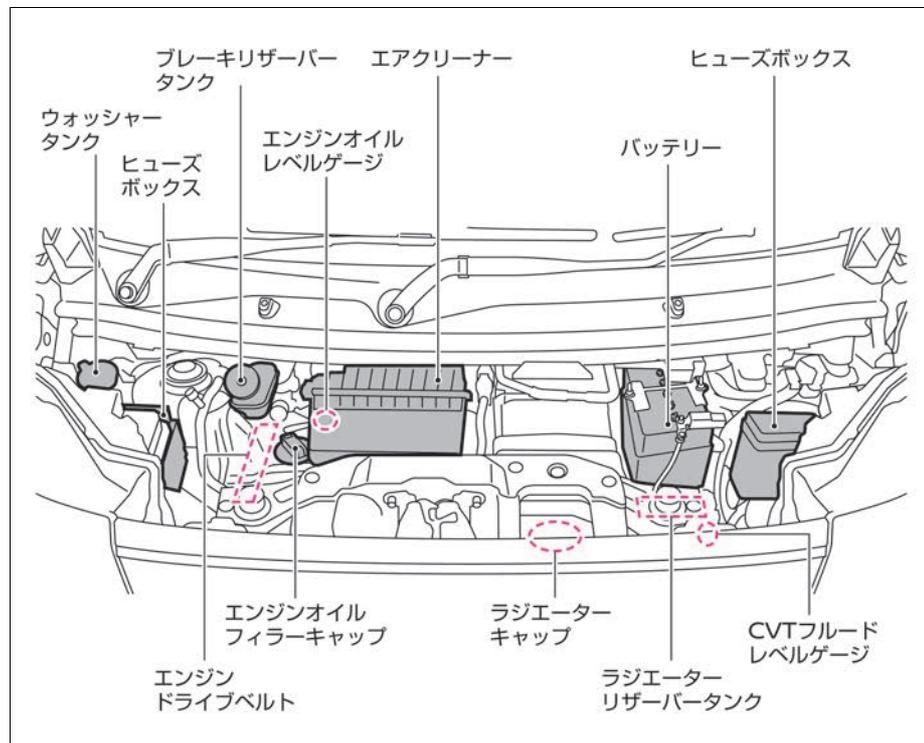


4. ハンドル兼ホイールナットレンチを回して、タイヤと地面が少し離れるまで、ジャッキアップします。

エンジンルーム

エンジンルーム内を点検するときは安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態でボンネットを開けます。

エンジンルーム内の配置図



⚠ 警告

- 点検や整備に使用した工具や布などをエンジンルーム内に置き忘れない。故障や車両火災につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- エンジンルーム内の作業をするときは、キースイッチ（電源ポジション）をOFFにする。
エンジン回転中に手、衣服、工具などを入れると思わぬケガをするおそれがあります。

🚗 アドバイス

- 点検整備の詳細については、別冊のメンテナンスノートをお読みください。
- 車種により部品形状が異なります。

ボンネットの開けかた、閉めかた

⚠ 警告

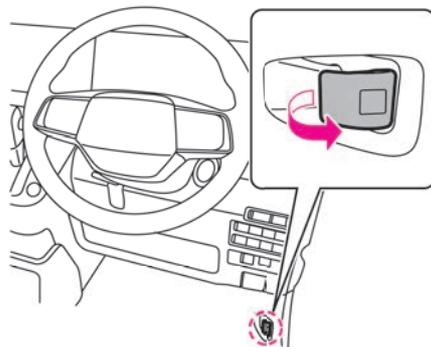
- 走行前、ボンネットが確実に閉まっていることを、必ず確認する。
ロックされていないと、走行中にボンネットが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

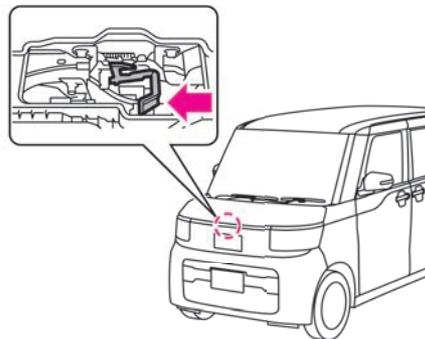
- 風が強いときは、ボンネットをしっかり持ってゆっくりと開ける。
- ステーを持つときは、必ず操作部を持つ。
エンジン停止直後はステーが高温になることがあるため、やけどをするおそれがあります。
- ボンネットを開けたときは、ボンネットに頭などをぶつけないよう注意する。
- ラジエーターなどの高温部には触れない。
やけどをするおそれがあります。
- ボンネットを閉めるときは、手などを挟まないように注意して降ろす。

🚗 アドバイス

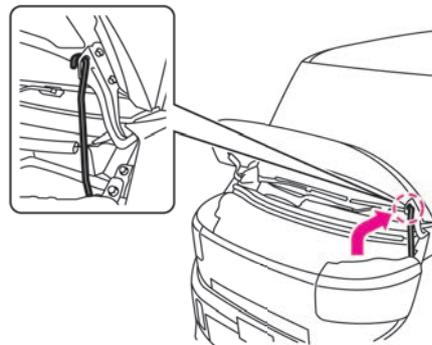
- ワイパーアームを起こしたままボンネットを開けないでください。ボンネットやワイパーを損傷します。
- ボンネットを閉めるときに、ボンネットに体重をかけて強い力で押すと、ボンネットがへこむおそれがあります。



1. 運転席の右下にあるオープナーを引くと、ボンネットが少し浮き上がります。



2. ボンネット先端のすき間に手を入れ、レバーを横に押しながらボンネットを持ち上げます。



3. ステーをフックから外し、ボンネットヒンジの穴（ステー差し込み位置）に確実に差し込みます。
4. 閉めるときはステーをフックに戻し、ボンネットを20cm～30cmの高さまでゆっくり降ろしてから、手を離して落としてロックします。ロックできなかったときは、レバーを操作してボンネットをもう一度持ち上げてから再度落としてください。ボンネットを上から押して閉めようとししないでください。

点検と整備

ウォッシャー液の補給

ウォッシャー液が不足しているときは、ウォッシャー液を補給してください。

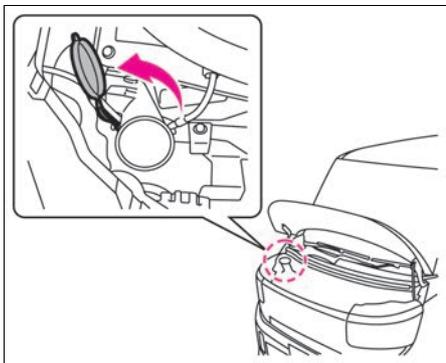
補給のしかた

⚠ 注意

- ウォッシャー液を補給するときは、液を高温部にかけない。出火するおそれがあります。

🚗 アドバイス

- ウォッシャー液の代わりに石けん水などを入れないください。塗装面がしみになるおそれがあります。
- フロントワイパーとリヤワイパーのウォッシャータンクは兼用です。



- 日産純正ウインドウォッシャー液をおすすめします。ウォッシャータンク容量については、**⑤ 交換油脂類 (P.326)**をお読みください。
- 減っているときは、ウォッシャータンクのふたを開け、ウォッシャー液を補給してください。
- ウォッシャー液は、必要に応じ水で薄めてください。希釈割合はウォッシャー液の容器に表示してある凍結温度を参考にします。

寒冷時の取り扱い

寒冷時に備えて、準備や点検などを正しく行ってください。

冬の前の準備

■ 冷却水の濃度点検

- 冷却水の凍結を防ぐため、冷却水の濃度を点検してください。

冷却水の濃度	凍結温度
50%	約-35℃

- 冷却水を補充・交換するときは、日産純正スーパーロングライフクーラント（50%希釈品）をお使いください。サービスデータ（冷却水）（**⑤ P.326**）

🚗 アドバイス

- 冷却水の点検・補充・交換は日産販売会社にご相談ください。

■ バッテリーの液量、比重の点検

- 別冊のメンテナンスノート「簡単な整備のしかた」をお読みください。

■ 冬用タイヤ、タイヤチェーンの準備

- 冬用タイヤに交換するときは、4輪とも指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のものに交換してください。
- タイヤチェーンは、タイヤサイズにあった日産純正品をおすすめします。

■ ウォッシャー液の濃度点検

- ウォッシャー液の凍結を防ぐため、ウォッシャー液の容器に記載してある凍結温度を参考に外気温に応じた希釈割合（濃度）にしてください。

運転する前に

⚠ 警告

- ルーフに積もった雪は落とす。窓ガラスに雪が滑り落ちると視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- ドアなどの開閉部分を無理に開けないでください。ゴムがはがれたり損傷したりするおそれがあります。
- ワイパー、ドアミラー、パワーウィンドーなどを無理に動かさないでください。装置が損傷するおそれがあります。

アドバイス

- ドアのキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結するおそれがあります。
- ドアミラーが凍結するような寒冷時は、ドアロック連動格納機能をOFFにしてください。凍結したまま作動を繰り返すと、故障の原因となります。
- ルーフから雪を落とすときは、アンテナに強い力をかけないようにしてください。アンテナが破損したり、車体がへこんだりするおそれがあります。

状況に応じて次のことを行ってください。

- ドアやワイパーなどが凍結したときは、無理に開けたり動かしたりせず、凍った部分にお湯をかけて氷を溶かしてください。溶けたらすぐに水分をふき取ってください。
- 寒冷時にドアミラーが正常に作動しない場合は、ドアミラー内部が凍結している可能性があります。無理に動かしたりせず、ドアミラー本体にぬるま湯をかけて凍結を溶かしてください。溶けたらすぐに水分をふき取ってください。
- ガラスに雪や霜が積もっているときは、プラスチックの板などを使って、ガラスを傷つけないように雪を取り除いてください。
- 足まわり（ブレーキ周辺、フェンダーの裏側など）が凍りついているときは、部品を破損しないように注意しながら、付着した氷塊を取り除いてください。

- 車室内に乗り込むときは、靴についた雪を取り除いてください。
- 外気温が低く、エンジン冷却水温が低いときは、暖房性能を確保するためエンジン回転数が上昇することがあります。

雪道の走行のしかた

■ 滑りやすい路面に注意

- 滑りやすい路面での急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなど無理な運転は危険ですのでしないでください。雪道や凍結路では速度を落とし、車間距離を取り、ゆとりある運転をしてください。
- 雪道、凍結路では早めに冬用タイヤ、タイヤチェーンなどを装着して走行してください。
➡ [タイヤチェーンについて](#) (P.314)

■ 走行中の雪の付着に注意

- ブレーキに付着した雪が凍結し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。ときどきブレーキの効き具合を確認してください。効が悪いときは、前後の車との距離を十分とり、低速走行で効きが回復するまでブレーキペダルを軽く踏んでください。
- フェンダーの裏側に付いた雪が積もり、ハンドルの切れが悪くなる場合があります。時々確認して雪を取り除いてください。

■ 駐車するときの注意

- セレクトレバーをPにし、パーキングブレーキをかけずに輪止めをしてください。

パーキングブレーキをかけると、ブレーキが凍結して解除できなくなるおそれがあります。

- 軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪で車が損傷するおそれがあります。
- 雪が降りそうなときや降雪時にはワイパーアームを起こしておいてください。ブレードと窓ガラスが凍結し、破損するおそれがあります。
- 雪が積もりそうなときはアンテナを取り外してください。アンテナが破損するおそれがあります。
アンテナの外しかた (➡ P.320)

タイヤ

タイヤが摩耗・損傷していたり、適正な空気圧でない、安全な走行ができず乗り心地も損なわれます。

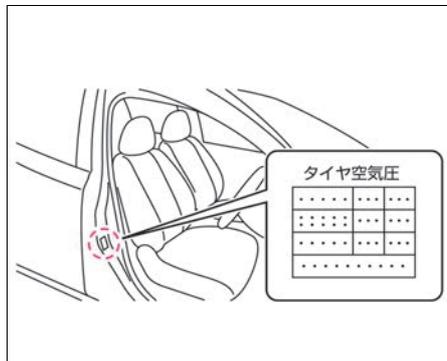
日常的に点検を行ってください。

タイヤの点検項目

安全な走行のため、タイヤの点検は次の項目を点検してください。

詳細は別冊のメンテナンスノートをお読みください。

タイヤ空気圧

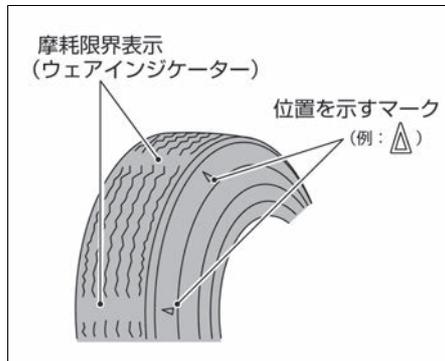


- すべてのタイヤの空気圧を点検してください。
- タイヤの指定空気圧は運転席ドアの開口部に表示してあります。
- タイヤの空気は自然に少しずつ低下します。月に一度はタイヤエアゲージを使用して点検してください。
- タイヤ空気圧の点検は、走行前のタイヤが冷えているときに点検・調整してください。
- タイヤ側面の厚みが薄いタイヤは、空気圧が減っていることを目視で確認することが困難なため、必ずタイヤエアゲージを使用して点検してください。
- 走行直後はタイヤ空気圧が約1割上がることがあります。

タイヤの亀裂・損傷の有無

- タイヤの接地面や側面に著しい亀裂や損傷および針などの異物が刺さっていないか点検してください。

タイヤの溝の深さ、異常な摩耗



- タイヤの溝の深さが十分であるか、ウェアインジケータ（摩耗限界表示）が表れていないか点検してください。
- タイヤが摩耗して接地面とウェアインジケータ（摩耗限界表示）が同じ高さになったらタイヤを交換してください。

タイヤ・ロードホイールを交換するときは

🚗 アドバイス

- ロードホイールは、リムサイズやインセットが同じでも、他の車のものは使えない場合があります。お手持ちのものをご使用になるときは、日産販売会社にご相談ください。
- アルミホイール★には荷重制限があるため、交換するときは日産販売会社にご相談ください。

- タイヤやロードホイールを交換したときは、ホイールバランスを確実に取ってください。
- バルブキャップは日産純正品を使用してください。日産純正品以外のバルブキャップを使用すると腐食して固着し、外れなくなる場合があります。
- バルブキャップは工具などを使用して締め付けると、破損するおそれがあります。
- ホイールナットの締め付けトルクは、 $98\text{N} \cdot \text{m}$ ($10\text{kg} \cdot \text{m}$) です。

- タイヤ交換をするときは、日産販売会社にご相談ください。
- タイヤを交換するときは、4輪とも同時期に行い、必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤを取り付けてください。
- タイヤサイズは運転席ドア開口部のタイヤ空気圧表示を参照してください。
- ロードホイールを交換するときは、必ず指定サイズで同一種類のロードホイールを取り付けてください。ロードホイールのサイズは巻末のサービスデータに記載してあります。

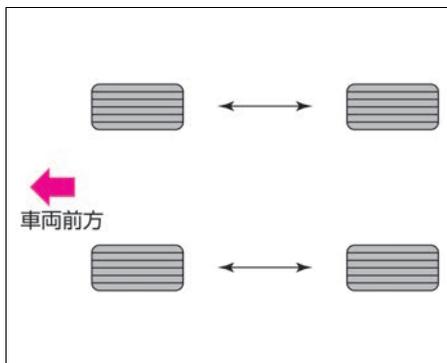
タイヤローテーションのしかた

🚗 アドバイス

- タイヤの位置交換と同時に空気圧も点検してください。

🚗 アドバイス

- タイヤの位置交換については、日産販売会社にご相談ください。



左右それぞれで、前後タイヤの交換を行ってください。タイヤの偏摩耗を防ぎ、寿命を延ばすために、約5,000kmごとにタイヤのローテーション（位置交換）を行うことをおすすめします。

タイヤに関する注意事項

⚠️ 警告

- タイヤの空気圧が不足したまま走行しない。
バースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠️ 注意

- 5～7年を目安に必ず点検する。

タイヤはゴム製品のため、徐々に劣化します。引き続き使用する場合は安全走行を確保するため、必ず点検を受けてください。点検については日産販売会社へご相談ください。

- 指定サイズ以外のタイヤ・ロードホイールは絶対に取り付けない。

不適合なタイヤ・ロードホイールを取り付けると、安全性が損なわれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- タイヤを交換するときは、4輪とも同時期に行い、必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤを取り付ける。

特に4WD車は、径が異なるタイヤを装着すると車の機構に無理がかかり、重大な故障につながります。また、VDCシステムが正常に作動しないことがあります。次のようなタイヤの装着はしないでください。回転差を吸収する機構に無理がかかり、過熱し火災につながるおそれがあります。

- 摩耗差の大きいタイヤの装着
- 前輪または後輪だけに冬用タイヤを装着
- サイズや種類の異なるタイヤを個々に装着
- 著しく摩耗差のあるタイヤや空気圧が規定値と著しく異なるタイヤを装着しない。

車の性能が十分に発揮できなくなり、安全性を損なったり故障の原因になります。

冬用タイヤ・タイヤチェーン

雪道や凍結した道路を走行するときは、冬用タイヤやタイヤチェーンを装着してください。

冬用タイヤについて

⚠️ 注意

- タイヤチェーンを不適正に装着したり、タイヤサイズに合わないものを使用しない。
ブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。

- 冬用タイヤを装着するときは、4輪とも指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のものに交換してください。

タイヤチェーンについて

🚗 アドバイス

- タイヤチェーンを装着すると、ホイールカバー★やアルミホイール★に傷をつけるおそれがあります。
- 雪のない舗装路ではチェーンを装着したまま走行しないでください。
チェーンの摩耗を早め、寿命が短くなります。また、4WD車は車の性能が十分に発揮できなくなる場合があります。

🚗 アドバイス

- タイヤチェーンを装着しているときは、突起しているところや穴の上を走行しないでください。また、急ハンドルやタイヤがロックするようなブレーキ操作をしないでください。

タイヤチェーンを装着するときは、次のことを守ってください。

- タイヤチェーンを装着するときは、安全に作業できる平坦な場所に停車し、キースイッチ（電源ポジション）をOFFにして作業してください。
- タイヤチェーンは必ず前2輪に装着してください。4WD車も前2輪に装着してください。
- タイヤサイズに適合したチェーンを装着してください。
- タイヤチェーンに付属の取扱説明書に従って装着してください。
- タイヤチェーンに付属の取扱説明書で指定された速度で走行してください。
- お客様のタイヤサイズに合ったタイヤチェーンでも使用できない場合があります。
- タイヤチェーンはお客さまの車に適合した日産純正品をおすすめします。
- 適合するタイヤチェーンについては日産販売会社にご相談ください。

ワイパー

ワイパーゴムが傷んでいると、きれいにふき取れなかったり、窓ガラスを傷つけたりします。

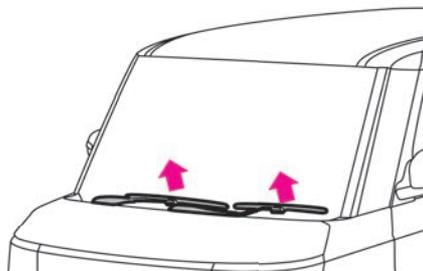
☆/★：車両型式、オプションなどで異なる装備

定期的に点検し、傷んでいるときは次の手順に従って交換してください。

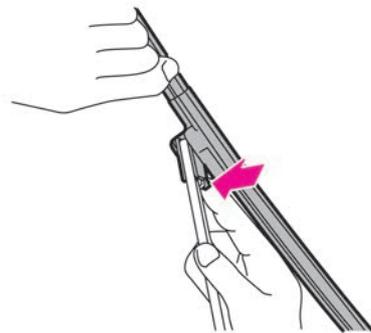
ワイパーブレードの交換のしかた

🚗 アドバイス

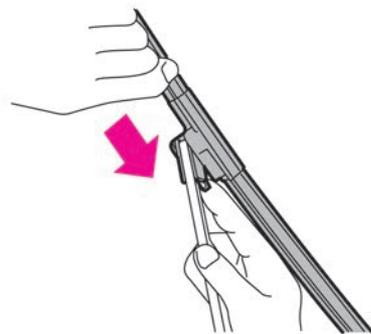
- 交換するときは、ワイパーアームおよびワイパーブレードがガラスに当たらないよう気を付けてください。ガラスに当たるとガラスが破損するおそれがあります。
 - ワイパーブレードに大きな力を加えて変形させないでください。ふき取りにくくなったり、破損するおそれがあります。
- リヤワイパーブレードの点検、交換が必要なときは、日産販売会社にご相談ください。



1. ワイパーアームを起し、ワイパーブレードを少し傾けます。



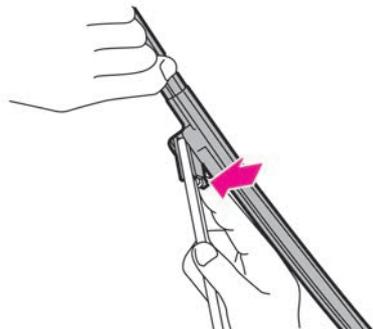
2. ワイパーブレードのツメを押しそのままにします。



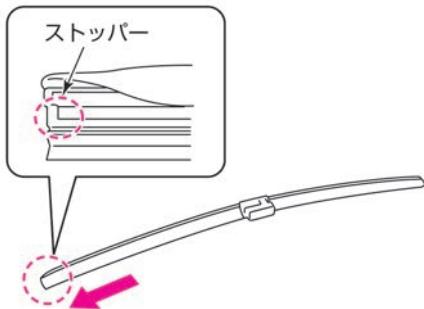
3. ワイパーブレードを矢印の方向に動かして取り外します。
4. 新しいワイパーブレードを取り付けます。取り付けは取り外したときと逆の手順で行い、ワイパーブレードが確実に固定されていることを確認します。

ワイパーゴムの交換のしかた

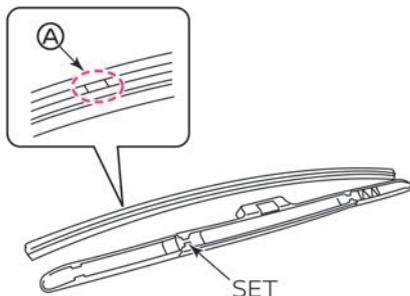
- ワイパーゴムに石けん水を塗ると脱着しやすくなります。



1. ワイパーアームからワイパーブレードを取り外します。



2. ワイパーゴムを矢印方向にスライドし、取り外します。



3. 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。ワイパーゴムのストッパーがない方からブレードに沿って差し込みます。ワイパーゴムの①部をワイパーブレードの「SET」の位置で確実に押し込み、固定します。

キー（インテリジェントキー）★の電池交換

キーのスイッチを押しても作動しないときは、電池の消耗が考えられます。次の手順に沿って、電池を交換してください。

電池交換のしかた

⚠ 警告

- 電池および取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意する。

インテリジェントキーには、ボタン電池が使用されています。誤って電池を飲み込むと、わずか2時間で重度の化学熱傷を引き起こし、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。新しい電池および取り外した電池は、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

- 電池を飲み込んだり、体内に入れた場合は、ただちに医師の診察を受ける。

⚠ 注意

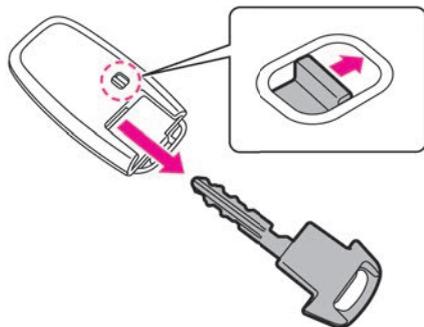
- カバーがしっかりと閉まらない場合は、インテリジェントキーの使用を中止する。

インテリジェントキーをお子さまの手の届かない場所に保管し、すみやかに日産販売会社にご連絡ください。

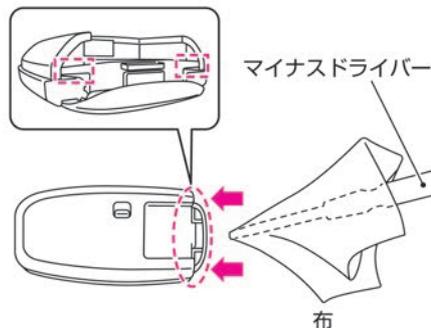
🚗 アドバイス

- 電池交換の際、キーを破損するおそれがあります。日産販売会社での交換をおすすめします。
- 内部回路、電子端子などに触れないでください。故障の原因となります。
- 電池交換の際は、必ず同じタイプの電池と交換してください。
- 電池交換後は、キーシステムの各機能が正常に作動するか必ず確認してください。正常に作動しないときは故障が考えられますので、日産販売会社にご相談ください。

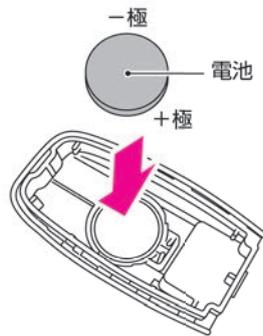
点検と整備



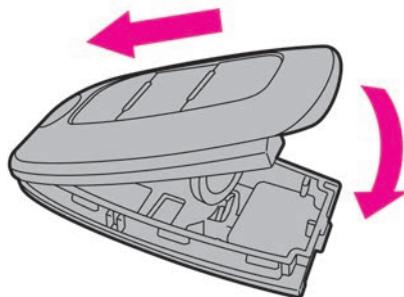
1. キー裏側のロックを外しながら、内蔵キー（メカニカルキー）を引き抜きます。



2. 左右のすき間にマイナスドライバーを差し込み、ひねってカバーを取り外します。（カバーが傷つかないように、マイナスドライバーに布を巻いてください）



3. 消耗した電池を取り外し、新しい電池をはめ込みます。（新しい電池は、+極を下にして取り付けください）
使用電池：CR2032



4. カバーの先端を合わせて上下のカバーを組み付けます。確実に取り付けられたことを確認してください。

キー（リモートコントロールエントリーシステム）★の電池交換

リモコンのスイッチを押しても作動しないときや作動表示灯が点滅しないときは、電池の消耗が考えられます。

次の手順に沿って、電池を交換してください。

電池交換のしかた

⚠ 警告

- 電池および取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意する。

リモートコントロールエントリーシステムキーには、ボタン電池が使用されています。誤って電池を飲み込むと、わずか2時間で重度の化学熱傷を引き起こし、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。

新しい電池および取り外した電池は、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

- 電池を飲み込んだり、体内に入ってしまった場合は、ただちに医師の診察を受ける。

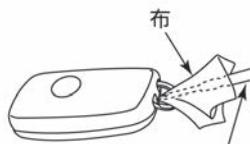
⚠ 注意

- カバーがしっかりと閉まらない場合は、リモートコントロールエントリーシステムキーの使用を中止する。

リモートコントロールエントリーシステムキーをお子さまの手の届かない場所に保管し、すみやかに日産販売会社にご連絡ください。

🚗 アドバイス

- 電池交換の際、キーを破損するおそれがあります。日産販売会社での交換をおすすめします。
- 内部回路、電子端子などに触れないでください。故障の原因となります。
- 電池交換の際は、必ず同じタイプの電池と交換してください。
- 電池交換後は、キーシステムの各機能が正常に作動するか必ず確認してください。正常に作動しないときは故障が考えられますので、日産販売会社にご相談ください。



マイナスドライバー

1. スリットにマイナスドライバーを差し込み、ひねってカバーを取り外します。(カバーが傷つかないように、マイナスドライバーに布を巻いてください。)



2. 消耗した電池を取り外し、新しい電池をはめ込みます。(新しい電池は、

+極を下にして取り付けてください。)

使用電池：CR2032



3. カバーの先端を合わせて上下のカバーを組み付けます。確実に取り付けられたことを確認してください。

バッテリー

バッテリーのメンテナンスについては、メンテナンスノートをお読みください。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

バッテリーに関する注意事項

⚠️ 警告

- **バッテリーを充電するときは換気を十分にいき、火気は近づけない。**
バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
- **バッテリー液が付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、飲み込んだときは多量の水を飲んで応急処置をしたあと、医師の診断を受ける。**

バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると、失明や炎症など重大な傷害につながるおそれがあります。

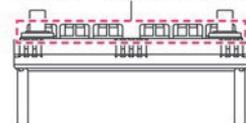
⚠️ 注意

- **バッテリーの⊕側ターミナルが周辺の金属と接触しないようにする。**
接触するとショートして火災の原因となるおそれがあります。また、バッテリーの端子の締め付けが緩いと、配線などが過熱、焼損し、火災につながるおそれがあります。
- **バッテリーを交換するときは、必ず同じサイズ(型式)に交換し、動かないようにしっかりと固定する。**

しっかり固定できていないと、ショートなどの原因となり火災につながるおそれがあります。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

また、バッテリー液注入口キャップが図のように飛び出した形状のもの(凸タイプ)をご使用ください。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

バッテリー液注入口キャップ



アドバイス

- この車両には充放電能力と寿命性能を強化した専用バッテリーをご使用ください。専用バッテリー以外を使用すると、バッテリーの早期劣化やアイドリングストップが正常に作動しなくなる原因となります。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

バッテリー交換したあとや長期間バッテリー端子を外したあとは、アイドリングストップのシステムが作動するまでに時間がかかる場合があります。

エンジンオイル

エンジンオイルの交換時期は別冊のメンテナンスノートをお読みください。

また、指定のエンジンオイルについては、巻末のサービスデータ (P.326) をお読みください。

エンジンオイルに関する注意事項

注意

- オイルの点検後は、オイルレベルゲージを確実に差し込む。
オイルレベルゲージが根元まで差し込まれていないと、オイルが噴き出し火災の原因になるおそれがあります。
- エンジンオイルフィルターキャップは確実に閉める。

走行時にキャップが外れてエンジンオイルが噴き出すと、火災の原因になるおそれがあります。

アドバイス

- 適切にオイル交換が行われないと、エンジンの破損や火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。

外装のお手入れ

塗装面の変色やサビなどを防止するために、適切なお手入れが大切です。

洗車のしかた

- 洗車機で洗車するときは、アンテナを外してください。
アンテナの外しかた (P.320)
- 塗装面に付着した汚れをそのままにすると、変色やサビの原因となります。次のような場合は、すぐに洗車してください。
 - ばい煙、虫の死がいや鳥のふん、樹液、鉄粉、コールタールなどが付着したとき
 - 海岸地区、凍結防止剤を散布した道路を走行したあと
 - ほこり、汚れがひどいとき

■ 水洗いするときは

- 水をかけながら下回りの汚れを洗い流します。
- 水をかけながら塗装面の高い位置から低い位置の順にセーム皮や柔らかいスポンジなどで汚れを落とします。汚れがひどいときは、ボディシャンプーなどを使い、その後十分に水で洗い流します。
- はん点が残らないように水をふき取ります。

洗車時の注意

⚠ 注意

- 下回りを洗うときは、ケガをしないように注意する。

- エンジンルームを水で洗ったり、洗剤やワックスなどを直接スプレーしたりしない。

エンジンの始動不良や不調などの原因になるおそれがあります。また、電装品などに水がかかると、故障したり電気部品のショートにより車両火災につながるおそれがあり危険です。

水や洗剤、ワックスなどの製品、もしくはその他シリコンを含む製品を使用する場合は、布に塗布してからエンジンルームをふいてください。

🚗 アドバイス

- ケミカル用品などは用途により使い分けが必要です。用途にあった物をお使いください。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使用しないでください。変色やしみの原因となります。
- 硬いブラシや、たわしなどは使用しないでください。塗装面を傷つけるおそれがあります。
- 寒冷時に洗車をするときは、ブレーキに直接水がかからないように注意してください。ブレーキ装置に水が入ると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。
- 洗車をするときに、車体に体重をかけるなどして、強い力で押したときに、場所によっては車体がへこむおそれがあります。

洗車機を使うときは

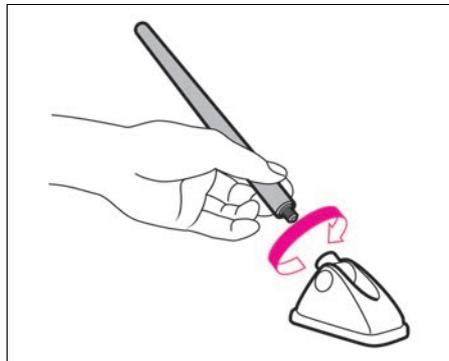
🚗 アドバイス

- 自動洗車機で洗車すると、ブラシの傷がつき、塗装の光沢が失われたり劣化を早めたりすることがあります。
- ドアガラスのまわりに高圧ノズルを近づけないでください。車室内に水が漏れるおそれがあります。
- 自動洗車機で洗車するときは、ドアミラーを格納し、洗車機の「ドアミラーを洗車しない」モードを選択して、車両前側から洗車してください。また、走行前はドアミラーを復帰状態に戻してください。
- 自動洗車機で洗車すると、リヤワイパーを破損するおそれがあります。
- 洗車機の種類によってはスポイラーが引っかけたり、洗車できないことがあります。
- アンダーカバーを外した状態で高圧洗浄機を使用しないでください。電気部品の故障などの原因になるおそれがあります。
- 高圧洗浄機を使用するときは、アンテナのまわりに高圧ノズルを近づけないでください。シール部が変形、破損するおそれがあります。
- ドアミラーを格納してください。
👉 ドアミラーの格納のしかた (P.105)
- 燃料補給口を完全に閉めてください。
👉 燃料補給口の開閉 (P.109)

清掃・お手入れ

- 高圧洗浄機を使用するときは、高圧ノズルと車体の距離を十分離して洗車してください。高圧ノズルを近づけすぎると、モールなど樹脂部分やシール材などが変形、損傷したり、塗装の劣化を早めたりすることがあります。

アンテナの外しかた



- アンテナを取り外すときは、アンテナの根元を持ち、矢印の方向に回して取り外します。
- 取り付けるときは、アンテナの根元を持ち、矢印と逆方向に回し、確実に締め付けます。

ワックスをかけるときは

アドバイス

- 塗装されていないバンパー、スポイラーなどの樹脂部品には、ワックスを使用しないでください。ムラになることがあります。

- コンパウンド（研磨剤）の入ったワックスを使うと、塗装面の光沢や水をはじく特性が失われることがあります。
- カメラのレンズ部にワックスを付けないでください。ワックスが付いた場合は、中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、ふき取ってください。

- ワックスがけは1か月に1回程度、または水はじきが悪くなったときに行ってください。かけかたは普通塗装車、メタリックおよびパール塗装車とも同じです。

ワックスのかけかた

- ① 塗装面の汚れを洗車などで取り除きます。
- ② 塗装面が冷えているとき（体温以下が目安）にワックスをかけます。かけかたはワックス容器に記載してある説明に従ってください。

ワックスの選びかた

- コンパウンド（研磨剤）が入っていない、塗装に適したワックスをご使用ください。日産純正カーワックスをおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

アルミホイール★のお手入れ

アドバイス

- 変色やしみの原因になったり、傷をつけたりするおそれがあるため、次のことをお守りください。
 - 強酸性、強アルカリ性の洗剤は使用しない

- 洗剤はホイールの表面が冷えているときに使用する（体温以下が目安）
- 洗剤を使用したあとは、早めに十分洗い流す
- 硬いブラシやコンパウンド（研磨剤）の入った洗剤などは使用しない

- 中性洗剤を含ませたスポンジなどを使い、汚れを落としてください。日産純正クリーナーをおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

軽い補修のしかた

- フロントバンパー、リヤバンパーのレーダーセンサー周辺以外は、塗装面の小さい傷はタッチアップペイントを使い、早めに傷部を補修してください。サビの発生を防ぎ、塗装面を長持ちさせます。
- フロントバンパー、リヤバンパーのレーダーセンサー周辺はタッチアップペイントを含め塗装修理はできません。塗装する場合は日産販売会社にご相談ください。
 - ➡ レーダーセンサーの取り扱い (P.322)

レーダーセンサー/カメラ類の取り扱い注意

警告

- センサー、カメラ部に強い衝撃を与えない。

⚠ 警告

精密機器のため高圧洗車など、強い衝撃を与えないでください。故障、火災、または感電のおそれがあります。

⚠ 注意

- フロントグリル、リヤバンパーのレーダーセンサー周辺に誤った塗装修理を行うと、本来の機能を発揮できなくなる可能性があります。

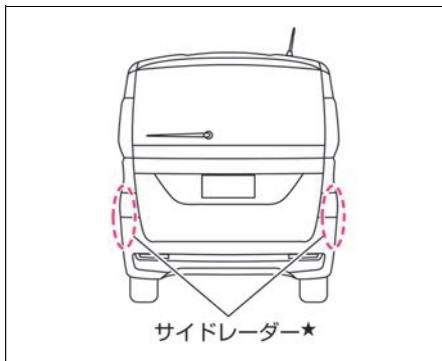
適切な修理を行うため、日産販売会社にご相談ください。

🚗 アドバイス

- カメラレンズ部に泥、雨滴、雪などが付着すると、モニター画像の映りが悪くなりますので、濡れた柔らかい布で汚れをふき取ったあと、乾いた柔らかい布でふき取ってください。
- カメラ部には傷をつけないでください。映像へ影響が出ることがあります。
- カメラレンズをアルコール、ベンジン、シンナーなどでふかないでください。変色などの原因になります。

レーダーセンサーの取り扱い

システムを正しく作動させるために次のことをお守りください。



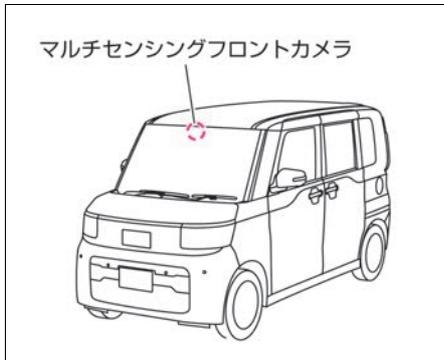
- レーダーセンサーの性能が発揮できない可能性があるため、以下は行わないでください。
 - ー レーダーセンサー周辺へのステッカー貼り付け、後付け部品の取り付け
 - ー お客さまの手による塗装、修理
 - ー フロントバンパー、リヤバンパーを改造、脱着

- ー レーダーセンサー周辺の鳥糞、虫、泥などの付着の放置
- ー 衝突などによるレーダーセンサー周辺の破損、傷つきの放置

- フロントバンパー、リヤバンパーを塗装、修理する場合は必ず日産販売会社にご相談ください。

マルチセンシングフロントカメラの取り扱い

システムを正しく作動させるため、次のことをお守りください。



- カメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ります。さらに乾いた柔らかい布でふき取ります。
- カメラ前方のフロントガラスにステッカー（透明なものを含む）を貼らないでください。
- インstrumentパネル上に鏡や白い紙などの光を反射しやすいものを置かない

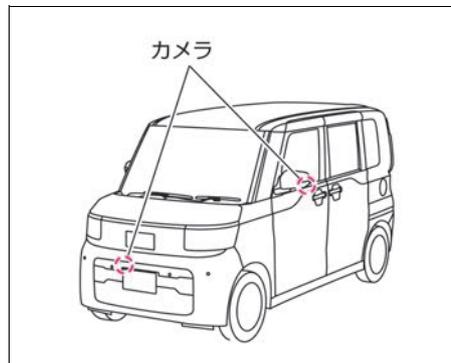
清掃・お手入れ

てください。太陽光が反射し、カメラの検知性能に影響が出るおそれがあります。

- カメラを取り外さないでください。故障、誤作動の原因になります。事故などでカメラ周辺部が変形した場合は、日産販売会社にご相談ください。
- フロントガラスが汚れていたり、マルチセンシングフロントカメラの前が障害物でふさがれていたり、カメラが前方を撮像できないとき、アドバンスドドライブアシストディスプレイにカメラ視界不良警告の警告メッセージ (P.289) が表示されることがあります。カメラの前の障害物を取り除き、汚れを清掃してください。

フロントビューカメラ★/サイドビューカメラ★の取り扱い

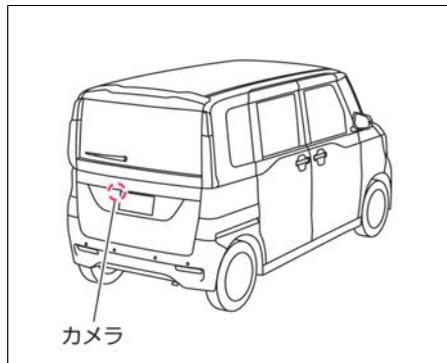
システムを正しく作動させるために、次のことをお守りください。



- カメラ周辺部はいつもきれいにしておいてください。
アルコール、ベンジン、シンナーなどを使用してカメラを清掃しないでください。変色する原因となります。中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ったあと、乾いた柔らかい布でふいてください。
- 衝突などでカメラ周辺を破損したときは、日産販売会社で点検を受けてください。

リヤビューカメラ★の取り扱い

システムを正しく作動させるために、次のことをお守りください。

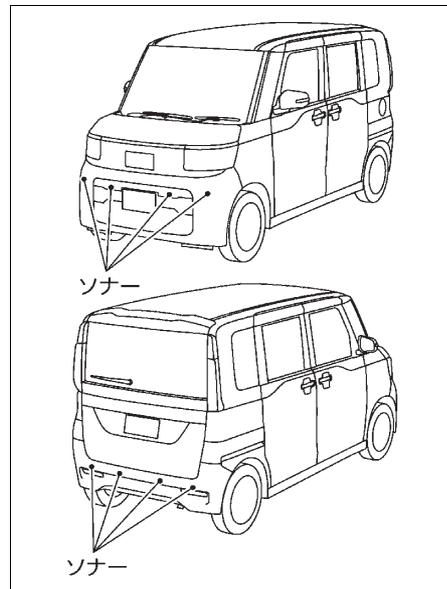


- カメラ周辺部はいつもきれいにしておいてください。
アルコール、ベンジン、シンナーなどを使用してカメラを清掃しないでください。変色する原因となります。中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ったあと、乾いた柔らかい布でふいてください。
- 光が反射するため、ナンバープレートにアクセサリを取り付けしないでください。

- 衝突などでカメラ周辺を破損したときは、日産販売会社で点検を受けてください。

ソナーの取り扱い

システムを正しく作動させるために、次のことをお守りください。



- ソナーはいつもきれいにしておいてください。
汚れているときは、柔らかい布で傷つけないように注意してふき取ってください。
- ソナーまたはその周辺に強い衝撃を与えないでください。またソナーの取り外し、分解などをしないでください。故障、誤

作動の原因になります。事故などでソナーの取り付け部が変形した場合は、日産販売会社にご相談ください。

- ソナーまたはその周辺にステッカー（透明なものを含む）を貼ったり、アクセサリなどを取り付けしないでください。故障、誤作動の原因になります。

内装のお手入れ

内装のお手入れについて

アドバイス

- 車室内に水をかけないでください。オーディオ★やスイッチ類、フロア下の配線や電気部品などに水がかかると故障するおそれがあります。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶剤を使用しないでください。変色やしみ、ひび割れ、塗装はがれなどの原因となるおそれがあります。また、各種クリーナー類には、これらの成分が含まれているおそれがあるため、確認してからご使用ください。
- オーディオ★やスイッチ類などの電装品、ブレーキペダル周りにシリコーン（シリコン）を含むケミカル用品（スプレー、グリース、オイルなど）を使用しないでください。電装品の故障につながるおそれがあります。

- 消臭剤・芳香剤、化粧品・日焼け止めなどは、容器からこぼしたりしないでください。また、吊り下げタイプの消臭剤・芳香剤などは、内装部品に接触しないようにしてください。含まれる成分によっては、内装部品に付着すると変色やしみ、ひび割れ、塗装はがれなどの原因となるおそれがあるため、付着した場合は、すみやかに柔らかい布でふき取ってください。

- 塩素系（二酸化塩素や次亜塩素酸）の洗浄液を使用しないでください。塗装はがれやサビなどの原因となるおそれがあります。やむをえず洗浄（除菌）する場合は、エタノール75%以下をご使用ください。エタノールを乾いた布に含ませ、内装部品をふいてください。エタノールがなくなるまでふき取ってください。ふき残しがあると塗装はがれや色落ちなどの原因となるおそれがあります。エタノールは、引火性ですので、火気に注意してください。
- 内装部品を固いもので擦ったり引っかいたりしないでください。傷がつき、破損するおそれがあります。

カーペットの汚れ取り

- 電気掃除機でほこりを取り除き、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。フロアカーペットを取り外したときは、敷き直すときにフロアカーペットがずれないように固定クリップで正しく確実に固定してください。
- ➔ [フロアカーペット \(P.250\)](#)

布、合成皮革の汚れ取り

- 中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、軽くふき取ります。さらに水に浸した布を固くしぼってふき取ります。汚れがひどいときは、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。

IRカット&スーパーUVカット断熱グリーンガラス★のお手入れ

フロントドアガラスおよびフロントクォーターガラスの内側にはIRカット&UVカットコーティングがされています。

- フロントドアガラスおよびフロントクォーターガラスの内側を清掃するときは、水または温水を含ませた柔らかいきれいな布で早めに汚れをふき取ってください。

アドバイス

- IRカット&UVカットコーティングの傷つきや劣化を防ぐため、次のことをお守りください。
 - － フロントドアガラスの汚れがひどいときは、なるべく窓ガラスの開閉を行わない。
 - － 清掃するときはコンパウンド（研磨剤）入りのガラスクリーナー、アルカリ性洗剤は使用しない。
 - － 砂などが付着している布で清掃をしない。

メーター表面やその他光沢のあるプラスチック部品の汚れ取り

アドバイス

- 乾いた布やウェットティッシュなどを使用しないでください。傷がついたり、変色したりする原因になります。
 - ワックスやコーティング剤、油などが付着した布ではふかないでください。変色の原因になります。
- 塵、ほこりを取り除き、柔らかい布を真水に浸して、固くしぼってから軽くふき取ります。
硬いブラシや布、ティッシュでこすると、傷がつくことがあります。

ガラスの汚れ取り

- バックドアガラスの内側を清掃するときは、熱線を切らないように水を含ませた柔らかい布で熱線にそって軽くふいてください。
- ガラスクリーナー、洗剤などは使用しないでください。
- ガラスの内側を清掃するときは、アンテナ線★を切らないように、水を含ませた柔らかい布で軽くふいてください。

点検値

項目		点検値
補機ベルト		調整不要*1
ブレーキペダル*2	遊び	3~11mm
	床板とのすき間 エンジン回転中、約490N (50kg) で踏んだとき	105mm以上
パーキングブレーキ★(足踏み式)	踏みしろ 約196N (20kg) で踏んだとき	4~5ノッチ

*1：補機ベルトは、ベルトオートテンショナー（自動張力調整機構）とストレッチベルト（張力調整無し）を採用しているため、ベルトの張力調整は不要です。また、電動パワーステアリングおよび冷却ファンは、ベルト駆動ではないためベルトの張力調整は不要です。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

*2：ブレーキが正常に作動しないときは、必ず日産販売会社で点検を受けてください。また、ブレーキペダルの高さの調節が必要なときも、日産販売会社にご相談ください。

交換油脂類

お車の性能を適正に保つため、弊社指定銘柄のご使用をおすすめします。指定銘柄以外をお使いになる場合、指定銘柄に相当する品質のものをお使いください。記載の規定量は目安です。実際の量とは異なることがあります。交換時期については別冊のメンテナンスノートをお読みください。

エンジンオイル

適用	規定量(ℓ)	指定銘柄
BR06DE (ターボ無車)	オイルのみ交換	日産純正ストロングセーブ・X GLV-1 0W-8** (JASO: GLV-1、SAE: 0W-8)
	オイルとオイルフィルター交換	
BR06DET (ターボ付車)	オイルのみ交換	日産純正SPストロングセーブ・X 0W-16 (API: SP、SAE: 0W-16)
	オイルとオイルフィルター交換	

※：添加剤をエンジンオイルに使用しないことをおすすめします。

サービスデータ

■ 指定銘柄以外のエンジンオイルについて

粘度（SAE規格）およびグレードは下記のものをご使用ください。

エンジン	粘度（SAE規格）	グレード
BR06DE (ターボ無車)	0W-8	JASO規格 GLV1マークのついたものをお使いください。  JASO M 364適合品
	0W-16	API規格SPをお使いください。 ILSACマークのついたものをおすすめします。  APIマーク  ILSACマーク
BR06DET (ターボ付車)	0W-16/0W-20	API規格SPをお使いください。 ILSACマークのついたものをおすすめします。  APIマーク  ILSACマーク

エンジン冷却水

適用	規定量(ℓ)	指定銘柄
全車	4.0 ^{*1}	日産純正スーパーロングライフクーラント ^{*2}

^{*1}: リザーバータンクの容量を含みます。

^{*2}: 市販されている水漏れ防止剤などの添加剤は冷却水に添加しないでください。冷却水は、日産純正スーパーロングライフクーラントを必ずご使用ください。

☆/★: 車両型式、オプションなどで異なる装備

CVTフルード

適用	規定量(ℓ)	指定銘柄
全車	5.8	日産純正CVTフルードNS-3※

※：CVTフルードは、専用のCVTフルードNS-3を必ずご使用ください。それ以外のフルードを使用すると、CVTが破損するおそれがあります。

リヤディファレンシャルオイル

適用	規定量(ℓ)	指定銘柄
4WD	0.8	ダイヤクイーンスーパーハイポイドギヤオイル SAE90 (GL-5)

トランスファーオイル

適用	規定量(ℓ)	指定銘柄
4WD	0.39	日産純正デフオイルハイポイドスーパーS (API：GL-5、SAE：75W-90)

ブレーキフルード

適用	規定量(ℓ)	指定銘柄
全車	-	純正ダイヤクイーンブレーキフルードスーパー4 (DOT4)

ウォッシャー液

適用	規定量(ℓ)	指定銘柄
全車	1.5	日産純正ウインドウォッシャー液※

※：外気温に応じて濃度を調節してください。

車両仕様

電球 (バルブ) の容量

電球		容量 (V-W)	電球のタイプ
番号灯		12-5	W5W*
後退灯		12-16	W16W
方向指示器 兼 非常点滅表示灯	前面 (アダプティブLEDヘッドライト無車)	12-21 (アンバー)	WY21W
	側面 (フェンダータイプ)	-* (灯体交換)	
	後面	12-21 (アンバー)	WY21W

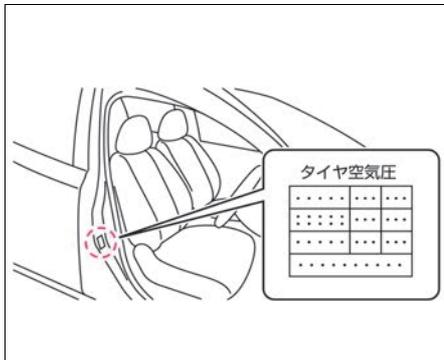
※：電球が点灯しないときは日産販売会社で点検を受けてください。

次の外装ランプはLEDです。LEDが一部でも点灯しない場合は、日産販売会社で点検を受けてください。

- ロービーム
- ハイビーム
- フォグランプ★
- 車幅灯
- アクセントランプ★
- 方向指示器 兼 非常点滅表示灯 (前面/アダプティブLEDヘッドライト付車、側面/ミラータイプ)
- 尾灯
- 制動灯
- ハイマウントストップランプ
- リヤフォグランプ★

タイヤ・ロードホイールサイズ

タイヤサイズ	ロードホイールサイズ		
	リムサイズ	P.C.D.	インセット
155/65R14 75S	14 × 4.5J	100mm (4穴)	46mm
165/55R15 75V	15 × 4.5J		



タイヤの指定空気圧は運転席ドアの開口部に表示してあるため、確認してください。

イベントデータレコーダ (EDR)

車両データの記録・蓄積について

- イベントデータレコーダは一般的なデータレコーダとは異なり、会話などの音声は記録しません。
- 氏名、性別、年齢などの個人情報は記録しません。

この車両に装備されている以下システムの各コンピューターはイベントデータレコーダ機能を備えています。

以下システムの各コンピューターは正常に作動しているかどうかを常に診断し、イベントデータレコーダで車両が衝突したときなどの車両データを記録・蓄積しています。

■ SRSエアバッグシステム

SRSエアバッグシステムが作動したとき、もしくは一定以上の衝突が発生した場合に下記車両データを記録・蓄積します。

- エアバッグシステムの作動に関する情報
- エアバッグシステムの故障診断情報
- アクセルペダル、ブレーキペダル、ハンドルなどの操作状況
- 車速、エンジン回転数などの車両情報

■ プロパイロットシステム★

プロパイロットシステムは下記車両データを記録・蓄積します。

- アクセルペダル、ブレーキペダル、ハンドルなどの操作状況
- 先行車やレーンマーカークなどの検知状況
- 車速などの車両情報
- プロパイロットの作動に関する情報

サービスデータ

- プロパイロットの故障診断情報
- マルチセンシングフロントカメラの画像情報（SRSエアバッグ、インテリジェントエマージェンシーブレーキ作動時）

データの扱いについて

日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、イベントデータレコーダに記録されたデータを日産自動車の車両衝突安全性能の向上を目的として、取得・利用することがあります。

なお、日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、取得したデータを次の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。

- 車両の使用者の同意がある場合
- 裁判所命令など、法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行うなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

車両状態記録機能

車両状態の記録・蓄積について

車両状態記録機能は、下記車両データを記録・蓄積します。

- 車輪速などの車両走行情報

車両状態記録機能

- 車両状態記録機能は一般的なデータレコーダとは異なり、会話などの音声や映像は記録しません。

車両状態記録機能は品質維持を目的として、車両の運行状態を記録・蓄積します。

車両状態記録機能から得られたデータを元の的確なサービスを提供することができません。

データの取り扱いについて

日産自動車および日産自動車に委託した第三者は、車両状態記録機能に記録されたデータを日産自動車の車両衝突安全性能の向上を目的として、取得・利用することがあります。

なお、日産自動車および日産自動車に委託した第三者は、取得したデータを次の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。

- 車両の使用者の同意がある場合
- 裁判所命令など、法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行うなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

MEMO



メソヂカニス

- 3**
3点式シートベルト P.20
- 4**
4WD
4WD車の扱いかた P.152
- A**
A/C (エアコン)
A/Cスイッチ P.111
エアコンを使うときに注意すること P.117
オートエアコン P.111
吹き出し口 P.115
ABS
ABS P.153
ABS警告灯 P.41
- B**
BSW (後側方車両検知警報) P.189
- C**
CVTフルード (規定量) P.328
- E**
ECOモード
ECOモード P.148
エコモード設定 P.149
ドライブモードセレクター P.148
- EDR (イベントデータレコーダ) P.330
ELR (緊急固定) 付シートベルト P.20
EPS (電動パワーステアリング) 警告灯 P.41
ETC P.10, **N**
- I**
i-Sizeチャイルドシート対応ISO FIX
アンカレッジ P.35
- L**
LDW (車線逸脱警報) P.197
- N**
NissanConnectインフォテインメント
システム **N**
- O**
O/D OFF表示灯 P.42
- R**
RCTA (後退時車両検知警報) P.203
- S**
SOSコール P.235
SRSエアバッグ P.23
SRSエアバッグ警告灯 P.41
STANDARDモード P.148
- U**
USB電源ソケット P.247, **N**
- V**
VDC
VDC P.154
VDC OFF表示灯 P.42
VDC警告灯 P.41
- W**
W数 (電球の容量) P.329
- ア**
アームレスト
前席シート P.100
アイドリングストップ
アイドリングストップ P.149
アイドリングストップOFFスイッチ P.150
アウトミラー (ドアミラー) P.105
アシストグリップ P.251
アダプティブLEDヘッドライトシステム
アダプティブLEDヘッドライト
システム P.141
アダプティブLEDヘッドライト表示灯 P.42
アダプティブシフトコントロール P.129
アドバンスドドライブアシスト
ディスプレイ
アドバンスドドライブアシスト
ディスプレイ P.46

M 「メンテナンスノート」をお読みください。

S 「自動車検査証」をご参照ください。

N 「NissanConnectインフォテインメントシステム取扱説明書」をお読みください。

アドバンスドライバアシストディスプレイ (ショートカットメニュー)	P.56
各種設定画面	P.58
警告メッセージ	P.55, P.278
車両情報画面	P.48
ステアリングスイッチ	P.47, P.56
その他の表示機能	P.70
タイヤアングルガイド	P.70
ホーム	P.48
アラーム	P.294
アルミホイールのお手入れ	P.321
アンサーバック機能	P.77, P.81
アンテナ	P.119

イ	
一時停止標識検知	P.208
移動物 検知機能	P.58, P.219
イベントデータレコーダ (EDR)	P.330
イモビライザー (盗難防止装置)	P.19
イルミネーションコントロール	P.73
インジケーター (表示灯)	P.42
インスト運転席アッパーボックス	P.232
インスト助手席スライドボックス	P.232
インストセンタースライドボックス	P.233
インテリジェント BSI (後側方衝突防止支援システム)	P.189
インテリジェント DA (ふらつき警報)	P.206
インテリジェント FCW (前方衝突予測警報)	P.200
インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム)	P.197
インテリジェントアラウンドビューモニター	
移動物 検知機能	P.219
インテリジェントアラウンドビューモニター	P.212

インテリジェントアラウンドビューモニターに関する注意事項	P.222
ソナー機能について	P.220
インテリジェントエマージェンシーブレーキ	
インテリジェントエマージェンシーブレーキ	P.176
インテリジェントエマージェンシーブレーキ警告灯	P.41
インテリジェントオートライトシステム (フロントワイパー連動、薄暮れ感知「おもいやりライト」機能付)	P.138
インテリジェントキー	
インテリジェントキーが正常に作動しないとき	P.262
機能・使いかた	P.76
電池交換のしかた	P.316
ドアの施錠・解錠の作動範囲	P.77
インナーミラー (ルーフミラー)	P.104

ウ

ウィンカー (方向指示器)	P.143
ウインドーガラス (パワーウインドー)	P.107
ウォーニング (警告灯)	P.41
ウォッシャー	
ウォッシャー液 (規定量)	P.328
ウォッシャー液の補給	P.311
ウォッシャースイッチ	P.146
ウォッシャーの噴霧状態点検	
動けなくなったときは	P.254
運転するときに注意すること	P.17
運転する前に	P.16
運転前の準備	P.16

エ

エアコン	
A/Cスイッチ	P.111
エアコンを使うときに注意すること	P.117
オートエアコン	P.111
吹き出し口	P.115
エアバッグ	
SRSエアバッグ	P.23
SRSエアバッグ (前席)	P.25
SRSカーテンエアバッグ	P.28
SRSサイドエアバッグ (前席)	P.27
エアバッグシステム	
SRSエアバッグ警告灯	P.41
エコドライブレポート	P.71
エマージェンシーストップシグナル	P.153
エンジン	
エンジンオイル	P.319, P.326
エンジンスイッチ	P.122
エンジンの始動のしかた	P.122, P.124
エンジンの停止のしかた	P.123, P.125
エンジンルームから蒸気が出ているとき	P.296
キースイッチ	P.124
エンジン回転計 (タコメーター)	P.39
エンジンスイッチでの電源ポジションの切り替えかた	P.123
エンジンルーム	P.309
エンジン冷却水 (規定量)	P.327
エンジンを始動できないときは	P.263

オ	
応急修理する前に	P.259
オーディオ	
アンテナ	P.119
オーディオ	P.57, P.119, N
ステアリングスイッチ	P.120

オートACC機能.....	P.126
オートエアコン.....	P.111
オートクローザー.....	P.87
オートスライドドア	
運転席スイッチ.....	P.93
オートスライドドア.....	P.89
正常に作動しないとき.....	P.95
挟み込み防止機構.....	P.95
ワンタッチオートスライドドア.....	P.93
オートドアメインスイッチ.....	P.91
オートブレーキホールド	
オートブレーキホールド.....	P.132
オートブレーキホールド表示灯.....	P.42
オートレバライザー.....	P.137
オートロック機能.....	P.77, P.81, P.83
オーバードライブ.....	P.129
オーバーヒート.....	P.296
オーバーヒート警告が表示されたとき.....	P.296
お子さまの安全のために.....	P.29
お子さまを乗せるときに注意すること.....	P.29
オドメーター（積算距離計）.....	P.40
音声操作表示.....	P.72

カ

カーアラーム.....	P.19
外気温度表示.....	P.39
外装のお手入れ.....	P.320
外装ランプが点灯しないときは.....	P.300
カギ	
インテリジェントキー付車.....	P.76
リモートコントロールエントリーシステム付車.....	P.80
各種設定画面.....	P.58
ガソリン.....	P.109
カップホルダー.....	P.233

カメラ	
フロントビュー/サイドビューカメラ.....	P.323
マルチセンシングフロントカメラ.....	P.322
リヤビューカメラ.....	P.323
ガラスアンテナ.....	P.120
ガラスのお手入れ（バックドアガラス）.....	P.325
寒冷時の取り扱い.....	P.311

キ

キー	
インテリジェントキー.....	P.76
インテリジェントキーに関する注意	
事項.....	P.78
インテリジェントキーの電池交換.....	P.316
キー（リモートコントロール	
エントリーシステム）の電池交換.....	P.317
メカニカルキー.....	P.76
リモートコントロールエントリー	
システム.....	P.80
キースイッチ.....	P.124
キー連動室内照明システム.....	P.77, P.81, P.230

ク

空気圧（タイヤ）.....	P.312, P.330
くもり取り	
デフロスタースイッチ.....	P.296
リヤウインドーデフォグラースイッチ.....	P.296
クラクション（ホーン）.....	P.103
クリアランスランプ（車幅灯）	
スイッチ.....	P.137
点灯しないとき.....	P.300
車のお手入れ.....	P.320
グローブボックス.....	P.232

ケ

警告灯.....	P.41
警告灯がついたときは.....	P.268
警告メッセージ.....	P.55, P.278
警告メッセージが表示されたときは.....	P.278
警報音（ブザー）が鳴ったときは.....	P.294
けん引について.....	P.256

コ

工具.....	P.305
後席シート.....	P.101
航続可能距離表示.....	P.39
後退灯	
電球（バルブ）容量.....	P.329
点灯しないとき.....	P.300
後部雾灯（リヤフォグランプ）	
スイッチ.....	P.143
点灯しないとき.....	P.300
リヤフォグランプ表示灯.....	P.42
故障警告灯（MIL）.....	P.41
故障したときは.....	P.254
コンビニック.....	P.249

サ

サービスデータ.....	P.326
最高速度標識検知.....	P.40, P.208
サイドアンダーミラー.....	P.106
サイドミラー（ドアミラー）.....	P.105
サイドレーダー.....	P.322
サンバイザー.....	P.250

M 「メンテナンスノート」をお読みください。

S 「自動車検査証」をご参照ください。

N 「NissanConnectインフォテインメントシステム取扱説明書」をお読みください。

シ

シート	
後席シート	P.101
前席シート	P.99
チャイルドシート	P.30
ヒーターシート	P.246
シートベルト	
シートベルト警告灯	P.41
シートベルトの着用のしかた	P.20
シートベルトの注意事項	P.21
室内灯	P.230
始動しない	P.263
始動のしかた	P.122, P.124
ジャッキ	
ジャッキ	P.305
ジャッキアップのしかた	P.307
車幅灯	
スイッチ	P.137
点灯しないとき	P.300
車両型式	S
車両重量	S
車両仕様	P.329
車両状態記録機能	P.331
車両情報画面	P.48
車両寸法	S
ジャンプスタートのしかた	P.266
充電警告灯	P.41
収納装備	P.232
乗車定員	S
心臓ペースメーカーなどをご使用の方の 注意事項	P.18
進入禁止標識検知	P.208

ス

スイッチの操作	
A/Cスイッチ	P.111

SOSコールスイッチ	P.235
TRIP RESETスイッチ	P.40
アイドリングストップOFFスイッチ	P.150
イルミネーションコントロール スイッチ	P.73
ウォッシャースイッチ	P.146
運転席スイッチ (オートスライドドア)	P.93
エンジンスイッチ	P.122
オートドアメインスイッチ	P.91
オートブレーキホールドスイッチ	P.132
オーバードライブスイッチ	P.129
キースイッチ	P.124
ステアリングスイッチ (アドバンスドドライブアシスト ディスプレイ)	P.46, P.56
ステアリングスイッチ (オーディオ)	P.120
デフロスタースイッチ	P.296
電動パーキングブレーキスイッチ	P.130
ドアミラースイッチ	P.105
ドアロックスイッチ	P.85
ドライブモードセクター	P.148
バックドアオープナースイッチ	P.97
バックドアスイッチ	P.83
パワーウインドースイッチ	P.107
パワーウインドーロックスイッチ	P.107
ハンドル支援スイッチ	P.168
ヒーターシートスイッチ	P.246
非常点滅表示灯スイッチ	P.12
フォグランプスイッチ	P.143
ヘッドランプスイッチ	P.137
ヘッドランプレベライザースイッチ	P.144
方向指示器スイッチ	P.143
ライトスイッチ	P.137
リヤウインドーデフォグガースイッチ	P.296
リヤフォグランプスイッチ	P.143
ワイパースイッチ	P.145
ワンタッチオートスライドドア開閉 スイッチ	P.93
ワンタッチスイッチ	P.94
水没したときは	P.299
ステアリング (ハンドル)	P.103
ステアリングスイッチ アドバンスドドライブアシスト ディスプレイ	P.46, P.56
オーディオ	P.120, N
音声操作	N
ショートカットメニュー	P.56
ハンズフリーフォン	N
プロパイロット	P.168
ボイスアシスタント	N
ステアリングヒーター	P.246
ステアリングロック (ハンドルロック) ステアリングロック (ハンドル ロック)	P.123, P.126
ハンドルがロックしエンジンの始動が できないときは	P.264
スピードメーター (速度計)	P.39
スペアタイヤ	
スペアタイヤ	P.305
パンクしたときは	P.259
スモールランプ (車幅灯) スイッチ	P.137
点灯しないとき	P.300
スライドドア	
オートクロージャー	P.87
スライドドア	P.86
ワンタッチスイッチ	P.94

セ

制動灯	
点灯しないとき	P.300
設定 (メーター)	P.58

セレクトレバー アダプティブシフトコントロール	P.129
セレクトレバー	P.128
先駆車発進お知らせ	P.210
洗車のしかた	P.320
前照灯 (ヘッドランプ)	
スイッチ	P.137
点灯しないとき	P.300
先進事故自動通報システム	P.235
前部霧灯 (フォグランプ)	
スイッチ	P.143
点灯しないとき	P.300
フォグランプ表示灯	P.42

ソ

走行	P.135
走行支援機能	P.157
走行支援グループ	P.53
走行時間アラーム	P.58
速度計 (スピードメーター)	P.39
ソナー	
ソナー	P.70
ソナー設定	P.58
ソナーの取り扱い	P.323
ソナー検知表示灯	P.42

タ

タイヤ	
アルミホイールのお手入れ	P.321
タイヤ・ホイールを交換するとき	P.313
タイヤ・ロードホイールサイズ	P.330
タイヤ応急修理キット	P.259
タイヤチェーンについて	P.314

タイヤの位置交換 (ローテーション)	P.313
タイヤの空気圧	P.312, P.330
タイヤの点検項目	P.312
パンク	P.259
冬用タイヤについて	P.314
タイヤアングルガイド	P.70
タコメーター (エンジン回転計)	P.39
正しい運転姿勢について	P.16
ダブルプリテンション機構	P.20

チ

チケットホルダー	P.251
チャージランプ (充電警告灯)	P.41
チャイルドシート	P.30
チャイルドシート適合表	P.32
チャイルドセーフティドアロック	P.87
着信表示	P.71
駐車支援システム	P.212
駐車のしかた	P.136
チルトステアリング	P.103

ツ

通話表示	P.72
------	------

テ

定期点検	P.123, P.125
停止のしかた	P.136
停車のしかた	P.136
低水温表示灯	P.42
ディスプレイ付自動防眩式ルームミラー	P.104
低速加速抑制機能	P.184
低速衝突軽減ブレーキ機能	P.185

テールランプ (尾灯)	
スイッチ	P.137
点灯しないとき	P.300
テールランプ表示灯	P.42
手放し警告灯	P.41
デフロスタースイッチ	P.296
電球 (バルブ) 容量	P.329
点検整備について	P.304
電源ソケット	P.246
点検値 / 交換油脂類	P.326
電池交換のしかた	P.316, P.317
電動格納式ドアミラー	P.105
電動パーキングブレーキ	
電動パーキングブレーキ	P.130
電動パーキングブレーキ警告灯	P.41
電動パーキングブレーキ注意事項	P.131

ト

ドア	
オートスライドドア	P.89
スライドドア	P.86
ドアが開かないときは	P.262
ドアを室内から開けられないとき (チャイルドセーフティドアロック)	P.87
バックドア	P.96
バックドアスイッチ	P.83
フロントドア	P.85
ドアミラー	P.105
ドアミラーヒーター	P.106
ドアロックスイッチ	P.85
灯火装置 (ランプ) の点灯、点滅具合、 汚れ、損傷点検	P.19
盗難防止装置	
イモビライザー	P.19
カーアラーム	P.19

M 「メンテナンスノート」をお読みください。

S 「自動車検査証」をご参照ください。

N 「NissanConnectインフォテインメントシステム取扱説明書」をお読みください。

時計	P.39
ドライブモードインジケータ	P.40
ドライブレコーダー	P.238
ドライブ情報	P.49
トラブルがおきたときは	
インテリジェントキーで始動できない	
ときは	P.263
オーバーヒートしたときは	P.296
外装ランプが点灯しないときは	P.300
警告灯がついたときは	P.268
警告メッセージが表示されたときは	P.278
警報音（ブザー）が鳴ったときは	P.294
故障したときは	P.254
水没したときは	P.299
セレクトレバーが動かないときは	P.298
ドアが開かないときは	P.262
発炎筒	P.255
バッテリーがあがったときは	P.265
パンクしたときは	P.259
ハンドルがロックしエンジンの	
始動ができないときは	P.264
ヒューズが切れたときは	P.302
窓ガラスがくもったときは	P.296
雪道やぬかるみにはまったときは	P.298
トランスファーオイル（規定量）	P.328
トリップメーター（区間距離計）	P.40

ナ

内装のお手入れ	P.324
ナンバー灯（番号灯）	
スイッチ	P.137
電球（バルブ）容量	P.329
点灯しないとき	P.300

ニ

日常点検	M
------	----------

ネ

燃費情報表示	P.49
燃料	
燃料計	P.39
燃料タンク容量	P.109
燃料補給口	P.109
燃料残量警告灯	P.41

ハ

パーキングブレーキ	
電動パーキングブレーキ	P.130
パーキングブレーキ	P.130
パーソナルテーブル	P.248
排気量	S
ハイビームアシスト	P.139
ハイビームアシスト表示灯	P.42
ハイマウントストップランプ	
点灯しないとき	P.300
ハザードスイッチ（非常点滅表示灯）	P.12
挟み込み防止機構	
オートスライドドア	P.95
パワーウインドー	P.108
発炎筒	P.255
バックドア	P.96
バックドアガラスのくもりの取りかた	P.296
バックミラー（ディスプレイ付自動	
防眩式ルームミラー）	P.104
バックミラー（ルームミラー）	P.104
発進	P.134
バッテリー	
バッテリー	P.318
バッテリー液量の点検・補給	M
バッテリーがあがったときは	P.265
バッテリーセーバー	
ヘッドランプ	P.137
マップランプ	P.230

ラゲッジランプ	P.230
バニティミラー	P.251
バルブ（電球）容量	P.329
パワーウインドー	P.107
パワーウインドーが正常に作動しない	
とき	P.108
パンクしたときは	P.259
番号灯	
スイッチ	P.137
電球（バルブ）容量	P.329
点灯しないとき	P.300
ハンドル	P.103
ハンドルロック（ステアリングロック）	
ハンドルがロックしエンジンの始動が	
できないときは	P.264
ハンドルロック	
（ステアリングロック）	P.123, P.126

ヒ

ヒーターシート	P.246
ヒーター付ドアミラー	P.106
非常停止のしかた	P.123
非常点滅表示灯	
スイッチ	P.12
電球（バルブ）容量	P.329
点灯しないとき	P.300
尾灯	
スイッチ	P.137
点灯しないとき	P.300
ヒューズが切れたときは	P.302
標識検知機能	
一時停止標識検知	P.208
最高速度標識検知	P.208
進入禁止標識検知	P.208
標識検知機能	P.207
標識検知機能に関する注意事項	P.209
表示灯	P.42

表示灯がついたときは P.43
 ヒルスタートアシスト P.156

フ

ブースターケーブルのつながりかた P.265
 フード (ボンネット) P.309
 フォグランプ
 スイッチ P.143
 点灯しないとき P.300
 フォグランプ表示灯 P.42
 吹き出し口 P.115
 ブザー (警報音) P.294
 踏み間違い衝突防止アシスト
 低速加速抑制機能 P.184
 低速衝突軽減ブレーキ機能 P.185
 踏み間違い衝突防止アシスト P.183
 踏み間違い衝突防止アシスト警告灯 P.41
 フューエルファイラーリッド (燃料補給口)
 フューエルファイラーリッド
 (燃料補給口) P.109
 フューエルファイラーリッド
 オープナー P.109
 フューエルメーター (燃料計) P.39
 冬用タイヤ・タイヤチェーン P.314
 ブレーキ液量の点検 **M**
 ブレーキ警告灯 (赤色) P.41
 ブレーキシステム警告灯 (黄色) P.41
 ブレーキの効き点検 **M**
 ブレーキフルード P.328
 ブレーキペダルの踏みしろ **M**
 フロアカーペット P.250
 プロパイロット
 車両情報画面 P.53
 プロパイロット P.164
 フロントガラスのくもりの取りかた P.296

フロントドア P.85

へ

ヘッドランプ
 自動点灯ランプの消灯のしかた
 (車両停車時) P.139
 スイッチ P.137
 点灯しないとき P.300
 ヘッドランプ上向き表示灯 P.42
 ヘッドランプの点灯、点滅具合、汚れ、
 損傷点検 **M**
 ヘッドランプレベライザースイッチ P.144
 ヘッドレスト
 後席シート P.102
 前席シート P.100

ホ

ホイールサイズ P.330
 ホイールナットレンチ P.305
 方向指示器
 スイッチ P.143
 電球 (バルブ) 容量 P.329
 点灯しないとき P.300
 方向指示表示灯 P.42
 方向指示器の点灯、点滅具合、汚れ、
 損傷点検 **M**
 防犯装置
 イモビライザー P.19
 カーアラーム P.19
 ホーム P.48
 ホーンの鳴らしかた P.103
 ポジションインジケータ P.40
 ポジションランプ (車幅灯)
 スイッチ P.137

点灯しないとき P.300
 ボトルホルダー P.233
 ボンネット P.309

マ

マスターウォーニング P.41
 マップランプ
 キー連動室内照明システム P.230
 マップランプ P.230
 窓ガラスがくもったときは P.296
 マルチセンシングフロントカメラ P.322

ミ

ミラー
 サイドアンダーミラー P.106
 ディスプレイ付自動防眩式ルーム
 ミラー P.104
 ドアミラー P.105
 パニティミラー P.251
 ルームミラー P.104

メ

メーター
 アドバンスドドライブアシスト
 ディスプレイ P.46
 アドバンスドドライブアシスト
 ディスプレイ (ショートカット
 メニュー) P.56
 オドメーター (積算距離計) P.40
 外気温度表示 P.39
 各種設定画面 P.58
 各部名称 P.38
 警告灯 P.41

M 「メンテナンスノート」をお読みください。

S 「自動車検査証」をご参照ください。

N 「NissanConnectインフォテインメントシステム取扱説明書」をお読みください。

警告メッセージ	P.55, P.278
車両情報画面	P.48
スピードメーター (速度計)	P.39
時計	P.39
トリップメーター (区間距離計)	P.40
表示灯	P.42
メーターの明るさ調節のしかた	P.73
メンテナンス設定	P.58
メンテナンスデータ (サービスデータ)	P.326

ユ

油圧警告灯	P.41
雪道の走行のしかた	P.312
雪道やぬかるみにはまったときは	P.298

ヨ

予約ロック機能	P.94
---------	------

ラ

ライトスイッチ	P.137
ラゲッジランプ	P.230
ランプ (室内灯)	
マップランプ	P.230
ラゲッジランプ	P.230
ランプ消し忘れ警報	P.137

リ

リモートコントロールエントリーシステム	
機能・使いかた	P.80
電池交換のしかた	P.317
リモコンによる施錠・解錠	P.83
リヤウインドーデフォッガースイッチ	P.296
リヤシーリングファン	P.113

リヤディファレンシャルオイル (規定量)	P.328
リヤビューカメラ	P.323
リヤフォグランプ	
スイッチ	P.143
点灯しないとき	P.300
リヤフォグランプ表示灯	P.42
リヤワイパースイッチ	P.146

ル

ルームミラー	P.104
ルームランプ	
マップランプ	P.230
ラゲッジランプ	P.230

レ

冷却水	
寒冷時の取り扱い	P.311
規定量	P.327
冷却水量の点検・補給	M
レーダーセンサー	P.322
レバー (セレクトレバー)	P.128

ロ

ロードホイール	
お手入れ	P.321
交換	P.313
サイズ	P.330
ロールサンシェード	P.248
路上で故障したときは	P.254
ロックノブ	P.85

ワ

ワイパー	
ワイパー・ウォッシャースイッチ	P.145

ワイパーゴムの交換	P.316
ワイパーブレードの交換	P.315
ワックスをかけるときは	P.321
ワンタッチオートスライドドア	P.93

警告灯・表示灯・警告メッセージが表示されたときは

メーター内に警告灯や警告メッセージが表示されたときは、すみやかに適切に対処する必要があります。詳しくは、警告灯（➡P.268）、警告メッセージ（➡P.278）をお読みください。表示灯については、表示灯（➡P.43）をお読みください。



警告灯 例

警告灯は、車両故障などを運転者に知らせるためのものです。警告灯が点灯または点滅したときは警告灯（➡P.268）に記載されている「説明・対処方法」に従ってください。



警告メッセージ 例

警告メッセージが表示されたときは、警告メッセージ（➡P.278）に記載されている「説明・対処方法」に従ってください。



表示灯 例

表示灯は、何らかのシステムが作動していることなどをお知らせするものです。点灯または点滅している理由は、表示灯（➡P.43）をお読みください。

MEMO

MEMO

MEMO